

13 縦ヲ x m, 横ヲ y m トスレバ x ト y トノ關係ハドウカ。

$$\begin{cases} x-y=39 \\ x+y=209 \end{cases} \quad \begin{array}{l} \text{縦 } 124 \text{ m} \\ \text{横 } 85 \text{ m} \end{array}$$

答 面積 5270 平方米

14 甲口ヲ x 圓, 乙口ヲ y 圓トスレバ利息ノ153圓及ビ183圓ハ x, y ヲツカツテドウ表ハスコトガ出來ルカ。

$$\begin{cases} 0.042x+0.05y=153 \cdots (1) \\ 0.05x+0.06y=183 \cdots (2) \end{cases}$$

(1)×6-(2)×5

0.002x=3

x=1500

y=1800

答 甲口1500圓
乙口1800圓

(13) 賛成者ヲ x 人, 不賛成者ヲ y 人トスレバ x, y ノ關係如何。

$$\begin{cases} x-y=9 \\ x+y=45 \end{cases} \quad \text{答 } \begin{array}{l} \text{賛成者 } 27 \text{ 人} \\ \text{不賛成者 } 18 \text{ 人} \end{array}$$

(14) 初メノ所有金甲ハ x 圓, 乙ハ y 圓トスレバ初メノトキト後ノトキトノ所有金ノ關係ハドウカ。

$$\begin{cases} x=3y \cdots \cdots (1) \\ x+50=1\frac{2}{3}(y+70) \cdots (2) \end{cases}$$

(1)ヲ(2)ヘ代入

$3y+50=\frac{5}{3}y+\frac{350}{3}$

$9y+150=5y+350$

$4y=200$

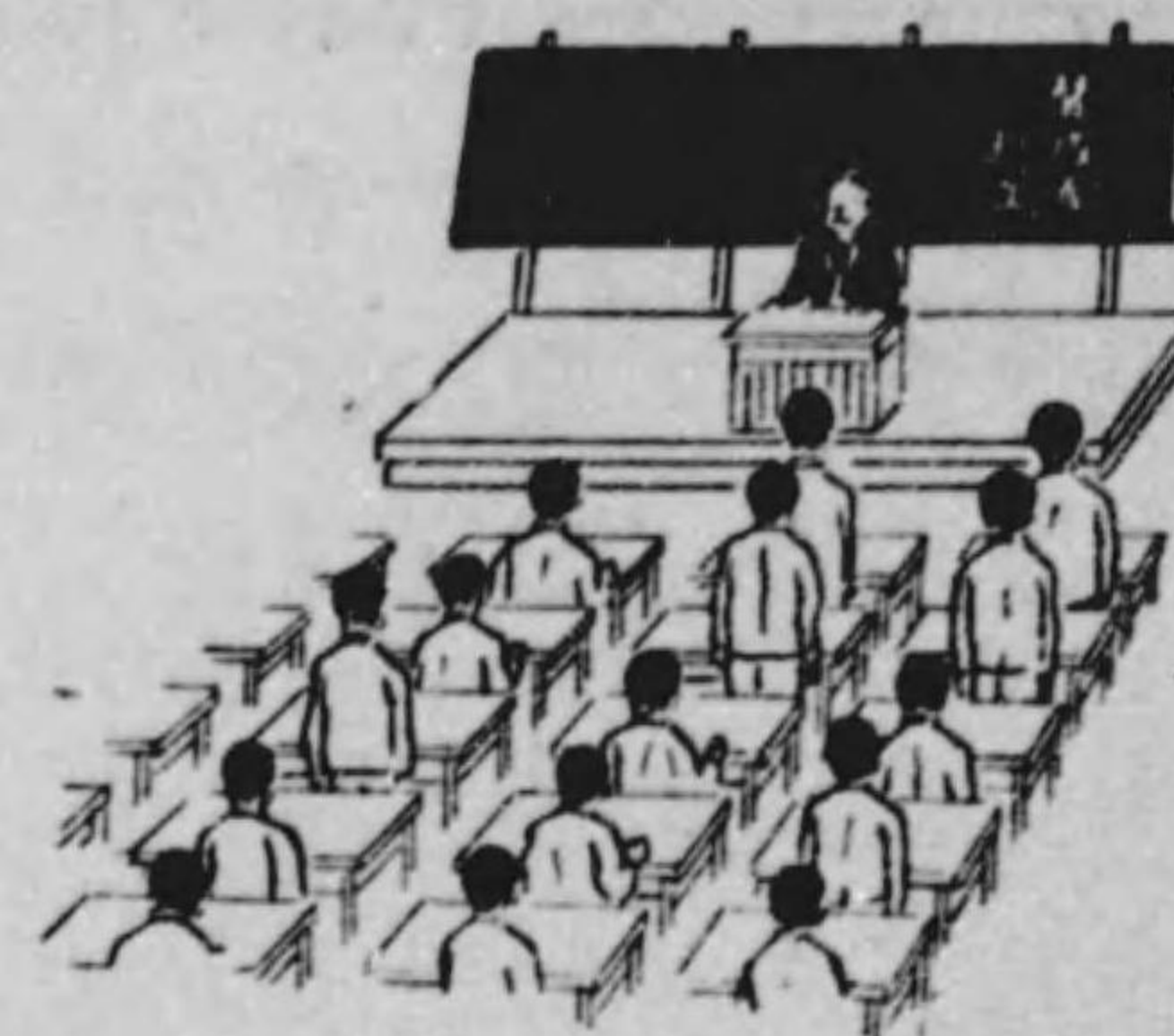
$y=50$

$x=150$

答 甲150圓
乙50圓

13 周圍ガ 418 m ノ矩形ノ土地ノ縦ハ横ヨリモ 39 m 長イトイフ。面積ハ何程デアルカ。

14 或ル人ガ所有金ヲ甲乙二口ニ分ケ, 甲口ヲ年4分2厘, 乙口ヲ年5分ノ利率デ預ケ, 一ケ年ノ終リニ總計153圓ノ利息ヲ得タ。若シ甲口ヲ年5分, 乙口ヲ年6分デ預ケタノデアツタラ, 利息總計ハ183圓デアツタトイフ。此ノ人ノ所有金ハ何程カ。



(13) 45人カラ成ル或ル學級デ級誌ヲ發刊スルコトニツイテ賛否ヲ調べタガ, 賛成者ノ方ガ9人多カッタ。賛否各幾人デアツタカ。

(14) 初メ甲ノ所有金ハ乙ノ所有金ノ3倍デアツタ。其ノ後甲ハ50圓ヲ, 乙ハ70圓ヲ得タノデ, 甲ノ所有金ハ乙ノ所有金ノ $1\frac{2}{3}$ 倍トナツタトイフ。兩人ノ初メノ所有金ハ各何程デアツタカ。



備考 $\begin{cases} 0.042x+0.05y=153 \\ 0.05x+0.06y=183 \end{cases}$

13 縦ヲ x m, 横ヲ y m トスレバ x ト y トノ關係ハドウカ。

$$\begin{cases} x-y=39 \\ x+y=209 \end{cases} \quad \begin{array}{l} \text{縦 } 124 \text{ m} \\ \text{横 } 85 \text{ m} \end{array}$$

答 面積 5270 平方米

14 甲口ヲ x 圓, 乙口ヲ y 圓トスレバ利息ノ153圓及ビ183圓ハ x, y ヲツカツテドウ表ハスコトガ出來ルカ。

$$\begin{cases} 0.042x+0.05y=153 \cdots (1) \\ 0.05x+0.06y=183 \cdots (2) \end{cases}$$

(1)×6-(2)×5

0.002x=3

x=1500

y=1800

答 甲口1500圓
乙口1800圓

(13) 賛成者ヲ x 人, 不賛成者ヲ y 人トスレバ x, y ノ關係如何。

$$\begin{cases} x-y=9 \\ x+y=45 \end{cases} \quad \begin{array}{l} \text{賛成者 } 27 \text{ 人} \\ \text{不賛成者 } 18 \text{ 人} \end{array}$$

(14) 初メノ所有金甲ハ x 圓, 乙ハ y 圓トスレバ初メノトキト後ノトキトノ所有金ノ關係ハドウカ。

$$\begin{cases} x=3y \cdots \cdots (1) \\ x+50=1\frac{2}{3}(y+70) \cdots (2) \end{cases}$$

(1)ヲ(2)へ代入

$3y+50=\frac{5}{3}y+\frac{350}{3}$

$9y+150=5y+350$

$4y=200$

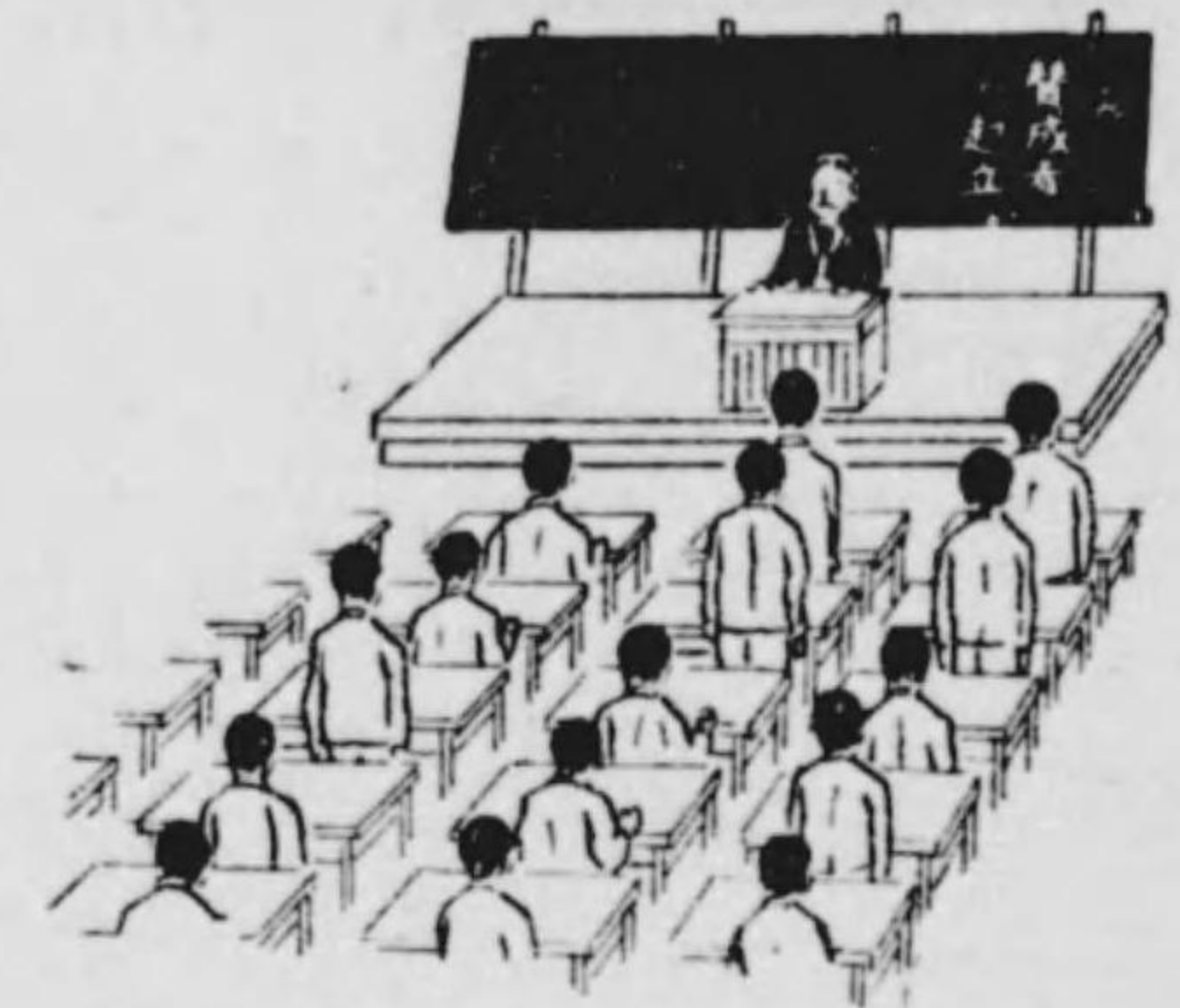
$y=50$

$x=150$

答 甲150圓
乙50圓

13 周圍ガ 418 m ノ矩形ノ土地ノ縦ハ横ヨリモ 39 m 長イトイフ。面積ハ何程デアルカ。

14 或ル人ガ所有金ヲ甲乙二口ニ分ケ, 甲口ヲ年 4 分 2 厘, 乙口ヲ年 5 分ノ利率デ預ケ, 一ケ年ノ終リニ總計153圓ノ利息ヲ得タ。若シ甲口ヲ年 5 分, 乙口ヲ年 6 分デ預ケタノデアツタラ, 利息總計ハ183圓デアツタトイフ。此ノ人ノ所有金ハ何程カ。



(13) 45人カラ成ル或ル學級デ級誌ヲ發刊スルコトニツイテ賛否ヲ調べタガ, 賛成者ノ方ガ9人多カッタ。賛否各幾人デアツタカ。

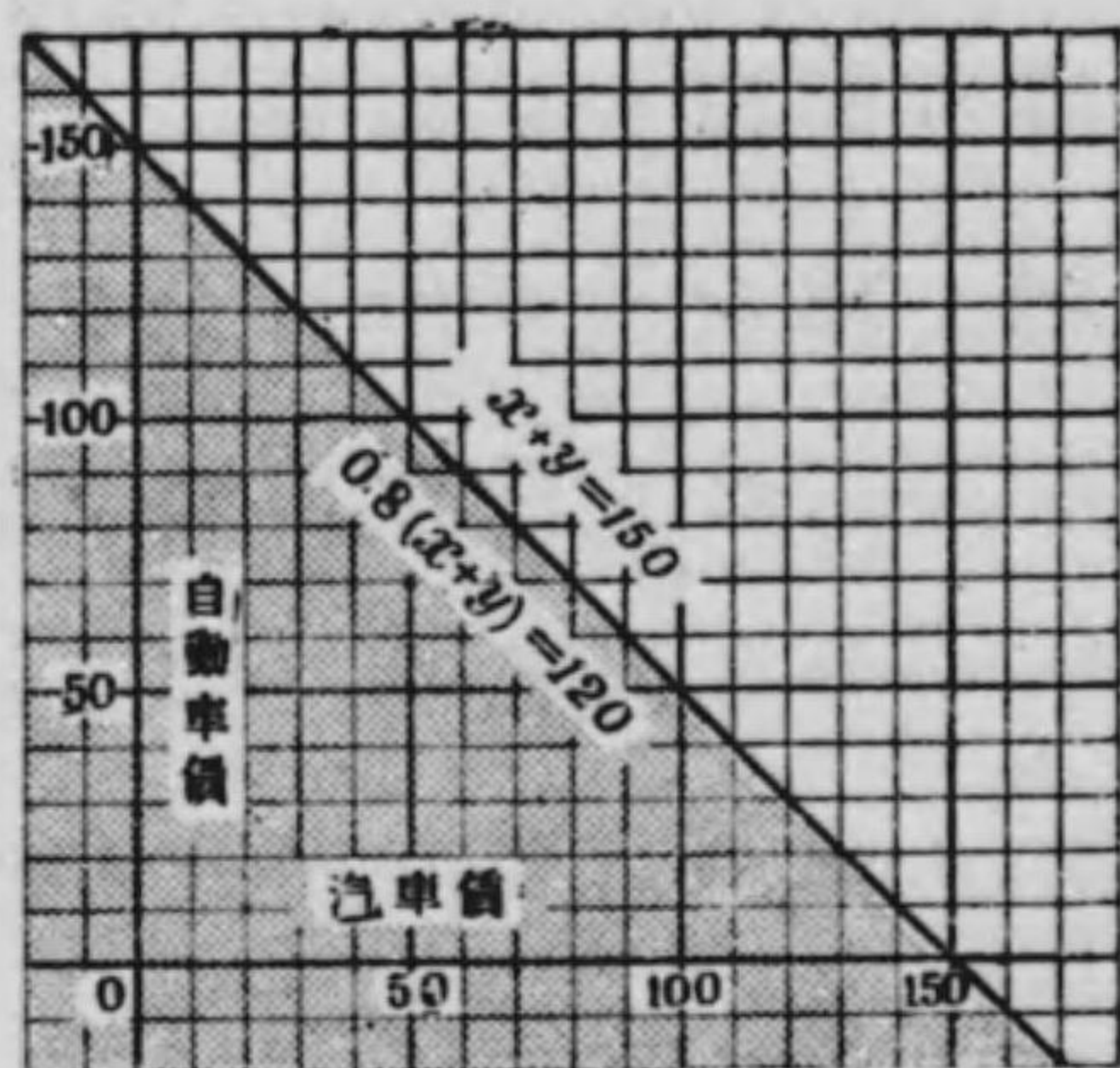
(14) 初メ甲ノ所有金ハ乙ノ所有金ノ3倍デアツタ。其ノ後甲ハ50圓ヲ, 乙ハ70圓ヲ得タノデ, 甲ノ所有金ハ乙ノ所有金ノ $1\frac{2}{3}$ 倍トナツタトイフ。兩人ノ初メノ所有金ハ各何程デアツタカ。



備考 $\begin{cases} 0.042x+0.05y=153 \\ 0.05x+0.06y=183 \end{cases}$

15 或ル人ガ汽車ト自動車ニ連絡シテ乗リ、全體デ賃金1圓50錢ヲ拂ツタ。又或ル時同様ニ乗ツタノニ、此ノ時ハ汽車賃ダケ2割引トナツタタメ全體デ1圓34錢ヲ拂ツタ。汽車、自動車ノ賃金各何程カ。

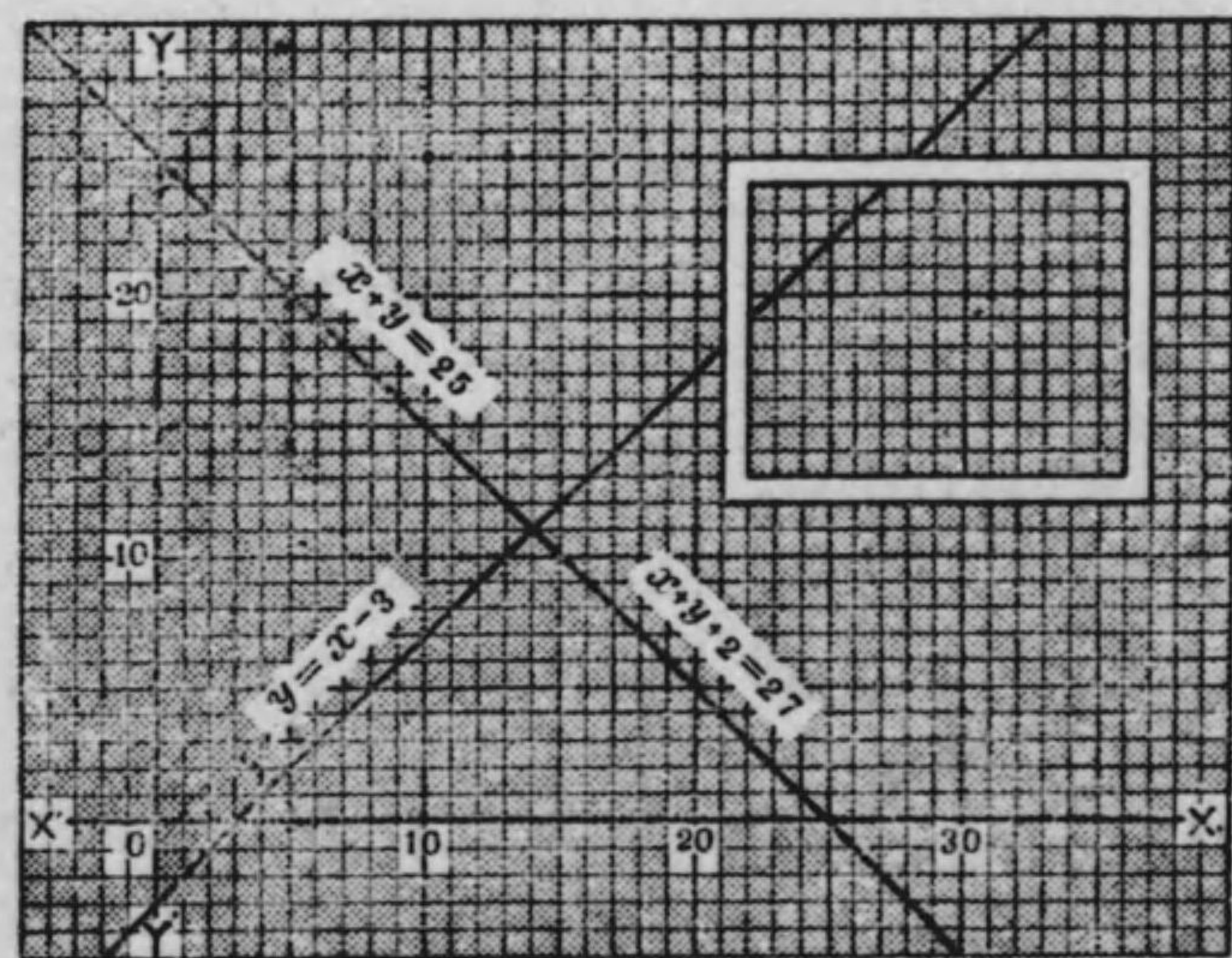
(15) 問題15ノ後ノ部分ヲ「共ニ2割引トナツタ爲1圓20錢ヲ拂ツタ」トスレバ如何。



注意 問題(15)ヨリニツノ式ヲ得ルガ同一ノ式トナツテソノ答ガ決メニクイ。圖ヲ参照セヨ。

16 周圍50mノ矩形ノ畑ノ周リニ1m幅ノ道路ガアル。ソノ道路ノ總面積ハ54平方mトナルトイフ。畑ノ縦横ハ各何mデアルカ。

(16) 問題16ニ於テ、縦ヲ横ヨリモ3m廣イト



スレバドウナルカ。

15 汽車賃ヲ x 圓、自動車賃ヲ y 圓トスレバ1.5圓、1.34圓ハ何デ表ハサレルカ。

$$\begin{cases} x + y = 1.5 \cdots \cdots (1) \\ 0.8x + y = 1.34 \cdots \cdots (2) \end{cases}$$

$$0.2x = 0.16$$

$$x = 0.8$$

$$y = 0.7$$

答 汽車賃80錢
自動車賃70錢

16 縦ヲ x m、横ヲ y mトスレバ周圍ハ如何ニ表ハスカ。

$$2(x + y) = 50 \cdots \cdots (1)$$

道路ノ總面積ヲ x, y デ表ハシタナラバドウカ。

$$2(x + 1 + y + 1) = 54 \cdots \cdots (2)$$

$$(1) \quad x + y = 25$$

$$(2) \quad x + y = 25$$

(1), (2)ノ式ハ同一デアル。

$x + y = 25$ ダケデ x, y ノ値ガ定メラレルカ。

方程式ノ不定不能ニツイテ

方程式ノ不定不能ノ理ハ文字方程式ヲ學習シナクテハワカラナイコトデアリ、且相當ムツカシイコトデアルノデココデハ唯實例ニヨツテ説明スルダケニ止メル。問題(15)デイヘバ

$$x + y = 150 \cdots \cdots (1)$$

$$0.8(x + y) = 120 \cdots \cdots (2)$$

(15) 汽車賃ヲ x 錢、自動車賃ヲ y 錢トスレバ150錢、120錢ハ如何ニ表ハスコトガ出來ルカ。

$$x + y = 150 \cdots \cdots (1)$$

$$0.8(x + y) = 120 \cdots \cdots (2)$$

(2)ノ兩邊ヲ0.8デ割ルトドウナルカ。 $x + y = 150$ ダケデ x, y ガ定マルカ。

(16) 問題16ニ於テ、縦ヲ横ヨリ3m廣イトスレバ他ニドンナ式ガ得ラレルカ。

$$(1) \quad x + y = 25$$

$$(2) \quad x - y = 3$$

$$x = 14$$

$$y = 11$$

答 縦14m
横11m

ハ見カケ上ニ於テハ二ツノ方程式ガアルガ、(2)ノ式ハ兩邊ヲ 0.8 デ割ルコトニヨツテ(1)ノ式トスルコトガ出來ル。ツマリ二ツノ未知數ヲ含ム式ガ唯一ツアルダケデアアル。161頁ニ示シタヤウニ二元一次ノ方程式唯一ツナラバ之ヲ満足スル無數ノ x, y ノ値ノ組ガアル。即チ唯一組ト決定出來ナイ。ソレ故ソノ方程式ハ不定デアアル。今(1)(2)ヲ同一ノ式ニ改メテ邊々ヲ引キ合ツタナラバ

$$\left. \begin{array}{l} (1) \quad x+y=150 \\ (2) \quad x+y=150 \end{array} \right\} 0=0 \text{ ノ形トナル。}$$

一元一次方程式例ヘバ

$$2x-3-x=x-5+2 \quad \text{ノヤウナ式ヲ整頓スレバ}$$

$$0x=0 \quad \text{即チ } 0=0 \text{ トナル。}$$

方程式ヲ整頓シ又ハ聯立方程式ヲ組合セテ $0=0$ ノ形トナルヤウナ方程式ハ不定方程式デアアル。

二元一次聯立方程式ガ不定ナル場合ニ於テハソノグラフハ同一ノ直線トナル。ツマリーツノ直線ダケデハソノ上ノ點ヲ決定スルコトハ出來ナイ。

$$\left. \begin{array}{l} \text{尙 } 2x+3y=5 \cdots \cdots (1) \\ 6x+9y=15 \cdots \cdots (2) \end{array} \right\} \text{トハ不定聯立方程式デアアル。即チ(2)}$$

ノ兩邊ヲ3デ割レバ(1)トナル。

摘 要

◎今マデニ用ヒタ重要ナ語句

正數,負數……絕對值

代數式……項,單項式,多項式,同類項……簡約

代數式ノ數值……代入

恒等式,方程式……未知數,既知數,根(正負),満足

一元方程式,二元聯立方程式

消去……加減法,代入法

◎方程式ノ解法

(1) 原理

$$X=Y \cdots \left\{ \begin{array}{l} \text{(A)} \quad X \pm N = Y \pm N \cdots \cdots \text{移項} \\ \text{(B)} \quad \left\{ \begin{array}{l} mX = mY \\ \frac{X}{m} = \frac{Y}{m} \end{array} \right. \quad \left(\begin{array}{l} \text{但シ } m \text{ が } 0 \\ \text{デナイコト} \end{array} \right)$$

(2) 一元方程式ノ解法

$$\text{移項,簡約} \rightarrow \text{係數} \times x = \text{既知項} \rightarrow x = \frac{\text{既知項}}{\text{係數}}$$

(3) 二元聯立方程式ノ解法

$$\text{二元聯立方程式} \xrightarrow[\text{(代入法)}]{\text{(加減法)}} \text{一元方程式}$$

グラフニ依ル解法……二直線ノ交點。

雑題

1 $x=-3, y=+7$ ノ
トキ、次ノ式ノ値ハ如何。

$$6x-(5y-9x)-13x$$

2 次ノ二式ヲ何レモ
満足スル x, y ノ値如何。

$$\frac{3x}{2}-2y=7$$

$$2x-\frac{3y}{2}=7$$

3 $x=5, y=4, z=3$ ノ
トキ、次ノ三式ノ値ハ夫
夫何程トナルカ。

$$x+y-z, \quad x-y+z,$$

$$-x+y+z$$

4 次ノ方程式ヲ解ケ。

$$6(3x-8)=7(5x-19)$$

次ノ二元聯立方程式ヲ解ケ。

$$5 \begin{cases} \frac{2}{3}x-y=2 \\ x-\frac{3}{4}y=6 \end{cases}$$

(1) $a=-2, b=-6$ ノ
トキ、次ノ式ノ値如何。

$$3a-\{4a-(5a-6b)\}$$

(2) 次ノ式ヲ簡單ニシ、
其ノ値ヲ0ナラシメル

x ノ値ヲ求メヨ。

$$\frac{3x-4}{4}-\frac{2x-5}{5}+\frac{7x-3}{6}$$

(3) $x=2, y=3, z=1$ ノ
トキ、次ノ三式ノ値ハ
夫々何程カ。

$$x+y+z-6,$$

$$x-y+2z-1,$$

$$x+y-z-4$$

(4) 次ノ方程式ヲ解ケ。

$$13x-2(4x-5)=66-3x$$

$$(5) \begin{cases} 5x-2(x+y)=16 \\ 4y-\frac{1}{2}(x-y)-14=0 \end{cases}$$

二元一次聯立方程式ガ不定ナル場合ニハ兩式ノ係數ハ比例ヲナス。

$$\frac{2}{6}=\frac{3}{9}=\frac{5}{15} \quad \text{デアル。}$$

方程式ノ不能ノ場合ハ二式ヲ組合セテ既知數ガ0即 $a=0$ トナル
不合理ヲ來ス場合デ、二元一次ノ二方程式ハソノグラフガ平行トナ
リ、未知數ヲ含ム同一ノ式ガ異ナル數値ヲ持つ〔171頁 6, (6)〕三ツ
ノ二元一次方程式ハソノ各グラフガ一點ニ於テ交ハラナイ。三點デ
交ハルカ、二點デ交ハルカ、何レモ平行デ一點デモ交ハラナイ場合
デアル。尙一般的ノ説明ハ後ニ讓ルコトトスル。

摘要ニツイテ

本書ニ於テハ諸處ニ摘要ヲ設ケテ既授ノ事項ノ大要ヲ總括シ復習
スルヤウニシテ居ル。コノ摘要ヲ見テ既習ノ事項ノ要點ヲ思ヒ出ス
ヤウデナクテハ學習ガ徹底シテ居ルトハイヘナイ。教授者ハコノ摘
要ニヨツテ問答ヲシ、モシ忘レテ居ルモノガアツタナラバ本文中ニ
探シ求メテ更ニ記憶ヲ確實ニスルヤウニ取計ラハレタイ。併シ語句
ナドニツイテハ必ずシモ定義ヲ一々正確ニ記憶スル必要ハナイ。適
當ナ例ガアゲラレルナラバソレデ理解シテ居ルト思ハナクテハナラ
ナイ。

雑題

$$1 \quad 6x-(5y-9x)-13x$$

$$=6x-5y+9x-13x$$

$$=2x-5y$$

$$x=-3, y=+7 \quad \text{トスレバ}$$

$$2 \times (-3) - 5 \times 7 = -6 - 35$$

$$= -41$$

$$(1) \quad 3a-\{4a-(5a-6b)\}$$

$$=3a-4a+(5a-6b)$$

$$=-a+5a-6b=4a-6b$$

$$a=-2, b=-6 \quad \text{トスレバ}$$

$$4 \times (-2) - 6 \times (-6)$$

$$=-8+36=28$$

注意 代數式ノ數値計算ハ必ず式ヲ整頓簡約シテカラソノ値ヲ代入
スベキデアル。

$$\begin{cases} (1) 3x-4y=14 \\ (2) 4x-3y=14 \end{cases} \begin{cases} (1) \times 3 - (2) \times (4) \\ -7x = -14 \end{cases}$$

答 $\begin{cases} x=2 \\ y=-2 \end{cases}$

注意 $\{(1)+(2)\} \div 7, x-y=4$ ト
シテ他ト組合セテモヨイ。

$$\begin{aligned} 3 \quad & x+y-z=5+4-3=6 \\ & x-y+z=5-4+3=4 \\ & -x+y+z=-5+4+3=2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 4 \quad & 6(3x-8)=7(5x-19) \\ & 18x-48=35x-133 \\ & -17x=-85 \quad \text{答 } x=5 \end{aligned}$$

$$\begin{cases} 5 \quad \frac{2}{3}x-y=2 \cdot 2x-3y=6 \cdots (1) \\ \quad x-\frac{3}{4}y=6 \cdot 4x-3y=24 \cdots (2) \end{cases}$$

$$\begin{aligned} (1)-(2) \quad & -2x=-18 \\ & x=9, y=4 \quad \text{答 } \begin{cases} x=9 \\ y=4 \end{cases} \end{aligned}$$

6 三式ハ一點ニ於テ交ハラナイ。又(1),(2)ヨリ $x=2, y=3$ トナル。コノ値ヲ(3)式ニ代入スルト $8+3=1$ トイフヤウナ不合理ナ式トナル。

7 二直線ハ交ハラナイ。平行デアル。又

$$\begin{aligned} (1) \text{ハ } & x-2y=4 \\ (2) \text{ハ } & x-2y=\frac{5}{3} \end{aligned}$$

左邊ノ同一ノ式ガ4トナリ $\frac{5}{3}$ トナルノハ不合理デアル。

8 (8)ハ書中ニグラフガアルカラ説明ヲ省ク。

$$(2) \quad \frac{3x-4}{4} - \frac{2x-5}{5} + \frac{7x-3}{6} = 0$$

$$15(3x-4) - 12(2x-5) + 10(7x-3) = 0$$

$$45x - 60 - 24x + 60 + 70x - 30 = 0$$

$$91x = 30 \quad \text{答 } x = \frac{30}{91}$$

$$(3) \quad x+y+z-6=2+3+1-6=0$$

$$x-y+2z-1=2-3+2-1=0$$

$$x+y-z-4=2+3-1-4=0$$

$$(4) \quad 13x-2(4x-5)=66-3x$$

$$13x-8x+10=66-3x$$

$$8x=56$$

$$x=7 \quad \text{答 } x=7$$

$$(5) \quad 5x-2(x+y)=16 \cdots \cdots$$

$$3x-2y=16 \cdots \cdots (1)$$

$$4y - \frac{1}{2}(x-y) - 14 = 0 \cdots$$

$$-x+9y=28 \cdots \cdots (2)$$

$$(1)+(2) \times 3 \quad 25y=100$$

$$y=4$$

$$x=8 \quad \text{答 } \begin{cases} x=8 \\ y=4 \end{cases}$$

(6) 三直線ハ一點ニ於テ交ハラナイ。

又(1),(2)カラ得タ x, y ノ値ヲ(3)ニ入レテミヨ。

(7) 二直線ハ交ハラナイ。平行デアル。

$$(1) \text{ノ式ハ } x-y=0$$

$$(2) \text{ノ式ハ } x-y=-3$$

トナツテ左邊ハ等シイノニ右邊ガ違フカラ不合理デアル。

次ノ三ツノ方程式 6,(6) 又ハ二ツノ方程式 7,(7) ハ
聯立シナイコトヲグラフデ示セ。

$$6 \quad x+2y=8$$

$$y-x=1$$

$$4x+y=1$$

$$7 \quad x-2y=4$$

$$3x-6y=5$$

$$(6) \quad 4x+y=16$$

$$4y+x=9$$

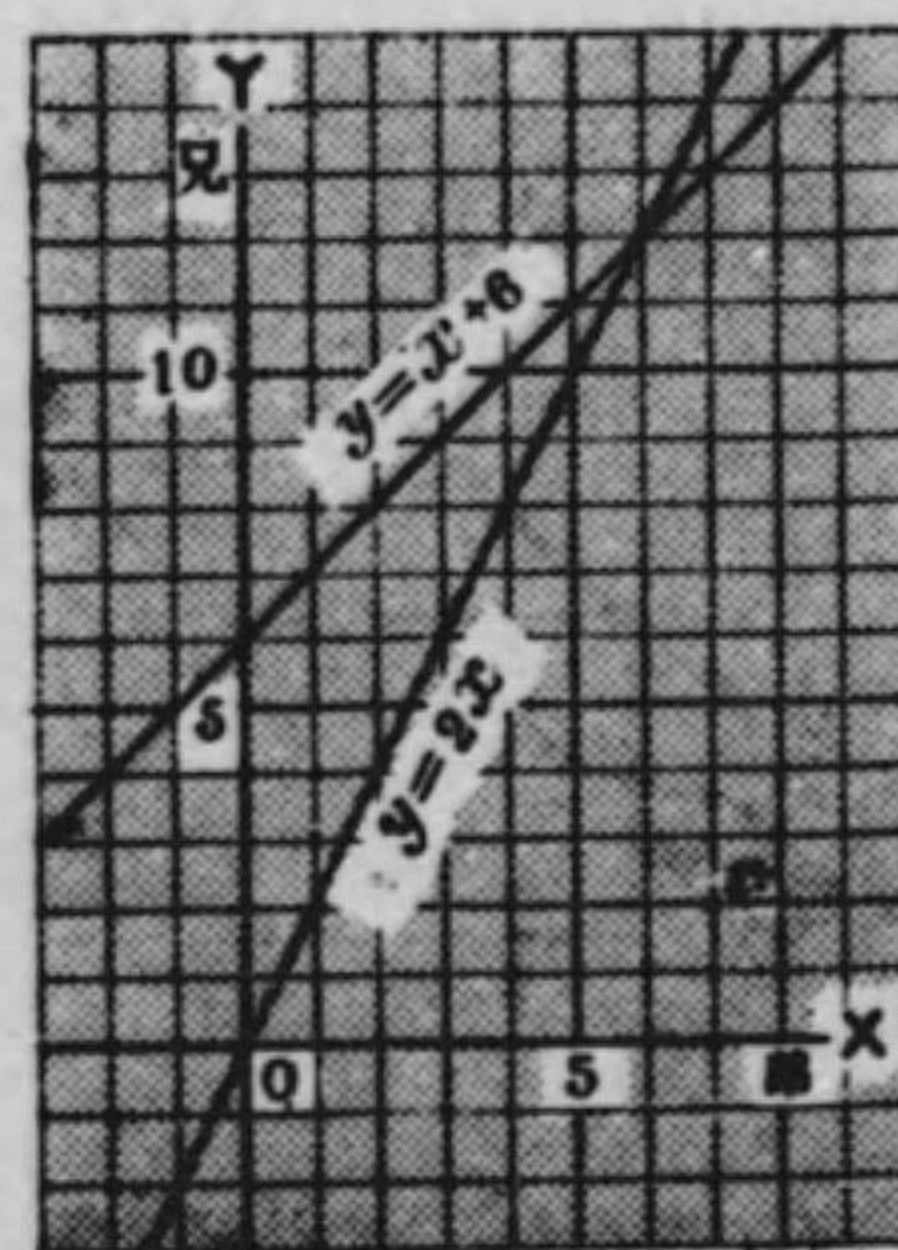
$$x+y=3$$

$$(7) \quad x=y$$

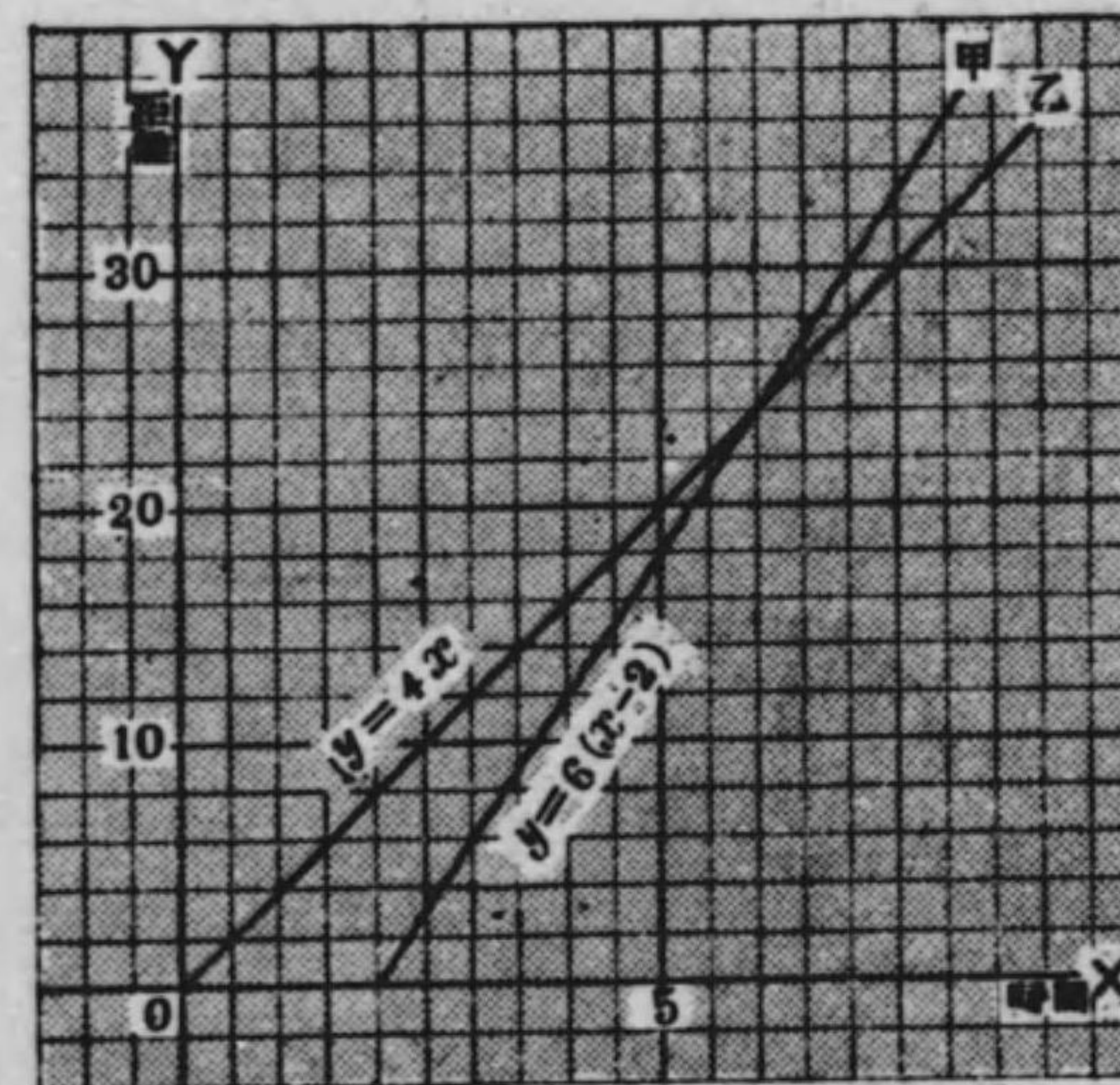
$$2x-2y=-6$$

グラフデ次ノ問題ヲ解ケ。

8 兄ハ弟ヨリモ6圓
ダケ貯金ガ多イ。兄弟
共毎月1圓宛貯金シテ、
丁度兄ノ貯金ガ弟ノ貯
金ノ2倍トナツタトキ
ノ兩人ノ貯金高ヲ求メ
ヨ。



(8) 乙ハ或ル地ヲ出發
シテ毎時4kmノ速サデ
進ミ、甲ハ2時間後ニ同
所ヲ出發シテ毎時6km
ノ速サデ進ンデ行クト
何時何處デ甲ハ乙ニ追
付クカ。

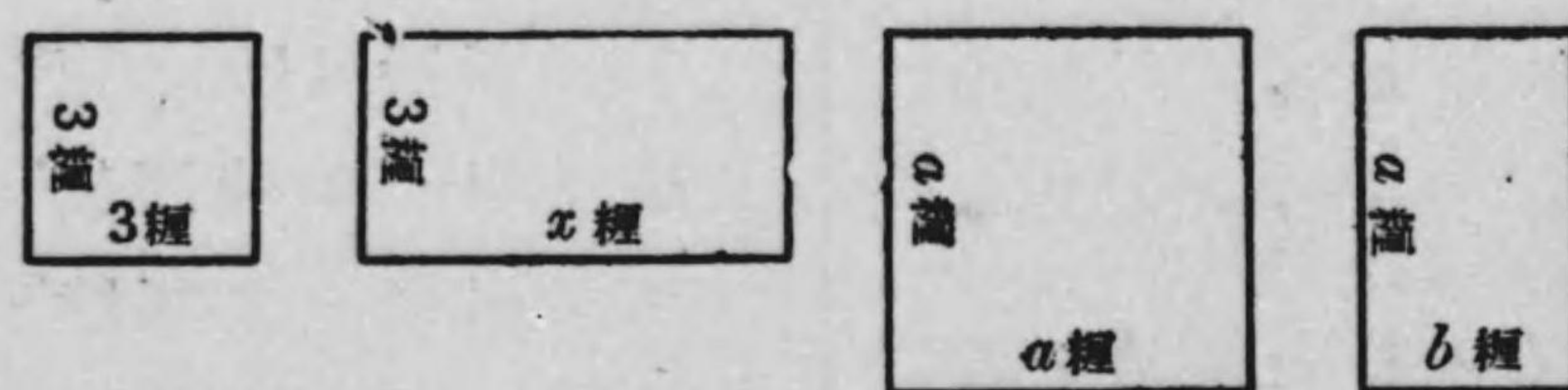


第四篇
二次方程式

第一章 整式ノ乗除

32. 冪及單項式ノ乗除

問1 次ノ正方形及ビ矩形ノ面積如何。

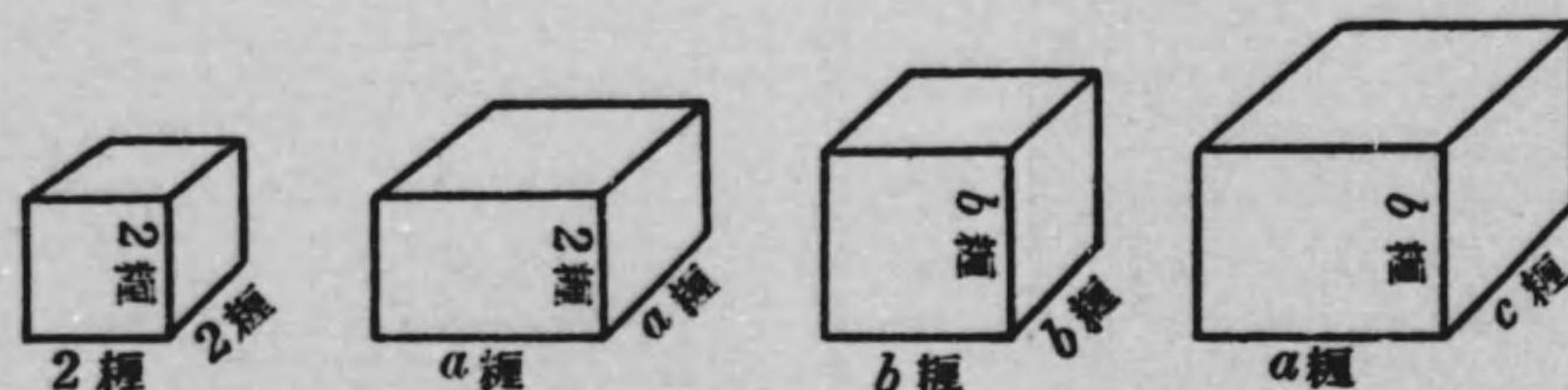


3×3平方種, 3×x平方種, a×a平方種, a×b平方種

コレヲ夫々次ノヤウニ書ク。

3²平方種, 3x平方種, a²平方種, ab平方種

問2 次ノ立方體及ビ直方體ノ體積如何。



2×2×2 cc, 2×a×a cc, b×b×b cc, a×b×c cc

第四篇
二次方程式

第一章 整式ノ乗除

32. 冪及單項式ノ乗除

整式ノ加法及ビ減法ニツイテハ既ニ第三篇ニ述ベタ所デアルガ,
ソコデハ整式ノ乗法及ビ除法ニツイテハ述ベナカツタ。惟フニ從來
代數學教授ノ方法トシテ一般ニ用ヒラレテキル方法ハ, 文字ノ使用
ヲ終レバ直チニ整式ノ四則ニ移ルノデアアル。即チ

文字ノ使用
整式ノ加法 } 括弧ノ用法
整式ノ減法 }
整式ノ乗法
整式ノ除法

ノ順ニ導クノデアアル。トコロガ二元一次聯立方程式ヲ終ルマデハ
全ク一次式ノミノ取扱ヒデアツテ, 整式ノ乗法及ビ除法ハソノ必要
ガナイノミカ, 却ツテ整式ノ乗法及除法ヲ挿ムコトニヨツテ生徒ノ
學習ガ圓滑ニ行カナイデ教授ヲ阻害スルキラヒガアルト思ヒ, 第四
篇ニナツテ整式ノ乗法及ビ除法ヲ教授スルコトニシタ。第四篇即チ
第二學年デハ二次方程式ガ教授ノ一大眼目デアアルカラ冪ノ計算モ少
シハ必要デアアル。故ニ之ハ最モ適宜ノ取扱ヒデアルト信ズル。

整式ノ乗法及ビ除法デハ從來所謂型ニ捉ハレ過ギテキタ。即チ

$$(a^m)^n = (a^n)^m = a^{mn}, \quad (-5x^3y^2z) \times (2xyz^2)^3$$

等ノヤウニ全ク必要ノナイ, 計算ノタメノ計算ニ没頭スルノガ例デ

アツタヤウデア。本書ハソレニ一大改革ヲ斷行シテ、全ク中學校初學年ニモ適スルヤウニシタ。

本節デ取扱フ冪及ビ單項式ノ乗除ハ之ヲ一括スレバ

{	數ト文字因數トノ積	$7 \times xy = 7xy$
	異ナル文字因數ノ積	$a \times b = ab$
	同ジ文字因數ノ積	$a \times a \times a = a^3$
	係數ガ1デナイ單項式ノ積	$4a \times 5b = 20ab$
	指數ノ法則	$\begin{cases} a^3 \times a^4 = a^{3+4} = a^7 \\ a^5 \div a^2 = a^{5-2} = a^3 \\ (a^2 b^3)^2 = a^4 b^6 \end{cases}$

等デア。指數ノ法則トイツテモ從來見ルヤウニ

$$a^m a^n = a^{m+n}, \quad a^m \div a^n = a^{m-n}$$

$$(abc)^n = a^n b^n c^n, \quad (a^m)^n = a^{mn}$$

トイツタ一般性ヲ帶ビタモノハ之ヲ全ク省イテ取り扱ハナイコトニシタ。

乗法ヲスルノニ

{	交換ノ法則	The Commutative Law
	結合ノ法則	The Associative Law
	配分ノ法則	The Distributive Law

等ヲ要スルコトハ勿論デア。ソノ法則ナドノ名稱ハ授ケルニ及バナイ。交換ノ法則ナドコトゴトシク名稱ヲ授ケルヨリモ、掛算デハ積ハソノ因數ノ順序ニハ關係シナイコトヲ内容的ニヨク理解サセレバヨイ。結合ノ法則ハ $(ab)c = a(bc)$ ノヤウニ積ノ中ノ何レヲ組合セテモ積ニハ變リガナイコトヲ示スモノデア。カクテ實際上カラハ直六面體ニ於テ何レヲ底ト考ヘルカニヨツテ、ソノ體積ハ173頁

コレヲ夫々次ノヤウニ書ク。

$$2^3 cc, \quad 2a^2 cc, \quad b^3 ce, \quad abc cc$$

今迄デモ數ト文字,又ハ文字ト文字トノ間ノ乗號ハ省イテ來タノデア。更ニ

同一ノ文字ノ積ハ其ノ文字ノ右肩ニ掛合ハセル文字因數ノ數ヲ書イタモノデア。之ヲ其ノ文字ノ冪ト言ヒ,肩ニ書ク數ヲ指數ト言フ。

例ヘバ aa ハ a^2 ト書イテ「 a 二乗(又ハ a ノ平方)」ト讀ミ, bbb ハ b^3 ト書イテ「 b 三乗(又ハ b ノ立方)」ト讀ム。2,3ハ a, b ノ指數デア。

項ノ持ッ文字因數ノ數ニヨツテ項ノ次數ヲ定メル。

例ヘバ $3a$ ハ一次, ab ハ二次, abc ハ三次, $8lm^2n$, $5x^2y^2$ 等ハ四次ノ項デア。ト言フ。

文字ヲ全ク含マナイ項,即チ既知數ダケノ項ハ既知項(130頁参照)又ハ絕對項ト言フ。

又問2ノ直方體ノ體積カラモ分ルヤウニ,

$$abc = acb = bac = bca = cab = cba$$

* 二乗ヲ自乗ト書クコトガアル。

即チ積ノ値ハ其ノ因數ノ順序ニハ關係シナイ。

併シ數因數即チ數係數ハ項ノ初メニ書キ、文字因數ハ普通「アルファベット」ノ順ニ書ク習慣ニナツテキル。

注意 次數ヲイフニハ普通「大キイ」ト言フ代リニ「高イ」、
「小サイ」ト言フ代リニ「低イ」トイフ。

多項式デハ其ノ多項式中ノ最高次ノ項ノ次數ヲ以テ其ノ式ノ次數トスル。

例ヘバ $5a^2 - 8a^3 - 6a^5 + 3$ ハ五次式、
 $4a^2x - 5ax^2 + 6a^3$ ハ三次(ノ同次)式デアル。

又時ニハ特ニ或ル文字ニダケ目ヲツケテ整式ノ次數ヲ言フコトガアル。

例ヘバ $5a^3 - 6ax - 7a^4x^2$ ハ總テノ文字ニツイテハ六次式デアルガ、 a ニツイテハ四次式デ、 x ニツイテハ二次式デアル。

問3 次ノ項ノ中、 x ニツイテ高次ノモノカラ順ニ言ヘ。 $5x^2y$, $-1\frac{1}{2}a^2x^4$, $6ax^3$, $-0.5xy^3$, $\frac{3}{8}z^5$

ノ下ニアルヤウニ

$$abc = acb = bac = bca = cab = cba$$

ガ導カレルガ、又形式的ニハ乘法ノ交換及ビ結合ノ法則ニヨツテ上ノコトガ導カレルノデアル。

$$\text{即チ } \underbrace{abc}_{\text{結合}} = a(\underbrace{bc}_{\text{交換}}) = a(\underbrace{cb}_{\text{結合}}) = \underbrace{acb}_{\text{結合}}$$

$$\underbrace{abc}_{\text{結合}} = (\underbrace{ab}_{\text{結合}})c = (\underbrace{ba}_{\text{交換}})c = \underbrace{bac}_{\text{結合}} = b(\underbrace{ac}_{\text{結合}}) = b(\underbrace{ca}_{\text{交換}}) = \underbrace{bca}_{\text{結合}}$$

$$\underbrace{abc}_{\text{結合}} = \underbrace{acb}_{\text{結合}} = (\underbrace{ac}_{\text{結合}})b = (\underbrace{ca}_{\text{交換}})b = \underbrace{cab}_{\text{結合}}$$

$$\underbrace{abc}_{\text{結合}} = \underbrace{cab}_{\text{結合}} = c(\underbrace{ab}_{\text{結合}}) = c(\underbrace{ba}_{\text{交換}}) = \underbrace{cba}_{\text{結合}}$$

斯様ニ形式的ニ純數學的ニ導ケルケレドモ、コンナ亂暴ナコトヲ中等程度デヤツテハナラナイ。飽クマデ内容ヲ伴ツタモノデナケレバナラナイ。

a^2 ノ讀ミ方ニ就イテ

a^2 ハ a ノ二乗、 a ノ自乗、 a ノ平方 或ハ a ノ二冪

等色々ニ讀マレルガ、日本中等教育數學會ノ決議ニ從ツテ本書デハ總テ a^2 ヲ a ノ二乗(又ハ a ニ乗)トイフコトニシタ。 a^2 ヲ a ノ平方ト讀ムノハ數學會デモ認メテキルカラ差支ヘナイ。

問3 $-1\frac{1}{2}a^2x^4$, $6ax^3$, $5x^2y$, $-0.5xy^3$, $\frac{3}{8}z^5$

問題

- 1 $2x^5 - 4x^4 - 2ax$
ソノ他色々作ラセルガヨイ。
- 2 縦 a 米, 横 b 米ノ矩形ノ土地ノ面積ハ ab 平方米デアアル。
1 平方米ノ地代ハ 5 圓デアアルカラ求メル地代ハ $5ab$ 圓。答
- 3 一稜 a 米ノ立方體ノ體積ハ何立方糎カラ考ヘヨ。
ソレガ 5 箇デハ如何。
答 $5a^3$ 立方糎
- 4 三角形ノ面積ハドウシテ求メラレルカ。
答 $\frac{1}{2}ah$ 平方糎

- (1) $5x^2y - 3xy^3 + xy^2 - 6$
ソノ他色々ニ作ラセルガヨイ。
- (2) 一邊 l 米ノ正方形ノ面積ハ何平方米カ。
又一平方米ノ地代如何。
答 al^2 圓
- (3) 一稜ガ x 米ノ立方體 10 箇ヲ接イデー本ノ角柱トシタトキ, 底面及ビ高サハ何程カ。
底面積 $2x^2$ 平方糎
側面積 $10x^2$ 平方糎
答 $12x^2$ 平方糎
- (4) 直圓錐ノ體積ハ底面積ト高サトノ積ニ等シイ。
答 $\pi r^2 h$ 平方糎

補充問題 若シ必要ガアルナラバ, 次ノ補充問題ヲ課セラレタイ。

- (1) x, y ニツイテ五次ノ同次式ヲ作レ。
- (2) 高サガ h 米, ニツノ底邊ガ夫々 a 米, b 米ノ梯形ノ面積ハ何平方米カラ表ハス式ヲ作レ。
- (3) 底面ノ半徑ガ r 米, 高サガ h 米ノ直圓錐ノ體積ハ幾立方糎カ。但シ直圓錐ノ體積ハ底面積ト高サトノ積ノ $\frac{1}{3}$ デアル。

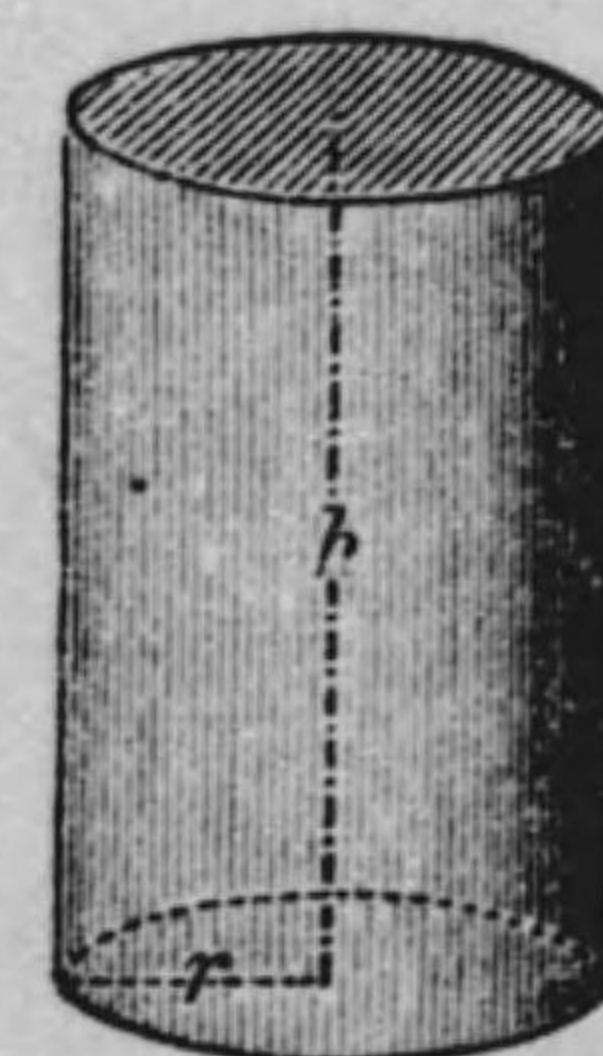
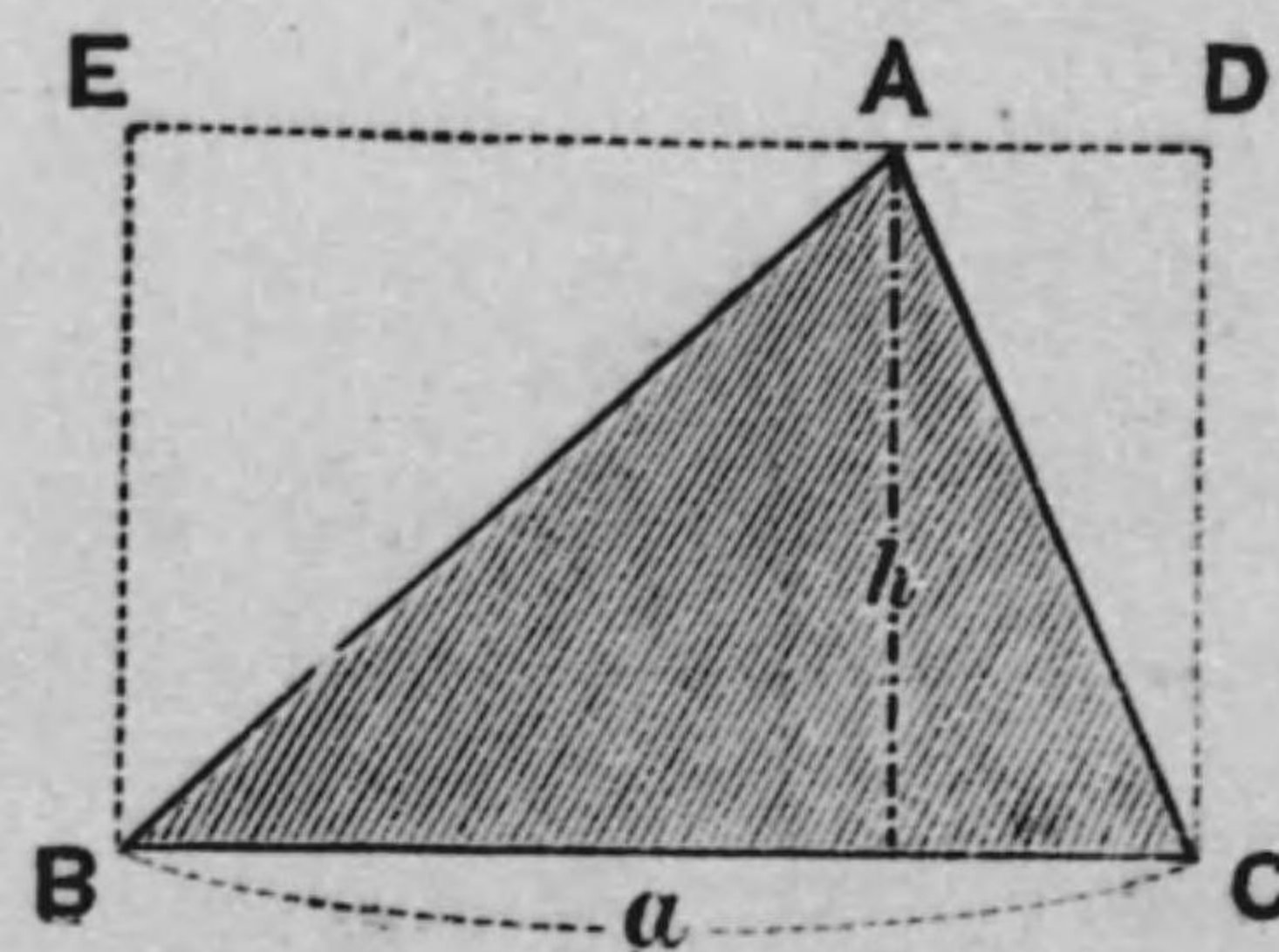
補充問題ノ答

- (1) $3x^5 - 2x^4y + 6x^2y^3 + 2xy^4 - 5y^5$ 等
- (2) $\frac{h(a+b)}{2}$ 平方米
- (3) $\frac{1}{3}\pi r^2 h$ 立方糎

問題

- 1 x ニツイテ五次ノ三項式ヲ作レ。
- 2 廣サ 1 平方米ノ土地ノ値ガ 5 圓ナラバ, 縦 a 米, 横 b 米ノ矩形ノ土地ノ値ハ何程デアアルカ。
- 3 一稜ガ a 米ノ立方體 5 箇ノ體積ハ全部デ何程カ。
- 4 底邊ガ a 米, 高サガ h 米ノ三角形ノ面積ハ幾平方糎カ。

- (1) x ニツイテハ二次デ, y ニツイテハ三次ノ四項式ヲ作レ。
- (2) 1 平方米ガ a 圓デアルトキ, 一邊ガ l 米ノ正方形ノ土地ノ値ハ何程デアアルカ。
- (3) 一稜ガ x 米ノ立方體 10 箇ヲ接イデー本ノ角柱トシタトキノ表面積ハ何程カ。
- (4) 底面ノ半徑ガ r 米, 高サガ h 米ノ直圓錐ノ體積ハ幾平方糎デアアルカ。



高サガ h 米ノ直圓錐ノ體積ハ幾平方糎デアアルカ。

問題

- 1 $2x^5 - 4x^4 - 2ax$
ソノ他色々作ラセルガヨイ。
- 2 縦 am , 横 bm ノ矩形ノ土地ノ面積ハ ab 平方米デアル。
1 平方米ノ地代ハ 5 圓デアルカラ求メル地代ハ $5ab$ 圓。答
- 3 一稜 $a \text{ cm}$ ノ立方體ノ體積ハ何立方糎カラ考ヘヨ。
ソレガ 5 箇デハ如何。
答 $5a^3$ 立方糎
- 4 三角形ノ面積ハドウシテ求メラレルカ。
答 $\frac{1}{2}ah \text{ cm}^2$

- (1) $5x^2y - 3xy^3 + xy^2 - 6$
ソノ他色々ニ作ラセルガヨイ。
- (2) 一邊 lm ノ正方形ノ面積ハ何平方米カ。
又一平方米ノ地代如何。
答 al^2 圓
- (3) 一稜ガ $x \text{ cm}$ ノ立方體 10 箇ヲ接イデー本ノ角柱トシタトキ、底面及ビ高サハ何程カ。
底面積 $2x^2 \text{ cm}^2$
側面積 $10x^2 \text{ cm}^2$
答 $12x^2 \text{ cm}^2$
- (4) 直圓錐ノ體積ハ底面積ト高サトノ積ニ等シイ。
答 $\pi r^2 h \text{ cm}^2$

補充問題 若シ必要ガアルナラバ、次ノ補充問題ヲ課セラレタイ。

- (1) x, y ニツイテ五次ノ同次式ヲ作レ。
- (2) 高サガ h 米、二ツノ底邊ガ夫々 a 米、 b 米ノ梯形ノ面積ハ何平方米カラ表ハス式ヲ作レ。
- (3) 底面ノ半徑ガ $r \text{ cm}$ 、高サガ $h \text{ cm}$ ノ直圓錐ノ體積ハ幾立方糎カ。但シ直圓錐ノ體積ハ底面積ト高サトノ積ノ $\frac{1}{3}$ デアル。

補充問題ノ答

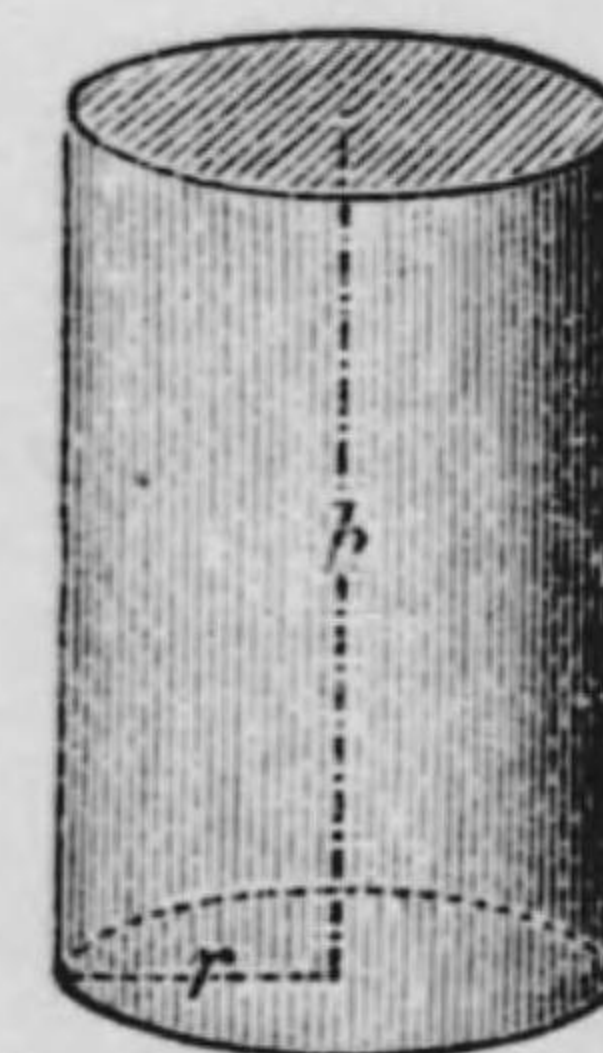
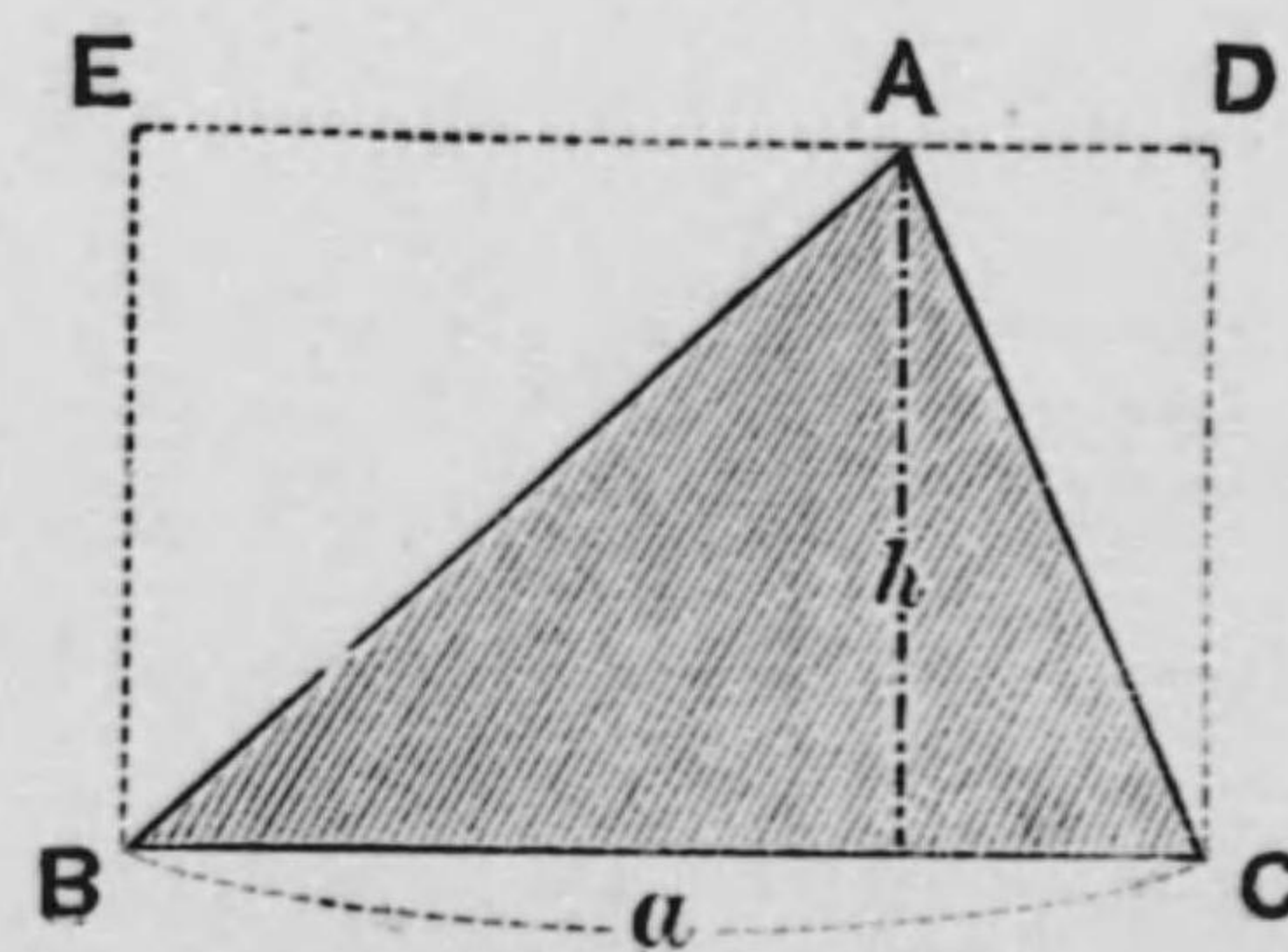
- (1) $3x^5 - 2x^4y + 6x^2y^3 + 2xy^4 - 5y^5$ 等
- (2) $\frac{h(a+b)}{2}$ 平方米
- (3) $\frac{1}{3}\pi r^2 h \text{ cc}$

問題

- 1 x ニツイテ五次ノ三項式ヲ作レ。
- 2 廣サ 1 平方米ノ土地ノ値ガ 5 圓ナラバ、縦 am 、横 bm ノ矩形ノ土地ノ値ハ何程デアルカ。
- 3 一稜ガ $a \text{ cm}$ ノ立方體 5 箇ノ體積ハ全部デ何程カ。
- 4 底邊ガ $a \text{ cm}$ デ、高サガ $h \text{ cm}$ ノ三角形ノ面積ハ幾平方糎カ。

- (1) x ニツイテハ二次デ、 y ニツイテハ三次ノ四項式ヲ作レ。
- (2) 1 平方米ガ a 圓デアルトキ、一邊ガ lm ノ正方形ノ土地ノ値ハ何程デアルカ。
- (3) 一稜ガ $x \text{ cm}$ ノ立方體 10 箇ヲ接イデー本ノ角柱トシタトキノ表面積ハ何程カ。
- (4) 底面ノ半徑ガ $r \text{ cm}$ 、

高サガ $h \text{ cm}$ ノ直圓錐ノ體積ハ幾平方糎デア
ルカ。



問4 $a^2 \times a^3, a^2 \times a^4 \times a^5$ ハ夫々 a ヲ幾ツ掛合ハセルコトカ。

$$a^2 a^3 = \overbrace{aa}^2 \times \overbrace{aaa}^3 = a^{2+3} = a^5$$

$$a^2 a^4 a^5 = \overbrace{aa}^2 \times \overbrace{aaaa}^4 \times \overbrace{aaaaa}^5 = a^{2+4+5} = a^{11}$$

或ル文字ノ冪ノ積ハ其ノ文字ニ各冪ノ指數ノ和ヲ指數トシテ附ケタモノデアアル。

例一 $-4x^3$ ト $-5x^4$ トノ積ヲ求メヨ。

$$\text{解 } (-4x^3) \times (-5x^4) = (-4) \times (-5) x^3 x^4 = \underline{20x^7}$$

例二 $(-abc)(-\frac{1}{2}a^2bc^2)(-3a^3b^2c)$ ヲ計算セヨ。

$$\begin{aligned} \text{解 } & (-abc)(-\frac{1}{2}a^2bc^2)(-3a^3b^2c) \\ & = (-1) \times (-\frac{1}{2}) \times (-3) abc a^2 bc^2 a^3 b^2 c \\ & = -\frac{3}{2} aa^2 a^3 bbb^2 cc^2 c = \underline{-1\frac{1}{2} a^6 b^4 c^4} \end{aligned}$$

幾ツカノ單項式ノ積ヲ作ルニハソノ各項ノ文字因數ノ積ニソノ係數ノ積ヲ掛ケヨ。

問5 $a^2 \times a^3 = a^5$ カラ $a^5 \div a^2$, 即チ $\frac{a^5}{a^2}$ ノ答ヲ言ヘ。

$$a^5 \div a^2 = \frac{a^5}{a^2} = a^{5-2} = a^3$$

問4 $a^2 a^3 = a^5$ $a^2 a^4 a^5 = a^{11}$

ヲ考ヘサセルノデアアルガ, 一般ノ法則トシテ,

$$a^m a^n = a^{m+n}, \quad a^m a^n a^p = a^{m+n+p}$$

ハ擧ゲナカツタ。故ニ是非公式化スルコトノ必要ヲ認メラレル教授者ハ, 適宜之ヲ授ケラレテモヨロシイ。併シ所謂指數ノ法則ハヨクソノ意味ヲ知ラセナケレバナラナイ。

例一, 例二

共ニ問4ノ結果ノ應用デアアル。即チ

$$(-4x^3) \times (-5x^4) = (-4) \times (-5) \times x^3 x^4 = 20x^7$$

$$(-abc) \times (-\frac{1}{2}a^2bc^2) \times (-3a^3b^2c)$$

$$= (-1) \times (-\frac{1}{2}) \times (-3) abc a^2 bc^2 a^3 b^2 c = -1\frac{1}{2} a^6 b^4 c^4$$

ノヤウニ係數ノ積ト文字因數トノ積ヲ作レバヨイノデアアル。特ニソノ文字因數ガ例一デハ同ジ文字因數デアリ, 例二デハ色々ノ文字因數ヲ含ンデキル。

注意 生徒ノ中ニハ往々ニシテ次ノヤウナ誤ヲ起スモノガアル。

$$x^3 \times x^5 = x^{15}$$

$$x^2 + x^2 = 2x^4$$

ヨクソノ意味ヲ合ハセ考ヘルコトニヨツテ指導スルヲ要スル。

問5 同ジ文字ノ冪ノ割算デアアルガ, 特ニ $a^m \div a^n$ ノヤウナ一般的ナモノヲ考ヘナイデ, $a^5 \div a^2$ ヲ考ヘタノデアアル。

$$\frac{a^5}{a^2} = \frac{a \cdot a \cdot a \cdot a \cdot a}{a \cdot a} = a \cdot a \cdot a = a^3$$

ヲ考ヘルコトニヨツテ a^{m-n} ヲ導クノデアアル。

一般ニハ勿論 $a^m \div a^n = a^{m-n}$ ($m > n$) デアル。

$a^m \div a^n = a^{m-n}$ = 於テハ勿論今ノ所 $m > n$ ノ場合ダケデアアルガ,
 $m = n, m < n$ ノ場合ハ形式的ニ a^{m-n} ヲ導クコトハマダ出来ナイ。

問6 ノヤウニ $a^4 \div a^4$, 一般ハ $a^m \div a^m$ ハ a^{4-4} 或ハ a^{m-m} = 導
カナイデ, 或ル數(式)ヲソレト等シイ數(式)デ割ルノデアアルカラソ
ノ結果ハ1デアルトスルノデアアル。

又若シ $a^2 \div a^5$ ノヤウナ場合ハ

$$\frac{a^2}{a^5} = \frac{a \cdot a}{a \cdot a \cdot a \cdot a \cdot a} = \frac{1}{a \cdot a \cdot a} = \frac{1}{a^3}$$

トスベキデアアル。

例三 ハ單項式ヲ單項式デ割ルノデアアル。

$$\frac{-30x^7}{5x^4} = \frac{-30}{5} \times \frac{x^7}{x^4} = -6 \times x^3 = -6x^3$$

ノヤウニ, 係數ノ商 = 文字因數ノ商ヲ掛ケレバヨイ。

問 題

- | | | | |
|----|-----------------------|------|-----------------------|
| 5 | $\frac{60a^2b^3c}{3}$ | (5) | $\frac{12ab^4c^3}{8}$ |
| 6 | $\frac{1}{3}a^3x^4y$ | (6) | $-\frac{1}{8}x^3y^2z$ |
| 7 | $\frac{2}{5}a^3b^3$ | (7) | $-\frac{4a^3xy}{5}$ |
| 8 | $a^{8-3} = a^5$ | (8) | $b^{10-7} = b^3$ |
| 9 | $\frac{2xy}{5}$ | (9) | $\frac{2ab^2}{5}$ |
| 10 | $-\frac{xy}{5}$ | (10) | $-\frac{20r^3}{5}$ |
| 11 | $\frac{10p^2q}{5}$ | (11) | $-\frac{100mn^2}{5}$ |

或ル文字ノ冪ヲ, 指數ガソレヨリ小サ
イ同文字ノ冪デ割ツテ得ル商ハ, 其ノ文
字ニ各冪ノ指數ノ差ヲ指數トシテ附ケ
タモノデアアル。

問6 $a^4 \div a^4$ ノ答ヲ言ヘ。

例三 $(-30x^7) \div 5x^4$ ヲ計算セヨ。

$$\text{解 } (-30x^7) \div 5x^4 = \left(\frac{-30}{5}\right) \left(\frac{x^7}{x^4}\right) = -6x^3$$

單項式ヲ單項式デ割ルニハソノ係數
ノ商ニ文字因數ノ商ヲ掛ケヨ。

問 題

次ノ式ヲ計算セヨ。(暗算) 5—(11)

- | | | | |
|----|--|------|--|
| 5 | $(-2ab)(-5b)(6abc)$ | (5) | $(-3ab^2)(bc^2)(-4bc)$ |
| 6 | $\frac{1}{2}ax\left(\frac{2}{3}a^2x^3y\right)$ | (6) | $\frac{3}{4}xyz\left(-\frac{x^2y}{6}\right)$ |
| 7 | $(0.2a^2)\left(\frac{b^2}{5}\right)(10ab)$ | (7) | $4a^2(-7y)\left(\frac{1}{7}ax\right)$ |
| 8 | $a^8 \div a^3$ | (8) | $b^{10} \div b^7$ |
| 9 | $20x^7y \div 10x^2$ | (9) | $8a^2b^3 \div 4ab$ |
| 10 | $-x^2y^2z \div xyz$ | (10) | $16r^5 \div \left(-\frac{4}{5}r^2\right)$ |
| 11 | $1.2p^4q^3 \div 1.2p^2q^2$ | (11) | $(-13m^2n^5) \div (0.13mn^3)$ |

次ノ式ヲ計算セヨ。12—(14)

12 $(a^2b^3)^2$

注意 $(a^2b^3)^2 = a^2b^3 \times a^2b^3$

13 $-(3ab^2c)^2$

14 $-3a^2b(-x)^3$

(12) $(xyz^3)^3$

(13) $(-2ab^2c^3)^3$

(14) $(-a)^2(-\frac{1}{2}xy)^3$

次ノ式ノ數値ハ $x=-3$ ノトキト $x=-5$ ノトキト何レガドレダケ大デアルカ。

15 x^2+3x-1

(15) x^3-2x

$a=3, b=-5$ トシテ次ノ式ノ數値ヲ計算セヨ。12—(13)

16 $a^2-2ab+b^2$

17 $2a^4-3a^2b+b^3$

18 次ノ方眼内ノ各ノ

横ノ列ノ三數ノ積ヲ言

へ。

19 各ノ横ノ

列ニ於テ、指數

ノ最大ナモノ

ト最小ナモノ

トノ積ヲ中間ノ指數ノ

モノデ割レ。

a^2	a^9	a^4
a^7	a^5	a^3
a^6	a	a^8

へ。

(19) 各ノ縦ノ

行ノ中デ、指數

ノ最大ナモノ

ト最小ナモノ

トノ積ヲ中間ノ指數ノ

モノデ割レ。

12 $(a^2b^3)^2 = a^2b^3 \times a^2b^3 = a^4b^6$

13 $-(3ab^2c)^2 = -9a^2b^4c^2$

14 $-3a^2b(-x)^3 = (-3a^2b)(-x^3) = 3a^2bx^3$

15 $x=-3$ ノトキ

$x^2+3x-1=9-9-1=-1$

$x=-5$ ノトキ

$x^2+3x-1=25-15-1=9$

答 $x=-5$ ノトキガ10ダケ大

16 $a^2-2ab+b^2$

$=3^2-2 \times 3 \times (-5) + (-5)^2$

$=9+30+25=64$

17 $2a^4-3a^2b+b^3=2 \times 3^4$

$-3 \times 3^3 \times (-5) + (-5)^3$

$=162+135-125=172$

(12) $(xyz^3)^3 = xyz^3 \times xyz^3 \times xyz^3 = x^3y^3z^9$

(13) $(-2ab^2c^3)^3 = -8a^3b^6c^9$

(14) $(-a)^2(-\frac{1}{2}xy)^3 = a^2 \times (-\frac{1}{8}x^3y^3) = -\frac{1}{8}a^2x^3y^3$

(15) $x=-3$ ノトキ

$x^3-2x=-27+6=-21$

$x=-5$ ノトキ

$x^3-2x=-125+10=-115$

答 $x=-3$ ノトキガ94ダケ大

(16) $a^2+2ab+b^2=3^2$

$+2 \times 3 \times (-5) + (-5)^2 = 4$

(17) $-a^3+5a^2b-b^2$

$=-3^3+5 \times 3^2 \times (-5) - (-5)^2$

$=-27-225+125=-127$

注意 數値ヲ文字ニ代入シテソノ計算ヲサセルコトハ、生徒ニハ割合ニ誤ヲ起シ易イヤウデアアル。相當ニ大切ニ取扱フベキデアアル。

18 $a^2 \times a^9 \times a^4 = a^{15}$

$a^7 \times a^5 \times a^3 = a^{15}$

$a^6 \times a \times a^8 = a^{15}$

19 $a^2 \times a^9 \div a^4 = a^7$

$a^7 \times a^3 \div a^5 = a^5$

$a^8 \times a \div a^6 = a^3$

a^2	a^9	a^4
a^7	a^5	a^3
a^6	a	a^8

(18) $a^2 \times a^7 \times a^6 = a^{15}$

$a^9 \times a^5 \times a = a^{15}$

$a^4 \times a^3 \times a^8 = a^{15}$

(19) $a^2 \times a^7 \div a^6 = a^3$

$a^9 \times a \div a^5 = a^5$

$a^3 \times a^8 \div a^4 = a^7$

注意 冪指數ハ三方陣ヲ作ツテキルコトヲ見ヨ。

例四 二次ノ多項式ノ加減ノ計算ニ於テ同類項ヲ簡約スル例デア
ル。

問題

20 $5x^2 - 6x^2 + 7x^2 - x^2$
 $= (5 - 6 + 7 - 1)x^2 = 5x^2$

21 $a^2 + 2ab + b^2 - a^2 + 2ab - b^2$
 $= 4ab$

22 $a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3 + (a^3 +$
 $3a^2b + 3ab^2 + b^3) = 2a^3 + 6ab^2$

23 $x^2 + 2xy + 5y^2 - (3x^2 - 2xy - 3y^2)$
 $= x^2 + 2xy + 5y^2 - 3x^2 + 2xy + 3y^2$
 $= -2x^2 + 4xy + 8y^2$

24 $(8x^2 - 4xy) + (-3x^2 + xy) - (-3x^2 + 5xy)$
 $= 8x^2 - 4xy - 3x^2 + xy + 3x^2 - 5xy = 8x^2 - 3x^2 + 3x^2 - 4xy + xy - 5xy$
 $= 8x^2 - 8xy \dots \dots \dots$ 答

(24) $(3x^3 - z^3) - (2y^3 - 3xyz) - (8z^3 - 4xyz)$
 $= 3x^3 - z^3 - 2y^3 + 3xyz - 8z^3 + 4xyz = 3x^3 - 2y^3 - z^3 - 8z^3 + 3xyz$
 $+ 4xyz = 3x^3 - 2y^3 - 9z^3 + 7xyz \dots \dots \dots$ 答

補充問題

- (1) $3x^2 - 2y^3 - z^3 + 3xyz$ カラ何ヲ引クト, 残りガ $8z^3 + 4xyz$ トナルカ。
- (2) $x^2 + x + 1$ ニ加ヘテ 0 トナル式ハドンナ式カ。
- (3) $5x^2 - 6x + 7$ カラ $4x^2 + 6x - 10$ ヲ引イタ残りカラ $x^2 - 6x + 16$ ヲ引ケ。

補充問題ノ答

- (1) $3x^2 - 2y^3 - 9z^3 - xyz$ (2) $-x^2 - x - 1$ (3) $-6x + 1$

例四 次ノ式ヲ簡單ニセヨ。

$8ab + (-10a^2 - 7ab + 6b^2) - (-5a^2 + ab - 4b^2)$

解 $8ab + (-10a^2 - 7ab + 6b^2) - (-5a^2 + ab - 4b^2)$
 $= 8ab - 10a^2 - 7ab + 6b^2 + 5a^2 - ab + 4b^2$
 $= 8ab - 7ab - ab - 10a^2 + 5a^2 + 6b^2 + 4b^2$
 $= \underbrace{\hspace{1.5cm}}_{-5a^2} \quad \underbrace{\hspace{1.5cm}}_{+10b^2}$

答 $-5a^2 + 10b^2$

問題

次ノ式ヲ簡單ニセヨ。 20-(21)

20 $5x^2 - 6x^2 + 7x^2 - x^2$

21 $a^2 + 2ab + b^2 - a^2$
 $+ 2ab - b^2$

22 $a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3$
 $= a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$

ヲ加ヘヨ。

23 $x^2 + 2xy + 5y^2$ カラ
 $3x^2 - 2xy - 3y^2$ ヲ引ケ。

24 $(8x^2 - 4xy) + (-3x^2 + xy)$
カラ $(-3x^2 + 5xy)$ ヲ引ケ。

(20) $10a^2 + 14a^2 - 23a^2 - a^2$

(21) $a^2 - 2ab + b^2 + a^2$
 $+ 2ab + b^2$

(22) $a^3 + 3a^2b + 3ab^2 + b^3$
カラ $a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3$

ヲ引ケ。

(23) $5x^2 - 3x + 2 =$
 $-7x^2 + 5x - 6$ ヲ加ヘヨ。

(24) $(3x^3 - z^3) - (2y^3 - 3xyz)$
カラ $8z^3 - 4xyz$ ヲ引ケ。

33. 多項式ノ乘法

例一 $2a+b$ ト $3a$ トノ積ヲ求メヨ。

解 $2a$ ト $3a$ ト

ノ積ハ何カ。

b ト $3a$ トノ積ハ

何カ。

$$(2a+b) \times 3a$$

$$= 2a \times 3a + b \times 3a$$

$$= 6a^2 + 3ab$$

答 $6a^2 + 3ab$

多項式ニ單項式ヲ掛ケルニハ多項式ノ各項ニ單項式ヲ掛ケヨ。

問題

暗算デ次ノ積ヲ言ヘ。 25—(27)

25 $5(3m+4n)$

26 $2xy(x-y)$

27 $3(x^2-3x+2)x^2$

(25) $8(10a-3b)$

(26) $(p+q)(-5pq)$

(27) $m(x-y+z)xyz$

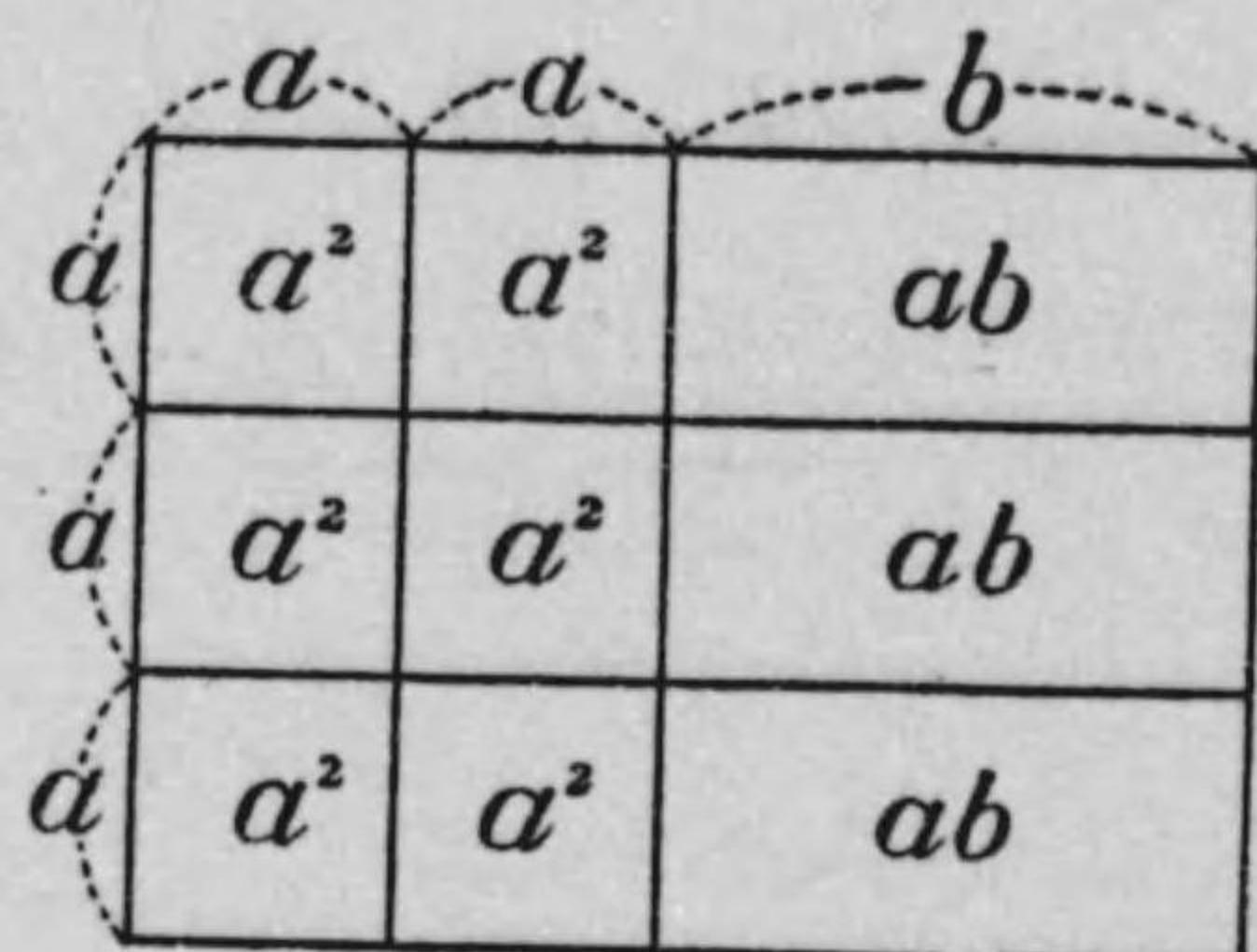
次ノヤウナ長サト幅ヲ持ツタ矩形ノ面積如何。

28

長サ	$a+b$	$2x-y$
幅	$3a$	$5x$

(28)

長サ	$2a-5b$	$p-3q$
幅	$10y$	$2r$



33. 多項式ノ乘法

多項式ノ乘法トイツテモ本節デハ

單項式×多項式 }
多項式×多項式 } トヲ取扱フ。

例一 $(2a+b) \times 3a$

コレハ數學的ニハ配分(又ハ分配)ノ法則ニ從フトイハレルモノ

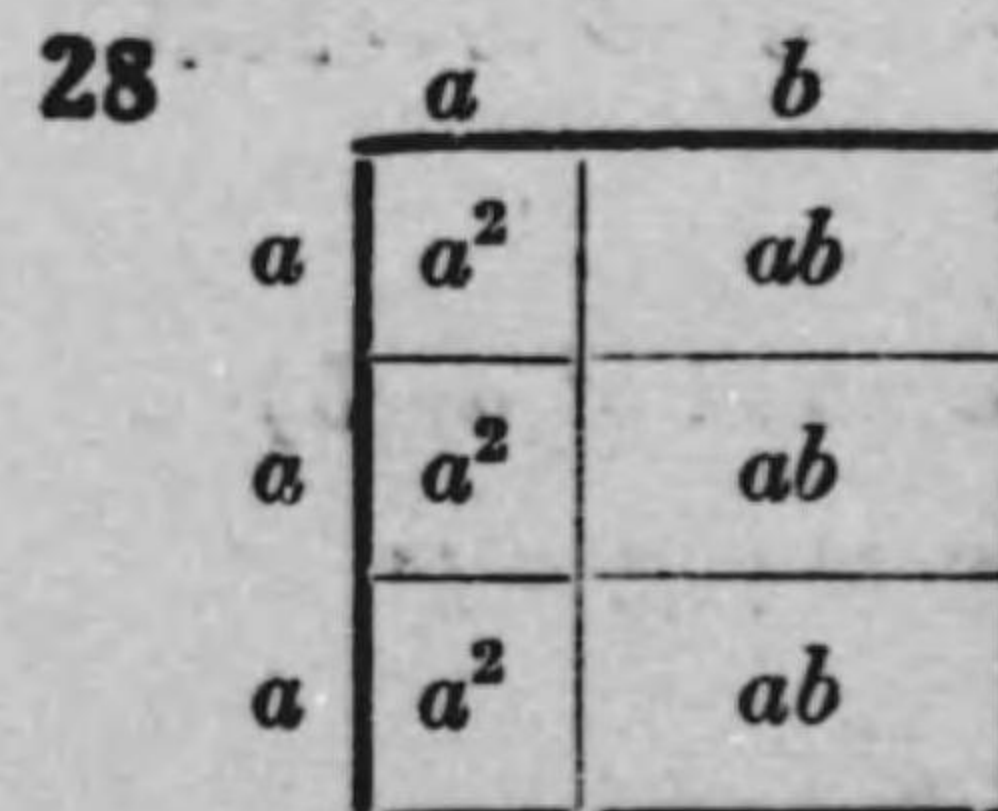
デアルガ、ソレヲ實際ニ圖ニ示シテ計算ト對應スルヤウニシタ。

問題

25 $5(3m+4n) = \underline{15m+20n}$

26 $2xy(x-y) = \underline{2x^2y-2xy^2}$

27 $3(x^2-3x+2)x^2$
 $= 3x^2(x^2-3x+2)$
 $= \underline{3x^4-9x^3+6x^2}$



$3a(a+b) = \underline{3a^2+3ab}$

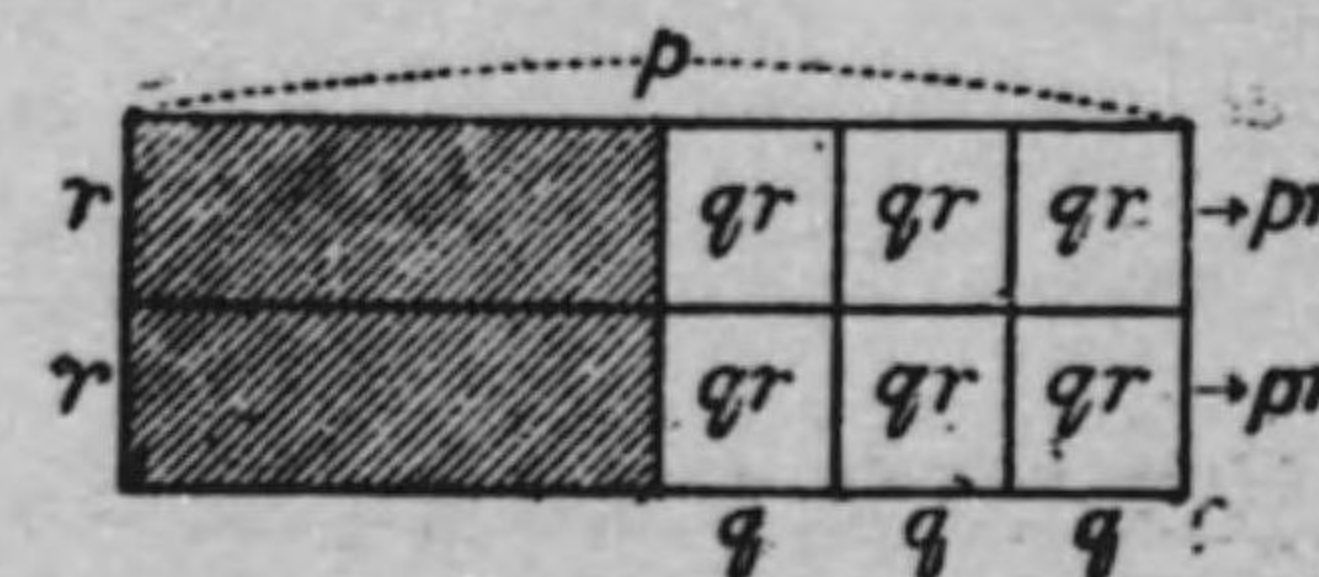
$5x(2x-y) = \underline{10x^2-5xy}$

(25) $8(10a-3b) = \underline{80a-24b}$

(26) $(p+q)(-5pq)$
 $= \underline{-5p^2q-5pq^2}$

(27) $m(x-y+z)xyz$
 $= mxyz(x-y+z)$
 $= \underline{mx^2yz-mxy^2z+mxyz^2}$

(28) $10y(2a-5b)$
 $= \underline{20ay-50by}$



$2r(p-3q) = \underline{2pr-6qr}$

例二 多項式ト多項式トノ積ノ例デアル。(3x+5)(2x+3)ハ幾何學的ニハ 3x+5 及ビ 2x+3 ヲ二邊ニ持ツ矩形ノ面積ヲ表ハスモノデアルカラ、ソレト對應サセテ代數計算ヲ進メルコトトシタ。

代數的ニハ (3x+5)(2x+3)ノ計算ハ(3x+5)ヲ單項式ト考ヘテ計算スルノデアル。即チ

$$\begin{aligned} (3x+5)(2x+3) &= 2x(3x+5) + 3(3x+5) \\ &= 6x^2 + 10x + 9x + 15 \\ &= 6x^2 + 19x + 15 \end{aligned}$$

又コノ計算ニ於テハ(2x+3)ヲ單項式ノヤウニ考ヘテモヨイ。

$$\begin{aligned} (3x+5)(2x+3) &= 3x(2x+3) + 5(2x+3) \\ &= 6x^2 + 9x + 10x + 15 \\ &= 6x^2 + 19x + 15 \end{aligned}$$

何レニシテモヨク圖ト對應サレンコトヲ希望スル。又上ノ計算ヲ

$$\begin{array}{r} 3x+5 \\ 2x+3 \\ \hline 6x^2+10x \\ \quad 9x+15 \\ \hline 6x^2+19x+15 \dots \text{答} \end{array} \quad \text{ノヤウニシテモヨイ。}$$

例三 (a²-2ab+b²)(a-b) ハ一ツガ三項式、他ノ式ガ二項式デアルカラ、三項式 a²-2ab+b² ヲ單項式ノヤウニ考ヘタ方ガ簡單デアル。故ニ教科書ノヤウニスレバヨイ。コレヲ

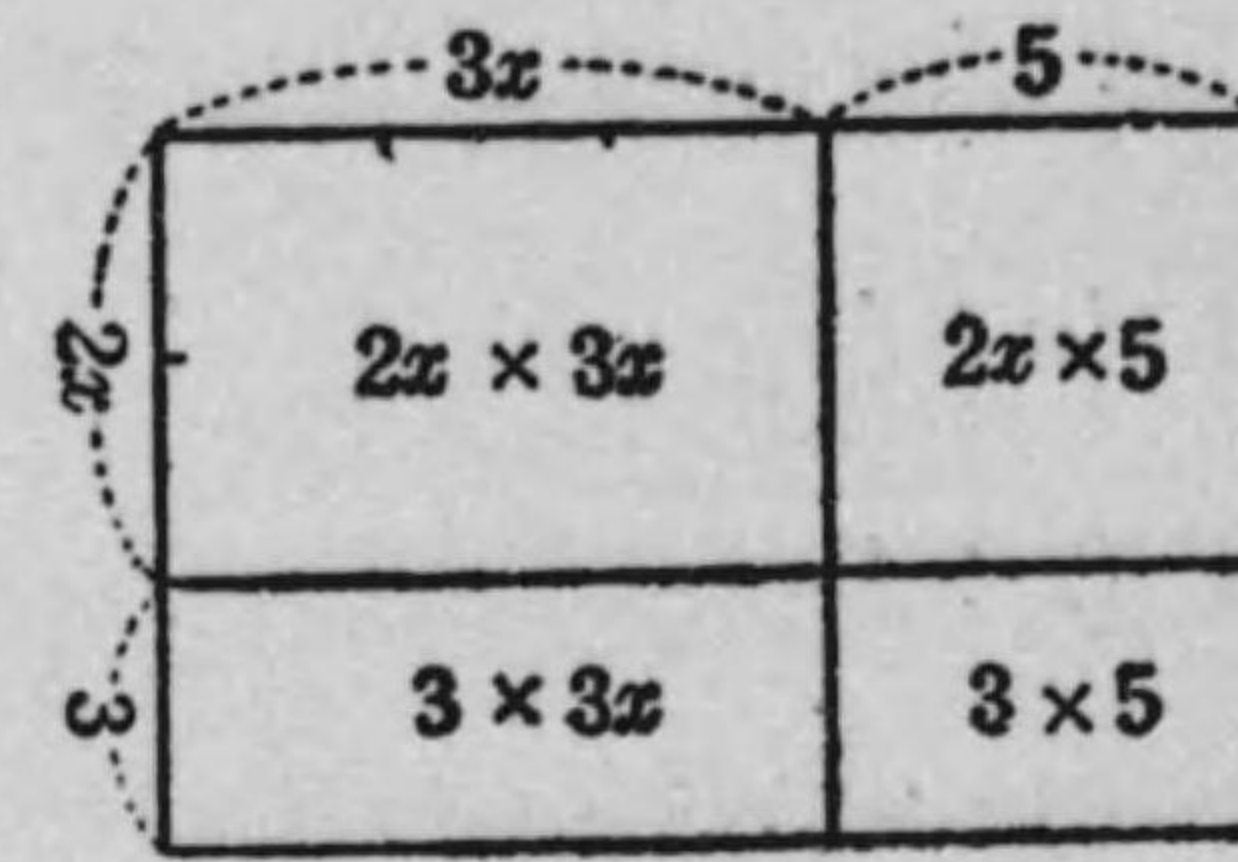
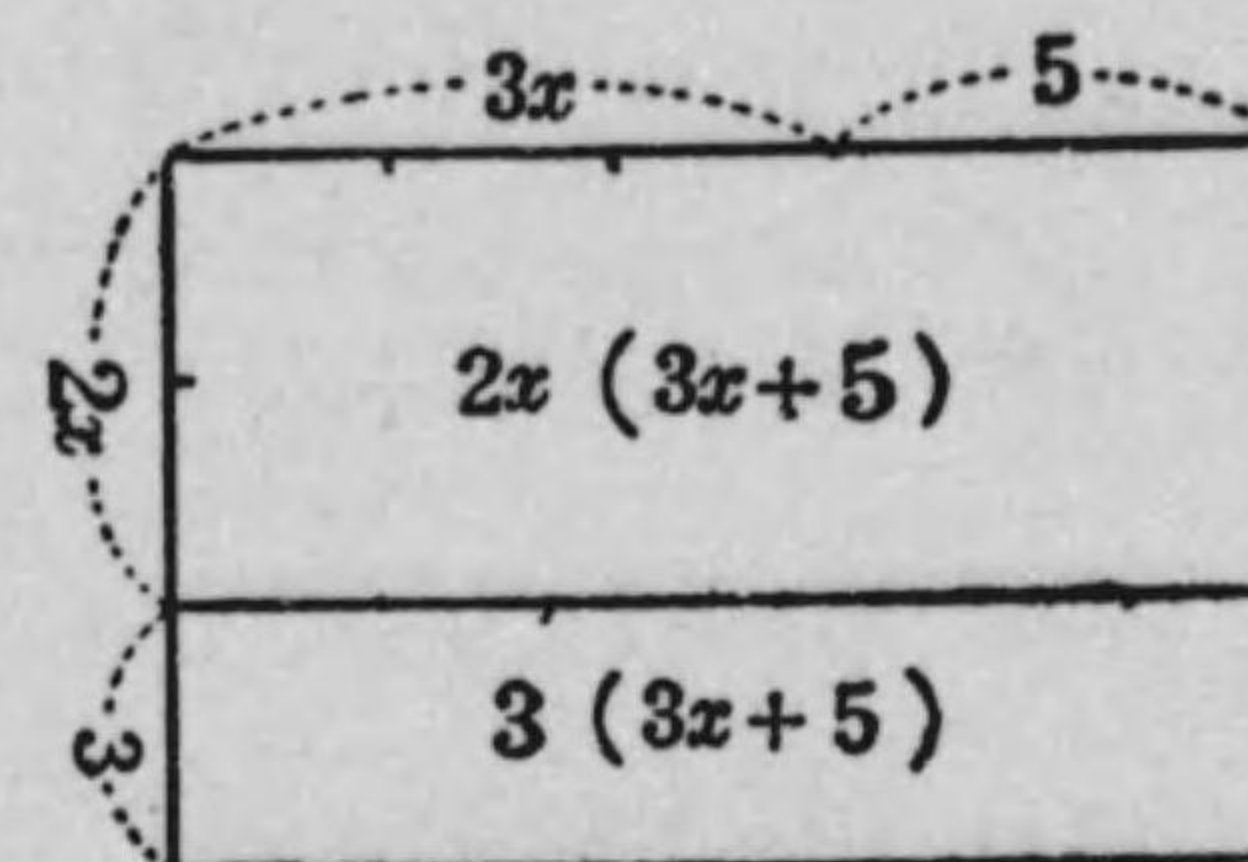
$$\begin{aligned} (a^2-2ab+b^2)(a-b) &= a^2(a-b) - 2ab(a-b) + b^2(a-b) \\ &= a^3 - a^2b - 2a^2b + 2ab^2 + ab^2 - b^3 \\ &= a^3 - 3a^2b + 3ab^2 - b^3 \end{aligned}$$

ト比較サセテミルガヨイ。又コノ例ノヤウナノハ縦ニ並ベテ計算シタ方ガ簡單デアル。

例二 3x+5 = 2x+3 ヲ掛ケヨ。

解 (第1圖)

(第2圖)



(3x+5)(2x+3) = 2x(3x+5) + 3(3x+5) (第1圖)

= 6x² + 10x + 9x + 15 (第2圖)

= 6x² + 19x + 15 答

例三 a²-2ab+b² = a-b ヲ掛ケヨ。

解 (a²-2ab+b²)(a-b)

= a(a²-2ab+b²) - b(a²-2ab+b²)

= a³ - 2a²b + ab² - a²b + 2ab² - b³

= a³ - 3a²b + 3ab² - b³ 答

例三ノ答ノ a ノ指數ハ左カラ順次ニ 3, 2, 1

b ノ指數ハ左カラ順次ニ 1, 2, 3

或ル文字ノ指數ガ左カラ順次ニ小(又ハ大)トナツテキル式ハ其ノ文字ニツイテ降冪(又ハ昇冪)ノ順ニ並ベテアルトイフ。

問 題

次ノ各式ヲ計算セヨ。 29—(35)

29 $(a+b)(a-b)$	(29) $(a+b)(a+b)$
30 $(x+4)(x-5)$	(30) $(a+7)(a+3)$
31 $(2x+1)(3x+1)$	(31) $(7x-2)(6x-1)$
32 $(x^2+x+1)(x-1)$	(32) $(x^2-x+1)(x+1)$
33 $(5y^2+3-y)(3y-5)$	(33) $(n-5+2n^2)(n-1)$

注意 掛算ヲスル前ニ被乗數、乘數共ニ降幕ノ順ニ並ベテ置イテ計算スル方ガヨイ。答ハ降幕ノ順ニ並ベテ置ク習慣ニナツテキル。

34 $(3x^2-2-5x)(7+2x)$ | (34) $(3+x)(2-3x+x^2)$
 35 $(x+4y)(x-3y)+(x-10y)(x+9y)$
 (35) $(a-b)^2-(a+c)^2+(b+c)^2$

次ノ方程式ヲ解ケ。 36—(38)

36 $(x+7)(x+3)=x(x-11)$ | (36) $(x+4)(x-5)=x(x+1)$
 37 $(x-9)(x-2)=(x-12)(x+7)$
 (37) $(x-3)(x-12)=(x-6)(x-11)$
 38 $(x-3)^2-(x-4)^2=3$ | (38) $(x-3)^2-(x-5)^2=24$

問 題

29 $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$	(29) $(a+b)(a+b)=a^2+2ab+b^2$
30 $(x+4)(x-5)=x(x+4)$ $-5(x+4)=x^2+4x-5x-20$ $=x^2-x-20$	(30) $(a+7)(a+3)=a(a+3)$ $+7(a+3)=a^2+3a+7a$ $+21=a^2+10a+21$
31 $(2x+1)(3x+1)$ $=2x(3x+1)+(3x+1)$ $=6x^2+5x+1$	(31) $(7x-2)(6x-1)$ $=7x(6x-1)-2(6x-1)$ $=42x^2-19x+2$
32 $(x^2+x+1)(x-1)$ $=x(x^2+x+1)-(x^2+x+1)$ $=x^3+x^2+x-x^2-x-1$ $=x^3-1$	(32) $(x^2-x+1)(x+1)$ $=x(x^2-x+1)+(x^2-x+1)$ $=x^3-x^2+x+x^2-x+1$ $=x^3+1$
33 $(5y^2+3-y)(3y-5)$ $=5y^2(3y-5)+3(3y-5)$ $=15y^3-3y^2+9y-25y^2+5y-15$ $=15y^3-28y^2+14y-15$	(33) $(n-5+2n^2)(n-1)$ $=2n^2(n-1)+n(n-1)-5(n-1)$ $=2n^3+n^2-5n-2n^2-n+5$ $=2n^3-n^2-6n+5$
34 整頓セヨ。 $(3x^2-5x-2)(2x+7)$ $=6x^3-10x^2-4x+21x^2-35x-14$ $=6x^3+11x^2-39x-14$	(34) 降幕ニ整頓セヨ。 $(x+3)(x^2-3x+2)$ $=x^3-3x^2+2x+3x^2-9x+6$ $=x^3-7x+6$
35 $(x+4y)(x-3y)$ $+ (x-10y)(x+9y)$ $=x^2+xy-12y^2+x^2-xy-90y^2$ $=2x^2-102y^2$	(35) $(a-b)^2-(a+c)^2+(b+c)^2$ $=a^2-2ab+b^2-(a^2+2ac+c^2)$ $+b^2+2bc+c^2$ $=a^2-2ab+b^2-a^2-2ac-c^2$ $+b^2+2bc+c^2$ $=2b^2-2ab+2bc-2ac$

36 (x+7)(x+3)=x(x-11)

x^2+10x+21=x^2-11x

21x=-21

∴ x=-1 答 -1

37 (x-9)(x-2)=(x-12)(x+7)

x^2-11x+18=x^2-5x-84

-6x=-102

∴ x=17 答 17

38 (x-3)^2-(x-4)^2=3

x^2-6x+9-x^2+8x-16=3

2x=10

x=5 答 5

(36) (x+4)(x-5)=x(x+1)

x^2-x-20=x^2+x

-2x=20

∴ x=-10 答 -10

(37) (x-3)(x-12)

=(x-6)(x-11)

x^2-15x+36=x^2-17x+66

2x=30

∴ x=15 答 15

(38) (x-3)^2-(x-5)^2=24

x^2-6x+9-x^2+10x-25=24

4x=40

x=10 答 10

34. 多項式ノ除法

單項式ヲ單項式デ割ルコトハ既ニ述ベタ。本節デハ

- 多項式÷單項式
多項式÷多項式

ヲ取扱フノデアル。

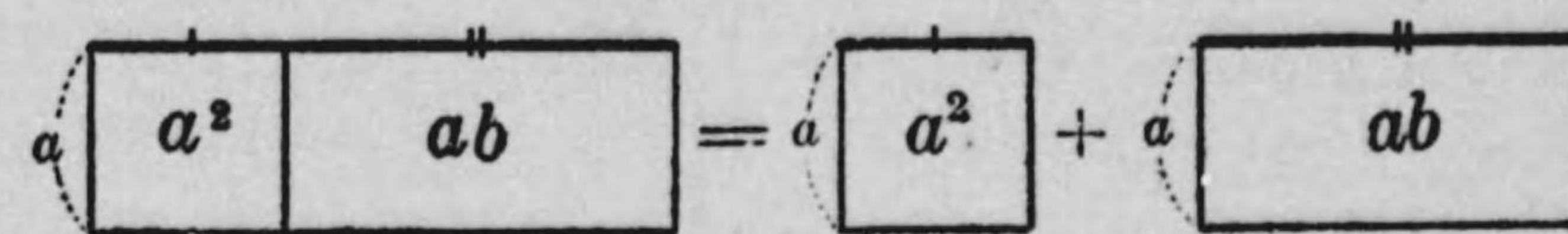
多項式ヲ單項式デ割ルニハソノ多項式ノ各項ヲソノ單項式デ割ルノデアルガ、ソレヲ導クノニ、

問1 デハ矩形ノ面積ト一邊トカラ他ノ邊ヲ求メルコトヲ考ヘタ。コレハ非常ニワカリガヨイ方法ト思フ。

問2 ハ掛算ノ逆トシテ形式的ニ割算ヲ取扱フノデアル。

34. 多項式ノ除法

問1 一邊ガa 輻面積ガ(a^2+ab) 平方輻ノ矩形ノ他ノ一邊ノ長ヲ求メヨ。(次ノ圖ヲ見ヨ)



問2 (3ab^2-5a^2b)×(-4a^3b^2)=-12a^4b^4+20a^5b^3 コリ

(-12a^4b^4+20a^5b^3)÷(-4a^3b^2) ノ答ヲ言ヘ。

例一 4x^3-2x^2+x ヲ 2x デ割レ。

解 (4x^3-2x^2+x)÷(2x)

= (4x^3-2x^2+x) / 2x

= 4x^3/2x - 2x^2/2x + x/2x

= 2x^2 - x + 1/2 答

割算ノ式ハ分數ノ形ニ書イテモヨイ。

多項式ヲ單項式デ割ルニハ其ノ多項式ノ各項ヲ其ノ單項式デ割レ。

例二 $4a^2x^5 - 5a^3x^3$ ヲ $-3a^2x^2$ デ割レ。

解 $(4a^2x^5 - 5a^3x^3) \div (-3a^2x^2)$
 $= -\frac{4}{3}x^3 + \frac{5}{3}ax \dots \dots \dots$ 答

問題

次ノ割算ヲナセ。(暗算) 39—(42)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 39 $(4a-2) \div 2$ | (39) $(6x-3y) \div 3$ |
| 40 $(6n-18n^2) \div 6n$ | (40) $(10a^2+25a) \div (+5a)$ |
| 41 $(2x^3y^2+5x^2y^3) \div (-x^2y)$ | (41) $(-12a^3b^2+18a^2b^2) \div 6a^2b^2$ |
| 42 $\frac{6bh-8b^2h-12bh^2}{-6bh}$ | (42) $\frac{-10x^3y+6x^2y^2-2xy^3}{-2xy}$ |

$-a^3b^2 - 5a^3b^5 + 8a^4b^2 + 9a^5b^3$ ヲ次式デ割レ。 43—(44)

- | | |
|-------------|--------------|
| 43 $-2a^3$ | (43) $5ab^2$ |
| 44 $-3a^2b$ | (44) $-a^3b$ |

多項式ヲ多項式デ割ル方法ハ、掛算ヲ逆ニ考ヘレバ
 ワカリガヨイ。

$$(3x+4)(x+2) = x(3x+4) + 2(3x+4)$$

$$= 3x^2 + 4x + 6x + 8$$

$$= \underline{3x^2 + 10x + 8}$$

- | | |
|--|---|
| 39 $\frac{2a-1}{1-3n}$ | (39) $\frac{2x-y}{2a+5}$ |
| 40 $\frac{1-3n}{-2xy-5y^2}$ | (40) $\frac{2a+5}{-2a+3}$ |
| 41 $\frac{-2xy-5y^2}{-1+\frac{4}{3}b+2h}$ | (41) $\frac{-2a+3}{5x^2-3xy+y^2}$ |
| 42 $-1+\frac{4}{3}b+2h$ | |
| | $= -1 + 1\frac{1}{3}b + 2h$ |
| 43 $\frac{(-a^3b^2-5a^3b^5+8a^4b^2+9a^5b^3)}{\div(-2a^3)}$ | (43) $\frac{(-a^3b^2-5a^3b^5+8a^4b^2+9a^5b^3) \div 5ab^2}{-a^3b}$ |
| | $= -\frac{1}{5}a^2 - a^2b^3 + \frac{8}{5}a^3 + \frac{9}{5}a^4b$ |
| | $= -\frac{1}{5}a^2 - a^2b^3 + 1\frac{3}{5}a^3 + 1\frac{4}{5}a^4b$ |
| 44 $\frac{-a^3b^2-5a^3b^5+8a^4b^2+9a^5b^3}{-3a^2b}$ | (44) $\frac{-a^3b^2-5a^3b^5+8a^4b^2+9a^5b^3}{-a^3b}$ |
| | $= \frac{1}{3}ab + \frac{5}{3}ab^4 - \frac{8}{3}a^2b - 3a^3b^2$ |
| | $= \frac{1}{3}ab + 1\frac{2}{3}ab^4 - 2\frac{2}{3}a^2b - 3a^3b^2$ |

注意 上ノ問題 43, (43), 44, (44) ハ算術ノ短除法ノヤウニ計算
 スルコトガ出来ル。例ヘバ (44) ニ於テ

$$\frac{-a^3b^2 - a^3b^5 - 5a^3b^5 + 8a^4b^2 + 9a^5b^3}{b+5b^4 - 8ab - 9a^2b^2}$$

併シ強ヒテコノ方法ヲ取ルニハ及バナイ。

生徒ノ中ニハ次ノヤウナ誤リヲスルモノガアル。例ヘバ

$$\frac{4a^3b-b^2}{2a^2} = \text{於テ, } 2a^2 \text{ デ } 4a^3b \text{ ヲ割ツテ } 2ab \text{ ヲ得タダケデ,}$$

$-b^2$ ノ方ハソノママトシテ, $\frac{4a^3b-b^2}{2a^2} = 2ab - b^2$ ノヤウニスルノデ
 アル。總テノ項ヲ割ルノデアルコトヲ注意セラレタイ。

多項式ヲ多項式デ割ルコト

多項式ヲ多項式デ割ルトキニハ先ツ商ノ第一項ヲ定メネバナラナイ。ソノタメニ $(3x+4)(x+2)$ ナル掛算ヲ考ヘテ見ルト

$$\begin{aligned}(3x+4)(x+2) &= x(3x+4) + 2(3x+4) \\ &= \underline{3x^2+4x} + \underline{6x+8} = 3x^2+10x+8\end{aligned}$$

デアルカラ、 $3x^2+10x+8$ ヲ $3x+4$ デ割ルニハ上ノ計算ヲ逆ニ考ヘテ $3x^2+10x+8 = \underline{3x^2+4x} + \underline{6x+8}$ ノヤウニ考ヘネバナラナイ。ソシテ $\underline{3x^2+4x} + \underline{6x+8}$ ノヤウニ分ケルコトハ實ハ $3x^2$ ト $3x+4$ ノ $3x$ ト比較シテ見レバ分ルコトデアルシ、又 $3x^2+4x$ ガ定マレバ後ノ $6x+8$ ハ容易ニ定メルコトガ出來ル。

コノコトノ意義ヲ幾何學的ニ定メルト教科書ノヤウニナル。

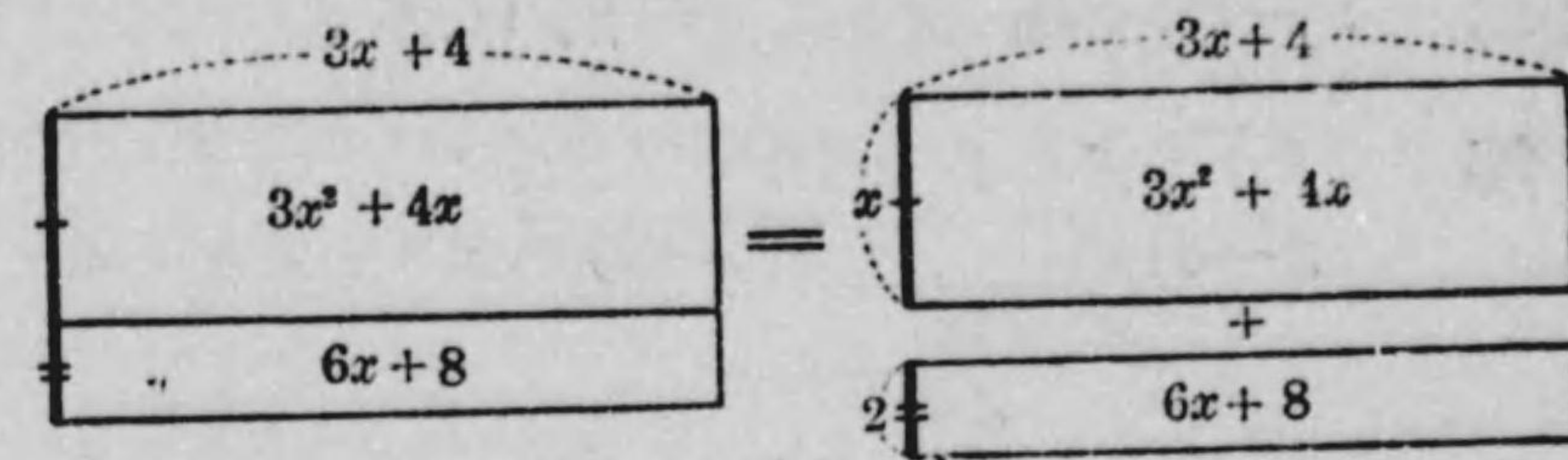
多項式ヲ多項式デ割ル實際ノ計算トシテ通常用フル方法ハ長除法 long division ノ方法デアルガ、コノ方法ト算術ニ於ケル方法ノ異同トヲ比較對照シテ教授サレタイ。

除法ニ於テハ被除數及ビ除數ヲ共ニ一ツノ文字ノ降冪又ハ昇冪ニ整頓シテ後ニ計算スルノデアルガ、今ノ程度トシテハ、被除數モ除數モ共ニ一ツノ文字ノ降冪順ニ排列シテ計算スルコトトシタ。蓋シ割算ニ於テ昇冪順ニ排列シテ後ニ計算スル必要ハ中等程度トシテハ全く絶無トイツテモ敢ヘテ過言デハナイカラデアツテ、若シ強ヒテ之ヲ求メルナラバ、

$$\frac{1}{1-x} \quad \text{即チ} \quad 1 \div (1-x)$$

ノ計算ナドニ見ルコトガ出來ル位デ、ソレモ殆ド必要ガナイ。

ソレ故ココデハ降冪順ニ排列シテ後割算ヲ行フコトニ定メタ。割算ヲ行フ順序ハ教科書ニ示シタ通りデアル。



實際ニハ次ノヤウニ計算スル。

$$\begin{array}{r} x+2 \\ 3x+4 \overline{) 3x^2+10x+8} \\ \underline{3x^2+4x} \\ 6x+8 \\ \underline{6x+8} \\ 0 \end{array} \quad \text{答} \quad \underline{x+2}$$

多項式ヲ多項式デ割ルニハ

- (1) 被除數、除數ヲ共ニ同ジ文字ニツイテ降冪ノ順ニ並べ、(其ノ際被除數ニ缺ケタ冪ガアレバ其ノ場所ヲアケテ置クト都合ガヨイ。次ノ例三ヲ見ヨ。)
- (2) (被除數ノ初項) ÷ (除數ノ初項) ヲ商ノ初項トシ、
- (3) 被除數 - {除數 × (商ノ初項)} ヲ第一剩餘トスル。
- (4) 次ニ此ノ剩餘ヲ新タナ被除數ト考ヘ、(2)、(3) ト同様ニシテ商ノ第二項ト第二剩餘トヲ求メ、以下順次ニ此ノ事ヲ繰返シ、剩餘ガ0又ハ除數ノ次數ヨリ低クナツタトキニ計算ノ終トスル。

問 題

45 $\frac{a+2}{2x-3}$ 46 $\frac{b+8}{2x-3}$

47 $\frac{2x-3}{x^2-xy+y^2}$

48 $\frac{x^2-xy+y^2}{p^2+5p+25}$

$$49 \begin{array}{r} p^2+5p+25 \\ p-5 \overline{) p^3} \\ \underline{p^3-5p^2} \\ 5p^2 \\ \underline{5p^2-25p} \\ 25p-125 \\ \underline{25p-125} \\ 0 \end{array}$$

$$50 \begin{array}{r} a+6 \\ a^2-2 \overline{) a^3+6a^2-2a-12} \\ \underline{a^3} \\ 6a^2 \\ \underline{6a^2} \\ 0 \end{array}$$

$$51 \begin{array}{r} x-5 \\ x-2 \overline{) x^2-7x+11} \\ \underline{x^2-2x} \\ -5x+11 \\ \underline{-5x+10} \\ 1 \end{array}$$

$$52 \begin{array}{r} x^2+x+1 \\ x^2-x+1 \overline{) x^4+x^2+x+1} \\ \underline{x^4-x^3+x^2} \\ x^3+x \\ \underline{x^3-x^2+x} \\ x^2+1 \\ \underline{x^2-x+1} \\ x \end{array}$$

$$53 \frac{x^2-5x+6}{x-3} = x-2$$

$$\therefore x-2=0 \quad \therefore \underline{x=2}$$

$$54 \frac{2x^2-14x+24}{2x-6} = x-4$$

$$\therefore x-4=0 \quad \therefore \underline{x=4}$$

(45) $\frac{x-3}{3d-1}$ (46) $\frac{y+2}{3d-1}$

(47) $\frac{3d-1}{a^2+ab+b^2}$

$$(48) \frac{a^2+ab+b^2}{9m^2-3m+1}$$

$$(49) \begin{array}{r} 9m^2-3m+1 \\ 3m+1 \overline{) 27m^3} \\ \underline{27m^3+9m^2} \\ -9m^2-3m \\ \underline{-9m^2-3m} \\ 3m+1 \\ \underline{3m+1} \\ 0 \end{array}$$

$$(50) \begin{array}{r} p-4 \\ p^2+3 \overline{) p^3-4p^2+3p-12} \\ \underline{p^3} \\ -4p^2 \\ \underline{-4p^2} \\ -12 \\ \underline{-12} \\ 0 \end{array}$$

$$(51) \begin{array}{r} 3x+17 \\ x-4 \overline{) 3x^2+5x-9} \\ \underline{3x^2-12x} \\ 17x-9 \\ \underline{17x-68} \\ 59 \end{array}$$

$$(52) \begin{array}{r} y+2 \\ y^2-3y+2 \overline{) y^3-y^2-5y-4} \\ \underline{y^3-3y^2+2y} \\ 2y^2-7y-4 \\ \underline{2y^2-6y+4} \\ -y-8 \end{array}$$

$$(53) \frac{x^2-7x+10}{x-2} = x-5$$

$$\therefore x-5=0 \quad \therefore \underline{x=5}$$

$$(54) \frac{6x^2+9x-6}{2x-1} = 3x+6$$

$$3x+6=0 \quad \therefore \underline{x=-2}$$

問 題

次ノ第一式ヲ第二式デ割レ。 45-(52)

45 $a^2+5a+6, a+3$

46 $b^2+6b-16, b-2$

47 $8x^2-22x+15,$

$4x-5$

48 $x^3+y^3, x+y$

49 $p^3-125, p-5$

50 $a^3+6a^2-2a-12,$

a^2-2

51 $x^2-7x+11, x-2$

52 $x^4+x^2+x+1,$

x^2-x+1

(45) $x^2-12x+27, x-9$

(46) $y^2-3y-10, y-5$

(47) $20d-8+12d^2,$

$8+4d$

(48) $a^3-b^3, a-b$

(49) $27m^3+1, 3m+1$

(50) $p^3-4p^2+3p-12,$

p^2+3

(51) $3x^2+5x-9, x-4$

(52) $y^3-y^2-5y-4,$

y^2-3y+2

次ノ方程式ヲ解ケ。 53-(54)

53 $\frac{x^2-5x+6}{x-3} = 0$

(53) $\frac{x^2-7x+10}{x-2} = 0$

54 $\frac{2x^2-14x+24}{2x-6} = 0$

(54) $\frac{6x^2+9x-6}{2x-1} = 0$

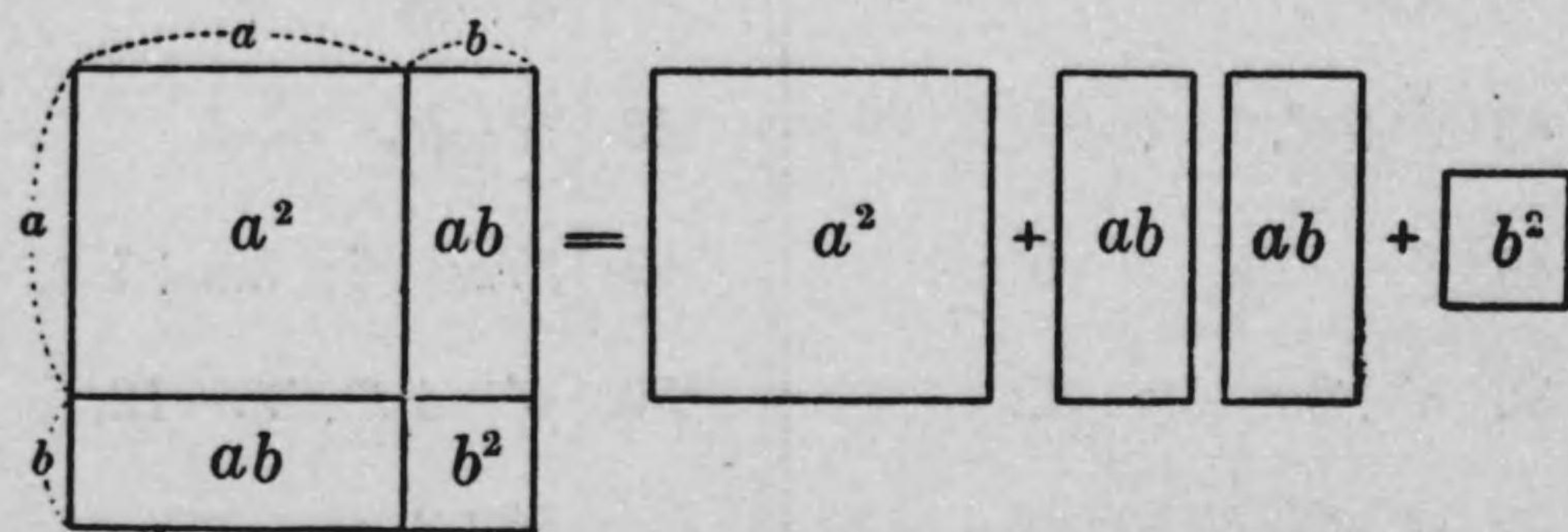
第二章 乗法公式及因數分解

35. 二數ノ和ノ二乗

二數ヲ夫々 a, b トスレバ

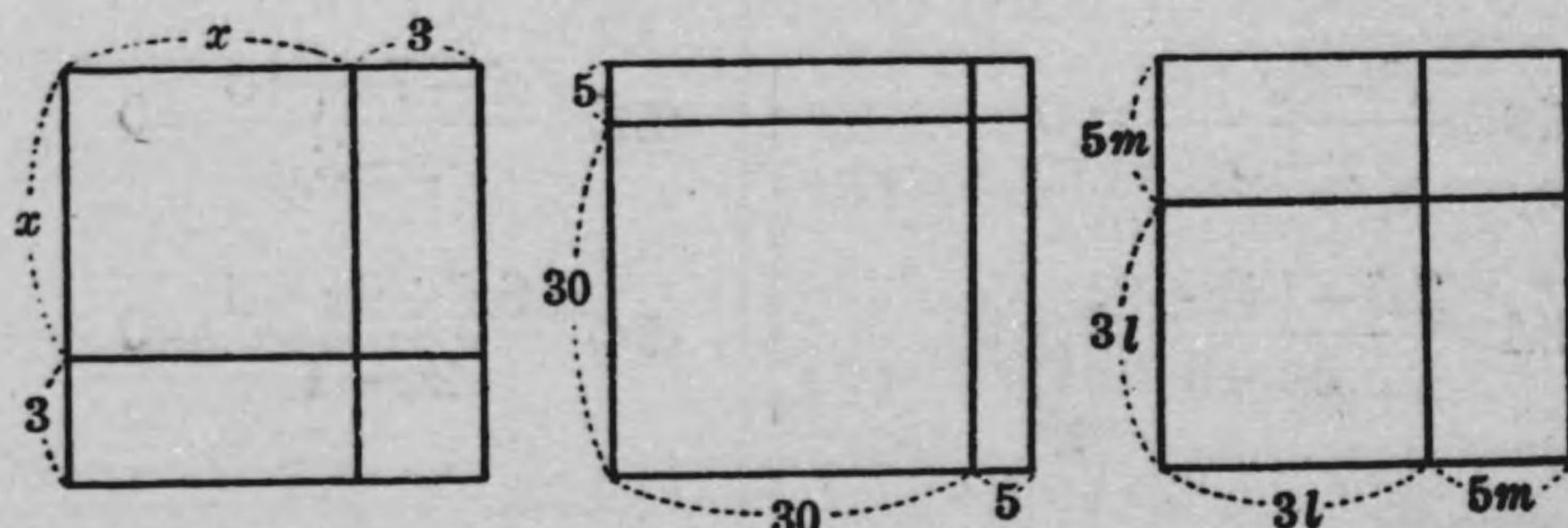
$$(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2 \dots\dots\dots (A)$$

問1 $(a+b)^2$ ヲ計算シ上式ノ正シイ事ヲ示セ。又下ノ圖ニヨツテ之ヲ説明セヨ。



如何ナル二數デモソノ和ノ二乗ハ、二數ノ二乗ノ和ニ二數ノ積ノ2倍ヲ加ヘタモノニ等シイ。

問2 次ノ圖ノ各區切内ニ適當ナ數(式)ヲ入レヨ。



第二章 乗法公式及因數分解

乗法公式 乗法ニツイテハ生徒ハ既ニ知ツテキルガ、特ニ茲ニ公式トシテ掲ゲルノハ

- (1) 計算ヲ簡略ニスル。
 - (2) 因數分解ノ豫備トスル。
- } コノ二ツノ目的ガアルカラデアル。

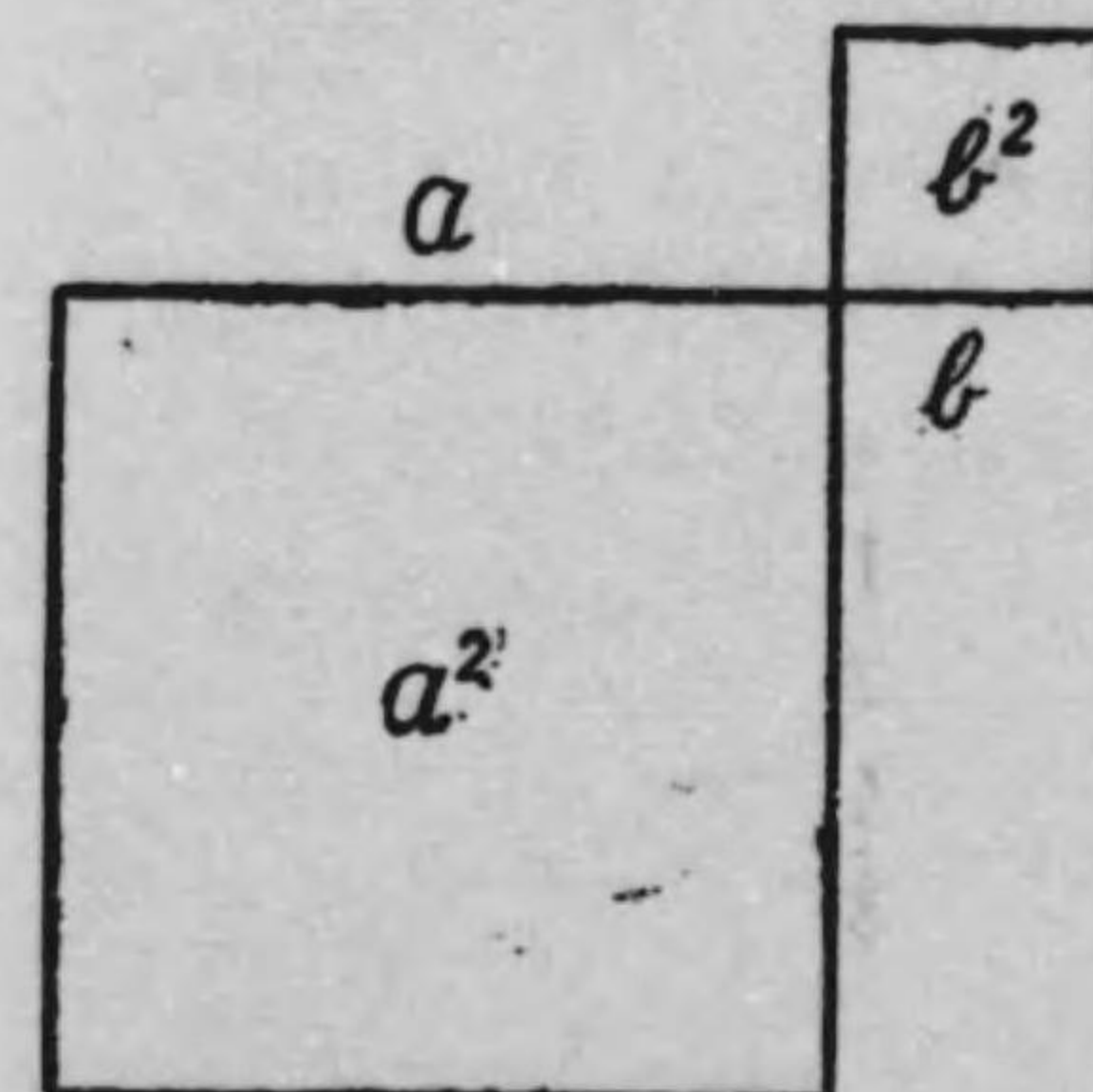
公式ノ數 ソレデアラカラ公式モ數多ク知ツテオレバソレダケ便利ナコトハ争ハレナイガ、サリト稀ニシカ用事ノナイ公式ニ骨ヲ折ルノハ、其ノ價值極メテ尠ク、生徒ノ學習ノ効果ヲ殺グコトハ莫大ナモノデアラウ。本書デ採ツタ公式ハ極メテ普通ナモノデ、コレヲ縦横ニ活用スル方ガ却ツテ効果ガ多イコトト思フ。

35. 二數ノ和ノ二乗

此ノ公式ハ $(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ デアルガコレカラ b ノ代リニ $-b$ トオケバ $(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ ヲ得ルケレドモ、此ノ二ツハ常ニ別々ニ適用サレルカラ、別々ニ授ケルコトトシタ。

生徒ノ中ニハ $(a+b)^2 = a^2 + b^2$ ト誤ルモノガ非常ニ多イ。

コレナドハ數値ヲ代入シテ比較サセテ見ルコトモ一ツノ方法デアアルガ、又圖ノヤウニ示シテ何が足りナイカヲ考ヘサセルコトモ良イ方法デアアル。



此ノ公式ヲ教授シタナラバ、 25^2 ノヤウニ末位ガ5デ終ル數ノ二乗ノ計算法ノ理由ヲ教授スル必要ガアル。一般ニ末位ガ5ノ數ヲ $(10a+5)$ トスレバ

$$(10a+5)^2 = 100a^2 + 100a + 25$$

$$= 100 \times a(a+1) + 25$$

即チ a ト $(a+1)$ トノ積ノ100倍ト25トノ和トシテ求メラレル。

問 3

$(a+b)^2$	a^2	$2ab$	b^2
$(m+6)^2$	m^2	$12m$	36
$(2a+5)^2$	$4a^2$	$20a$	25
$(4m+3n)^2$	$16m^2$	$24mn$	$9n^2$
$(10x+y)^2$	$100x^2$	$20xy$	y^2
25^2	400	200	25

注意 器械的ナ公式ノ練習デハ特ニ暗算ヲ課セラレルコトヲ希望スル。中學校デハ概シテ暗算ガ少イヤウデアアル。

問 題

- | | |
|--|---|
| <p>1 $21^2 = (20+1)^2$
 $= 400 + 40 + 1 = 441$
 $116^2 = (115+1)^2 = 13456$
 $61^2 = 3721$</p> <p>2 $1225, 4225, 72.25$</p> <p>3 $30.25, 39\frac{1}{16}, 72.25$</p> <p>4 $(3x+2y)^2 = 9x^2 + 12xy + 4y^2$</p> <p>5 $(5p+1)^2 = 25p^2 + 10p + 1$</p> <p>6 $(ab+c)^2 = a^2b^2 + 2abc + c^2$</p> <p>7 $(a^2+11)^2 = a^4 + 22a^2 + 121$</p> <p>8 $(m^2 + \frac{1}{2})^2 = m^4 + m^2 + \frac{1}{4}$</p> <p>9 $(m + \frac{2n}{3})^2 = m^2 + \frac{4}{3}mn + \frac{4}{9}n^2$</p> <p>10 $(2a+b)^2 + (a+2b)^2$
 $= 4a^2 + 4ab + b^2 + a^2 + 4ab + 4b^2$
 $= 5a^2 + 8ab + 5b^2$</p> | <p>(1) $31^2 = 961$
 $17^2 = (15+2)^2 = 289$
 $71^2 = 5041$</p> <p>(2) $5625, 30.25, 110.25$</p> <p>(3) $42.25, 52\frac{9}{16}, 90.25$</p> <p>(4) $(5p+4q)^2 = 25p^2 + 40pq + 16q^2$</p> <p>(5) $(q+8r)^2 = q^2 + 16qr + 64r^2$</p> <p>(6) $(cd+7)^2 = c^2d^2 + 14cd + 49$</p> <p>(7) $(x^2+y)^2 = x^4 + 2x^2y + y^2$</p> <p>(8) $(3n^2 + \frac{1}{2})^2 = 9n^4 + 3n^2 + \frac{1}{4}$</p> <p>(9) $(5m + \frac{b}{3})^2 = 25m^2 + \frac{10}{3}bm + \frac{b^2}{9}$</p> <p>(10) $(x+2y)^2 - (2x+y)^2$
 $= x^2 + 4xy + 4y^2 - (4x^2 + 4xy + y^2)$
 $= -3x^2 + 3y^2$</p> |
|--|---|

問 3 次ノ空欄ヲ第一列ニ倣ツテ充クセ。

$(a+b)^2$	a^2	$2ab$	b^2
$(m+6)^2$			
$(2a+5)^2$			
$(4m+3n)^2$			

問 4 25^2 ヲ簡便ニ計算セヨ。(45頁参照)

問 題

次ノ數ノ二乗ヲ公式(A)ヲ應用シテ出セ。1-(3)

- | | |
|---|--|
| <p>1 21, 116, 61</p> <p>2 35, 65, 8.5</p> <p>3 $5\frac{1}{2}, 6\frac{1}{4}, 8.5$</p> | <p>(1) 31, 17, 71</p> <p>(2) 75, 5.5, 10.5</p> <p>(3) $6\frac{1}{2}, 7\frac{1}{4}, 9.5$</p> |
|---|--|

次ノ式ヲ公式ヲ用ヒテ計算セヨ。4-(10)

- | | |
|--|--|
| <p>4 $(3x+2y)^2$</p> <p>5 $(5p+1)^2$</p> <p>6 $(ab+c)^2$</p> <p>7 $(a^2+11)^2$</p> <p>8 $(m^2 + \frac{1}{2})^2$</p> <p>9 $(m + \frac{2n}{3})^2$</p> <p>10 $(2a+b)^2 + (a+2b)^2$</p> | <p>(4) $(5p+4q)^2$</p> <p>(5) $(q+8r)^2$</p> <p>(6) $(cd+7)^2$</p> <p>(7) $(x^2+y)^2$</p> <p>(8) $(3n^2 + \frac{1}{2})^2$</p> <p>(9) $(5m + \frac{b}{3})^2$</p> <p>(10) $(x+2y)^2 - (2x+y)^2$</p> |
|--|--|

11 一辺が a cm の正方形
形ヲ一辺ガ之ヨリ 4 cm
増シタ正方形トスルト
面積ハドレダケ増スカ。

(11) 半径 r cm の圓ト、半
徑ガコレヨリモ 6 cm 大
キイ圓トデ、面積ガドレ
ダケ違フカ。

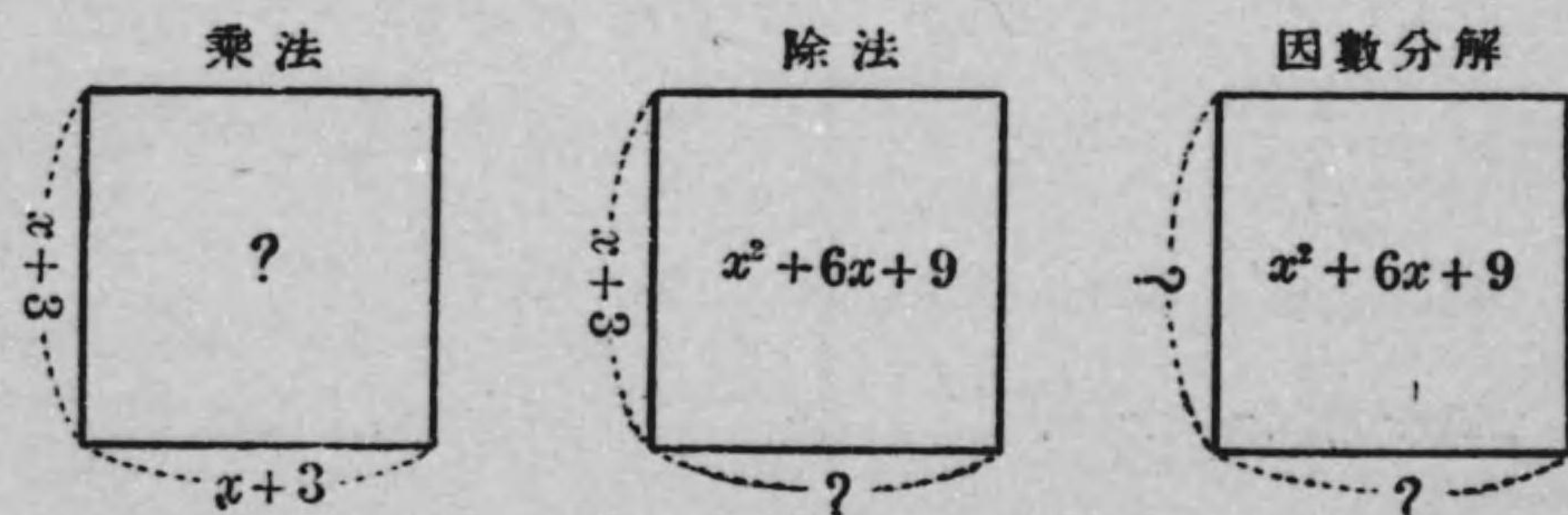
例 x^2+6x+9 ハ如何ナル式ノ二乗カ。

$$\begin{aligned} \text{解 } x^2+6x+9 \\ &=x^2+2 \times x \times 3+3^2 \\ &=(x+3)^2 \end{aligned}$$

答 $x+3$ ノ二乗

即チ此式ニ於テ x^2 ガ a^2 ニ當リ、9 ガ b^2 ニ當
ルト考ヘテ調べテ見ルト、 $6x$ ハ丁度 $2ab$ ニ當
ツテキルカラ、 $x+3$ ガ $a+b$ ニ相當スルコトガ
知ラレル。

此ノ例ノヤウニ、多項式ヲ幾ツカノ式
ノ積ノ形ニ直スコトヲ其ノ式ヲ**因数ニ**
分解スルトイフ。



11 $(a+4)^2-a^2$ ヲ計算セヨ。

$$a^2+8a+16-a^2=8a+16$$

答 $(8a+16)$ 平方増ス

(11) 半径 r cm ノ圓ノ面積如何。

$$\pi(r+6)^2-\pi r^2=\pi(12r+36)$$

答 $\pi(12r+36)$ 平方増ス

乗法公式ト因数分解ニツイテ

因数分解ハ從來其ノ必要以上ニ過重視サレテキタヤウデアル。即
チ中等程度ノ數學ニハ勿論實用上ニモ應用上ニモ全ク必要ノナイ因
數分解ガ多カッタ。爲メニ生徒ハ數學ヲ嫌惡スルヤウニナリ、又識
者ヲシテ數學ハ何ノタメニナルカトイフ議論ヲ生ゼシメルノデアル。
故ニ本書デハ二次三項式ノ因数分解ニ止メ、 $x^3 \pm y^3$ ノ因数分解サヘ
モ省イタ。

又因数分解ハ乗法公式ヲ終ヘテ後ニ之ヲ課スルノト、乗法公式ト
平行シテ之ヲ課スルノト、其ノ方法ニ二種類アツテ何レモ一長一短
デアル。併シ乍ラ乗法公式ノ理解ト因数分解ノ徹底ヲ期スル爲メ、
本書デハ平行主義ヲトルコトニシタ。蓋シ

$(a+b)^2=a^2+2ab+b^2$ ヲ知ツタナラバ、 $(a+\square)^2=a^2+\square+b^2$
ノ空イタ所ヲ補ハセ、次ニ $a^2+2ab+b^2=(a+b)^2$ ニ進ンダ方ガヨイ。

$(x+2)(x+3)=x^2+5x+6$ ヲ知レバ、 $(x+\square)(\square+3)=x^2+\square+6$
ノ空イタ所ヲ補ハセルコトニヨツテ、乗法公式ノ理解ガ深マリ、同
時ニ因数分解ノ入門ニナルノデアル。故ニ乗法公式ト因数分解トヲ
平行シテ課スルコトトシタ。

例 ハ $a^2+2ab+b^2$ カラ $(a+b)^2$ ヲ導ク例デアルガ、此ノ例デハ
 a^2 ト b^2 トハ常ニ正デ或ル數ノ二乗ニナツテキルコト、 $2ab$ ノ項ハ
積ノ二倍ニナツテキルコトヲ十分見究メサセルガヨイ。

問 題

- 12 $(x+y)^2$
- 13 $(a+5)^2$
- 14 $(2a+b)^2$
- 15 $(p+qr)^2$
- 16 $(10+b)^2$
- 17 $a^2+16ab+(64b^2)=(a+8b)^2$
- 18 $a^2+(6ab)+9b^2=(a+3b)^2$
- 19 $(625a^2)+50ab+b^2=(25a+b)^2$
- 20 $x^4+(x^2)+\frac{1}{4}=(x^2+\frac{1}{2})^2$
- 21 $a^2b^2+abc+(\frac{c^2}{4})=(ab+\frac{c}{2})^2$
- 22 $2b^2$ ヲ移項セヨ。
 $x^2=(a+b)^2$
- 23 $x^2-3=13+8m+m^2$
 $x^2=16+8m+m^2$
 $=(4+m)^2$
- 24 $x^2-2a^2=4+4a-a^2$
 $x^2=4+4a+a^2$
 $=(2+a)^2$
- 25 $x^2+20a=25a^2+50a+9$
 $x^2=25a^2+30a+9$
 $x^2=(5a+3)^2$
- (12) $(x+2)^2$
- (13) $(l+6m)^2$
- (14) $(3m+x)^2$
- (15) $(p+4qr)^2$
- (16) $(y+100)^2$
- (17) $x^2+30xy+(225y^2)$
 $=(x+15y)^2$
- (18) $m^2+(20mn)+100n^2$
 $=(m+10n)^2$
- (19) $(1225)+70x+x^2=(35+x)^2$
- (20) $x^4+(8x^2y^2)+16y^4=(x^2+4y^2)^2$
- (21) $x^2y^2z^2+xyz+(\frac{1}{4})$
 $=(xyz+\frac{1}{2})^2$
- (22) $x^2+6=a^2+6a+15$
 $x^2=a^2+6a+9$
 $=(a+3)^2$
- (23) $x^2-10=p^2+10p+15$
 $x^2=(p+5)^2$
- (24) $x^2-5c^2=a^2+2ac-4c^2$
 $x^2=a^2+2ac+c^2$
 $=(a+c)^2$
- (25) $x^2+15m=100m^2+35m+1$
 $x^2=100m^2+20m+1$
 $=(10m+1)^2$

問 題

次ノ式ヲ因數分解セヨ。(暗算) 12—(16)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 12 $x^2+2xy+y^2$ | (12) x^2+4x+4 |
| 13 $a^2+10a+25$ | (13) $l^2+12lm+36m^2$ |
| 14 $4a^2+4ab+b^2$ | (14) $9m^2+6mx+x^2$ |
| 15 $p^2+2pqr+q^2r^2$ | (15) $p^2+8pqr+16q^2r^2$ |
| 16 $100+20b+b^2$ | (16) $y^2+200y+10000$ |

次ノ()内ニ適當ナ數ヲ入レテ丁度或ル式ノ二乗ノ形ニナルヤウニシテ後コレヲ因數分解セヨ。

- | | |
|------------------------------|------------------------------|
| 17 $a^2+16ab+(\quad)$ | (17) $x^2+30xy+(\quad)$ |
| 18 $a^2+(\quad)+9b^2$ | (18) $m^2+(\quad)+100n^2$ |
| 19 $(\quad)+50ab+b^2$ | (19) $(\quad)+70x+x^2$ |
| 20 $x^4+(\quad)+\frac{1}{4}$ | (20) $x^4+(\quad)+16y^4$ |
| 21 $a^2b^2+abc+(\quad)$ | (21) $x^2y^2z^2+xyz+(\quad)$ |

次ノ式ヲ適當ニ移項シテ右邊ヲ二乗ノ式ニ化セ。

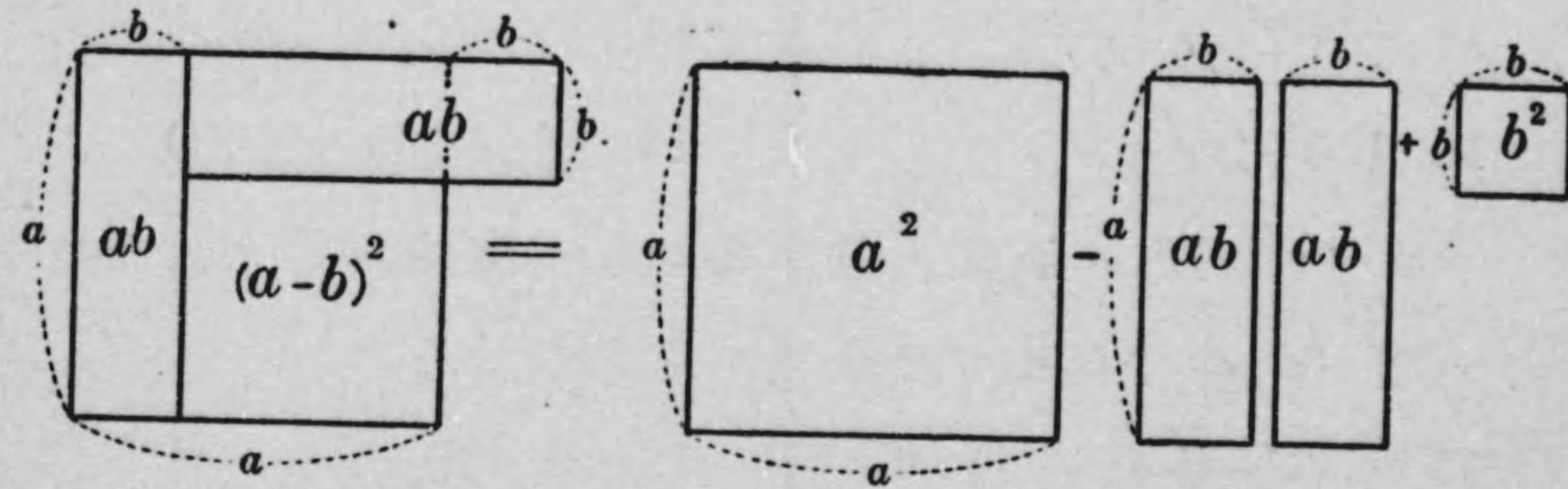
- | | |
|----------------------------|-----------------------------------|
| 22 $x^2+2b^2=a^2+2ab+3b^2$ | (22) $x^2+6=a^2+6a+15$ |
| 23 $x^2-3=13+8m+m^2$ | (23) $x^2-10=p^2+10p+15$ |
| 24 $x^2-2a^2=4+4a-a^2$ | (24) $x^2-5c^2=a^2+2ac-4c^2$ |
| 25 $x^2+20a=25a^2+50a+9$ | (25) x^2+15m
$=100m^2+35m+1$ |

36. 二數ノ差ノ二乗

二數ヲ夫々 a, b デ表ハスト

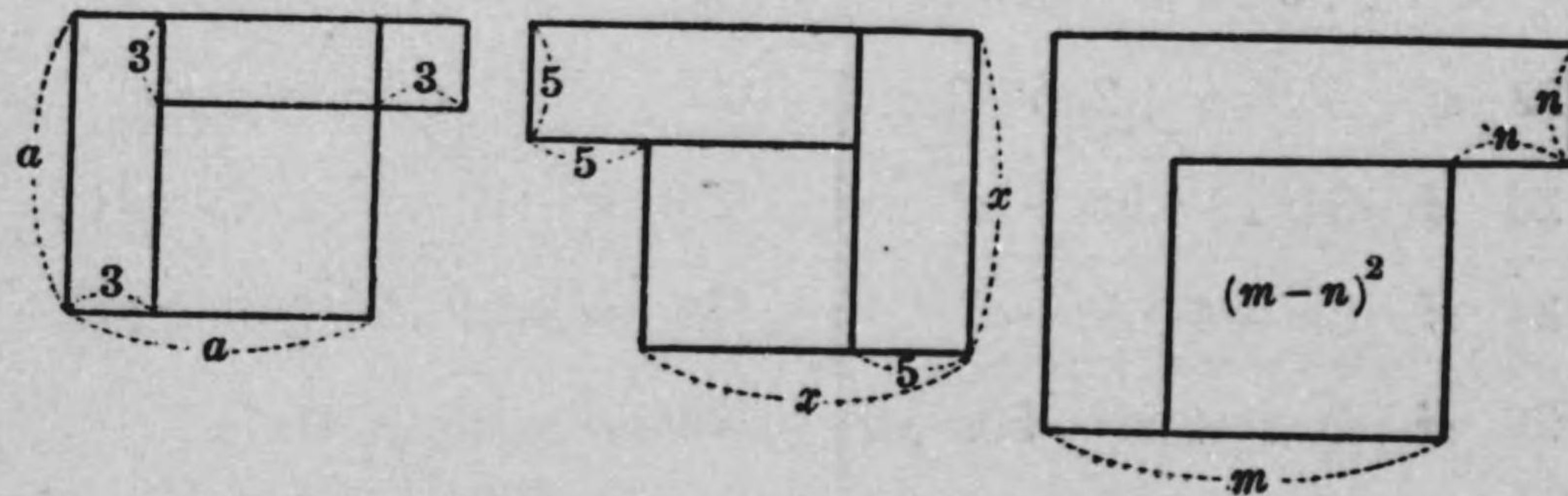
$$(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2 \dots\dots(B)$$

問1 實際掛算ニヨリ, 又次ノ圖ニヨツテ上ノ式ノ正シイコトヲ示セ。



如何ナル二數デモソノ二數ノ差ノ二乗ハ, 各數ノ二乗ノ和カラ二數ノ積ノ2倍ヲ引イタモノニ等シイ。

問2 次ノ圖ノ各區劃ノ中ニ適當ナ數ヲ書ケ。



36. 二數ノ差ノ二乗

$(a-b)^2 = a^2 - 2ab + b^2$ ノ公式デアル。此ノ公式ハ前ノ公式

$(a+b)^2 = a^2 + 2ab + b^2$ ニ於テ b ノ代リニ $-b$ トシテ導クコトガ

出來ルノデアルガ, 形式的ニ導クノハ生徒ニハ非常ニワカリニクイ。

從ツテ記憶ニモ困難デアル。故ニ別々ニ之ヲ導イタ。

$(a-b)^2$ ト $(a+b)^2$ トノ比較ヲサセテ,

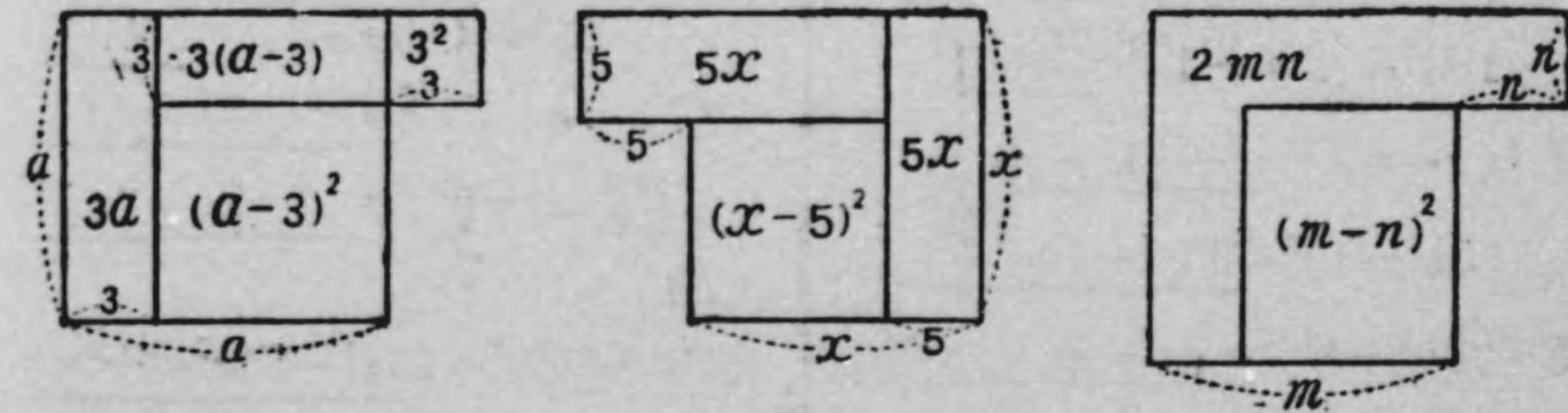
① 共ニ a^2 ト b^2 トハ正デアルコト。

② $2ab$ ノ符號ダケガ違フコト。

等ヲハツキリサセタイト思フ。

又唯單ニ式ノミノ計算デナク, 面積ニヨル方法ニヨツテモノノ異同ヲ比較サレタイ。正方形ヤ矩形ノ板(又ハブリキ)ヲ用意シテ教授者自ラ製作シテ示スト, 圖ニ畫イタ靜的ナモノデナクテ, 動的ニ説明ガ出來ルカラ非常ニ有効デアル。

問2



コレハ左カラ順次ニ

$$(a-3)^2 = a^2 - 3a - 3(a-3) = a^2 - 6a + 9$$

$$(x-5)^2 = x^2 + 5^2 - 5x - 5x = x^2 - 10x + 25$$

$$(m-n)^2 = m^2 + n^2 - 2mn \quad \text{ヲ示スノデアル。}$$

問 3

$(a-b)^2$	a^2	$-2ab$	b^2
$(2a-b)^2$	$4a^2$	$-4ab$	b^2
$(x-2y)^2$	x^2	$-4xy$	$4y^2$
$(b-5a)^2$	b^2	$-10ab$	$25a^2$
$(2x-3y)^2$	$4x^2$	$-12xy$	$9y^2$

問 4

$$\begin{aligned} (a-3)^2 &= a^2+9-6a \\ (a-3b)^2 &= a^2-6ab+9b^2 \\ (3a-4b)^2 &= 9a^2-24ab+16b^2 \\ (3a-b)^2 &= b^2-6ab+9a^2 \\ (4a-3b)^2 &= 16a^2-24ab+9b^2 \end{aligned}$$

問 題

26 $29^2 = (30-1)^2 = \underline{841}$
 $38^2 = (40-2)^2 = \underline{1444}$
 $199^2 = (200-1)^2 = \underline{39601}$

27 $(x-8)^2 = \underline{x^2-16x+64}$
 $(5x^2-1)^2 = \underline{25x^4-10x^2+1}$

28 $(3a^2-b^2)^2 = \underline{9a^4-6a^2b^2+b^4}$
 $(p-5q)^2 = \underline{p^2-10pq+25q^2}$

29 $(x-\frac{1}{2})^2 = \underline{x^2-x+\frac{1}{4}}$
 $(2y-\frac{z}{2})^2 = \underline{4y^2-2yz+\frac{z^2}{4}}$

(26) $49^2 = (50-1)^2 = \underline{2401}$
 $27^2 = (30-3)^2 = \underline{729}$
 $298 = (300-2)^2 = \underline{88804}$

(27) $(a-10)^2 = \underline{a^2-20a+100}$
 $(x^2-y^2)^2 = \underline{x^4-2x^2y^2+y^4}$

(28) $(4x^2-3y^2)^2 = \underline{16x^4-24x^2y^2+9y^4}$
 $(8x-5y)^2 = \underline{64x^2-80xy+25y^2}$

(29) $(3a-\frac{1}{3})^2 = \underline{9a^2-2a+\frac{1}{9}}$
 $(\frac{x}{2}-\frac{y}{3})^2 = \underline{\frac{x^2}{4}-\frac{xy}{3}+\frac{y^2}{9}}$

問 3 次ノ空欄ヲ第一列ニ倣ツテ充セ。

$(a-b)^2$	a^2	$-2ab$	b^2
$(2a-b)^2$			
$(x-2y)^2$			
$(b-5a)^2$			
$(2x-3y)^2$			

問 4 次ノ式ノ中デ互ニ等シイモノヲ線デ結ビ附ケヨ。

$(a-3)^2$	$b^2-6ab+9a^2$
$(a-3b)^2$	$9a^2-24ab+16b^2$
$(3a-4b)^2$	$16a^2-24ab+9b^2$
$(3a-b)^2$	a^2+9-6a
$(4a-3b)^2$	$a^2-6ab+9b^2$

問 題

公式ヲ用ヒテ、暗算デ次ノ算ヲ計算セヨ。 26-(29)

26 $29^2, 38^2, 199^2$	(26) $49^2, 27^2, 298^2$
27 $(x-8)^2, (5x^2-1)^2$	(27) $(a-10)^2, (x^2-y^2)^2$
28 $(3a^2-b^2)^2, (p-5q)^2$	(28) $(4x^2-3y^2)^2, (8x-5y)^2$
29 $(x-\frac{1}{2})^2, (2y-\frac{z}{2})^2$	(29) $(3a-\frac{1}{3})^2, (\frac{x}{2}-\frac{y}{3})^2$

例 $25x^2 - 30xy + 9y^2$ ヲ因數ニ分解セヨ。

$$\begin{aligned} \text{解 } 25x^2 - 30xy + 9y^2 \\ &= (5x)^2 - 2 \times (5x)(3y) + (3y)^2 \\ &= \underline{(5x-3y)^2} \dots \dots \text{答} \end{aligned}$$

問 題

次ノ式ヲ因數ニ分解セヨ。 30-(32)

- | | |
|--|---|
| 30 $4x^2 - 12xy + 9y^2$ | (30) $y^2 - 22y + 121$ |
| 31 $49a^2 - 70ab + 25b^2$ | (31) $16a^2 - 24ax + 9x^2$ |
| 32 $x^2 - \frac{1}{2}x + \frac{1}{16}$ | (32) $x^2 - \frac{2}{3}x + \frac{1}{9}$ |

次式中因數分解シ得ルモノヲ選ンデ分解セヨ。

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 33 $a^2 - 2ab - 1$ | (33) $4b^2 - 4b + 1$ |
| 34 $y^2 - 26yz + 169z^2$ | (34) $0.25a^2 - a + 1$ |
| 35 $9a^2 - 7ab + b^2$ | (35) $64r^2 + 48r + 9$ |

次式ノ()内ヲ補ツテ其ノ式ヲ或ル式ノ平方ニ化セ。 36-(37)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 36 $y^2 - 6y + ()$ | (36) $() - 10y^2 + 25$ |
| 37 $16z^2 + () + x^2$ | (37) $9x^2 + () + 4y^2$ |

注意 37, (37) = ハ二通りノ答ガアル。

次ノ式ヲ適當ニ移項シテ兩邊ヲ二乗ノ式ニ化セ。

- | | |
|-------------------------------|-----------------------------------|
| 38 $x^2 + 14 = c^2 - 8c + 30$ | (38) $x^2 - 10 = 16r^2 - 24r - 1$ |
|-------------------------------|-----------------------------------|

例 $a^2 - 2ab + b^2$ ヲ因數ニ分解スル例デアアル。此ノ公式ニヨル因數分解デハ或ル數(a)ノ二乗ト他ノ數(b)ノ二乗ノ和ガ先ヅ明ラカニナツタ上、更ニ其ノ二數ノ積ノ2倍ノ符號ヲカヘタモノガアルコトヲ知ラネバナラナイ。

問 題

- | | |
|--|---|
| 30 $4x^2 - 12xy + 9y^2 = \underline{(2x-3y)^2}$ | (30) $y^2 - 22y + 121 = \underline{(y-11)^2}$ |
| 31 $49a^2 - 70ab + 25b^2 = \underline{(7a-5b)^2}$ | (31) $16a^2 - 24ax + 9x^2 = \underline{(4a-3x)^2}$ |
| 32 $x^2 - \frac{1}{2}x + \frac{1}{16} = \underline{(x-\frac{1}{4})^2}$ | (32) $x^2 - \frac{2}{3}x + \frac{1}{9} = \underline{(x-\frac{1}{3})^2}$ |
| 33 -1 ガ $+b^2$ デナケレバ因數分解出來ナイ。 | (33) $4b^2 - 4b + 1 = \underline{(2b-1)^2}$ |
| 34 $y^2 - 26yz + 169z^2 = \underline{(y-13z)^2}$ | (34) $0.25a^2 - a + 1 = \underline{(\frac{a}{2}-1)^2}$ |
| 35 $-7ab$ ガ $-6ab$ デナケレバナラナイ。 | (35) $64r^2 + 48r + 9 = \underline{(8r+3)^2}$ |
| 36 $y^2 - 6y + (9) = \underline{(y-3)^2}$ | (36) $(y^4) - 10y^2 + 25 = \underline{(y^2-5)^2}$ |
| 37 $16z^2 + (\pm 8zx) + x^2 = \underline{(4z \pm x)^2}$ | (37) $9x^2 + (\pm 12xy) + 4y^2 = \underline{(3x \pm 2y)^2}$ |
| 38 $x^2 + 14 = c^2 - 8c + 30$
$x^2 = c^2 - 8c + 16 = \underline{(c-4)^2}$ | (38) $x^2 - 10 = 16r^2 - 24r - 1$
$x^2 = 16r^2 - 24r + 9 = \underline{(4r-3)^2}$ |

補充問題

- (1) () - 4xy + y^2 ノ()ノ中ヲ補ツテ二乗ノ形ニセヨ。
 (2) () - 6ab + () ノ()ノ中ヲ補ツテ二乗ノ形ニセヨ。
 但シ係數ハ整数トスル。

補充問題ノ答 (1) $4x^2; (2x-y)^2$ (2) $(3a-b)^2$ 又ハ $(a-3b)^2$ ヲ導ケ。

37. 二數ノ和ト差トノ積

$(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ デ公式トシテハ非常ニ簡單デアルガ、生徒ノ中ニハ a^2-b^2 ノ冪指數ノ2ヲ誤ツテ

$$a^2-b^2=(a-b)^2 \text{ ノヤウニ考ヘルモノガアル。}$$

問1 圖ニヨツテ $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ ヲ説明スルモノデアル。

問2 左カラ夫々

$$x^2-y^2=(x+y)(x-y), \quad a^2-5^2=(a+5)(a-5),$$

$$34^2-26^2=(34+26)(34-26)$$

注意 $(a+b)(a-b)=a^2-b^2$ ヲ授ケタラ、二數ノ和ト差トノ積ハ、二數ノ平方(二乗)ノ差ニ等シイ、トイフヤウニ言葉デ發表スルヤウニシタイ。又 a, b ハ唯單ニ一ツノ文字ノミデナク一ツノ式ヲモ表ハスモノデアル。

生徒ノ中ニハ此ノ公式ノ適用ヲ誤ツテ

$(x+3)(x-2)=x^2-6$ トスルモノガアル。二數ノ和ト差トノ積デアルカ、否カ、即チ公式ニアテハマツテキルカ否カヲ見究メサセタ上デ公式ヲ適用サセタイ。其ノタメニ次ノヤウナ問題ヲ課シテ見ルノモ一案デアラウ。

補充問題 次ノ等式ガ成立スルヤウニ空イタ所ヲ補ヘ。

(1) $(2x-3y)(2x \quad)=4x^2-9y^2$

(2) $(\frac{1}{2}p \quad)(-2q)=\frac{1}{4}p^2-4q^2$

(3) $(5a+6b)(\quad)=25a^2-36b^2$

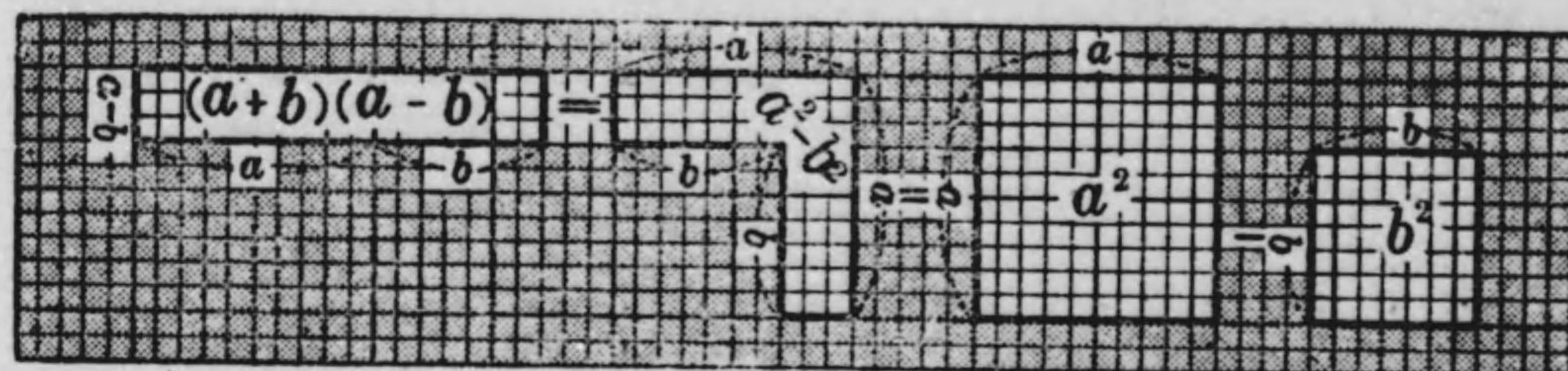
(4) $80=81-1=(9 \quad)(9 \quad)$

37. 二數ノ和ト差トノ積

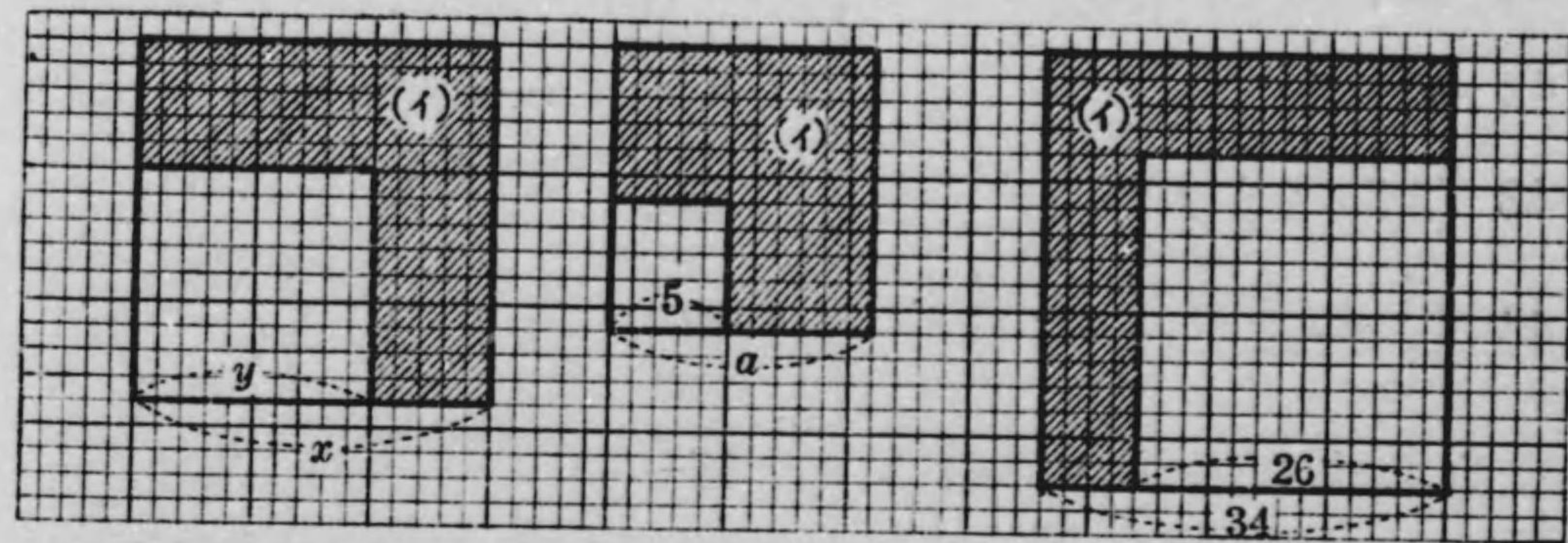
二數ヲ夫々 a, b トスレバ

$$(a+b)(a-b)=a^2-b^2 \dots\dots\dots (C)$$

問1 コノ式ノ正シイコトヲ實際ニ掛算ヲシテ驗セ。又次ノ圖ニヨツテ示セ。



問2 次ノ圖ノ(イ)ノ面積ヲ表ハス式ヲ二通り書ケ。



如何ナル二數モ其ノ和ト差トノ積ハ其ノ二數ノ二乗ノ差ニ等シイ。

問3 次ノ空欄ヲ適當ナ數又ハ式ヲ補ヘ。

a	b	$a+b$	$a-b$	a^2-b^2
37	33			
105	95			
62	58			
$2x$	1			
ab	c			

問 題

次ノ式ヲ公式(C)ヲ用ヒテ計算セヨ。39-(44)

- | | |
|---|---|
| 39 $31 \times 29, 62 \times 58$ | (39) $63 \times 57, 84 \times 96$ |
| 40 $23 \times 17, 205 \times 195$ | (40) $37 \times 23, 75 \times 45$ |
| 41 $(d+10)(d-10)$ | (41) $(6h-m)(6h+m)$ |
| 42 $(4r-3s)(4r+3s)$ | (42) $(15-w)(15+w)$ |
| 43 $(2.5+2x)(2.5-2x)$ | (43) $(\frac{1}{2}a-11)(\frac{1}{2}a+11)$ |
| 44 $(\frac{1}{5}x-\frac{1}{3}y)(\frac{1}{3}y+\frac{1}{5}x)$ | (44) $(\frac{2}{5}p+\frac{2}{3}q)(\frac{2}{3}q-\frac{2}{5}p)$ |

次ノ式ヲ因數ニ分解セヨ。45-(47)

- | | |
|---|--|
| 45 $a^2m^2-n^2, 16a^2-49b^2$ | (45) $x^4-a^4, 9p^2-81q^2r^2$ |
| 46 $\frac{1}{4}-a^2b^2c^2, 1.21d^2-0.09$ | (46) $\frac{4}{9}m^2-\frac{9}{25}n^2, 9a^2-0.16$ |
| 47 $100^2-99^2, (3\frac{1}{3})^2-\frac{1}{9}$ | (47) $51^2-49^2, (8\frac{1}{2})^2-(\frac{1}{2})^2$ |

問3

a	b	$a+b$	$a-b$	a^2-b^2
37	33	70	4	37^2-33^2
105	95	200	10	105^2-95^2
62	58	120	4	62^2-58^2
$2x$	1	$2x+1$	$2x-1$	$4x^2-1$
ab	c	$ab+c$	$ab-c$	$a^2b^2-c^2$

問 題

- | | |
|--|--|
| 39 $31 \times 29 = (30+1)(30-1) = 899$
$62 \times 58 = (60+2)(60-2) = 3596$ | (39) $63 \times 57 = (60+3)(60-3)$
$= 3591$
$84 \times 96 = (90-6)(90+6)$
$= 8064$ |
| 40 $23 \times 17 = (20+3)(20-3) = 391$
$205 \times 195 = (200+5)$
$\times (200-5) = 39975$ | (40) $37 \times 23 = (30+7)(30-7)$
$= 851$
$75 \times 45 = (60+15)(60-15)$
$= 3375$ |
| 41 $(d+10)(d-10) = d^2-100$ | (41) $(6h-m)(6h+m) = 36h^2-m^2$ |
| 42 $(4r-3s)(4r+3s) = 16r^2-9s^2$ | (42) $(15-w)(15+w) = 225-w^2$ |
| 43 $(2.5+2x)(2.5-2x) = 6.25-4x^2$ | (43) $(\frac{1}{2}a-11)(\frac{1}{2}a+11)$
$= \frac{1}{4}a^2-121$ |
| 44 $(\frac{1}{5}x-\frac{1}{3}y)(\frac{1}{3}y+\frac{1}{5}x)$
$= \frac{1}{25}x^2-\frac{1}{9}y^2$ | (44) $(\frac{2}{5}p+\frac{2}{3}q)(\frac{2}{3}q-\frac{2}{5}p)$
$= \frac{4}{9}q^2-\frac{4}{25}p^2$ |
| 45 $a^2m^2-n^2 = (am+n)(am-n)$
$16a^2-49b^2 = (4a+7b)(4a-7b)$ | (45) $x^4-a^4 = (x+a)(x-a)(x^2+a^2)$
$9p^2-81q^2r^2 = (3p+9qr)(3p-9qr)$
又ハ $= 9(p+3qr)(p-3qr)$ |
| 46 $\frac{1}{4}-a^2b^2c^2$
$= (\frac{1}{2}-abc) \times (\frac{1}{2}+abc)$
$1.21d^2-0.09$
$= (1.1d+0.3) \times (1.1d-0.3)$ | (46) $\frac{4}{9}m^2-\frac{9}{25}n^2$
$= (\frac{2}{3}m+\frac{3}{5}n) (\frac{2}{3}m-\frac{3}{5}n)$
$9a^2-0.16 = (3a+0.4)(3a-0.4)$ |
| 47 $100^2-99^2 = 199$
$(3\frac{1}{3})^2-\frac{1}{9} = (3\frac{1}{3}+\frac{1}{3})$
$\times (3\frac{1}{3}-\frac{1}{3}) = 11$ | (47) $51^2-49^2 = 200, (8\frac{1}{2})^2-(\frac{1}{2})^2 = 72$ |

38. $x+a$ と $x+b$ とノ積

次節ノ $(ax+b)(cx+d)$ ノ a ト c トガ1ノ場合デアアルカラ、一般ノ場合ガ徹底スレバ本節ノ場合ハ自然ニナシ得ルノデアアルガ、本節ノ場合モ亦重要デアアルシ、又考ヘ方ニヨレバ今マデノ公式 $(a\pm b)^2$ 、 $(a+b)(a-b)$ ハ何レモ本節ノ $(x+a)(x+b)$ ノ特別ノ場合ト考ヘラレルカラ別ニ一項ヲ設ケテ課スルノデアアル。

問1 14×17 ノヤウニ二位ノ二數ノ積ハ一數(例ヘバ14)ト他ノ一數ノ第一位(即チ7)トノ和ノ10倍ニ、ソレラ二數ノ第一位同士ノ積(4×7)ヲ加フレバヨイ。

コレハ勿論本節ノ公式 $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$ ニヨツタモノデ、本節ノ公式ニヨツテコレヲ證明スレバ、

$$\begin{aligned} (10+a)(10+b) &= 10^2 + (a+b) \times 10 + ab \\ &= 10(10+a+b) + ab \quad \text{デアアル。} \end{aligned}$$

圖ハ 14×17 ヲ説明スルノデアアルガ、圖ノ $10^2 + (4+7) \times 10 + 4 \times 7$ ハ即チ本節ノ公式デアアル。

問2 上段左カラ 270, 221, 304, 168

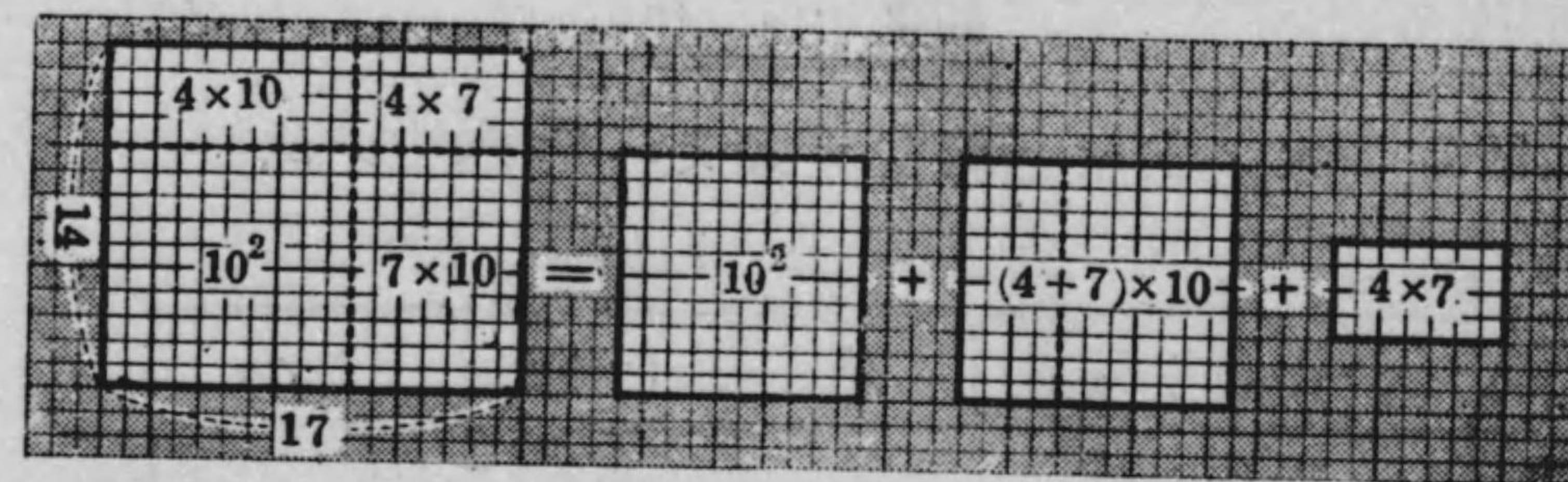
下段左カラ 240, 342, 225, 324

問3 $(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab$

ニ於テ x ノ係數ハ a ト b トノ和デ、既知項(常數項)ハ a ト b トノ積ニナツテキルコトヲ徹底サセネバナラナイ。本節ノ公式ハ敢テ言葉デ述べサセナクテモヨイ。本節ノ公式ヲ徹底サセルニハ前ニモ述べタ通り $x^2 + \square - 6 = (x-3)(x \quad)$ ノ空イタ所ヲ補ハセルヤウナ問題ヲ取扱フガヨイ。サウスルト因數分解モワケナク出來ルヤウニナル。

38. $x+a$ と $x+b$ とノ積

問1 $14 \times 17 = 10^2 + (4+7) \times 10 + 4 \times 7$ デアルコトヲ次ノ圖ニヨツテ説明セヨ。〔45頁参照〕



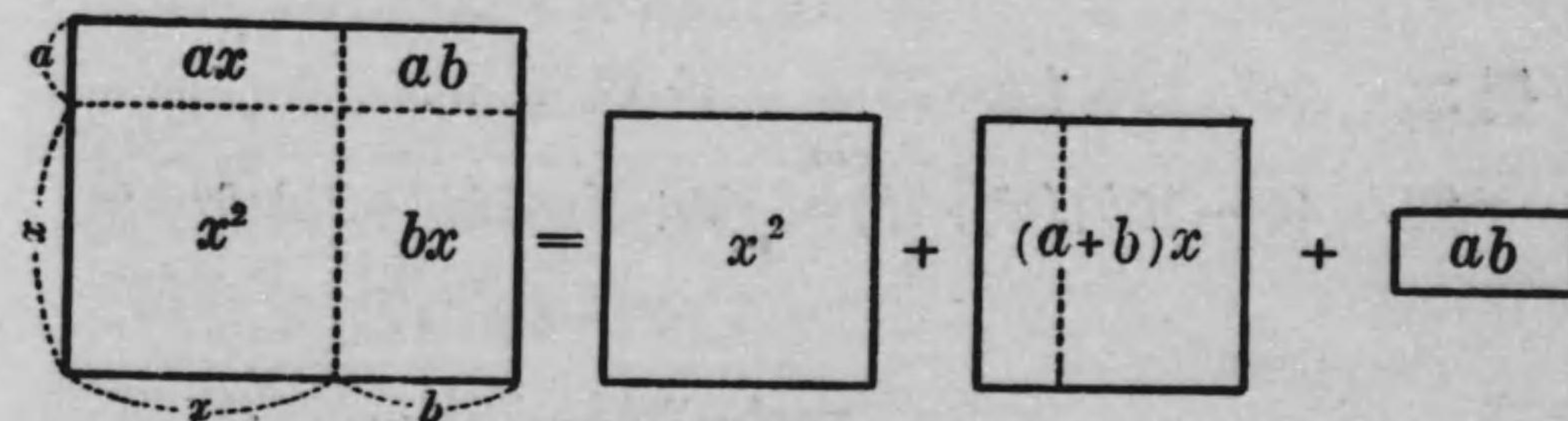
問2 上ノ方法デ次ノ掛算ヲナセ。(暗算)

$15 \times 18, \quad 13 \times 17, \quad 19 \times 16, \quad 14 \times 12$

$16 \times 15, \quad 19 \times 18, \quad 15 \times 15, \quad 18 \times 18,$

問3 次ノ式ノ正シイコトヲ實際ノ掛算ト圖トデ示セ。

$$(x+a)(x+b) = x^2 + (a+b)x + ab \dots (D)$$



例一 $(x-8)(x+5)$ を公式を用いて計算せよ。

解 $x-8=x+(-8)$ デアルカラ、公式(D)に於

て $a=-8, b=5$ と考へて

$$\begin{aligned} (x-8)(x+5) &= x^2 + \{(-8)+5\}x + (-8) \times 5 \\ &= \underline{x^2 - 3x - 40} \dots\dots\dots \text{答} \end{aligned}$$

問4 次ノ空欄ニ適當ナ式又ハ數ヲ入レヨ。

$(x+a)(x+b)$	x^2	$(a+b)x$	ab
$(x+3)(x+4)$			
$(x+2a)(x+3a)$			
$(y+l)(y+5l)$			
	x^2	$7x$	10
	x^2	$10x$	24
$(x+5)(x-3)$			
$(x-5)(x+3)$			
	x^2	$-8x$	15

例二 $(a^2-10b)(a^2+7b)$ を計算せよ。

解 $(a^2-10b)(a^2+7b) = (a^2)^2 + \{(-10b)+7b\}a^2 + (-10b)(7b)$
 $= \underline{a^4 - 3a^2b - 70b^2} \dots\dots\dots \text{答}$

例一 公式(D)ノ練習デアル。特ニ $(x+a)(x+b)$ に於テ a, b ハ負デモヨイコトヲ理解サセル。

問4

$(x+a)(x+b)$	x^2	$(a+b)x$	ab
$(x+3)(x+4)$	x^2	$7x$	12
$(x+2a)(x+3a)$	x^2	$5ax$	$6a^2$
$(y+l)(y+5l)$	y^2	$6ly$	$5l^2$
$(x+2)(x+5)$	x^2	$7x$	10
$(x+4)(x+6)$	x^2	$10x$	24
$(x+5)(x-3)$	x^2	$2x$	-15
$(x-5)(x+3)$	x^2	$-2x$	-15
$(x-5)(x-3)$	x^2	$-8x$	15

例二 $(x+a)(x+b)$ ノ x^2 ガ $2x$ トナツタ場合デアル。此ノ x ハ唯 單ニ一ツノ文字ヲ表ハスノミデナク、一ツノ式デモアラハスコトガアル。此ノ例ヲ取扱フコトニヨツテ、

$$\begin{aligned} (2x-1)(2x+5) &= 4x^2 + 8x - 5 \\ (5a-2b)(5a+7b) &= 25a^2 + 25ab - 14b^2 \end{aligned}$$

ノヤウナ計算モ出來ルシ、又

$(a+b-1)(a+b+2)$ ノ計算モコレニ導クコトガ出來ル。

即チ $(a+b-1)(a+b+2) = \{(a+b)-1\} \{(a+b)+2\}$
 $= (a+b)^2 + (a+b) - 2$
 $= a^2 + 2ab + b^2 + a + b - 2$ ノヤウニ求メルコトガ出來ル。

補充問題 次ノ等式ヲ完全セヨ。

- (1) $(x \quad)(x-7) = x^2 - 4x - \square$
- (2) $(x+6)(\quad) = x^2 + \square + 42$
- (3) $(5x-7y)(5x \quad) = 25x^2 - 20xy + \square$

問題

48 (x+2)(x-3) = x^2 - x - 6

49 (x-3y)(x+4y) = x^2 + xy - 12y^2

50 (ab-3c)(ab+4c) = a^2b^2 + abc - 12c^2

51 (2a-5)(2a-3) = 4a^2 - 16a + 15

52 (4xy-2)(4xy+3) = 16x^2y^2 + 4xy - 6

(48) (m-5)(m-7) = m^2 - 12m + 35

(49) (mn+10)(mn-6) = m^2n^2 + 4mn - 60

(50) (x+5b)(x-8b) = x^2 - 3bx - 40b^2

(51) (3x-1)(3x-2) = 9x^2 - 9x + 2

(52) (a^2-7)(a^2+11) = a^4 + 4a^2 - 77

例三 x^2+(a+b)x+ab ノ因數分解ノ例デア。此ノ種ノ因數分解デハ、先ツ各因數ノ初メノ項ハ共ニxデア。...

53 x^2+6x+8 = (x+2)(x+4)

54 a^2-2a-8 = (a-4)(a+2)

55 y^2+12y-28 = (y-2)(y+14)

56 a^2b^2+10ab-24 = (ab-2)(ab+12)

57 p^2-104pr+400r^2 = (p-100r)(p-4r)

58 x^2y^2-4xyz-12z^2 = (xy-6z)(xy+2z)

(53) x^2-6x+8 = (x-2)(x-4)

(54) x^2+2x-8 = (x+4)(x-2)

(55) m^2+5m-36 = (m+9)(m-4)

(56) a^2x^2-7ax-30 = (ax-10)(ax+3)

(57) x^2+30xy+200y^2 = (x+10y)(x+20y)

(58) x^6-8x^3y^2-9y^4 = (x^3-9y^2)(x^3+y^2)

問題

次ノ掛算ノ答ヲ公式ヲ應用シテ暗算デ言ヘ。

48 (x+2)(x-3)

49 (x-3y)(x+4y)

50 (ab-3c)(ab+4c)

51 (2a-5)(2a-3)

52 (4xy-2)(4xy+3)

(48) (m-5)(m-7)

(49) (mn+10)(mn-6)

(50) (x+5b)(x-8b)

(51) (3x-1)(3x-2)

(52) (a^2-7)(a^2+11)

例三 x^2-5x-14 ノ因數分解セヨ。

解 此ノ式ガ因數分解シ得ラレルナラバ (x)(x)トナル筈デア。...

x^2-5x-14 = (x-7)(x+2).....答

次ノ式ヲ因數ニ分解セヨ。 53-(58)

53 x^2+6x+8

54 a^2-2a-8

55 y^2+12y-28

56 a^2b^2+10ab-24

57 p^2-104pr+400r^2

58 x^2y^2-4xyz-12z^2

(53) x^2-6x+8

(54) x^2+2x-8

(55) m^2+5m-36

(56) a^2x^2-7ax-30

(57) x^2+30xy+200y^2

(58) x^6-8x^3y^2-9y^4

39. $(ax+b)(cx+d)$ ノ形ノ積問1 $(3x+5)(2x+3)$ ヲ計算セヨ。(181頁ヲ見ヨ)

$$(3x+5)(2x+3) = 6x^2 + (9+10)x + 15$$

例. $(3x-4)(5x+2)$ ヲ上ニ倣ツテ計算セヨ。

解 先ヅ $3x$ ト $5x$ トノ積ヲ $15x^2$ トシ、次イデ 3 ト 2 トノ積 6 へ -4 ト 5 トノ積 -20 ヲ加へタモノヘ x ヲツケテ $-14x$ トシ、次ニ -4 ト 2 トノ積ヲ -8 トシテ次ノヤウニ書ケバヨイ。

$$(3x-4)(5x+2) = 15x^2 - 14x - 8 \dots \dots \text{答}$$

問2 次ノ式ノ缺ケタ所ヲ補ヘ。

(1) $(2x+5)(3x+4) = 6x^2 \quad x+20$

(2) $(2x-5)(3x-4) = x^2 \quad x$

(3) $(2x+5)(3x-4) = x^2 \quad x$

(4) $(2x-5)(3x+4) = x^2 \quad x$

(5) $(2x-5)(\quad) = 4x^2 - 16x + 15$

(6) $(\quad)(3x-1) = 6x^2 + 13x - 5$

39. $(ax+b)(cx+d)$ ノ形ノ積

二ツノ二項式ノ積ノ最モ一般ナ形デ、ソノ積モ亦二次三項式ノ一般ノ形トナル。唯單ニ $(a+b)(c+d)$ ナラバ四項式トナルノデアアルガ、 x トイフ共通ノ文字ガアルカラ三項式トナルノデアアル。

此ノ公式ハ可ナリ複雑デ言葉デ發表スルヨリモ寧ロ十字乗法ニヨル算出法ニヨツテ記憶サセルガヨイ。

x^2 ノ係數ハ各因數ノ x ノ係數ノ積。
 x ノ係數ハ各因數ノ x ノ係數ト x ヲ含マナイ項トノ積ノ代數和。
 x ヲ含マナイ項ハ二ツノ因數ノ x ヲ含マナイ項ノ積デアアル。

問1 ハ181頁ノ方法ニヨツテ實際ニ掛算サセテ本節ノ公式ノ豫備トスル。

例 ハ $(3x-4)(5x+2)$ ヲ x^2 ノ係數、 x ノ係數、 x ヲ含マヌ項ヲ求メルコトニヨツテ計算スルノデアアル。

問2 (1) $(2x+5)(3x+4) = 6x^2 + 23x + 20$

(2) $(2x-5)(3x-4) = 6x^2 - 23x + 20$

(3) $(2x+5)(3x-4) = 6x^2 + 7x - 20$

(4) $(2x-5)(3x+4) = 6x^2 - 7x - 20$

(5) $(2x-5)(2x-3) = 4x^2 - 16x + 15$

(6) $(2x+5)(3x-1) = 6x^2 + 13x - 5$

補充問題 次ノ等式ノ空イタ所ヲ適當ニ補ヘ。

(1) $(3x \quad)(\quad - 3) = 12x^2 - x - 6$

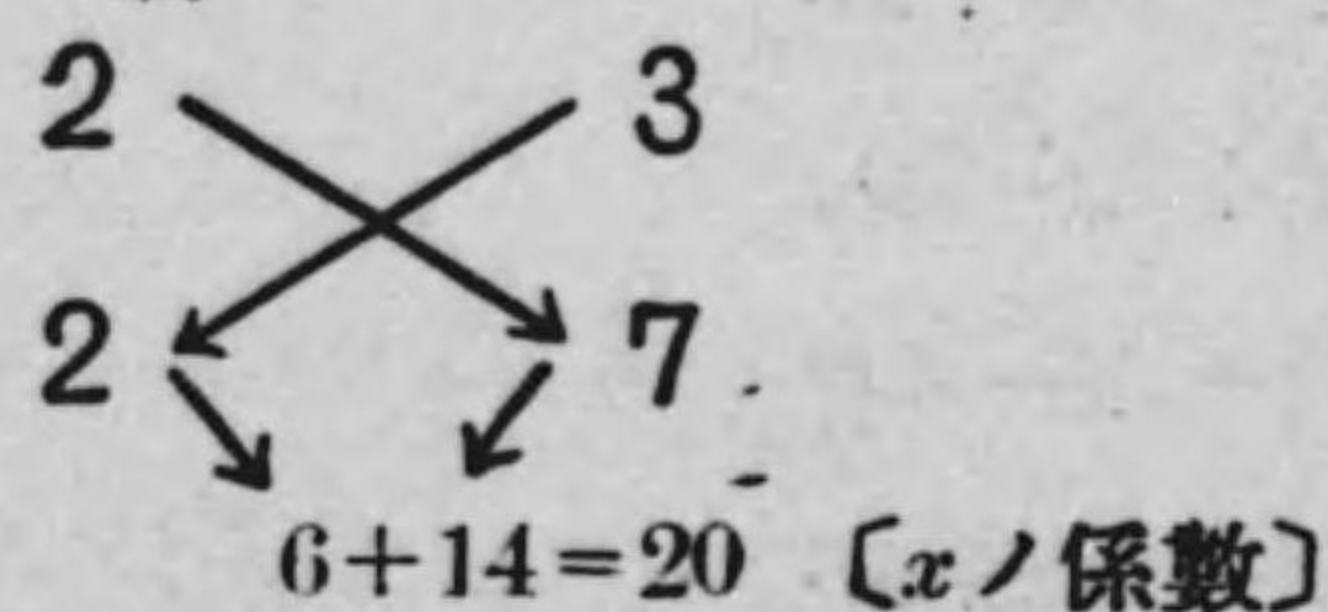
(2) $(7x-1)(2x \quad) = (\quad)x^2 - 23x + (\quad)$

(3) $(5x+3)(\quad) = (\quad)x^2 - 3x - 9$

問題

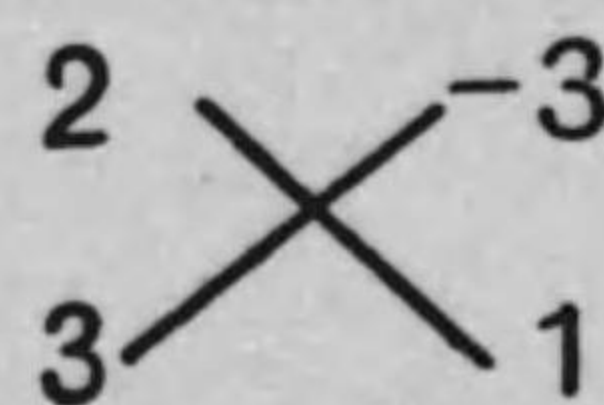
- 59 $(2x+1)(x+2) = 2x^2+5x+2$
- 60 $(2x+3)(3x-1) = 6x^2+7x-3$
- 61 $(2x+y)(x+2y) = 2x^2+5xy+2y^2$
- 62 $(3x-2y)(2x+5y) = 6x^2+11xy-10y^2$
- 63 $(5x^2-3)(6x^2+5) = 30x^4+7x^2-15$
- 64 $4x^2+16x+15 = (2x+3)(2x+5)$
- 65 $6x^2+x-12 = (3x-4)(2x+3)$
- 66 $9y^2-6y-8 = (3y+2)(3y-4)$
- 67 $12x^2-7xy-12y^2 = (3x-4y)(4x+3y)$
- 68 $4x^2+20x+21 = (2x+3)(2x+7)$

注意 此ノ因数分解ハxノ係數4ヲ二ツニ分ケルト1×4, 2×2デ21ハ1×21, 3×7デアアルカラコレヲ組合ハセルノデアアルガ、實際ハ



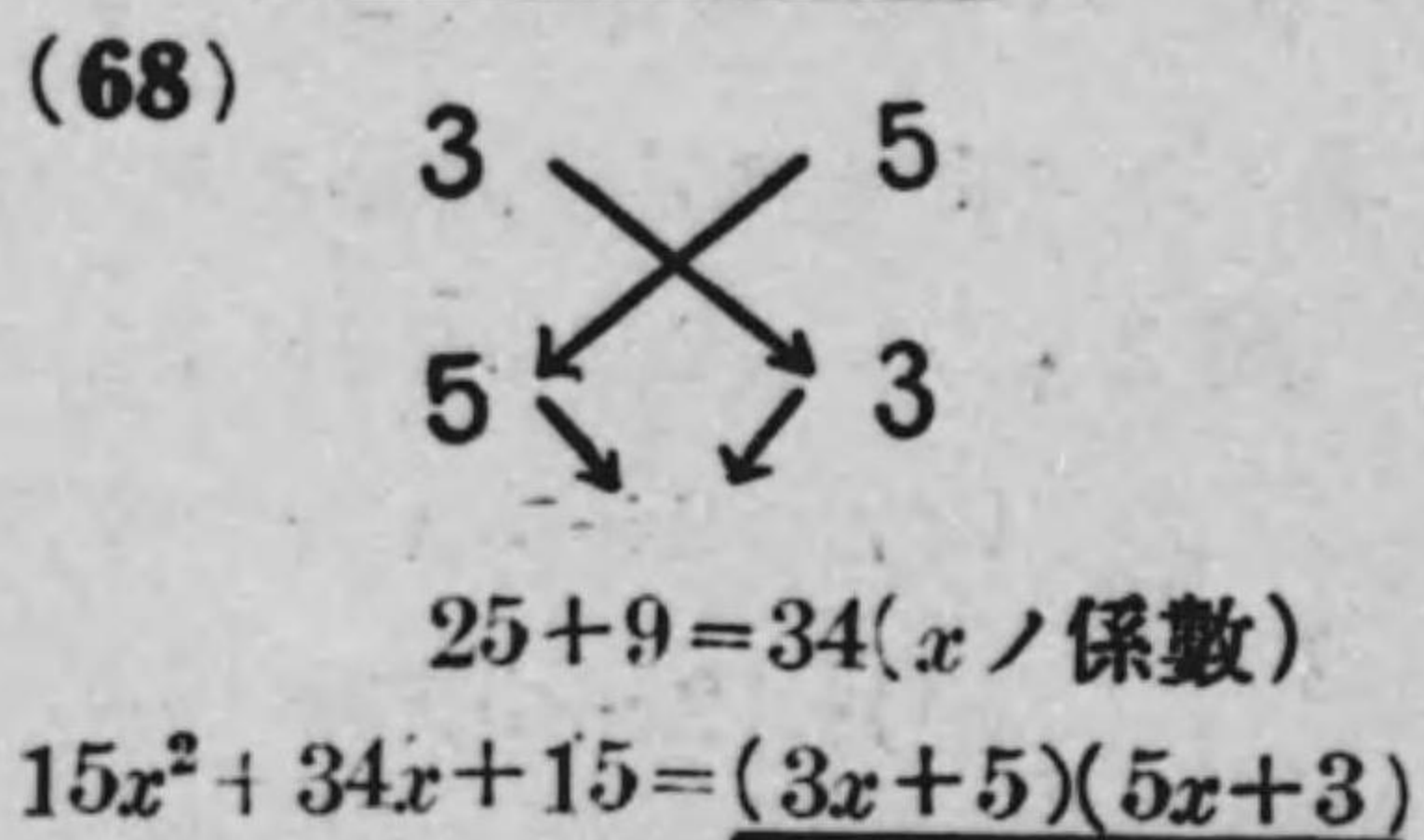
ノヤウニスル。

69 $6a^2-7ab-3b^2 = (2a-3b)(3a+b)$



70 $7a^2+4ab-3b^2 = (a+b)(7a-3b)$

- (59) $(3x-2)(2x-9) = 6x^2-31x+18$
- (60) $(5x-4)(2x+3) = 10x^2+7x-12$
- (61) $(2x-y)(x+2y) = 2x^2+3xy-2y^2$
- (62) $(5a+3b)(2a-5b) = 10a^2-19ab-15b^2$
- (63) $(2a^2-7)(3a^2+8) = 6a^4-5a^2-56$
- (64) $2x^2+15x-8 = (2x-1)(x+8)$
- (65) $6a^2+5a-6 = (2a+3)(3a-2)$
- (66) $8x^2-2xy-3y^2 = (2x+y)(4x-3y)$
- (67) $10a^2-29ab+10b^2 = (5a-2b)(2a-5b)$



(69) $3a^2-5ab-2b^2$

答 $(a-2b)(3a+b)$

(70) $3y^2+17yz-6z^2$

答 $(y+6z)(3y-z)$

問題

次ノ式ヲ計算セヨ。59-(63)

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 59 $(2x+1)(x+2)$ | (59) $(3x-2)(2x-9)$ |
| 60 $(2x+3)(3x-1)$ | (60) $(5x-4)(2x+3)$ |
| 61 $(2x+y)(x+2y)$ | (61) $(2x-y)(x+2y)$ |
| 62 $(3x-2y)(2x+5y)$ | (62) $(5a+3b)(2a-5b)$ |
| 63 $(5x^2-3)(6x^2+5)$ | (63) $(2a^2-7)(3a^2+8)$ |

次ノ式ヲ因数分解セヨ。64-(70)

- 64 $4x^2+16x+15 = (2x \quad)(\quad +5)$
- (64) $2x^2+15x-8 = (2x \quad)(\quad +8)$
- 65 $6x^2+x-12 = (\quad -4)(2x \quad)$
- (65) $6a^2+5a-6 = (2a \quad)(\quad -2)$
- 66 $9y^2-6y-8 = (3y+2)(\quad)$
- (66) $8x^2-2xy-3y^2 = (2x \quad)(\quad)$
- 67 $12x^2-7xy-12y^2 = (\quad)(\quad +3y)$
- (67) $10a^2-29ab+10b^2 = (\quad -2b)(\quad)$
- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 68 $4x^2+20x+21$ | (68) $15x^2+34x+15$ |
| 69 $6a^2-7ab-3b^2$ | (69) $3a^2-5ab-2b^2$ |
| 70 $7a^2+4ab-3b^2$ | (70) $3y^2+17yz-6z^2$ |

雑 題

例一 $8a^3+24a^2b+18ab^2$ を因数分解せよ。

解 此ノ式ニハ各項ニ $2a$ トイフ共通ナ因数ガアルカラ全體ガ $2a$ デ割レル。故ニ

$$\begin{aligned} 8a^3+24a^2b+18ab^2 &= 2a(4a^2+12ab+9b^2) \\ &= 2a(2a+3b)^2 \dots\dots\dots \text{答} \end{aligned}$$

或ル式ヲ因数ニ分解スルトキ、

其ノ各項ニ共通ナ因数ガアレバ、先ヅコレヲ括り出スガヨイ。式デ示スト

$$ax+bx-cx=(a+b-c)x$$

次ノ式ヲ因数ニ分解セヨ。1-(8)

- | | |
|-------------------------|------------------------------|
| 1 $5x^3+50x^2+45x$ | (1) $3ax^2+3ax-60a$ |
| 2 $x^2y^2-7xy^3+12y^4$ | (2) $a^2b-6ab+8b$ |
| 3 $6r^3+8r^2+2r$ | (3) $24h-72h^2+30h^3$ |
| 4 $na^2+7na+6n$ | (4) $6n^3a+2n^2a-48na$ |
| 5 $7a^3b-7ab^3$ | (5) $27a^2x^2-12a^2$ |
| 6 $-ab^2c^2+2a^2bc-a^3$ | (6) $5x^3y-50x^2y^2+125xy^3$ |
| 7 a^4-x^4 | (7) x^4-16 |
| 8 $a^4-2a^2b^2+b^4$ | (8) $a^4+a^2b^2-2b^4$ |

雑 題

今マデ各乗法公式ニ關聯シテ因数分解ヲ取扱ツテ來タノデ各ニツイテハ十分ヨク了解サレテ來タデアラウガ、ソレラノ各因数分解相互ヲ十分了解サセルタメニ此ノ雜題ヲオクノデアアル。今マデ取扱ツタ因数分解(乗法)ノ諸公式ハ

$$a^2 \pm 2ab + b^2 = (a \pm b)^2$$

$$a^2 - b^2 = (a + b)(a - b)$$

$$x^2 + (a + b)x + ab = (x + a)(x + b)$$

$$acx^2 + (bc + ad)x + bd = (ax + b)(cx + d)$$

デアツタ。此ノ外ニ總テノ場合ニ通ジテ最モ基本的ナモノニ共通因数ヲ括ルコトガアル。例一ハ主トシテソレヲ示スタメニ出シタノデアアル。

- | | |
|---|---|
| 1 $5x(x^2+10x+9)$
$= 5x(x+1)(x+9)$ | (1) $3a(x^2+x-20)$
$= 3a(x+5)(x-4)$ |
| 2 $y^2(x^2-7xy+12y^2)$
$= y^2(x-3y)(x-4y)$ | (2) $b(a^2-6a+8)$
$= b(a-2)(a-4)$ |
| 3 $2r(3r^2+4r+1)$
$= 2r(3r+1)(r+1)$ | (3) $6h(4-12h+5h^2)$
$= 6h(2-h)(2-5h)$ |
| 4 $n(a^2+7a+6)$
$= n(a+1)(a+6)$ | (4) $2na(3n^2+n-24)$
$= 2na(n+3)(3n-8)$ |
| 5 $7ab(a^2-b^2)$
$= 7ab(a+b)(a-b)$ | (5) $3a^2(9x^2-4) = 3a^2(3x+2)(3x-4)$ |
| 6 $-a(b^2c^2-2abc+a^2)$
$= -a(bc-a)^2$ | (6) $5xy(x^2-10xy+25y^2)$
$= 5xy(x-5y)^2$ |
| 7 $(a-x)(a+x)(a^2+x^2)$ | (7) $(x-2)(x+2)(x^2+4)$ |
| 8 $(a^2-b^2)^2 = (a+b)^2(a-b)^2$ | (8) $(a^2-b^2)(a^2+2b^2)$
$= (a+b)(a-b)(a^2+2b^2)$ |

第三章 最大公約數及最小公倍數

40. 最大公約數及最小公倍數

本書デハ最大公約數ト最小公倍數ハ極メテ簡單ニ取扱ツタ。即チ唯ニ二次三項式ノ因數分解ニヨツテ求メル所マデデ之ヲ細別スレバ

(イ) 單項式ノ最大公約數及最小公倍數

(ロ) 單項式ト見做サレル代數式ノ最大公約數及最小公倍數

(ハ) 因數分解ニヨツテ(ロ)ニ導キ得ルモノ

ダケヲ取扱ツタ。而モ因數分解ニヨルモノデモ極メテ容易ニ求メ得ルモノバカリニシタ。

最大公約數ト最小公倍數トハ分數式ノ所ニ必要ナダケデ、ソレ以外ニハ殆ド其ノ必要ガナイ。ソシテ現今ハ分數式ノ計算ガ非常ニ簡單ニナツタノデ、徒ニ困難ナ最大公約數及ビ最小公倍數ノ問題ヲ取扱フコトハ全く其ノ意義ガナイ。故ニ互除法等ノヤウナ一般ノ方法ハコレヲトリ扱ハナイコトニシタ。

問1 算術ニ於ケル最大公約數及ビ最小公倍數ノ復習デアル。

G. C. M. (左カラ) 12, 5 L. C. M. 120, 600

問2 單項式ノ公約數及ビ最大公約數ヲ考ヘサセル。

G. C. M. ハ Greatest Common Measure ノ略デ、最大公約數ノ義デアルガ、代數デハ最大公約數トハ幾ツカノ整式ニ共通ナ最高次ノ因數ヲイフノデアルカラ、最高共通因數(因子) Highest Common Factor トイフベキデアル。併シ現在デハ最高共通因數トハイハナイデ、最大公約數トイツテキルカラソノ略號モ G. C. M. ヲトツタ。

問3 最小公倍數ヲ考ヘサセルタメデアル。

第三章 最大公約數及最小公倍數

40. 最大公約數及最小公倍數

問1 次ノ各組ノ數ノ最大公約數及ビ最小公倍數ヲ言ヘ。

(24, 60), (15, 40, 75)

問2 次ノ三式ヲ同時ニ割切ル式ヲ求メヨ。

a^3bc^2 , a^2b^3 , $a^2b^2c^2$

上ノ三式ヲ同時ニ割切ル式ハ

a , a^2 , b , ab , a^2b デアツテ、此ノ中デ次數ノ最モ高イノハ a^2b デアル。

二ツ以上ノ整式ヲ同時ニ割切ル整式ヲソレ等ノ整式ノ公約數トイヒ、公約數ノ中デ次數ノ最モ高イモノヲ最大公約數(G.C.M.)トイフ。

問3 次ノ二式デ同時ニ割切ルコトノ出來ル式ヲ言ヘ。

$2x^2y^3$, $3x^3y^3$

ニツ以上ノ式デ、同時ニ割切ルコトノ出來ル式ヲソレ等ノ式ノ公倍數トイヒ、公倍數ノ中デ次數ノ最モ低イモノヲ最小公倍數(L.C.M.)トイフ。

例一 $5x^2y^3z^4$, $-15xy^2$, $10x^3y^3z^2$ ノ G.C.M. 及ビ L.C.M. ヲ求メヨ。

解 $5x^2y^3z^4$, $-15xy^2$, $10x^3y^3z^2$ ノ數係數ト各文字因數ノ G.C.M., L.C.M. ヲ求メルト

	G.C.M.	L.C.M.
數係數	5	30
文字因數	x	x^3
	y	y^3
	z	z^4
三式ヲ通ジテ	$5xy^2$	$30x^3y^3z^4$

答 G.C.M. $5xy^2$; L.C.M. $30x^3y^3z^4$

注意 代數式ノ最大公約數及ビ最小公倍數ハ係數ニハ無關係デアルガ、普通與式ノ數係數ノ絶對値ノ最大公約數又ハ最小公倍數ヲ以テソノ係數トスル。

最小公倍數モ代數デハ最低共通因數(因子) Lowest Common Factor トイフベキデアルガ、算術ノヤウニ最小公倍數 Least Common Multiple トイフコトニシタ。併シ略號ハ共ニ L.C.M. デアル。

例一 單項式ノ場合ニ於ケル G.C.M. 及ビ L.C.M. ノ求メ方デアル。

最大公約數ヤ最小公倍數ヲ求メル基礎ニナルカラ、コノ例ハ十分徹底的ニ取扱ハレタイ。即チ幾ツカノ單項式ノ最大公約數及ビ最小公倍數ヲ求メルニハ、

	最大公約數	最小公倍數
係數	係數ノ G. C. M.	係數ノ L. C. M.
文字因數	共通ナ文字因數ヲ選ンデ、ソノ最低次ヲトル。	各文字因數ヲ網羅シ、共通因數ニツイテハ最高次ノモノダケヲトル。

例一ハ又算術ノヤウニシテモ求メルコトガ出來ル。

$5x$	$5x^2y^3z^4$	$-15xy^2$	$10x^3y^3z^2$	G.C.M. <u>$5xy^2$</u>
y^2	xy^3z^4	$-3y^2$	$2x^2y^3z^2$	
xyz^2	xyz^4	-3	$2x^2yz^2$	
	z^2	-3	$2x$	L.C.M. <u>$30x^3y^3z^4$</u>

注意(一) 代數ノ整除トハ整式ノ商ヲ得テ剩餘ノナイコトデアル。ソシテ整式ノ係數ハ整數トハ限ラナイカラ G. C. M. 及ビ L. C. M. ハ文字因數ダケニツイテイフコトデ、ソノ數係數ト符號トニハ關係シナイ。故ニ例一ノ G. C. M. モ $5xy^2$ デモヨイシ、 $-5xy^2$ デモ、又 $-xy^2$ デモヨイガ、普通ハ與式ノ數係數ノ絶對値ノ G. C. M. (L. C. M.) ヲ以テ其ノ係數トスル。

注意(二) 代數式ノ G. C. M. ヤ L. C. M. ノ數値ト、與ヘラレタ代數式ノ數値ノ G. C. M. ヤ L. C. M. トハ必ズシモ一致シナイ。例ヘバ a^2b ト ab^2 トノ G. C. M. ハ ab デアツテ、 $a=2$, $b=6$ ノトキノ G. C. M. ノ數値ハ 12 デアルガ、 $2^2 \times 6$ ト 2×6^2 トノ G. C. M. ハ 24 デアル。

例二 因数分解スルコトノ出来タ多項式ノ例デアツテ、總テノ多項式モ此ノ例ノヤウナ形ニ導クコトガ出来タナラバ、ソノ G.C.M. ヤ L.C.M. ハ容易ニ例一ノヤウニシテ求メルコトガ出来ル。

問題

- | | |
|--|--|
| 1 G. C. M. bc
L. C. M. $a^2b^2c^2d$ | (1) G. C. M. xy
L. C. M. x^2y^2z |
| 2 G. C. M. $3ax^2$
L. C. M. $126a^3bx^4y$ | (2) G. C. M. $5a^6b^6$
L. C. M. $100a^8b^{10}c^6$ |
| 3 G. C. M. $(x+y)(x-y)$
$=x^2-y^2$
L. C. M. $(x+y)^2(x-y)^2$ | (3) G. C. M. $(a-b)^2(a+b)^3$
L. C. M. $(a-b)^3(a+b)^4$ |
| 4 G. C. M. $6y(a-b)$
L. C. M. $60y^2(a-b)^2$ | (4) G. C. M. $a^2b^2(a+1)$
L. C. M. $a^3b^4(a+1)^3(a+2)$
$\times(a-2)^3$ |
| 5 G. C. M. $6a^2b^2c(a-c)^2$
L. C. M. $72a^3b^3c^2(a-c)^4$ | (5) G. C. M. $2ax$
L. C. M. $24a^4x^3(a-b)$
$\times(b-c)(c-a)$ |

補充問題

- (1) $6a^2b^2, 9ab^2c$ ノ公約數ヲ悉ク求メヨ。
- (2) $(a-b)(a-c), (b-c)(b-a), (c-a)(c-b)$ ノ G. C. M. 及ビ L. C. M. ヲ求メヨ。
- (3) $(a-b)^2(b-c)(c-a), (a-c)(c-b)^2(b-a), (a-b)(a-c)^2(b-c)$ ノ G. C. M. 及ビ L. C. M. ヲ求メヨ。

注意 上ノ補充問題ノ(2)ニハ共通因數ハナイ。即チ最大公約數ハ存在シナイ。

例二 $(x-1)^2(x-2), (x-2)^2(x-1), (x-1)(x-2)(x-3)$ ノ G.C.M. 及 ビ L.C.M. ヲ求メヨ。

解 $(x-1)^2(x-2), (x-2)^2(x-1), (x-1)(x-2)(x-3)$ ノ各式ノ括弧内ノ式ヲ一ツノモノト見レバ例一ト同様ニシテ、ソノ G.C.M. 及 ビ L.C.M. ヲ求メルコトガ出来ル。

即チ G.C.M. $(x-1)(x-2)$
L.C.M. $(x-1)^2(x-2)^2(x-3)$

問題

次ノ各式ノ G.C.M. 及 ビ L.C.M. ヲ求メヨ。 1-5

- | | |
|--|--|
| 1 $abc, bcd, a^2b^2c^2$ | (1) x^2y, xy^2, xyz |
| 2 $6a^2bx^4, 21ax^3, 18a^3x^2y$ | (2) $20a^5b^{10}, 25a^6b^6c^5$ |
| 3 $(x+y)^2(x-y), (x+y)(x-y)^2$ | (3) $(a-b)^2(a+b)^3, (a-b)^3(a+b)^4$ |
| 4 $12y^2(a-b), 30y(a-b)^2$ | (4) $a^2b^2(a+1)(a-2)^3, a^3b^4(a+1)^3(a+2)$ |
| 5 $12a^3b^2c(a-c)^3, 18a^2b^3c^2(a-c)^2, 24a^2b^2c^2(a-c)^4$ | (5) $2ax(a-b), 6a^3x^2(b-c), 8a^4x^2(c-a)$ |

例三 $x^2-3x+2, x^2-5x+6, x^2-4x+4$ の G.C.M. 及び L.C.M. を求めよ。

解 各式を因数分解すると

$$x^2-3x+2=(x-1)(x-2)$$

$$x^2-5x+6=(x-2)(x-3)$$

$$x^2-4x+4=(x-2)^2$$

$$\begin{aligned} \text{故} = \quad & \text{G.C.M.} \quad \underline{(x-2)} \\ & \text{L.C.M.} \quad \underline{(x-1)(x-2)^2(x-3)} \end{aligned}$$

次の各組の G.C.M. 及び L.C.M. を求めよ。6-(8)

6 $x^2-x,$	(6) $a^2+ab-30b^2,$
x^2-2x+1	$a^2-2ab-15b^2$
7 $x^2y^2-xy^3-42y^4,$	(7) $x^2-3x-40,$
$6x^3y+18x^2y^2-108xy^3$	$x^2+3x-10,$
	x^2-x-30
8 $a^4-a^2b^2,$	(8) $2a^2-4a-6,$
$a^2b^2-b^4,$	$a^2b^2+2ab^2-15b^3,$
$a^4+2a^3b+a^2b^2$	a^2-6a+9

例三 容易に因数分解される式ノ G. C. M. ト L. C. M. を求める方法である。

$$\begin{aligned} 6 \quad & x^2-x=x(x-1) \\ & x^2-2x+1=(x-1)^2 \\ & \text{G. C. M.} \quad \underline{x-1} \\ & \text{L. C. M.} \quad \underline{x(x-1)^2} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} 7 \quad & x^2y^2-xy^3-42y^4 \\ & =y^2(x^2-xy-42y^2) \\ & =y^2(x+6y)(x-7y) \\ & 6x^3y+18x^2y^2-108xy^3 \\ & =6xy(x^2+3xy-18y^2) \\ & =6xy(x-3y)(x+6y) \\ & \text{G. C. M.} \quad \underline{y(x+6y)} \\ & \text{L. C. M.} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} & \underline{6xy^2(x+6y)(x-3y)(x-7y)} \\ 8 \quad & a^4-a^2b^2=a^2(a-b)(a+b) \\ & a^2b^2-b^4=b^2(a-b)(a+b) \\ & a^4+2a^3b+a^2b^2=a^2(a+b)^2 \\ & \text{G. C. M.} \quad \underline{a+b} \\ & \text{L. C. M.} \end{aligned}$$

$$\underline{a^2b^2(a-b)(a+b)^2}$$

$$\begin{aligned} (6) \quad & a^2+ab-30b^2 \\ & = (a-5b)(a+6b) \\ & a^2-2ab-15b^2 \\ & = (a+3b)(a-5b) \end{aligned}$$

$$\text{G. C. M.} \quad \underline{a-5b}$$

$$\text{L. C. M.}$$

$$\underline{(a+3b)(a-5b)(a+6b)}$$

$$\begin{aligned} (7) \quad & x^2-3x-40=(x-8)(x+5) \\ & x^2+3x-10=(x-2)(x+5) \\ & x^2-x-30=(x-6)(x+5) \\ & \text{G. C. M.} \quad \underline{x+5} \end{aligned}$$

$$\text{L. C. M.}$$

$$\underline{(x+5)(x-2)(x-6)(x-8)}$$

$$\begin{aligned} (8) \quad & 2a^2-4a-6=2(a-3)(a+1) \\ & a^2b^2+2ab^2-15b^2 \\ & =b^2(a-3)(a+5) \\ & a^2-6a+9=(a-3)^2 \end{aligned}$$

$$\text{G. C. M.} \quad \underline{a-3}$$

$$\text{L. C. M.}$$

$$\underline{2b^2(a-3)^2(a+1)(a+5)}$$

補充問題

(1) x^2-1 と x^2-3x+2 とが同時=零トスル x の値如何。又 x^2-1 は 0 トスルが、 x^2-3x+2 が 0 トシナイ x の値如何。

(2) x^2-x が 2 ノトキ、 $x+x^2$ が 6 トナルヤウナ x の値ヲ見出セ。

注意 x^2-x-2 と x^2+x-6 トノ G. C. M. を考へよ。

第四章 二次方程式

41. 二次方程式

例 因数分解ニヨル二次方程式ノ解法デアル。

因数分解ニヨツテ二次方程式ヲ解クニハ、

① 總テノ項ヲ左邊ニ集メ、右邊ヲ0トスル。

② 左邊ヲ因数ニ分解スル。

③ 各因数、(xヲ含ム)ヲ0ニ等シトオイタ一次方程式ヲ解ケバヨイノデアル。故ニ因数分解シタ結果 $4(x-1)(x-5)=0$ ノヤウニナレバ4ハ0デナイカラ $x-1=0$ 又ハ $x-5=0$ デナケレバナラナイ。故ニ $x-1=0$ ト $x-5=0$ ノ二ツノ一次方程式ヲ解ケバヨイ。

因数分解ヲ方程式解法ニ適用スルコトハ興味ノアルコトデアリ、又因数分解ノ價值ヲ深クスル。特殊ナ三次方程式ナドハ因数分解ニヨツテ簡單ニ解キ得ルモノモアルガ、本書デハ因数分解ヲ唯單ニ演算ノ基礎トシテノミノ取扱ヒトシタノデ、三次方程式ハ一切抜キニシタ。

1 $x^2-9x+14=0$
 $(x-2)(x-7)=0$ 答 2, 7

2 $x^2-4=0$
 $(x-2)(x+2)=0$
答 2, -2

3 $y^2-4y-12=0$
 $(y-6)(y+2)=0$
答 6, -2

4 $x^2-3x-40=0$
 $(x-8)(x+5)=0$
答 8, -5

(1) $x^2-6x+8=0$
 $(x-2)(x-4)=0$
答 2, 4

(2) $x^2-1=0$ 答 1, -1

(3) $n^2-3n-10=0$
 $(n-5)(n+2)=0$
答 5, -2

(4) $y^2-15y-54=0$
 $(y-18)(y+3)=0$
答 18, -3

第四章 二次方程式

41. 二次方程式

例 $x^2-5x+4=0$ ヲ解ケ。

解 $x^2-5x+4=0$

此ノ左邊ヲ因数ニ分解スルト

$$(x-1)(x-4)=0$$

ソレ故 $x-1=0$ カ $x-4=0$ カデアル。

從ツテ $x=1$ 又ハ $x=4$ 答 1, 4

驗 $x=1$ ナラバ $x^2-5x+4=1^2-5\times 1+4=0$

$x=4$ ナラバ $x^2-5x+4=4^2-5\times 4+4=0$

方程式ノ總テノ項ヲ左邊ニ集メタ式ガ未知數ニツイテ二次式トナルヤウナ方程式ヲ二次方程式トイフ。

本例ハ一元ナル故一元二次方程式デアル。

因数分解ニヨツテ次ノ一元二次方程式ヲ解ケ。

1 $x^2-9x+14=0$	(1) $x^2-6x+8=0$
2 $x^2-4=0$	(2) $x^2=1$
3 $y^2-4y-12=0$	(3) $n^2-3n-10=0$
4 $x^2-3x=40$	(4) $y^2-15y=54$

ニュートン (1642-1727)



$(a+b)^2$ トカ $(a+b)^3$ ノヤウ
ナ簡單ナ計算ハ既ニ紀元
前ニ知ラレタコトデア
ルガ、二項式ノ何乗デモコレ
ヲ展開スルコトガ出来テ
如何ナル式トナルカトイ
フヤウナ定理ハニュート
ンノ發見シタモノデア
ル。

ニュートンハ英國リン

colnshire州ノ一寒村ノ農夫ノ子デア
ル。幼時ハ
虚弱デアリ臆病デアツタノデ、小學校ノ時代ニハ餘リ
成績モ振ハナカツタガ、20歳ノ時、ケンブリッヂ大學ニ入
ルニ到ツテソノ才能ヲ現ハシ、殊ニ數學ニ於テソノ天
才ヲ發揮シ、當時有名ナ數學者デカルト、ヴィータ、ワリス
等ノ著書ヲ悉ク了解シタトイフコトデア
ル。二項定
理ヤ微分學積分學ヲ發見シ、方程式論ヲ著シテ忽チ世
界ノ大數學者トナリ、又物理學ニ於ケル萬有引力ノ法
則ヲ發見シテ、當時世界第一ノ科學者ト仰ガレルニ到
ツタ。

ニュートン Sir Isaac Newton 傳

ニュートンハ1642年12月25日リンcolnshire州ノウールズソルブ
トイフ片田舎ノ農家ノ子トシテ生マレ、1727年3月20日ロンドンデ死
ンダ。

彼ハ格蘭サムノ小學校ニ通學シテキタガ、其ノ頃ハ餘リ成績モ
振ハナカツタ。或ル時ニュートンヨリ成績ノヨイ生徒ノタメニ腹ヲ
蹴ラレテ、ソレカラ發奮遂ニ首席トナツタトイフ。併シ乍ラ彼ガ其
ノ天分ヲ發揮シタノハ1660年ケンブリッヂノトリニティー大學ニ入
學シテカラデア
ル。ニュートンハ生マレル少シ前ニ父ヲ失ヒ、タメ
ニ小學校卒業後ハ家業ノ手傳ヲスル筈デアツタガ、ニュートンガ餘
リニ學問ニ熱心デア
ルノヲ見タ母ハ遂ニ叔父ノ助力ヲ得テケンブリ
ッヂヘト通ハセタノデア
ルガ、彼ハ大學デハ免費生トナツタ。

ニュートンハ偉大ナ直覺力ヲ持ツテキタ、ユークリッドノエレメ
ンツナドハ一讀シテ其ノ全部ヲ了解シタトイフコトデア
ル。デカル
トノ解析幾何ヤケプレルノ光學ナドニハ特ニ興味ヲ以テ之ヲ讀破シ
タトイフ。彼ノ獨創的研究ハ1664年頃カラ開始サレ、直チニ二項定
理ヲ發見シタ。時ハ年僅カニ23歳デアツタトイフ。

彼ノ研究ハ頗ル多方面ニ涉ツテキタガ、就中

微積分學ノ發見 (彼ノ死後9年ヲ經テ發表サレタ)

萬有引力ノ法則ノ發見 (有名ナプリンシピアノ中ニアル)

級數論

方程式論

ガ有名デア
ル。又二元一次方程式ノ代入法ニヨル解法モ指數ニ一般
ノ文字ヲ使用シタノモニュートンノ發見デア
ルトイハレテキル。彼
ハ又大ノ謙遜家デ (自分自ラヲ省ミレバ丁度海岸デ、ソココカラ
比較的滑カナ又美シイ小石ヤ貝殻ヲ探シテ遊ンデキル子供ノヤウナ
モノデ、眞理ノ大海ガ何モ發見サレナイデ、私ノ前ニ積ツテキル。)
ト云ツタトイフ。

ニュートン (1642—1727)



$(a+b)^2$ トカ $(a+b)^3$ ノヤウ
ナ簡單ナ計算ハ既ニ紀元
前ニ知ラレタコトデア
ルガ、二項式ノ何乗デモコレ
ヲ展開スルコトガ出来テ
如何ナル式トナルカトイ
フヤウナ定理ハニュート
ンノ發見シタモノデア
ル。

ニュートンハ英國リン

colnshire州ノ一寒村ノ農夫ノ子デア
ル。幼時ハ
虛弱デアリ臆病デアツタノデ、小學校ノ時代ニハ餘リ
成績モ振ハナカツタガ、20歳ノ時、ケンブリッジ大學ニ入
ルニ到ツテソノ才能ヲ現ハシ、殊ニ數學ニ於テソノ天
才ヲ發揮シ、當時有名ナ數學者デカルト、ヴィータ、ワリス
等ノ著書ヲ悉ク了解シタトイフコトデア
ル。二項定
理ヤ微分學積分學ヲ發見シ、方程式論ヲ著シテ忽チ世
界ノ大數學者トナリ、又物理學ニ於ケル萬有引力ノ法
則ヲ發見シテ、當時世界第一ノ科學者ト仰ガレルニ到
ツタ。

ニュートン Sir Isaac Newton 傳

ニュートンハ1642年12月25日リンcolnshire州ノウールズソルブ
トイフ片田舎ノ農家ノ子トシテ生まレ、1727年3月20日ロンドンデ死
ンダ。

彼ハ格蘭サムノ小學校ニ通學シテキタガ、其ノ頃ハ餘リ成績モ
振ハナカツタ。或ル時ニュートンヨリ成績ノヨイ生徒ノタメニ腹ヲ
蹴ラレテ、ソレカラ發奮遂ニ首席トナツタトイフ。併シ乍ラ彼ガ其
ノ天分ヲ發揮シタノハ1660年ケンブリッジノトリニティ一大學ニ入
學シテカラデア
ル。ニュートンハ生まレル少シ前ニ父ヲ失ヒ、タメ
ニ小學校卒業後ハ家業ノ手傳ヲスル筈デアツタガ、ニュートンガ餘
リニ學問ニ熱心デア
ルノヲ見タ母ハ遂ニ叔父ノ助力ヲ得テケンブリ
ッジヘト通ハセタノデア
ルガ、彼ハ大學デハ免費生トナツタ。

ニュートンハ偉大ナ直覺力ヲ持ツテキタ、ユークリッドノエレメ
ンツナドハ一讀シテ其ノ全部ヲ了解シタトイフコトデア
ル。デカル
トノ解析幾何ヤケプレルノ光學ナドニハ特ニ興味ヲ以テ之ヲ讀破シ
タトイフ。彼ノ獨創的研究ハ1664年頃カラ開始サレ、直チニ二項定
理ヲ發見シタ。時ハ年僅カニ23歳デアツタトイフ。

彼ノ研究ハ頗ル多方面ニ涉ツテキタガ、就中

微積分學ノ發見 (彼ノ死後9年ヲ經テ發表サレタ)

萬有引力ノ法則ノ發見 (有名ナプリンシピアノ中ニアル)

級數論

方程式論

ガ有名デア
ル。又二元一次方程式ノ代入法ニヨル解法モ指數ニ一般
ノ文字ヲ使用シタノモニュートンノ發見デア
ルトイハレテキル。彼
ハ又大ノ謙遜家デ (自分自ラヲ省ミレバ丁度海岸デ、ソココカラ
比較的滑カナ又美シイ小石ヤ貝殻ヲ探シテ遊ンデキル子供ノヤウナ
モノデ、眞理ノ大海ガ何モ發見サレナイデ、私ノ前ニ積ツテキル。)
ト云ツタトイフ。

二次方程式 Quadratic equation ハ第二學年ニ於ケル教材ノ中デ、最モ重要ナモノノ一ツデア。今マデ二次方程式ノ解法ヲ導クタメニ、根數及ビ根式ノ計算法モ相當ニ課シタノデア。ソノ中ニハ不必要ナモノモアリ又困難ナモノモアツタ。ソコデ二次方程式解法ニ必要ナ平方根ダケヲ授ケ、三乗根、四乗根等ハ一切授ケナイコトトシタ。ソシテ平方根ニツイテモ、ソノ複雑ナ計算ハ悉ク下卷ノ基本教材ノ復習及ビ補充ニ讓ルコトトシタ。

42. 純二次方程式ト數ノ平方根

二次方程式ノ中デ簡單ニ因數ニ分解サレルモノハ、207頁デ述ベタ。ソコデ因數分解ニヨラナイ一般ノ解法ヲ導クタメニ本書デハ

- (1) 純二次方程式 Pure Quadratic Equation $ax^2=c$ ノ解法ニヨツテ平方根ヲ導キ平方根ノ計算法ヲ授ケ、次デ
- (2) 完全平方ヲ作ルコトニヨツテ解ク法ヲ授ケテ、
- (3) 根ノ公式

ヘト導クコトニシタ。從ツテ極メテ圓滑ニ教授シ得ルモノト信ズル。

二次方程式ノ歴史ニツイテ

二次方程式ヲ最初ニ取扱ツタノハ現在殘ツテキルモノカラ考ヘテ、大古埃及ニ於テデア。埃及デハ、書物ハ沼地ニ繁ル植物「パピルス」ノ葉ヲ用ヒテ書イテキタタメ、現在種々ノ「パピルス」ニ書カレタ書物ガ殘ツテキル。數學ノ書物デ最モ有名ナノハアーメス Armesノ

42. 純二次方程式ト數ノ平方根

問1 面積ガ100平方米ノ正方形ノ土地ノ一邊ノ長サハ何米カ。

問2 廣サガ $\frac{4}{9}$ 平方米ノ正方形ノ布ヲ作ルニハ一邊ノ長サヲ何程ニスレバヨイカ。

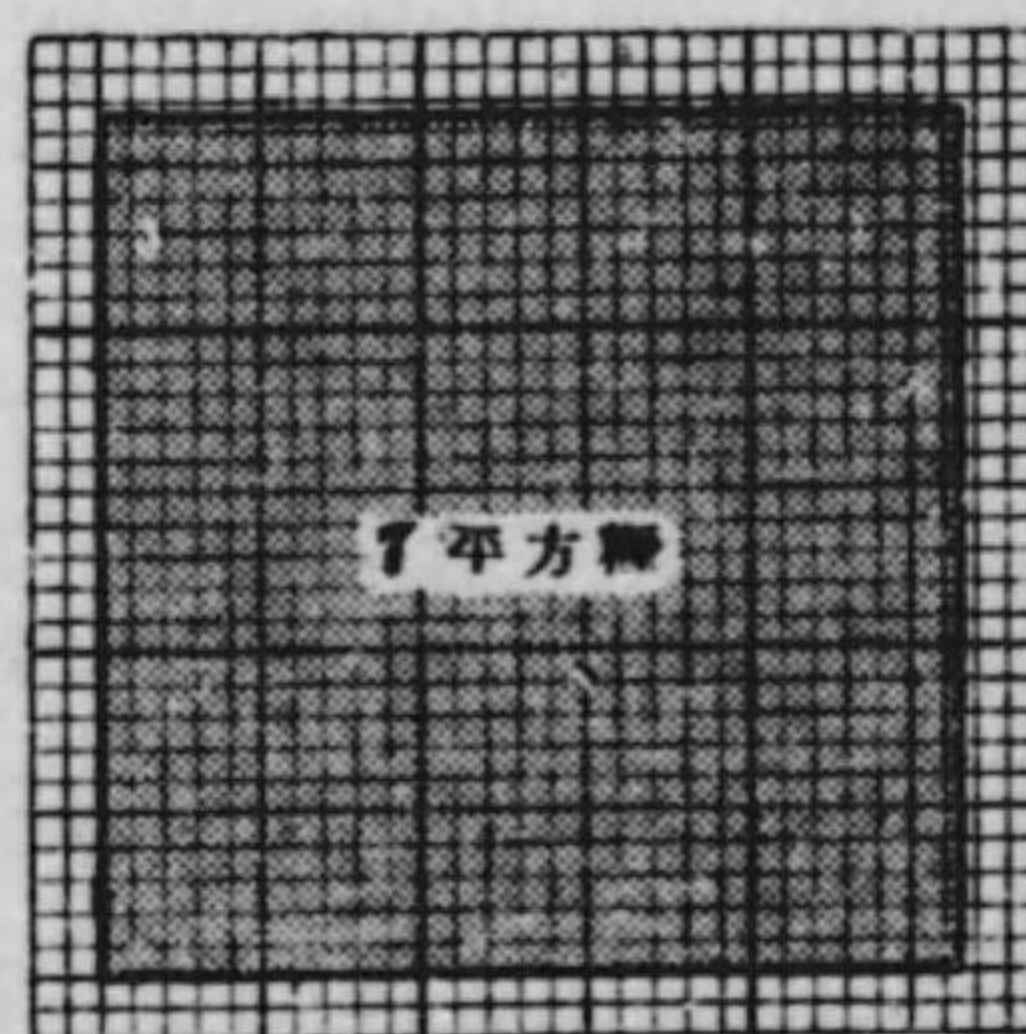
問3 面積ガ7平方糎ノ正方形ノ一邊ノ長サハ何程カ。

問1,問2デハ一邊ノ長サヲ x m,
問3デハ x cmトスレバ正方形ノ面積ヲ表ハス數ハ何レモ x^2 デア
ルカラ、夫々次ノ方程式ガ出來ル。

$$(一) x^2=100, \quad (二) x^2=\frac{4}{9}, \quad (三) x^2=7$$

此等ハ何レモ一次ノ項ノナイ二次方程式デア。ルカラコレヲ純二次方程式トイフ。

問1, 問2ノ答ハ夫々整數ト分數トデ正確ニ表ハサレルガ、問3ノ答ハ今マデニ知ツテキル整數, 小數, 分數等デハ正確ニ表ハスコト



ガ出来ナイ。ソレ故其ノ値ヲ知ラウトスルニハ小數ノ或ル桁マデヲ近似値トシテ取ルヨリ他ニ仕方ガナイ。此ノ値ノ小數第三位マデノ近似値ハ或ル方法デ求メルト2.646 cmデアアル。即チ

$$(2.646)^2 \text{ ハ 略 } 7 \text{ ニ 等 シ イ。}$$

問4 $(-10)^2$, $(-\frac{2}{3})^2$, $(-2.646)^2$ ハ夫々何程カ。

前頁ノ問デハ一邊ノ長サハ正數デアアルカラ答ハ各唯一通リシカ得ラレナイガ(一),(二)(三)ノ方程式ノ根,即チ二乗スレバ,100, $\frac{4}{9}$, 7トナル數ハ夫々10ト-10, $\frac{2}{3}$ ト $-\frac{2}{3}$, 約2.646ト-2.646ノ二ツ宛アル。

二乗スレバ或ル正數トナル數ハ常ニ二ツアツテ,其ノ二數ハ絶対値等シク符號ガ反對デアアル。

此ノ二數ヲ其ノ正數ノ平方根トイフ。

例ヘバ100ノ平方根ハ10ト-10, $\frac{4}{9}$ ノ平方根ハ $\frac{2}{3}$ ト $-\frac{2}{3}$, 7ノ平方根ノ近似値ハ2.646ト-2.646トデアアル。

書イタトイハレルリンド・パピルス Rhind Papyrus デアルガ, 其ノ他ニモ例ヘバベルリン・パピルス Berlin Papyrus ナドモアル。其ノベルリン・パピルスノ中ニハ次ノヤウナ問題ガアツテ, コレガ世界デ最初ノ二次方程式(聯立)デアアルマイカトイハレテキル。

“To divide 100 square cubits into two squares the sides of which are in the ratio $1:\frac{3}{4}$.”

“100平方「キュービット」ヲ二ツノ正方形ニ分チ, 其ノ二ツノ正方形ノ一邊ノ比ヲシテ $1:\frac{3}{4}$ ナラシメヨ。”

デ, コレヲ方程式デ示スト

$$\begin{cases} x^2 + y^2 = 100 \cdots \cdots \cdots (1) \\ x:y = 1:\frac{3}{4} \cdots \cdots \text{又ハ } y = \frac{3}{4}x \cdots \cdots (2) \end{cases}$$

此ノ解法ガ又極メテ面白イモノデアアル。即チ

$$x=1 \text{ ト 假定スレバ, (2) カラ } y = \frac{3}{4}$$

故ニ $x^2 + y^2 = \frac{25}{16}$ 然ルニ $x^2 + y^2 = 100$ デアルカラ $\frac{25}{16}$ ヲ100ニスルタメニハソノ64倍ヲシナケレバナラナイ。故ニ眞ノ x, y ノ値ハ夫々 $1, \frac{3}{4}$ ノ8倍デナケレバナラナイ。答 $x=8, y=6$ 次ニピタゴラス Pythagoras ナドハ二ツノ平方數ノ和ガ又一ツノ平方數トナルヤウナ不定方程式 $x^2 + y^2 = z^2$ ヲ取扱フコトニヨツテ,

$$\begin{aligned} n^2 + \left\{ \frac{1}{2}(n^2 - 1) \right\}^2 &= \left\{ \frac{1}{2}(n^2 + 1) \right\}^2 \\ (2n)^2 + (n^2 - 1)^2 &= (n^2 + 1)^2 \end{aligned}$$

ナル公式ヲ得タノデアアル。

アルキメデス Archimedes ニ至ツテハ $t^2 - 472949u^2 = 1$ トイフベル Pell ノ不定方程式ヲ解イタトイフコトデアアル。

一元二次方程式 $ax^2 + bx = c$ (a, b, c ハ悉ク正) ヲ解イタ最初ノ人

ハ恐ラクヘロン Heron デアルマイカト云ハレテキル。ヘロンハ凡ソ紀元50年頃活動シタ人デ、正方形ノ面積ト周トノ和ヲ與ヘテ正方形ノ一邊ヲ求メタノデアル。x²+4x=896 ヲ解イテ更ニ後ニ一般ニ

ax²+bx=c (a, b, c ハ悉ク正) ヲ解イテ

x = [sqrt(ac + (b/2)^2) - b/2] / a ヲ得タ。

然ルニギリシヤ代數學ノ修辭的代數學 Rhetric algebra ヲ打破シテ記號的代數學 Symbolic algebra ヘト方向ノ轉換ヲ圖ツタ代數學ノ鼻祖トモイフベキ、彼ノディオファントス Diophantus ハ

mx²+px=q(1)

mx²=px+q(2)

mx²+q=px(3)

ノ三種ノ方程式ヲ解イテ夫々次ノ根ヲ得タ。

(1) sqrt(1/4 p^2 + mq) - 1/2 p / m (2) sqrt(1/4 p^2 + mq) + 1/2 p / m

(3) sqrt(1/4 p^2 - mq) + 1/2 p / m

上ノ(1), (2), (3) ノ方程式ハ今日ノ ax²+bx+c=0 =於テaハ常ニ正ト假定シテソノ一般性ハ保タレルカラ、b, c, ガ正負ノ場合ヲ考フレバ、a, b, c 悉ク正ナル場合ガナイダケデ後ハ總テノ場合ヲ盡シテキル。蓋シ當時ハ未ダ負根ヲ認メナイ時代デアアルカラ ax²+bx+c=0 =於テ、a, b, c 總テガ正ノトキハ、正根ヲ有シナイ爲、初メカラ考ヘナカツタモノデアアルマイカ。シテ見ルトディオファントス ハ當時ニ於ケルアラユル場合ヲ網羅シテ解イタモノトイフベキデアアル。彼ハ

325x²=3x+18 カラ x = 78/325 = 6/25

84x²+7x=7 カラ x = 1/4 ヲ得タ。

何レニシテモ根ハ唯一ツダケシカ考ヘテハキナイ。

注意 二乗シテ負數トナルヤウナ數ハ正數,負數ノ範圍内ニハナイ。

一ツノ正數 a ノ平方根ノ中ノ正數ノ方ヲ sqrt(a) デ表ハシテ平方根 a ト讀ミ,負數ノ方ハ -sqrt(a) デ表ハシテマイナス平方根 a ト讀ム。又 sqrt() ヲ根號トイフ。

例ヘバ 100 ノ平方根ノ中,正數ノ方ハ 10 デ

アルカラ sqrt(100)=10 故ニ -sqrt(100)=-10

同様ニ sqrt(4/9)=2/3 -sqrt(4/9)=-2/3

sqrt(7)=2.646 -sqrt(7)=-2.646

注意 [100ノ平方根]ト言ヘバ10ト-10トヲ指シ, sqrt(100) ハ 100ノ二ツノ平方根ノ中ノ正數ノ方即チ 10ダケヲ表ハス。

從ツテ a ガ或ル正數ヲ表ハストキ,方程式

x²=a

ノ正根ハ sqrt(a) デ,負根ハ -sqrt(a) デアル。

コレヲ複(符)號ヲ用ヒテ[此ノ方程式ノ根ハ ±sqrt(a) デアル]ト言ツテモヨイ。

問5 次ノ各方程式ノ根ヲ複號ヲ用ヒテ言ヘ。

$$x^2=9, \quad x^2-400=0, \quad x^2=2\frac{14}{25}$$

數ノ平方根ノ中ノ正ノ方ヲ求メルコトヲ其ノ數ヲ平方ニ開クトイヒ、ソノタメニ行フ計算ヲ開平トイフ。

平方根ガ整數、小數、分數等デ正確ニ表ハサレル數ハ平方ニ開キ切レルトイヒ、サウデナイモノハ開キ切レナイトイフ。

25, $\frac{4}{9}$ 等ハ平方ニ開キ切レ、17ハ平方ニ開キ切レナイ。一般ノ正數ノ開平法ハ 219 頁以後デ述ベル。本書ニハ卷末ニ列數字ノ桁數ガ餘リ多クナイ正ノ整數ノ正ノ平方根(開キ切レナイ數ニ對シテハ小數第三位マデノ近似値)ノ表ガ附ケテアル。

例一 $\sqrt{545}$ ノ値ヲ卷末ノ表ニヨツテ求メヨ。

解 表中、數ノ行ノ所デ 545ヲ求メ、ソノ列デ平方根ノ行ノ所ヲ見テ 23.345ヲ得ル。

答 23.345

注意 [545ノ平方根]ヲ求メルノデアルナラバ ± 23.345 ト答ヘナケレバナラス。

平方根號 $\sqrt{\quad}$ ニツイテ

正ノ數 a ノ平方根ニハ正ト負トノ二ツガアツテ、ソレヲ表ハスニハ夫々 $+\sqrt{a}$ 及ビ $-\sqrt{a}$ ヲ以テスル。併シ $+\sqrt{a}$ ノ前ノ $+$ ハ通常省イテ唯單ニ \sqrt{a} デ表ハシコレヲ平方根 a (又ハル $\sqrt{\quad}$ ト a 等)トイツテ、 a ノ平方根トハイハナイ。 a ノ平方根ノ中、正ノミヲ表ハスモノトスル。謂ハバ算術的平方根ヲ表ハスモノデアル。

一般ニ $\sqrt[n]{a}$ ハ a ノ算術的 n 乗根ヲ表ハス規約デアル。

コレニ對シテ我が國ノ數學者ノ中ニハ $\sqrt{\quad}$ ハ總テノ平方根ヲ表シ、上ノ規約ハ撤廢シタ方ガヨイトイフ人モアルガ、コレハ實際教授ニ當ルト非常ニ困ルコトデアル。高木博士ノ高等教育代數學170頁ニ於テ $x+\sqrt{x-4}=6$ ヲ解イテ $x=5, x=8$ ト二ツヲ共ニ採用サレテ、附加シテ

「元來 $\sqrt{x-4}$ ハ $x-4$ ノ平方根ノ二ツノ値ノ中、必ズ正ナルモノヲ表ハスト限ラレタルニ非ズシテ、平方シテ始メテ $x-4$ トナルモノヲ表ハセルナリ」ト。

例一 卷末ノ表ノ使用ノ例デアル。

卷末ニハ二種類ノ表ガアル。即チ表ノ第一頁ノ平方、立方、平方根、立方根ノ表(コレヲ第一表ト名附ケル)ト、第二頁カラ第五頁マデ(平方根表 1,2,3,4)ノ平方根表(コレヲ第二表ト名附ケル)トデアル。

第一表ハ1カラ100マデノ數ニツイテノ平方、立方、平方根、立方根ノ表デ。簡單デハアルガ相當ニ活用サレル表デアル。

第二表ハ101カラ1100マデノ數ノ平方根ダケノ表デ、第一表、第二表ヲ通ジテ1カラ1100マデノ數ノ平方根ガ小數第三位マデ求メテアル。例一ノ $\sqrt{545}$ ハ勿論第二表ニアル。

表ノ使用ニツイテ

表ノ使用ニ慣レルトイフコトハ我等ノ日常生活ニ最モ必要ナコトデアル。學校數學ガ徒ニ受験數學ニ没頭シテ、數學ノ持つ大キナ使命ヲ忘レテハナラナイ。我々ハ器械的計算ヲ次ノヤウニ分類シテ考ヘル。

- 1. 暗算
- 2. 筆算
- 3. 器械ニヨル計算 (計算尺, 算盤等)
- 4. 表ニヨル計算 (平方, 立方, 平方根, 立方根ノ表, 複利表, 對數表等)
- 5. 圖表ニヨル計算

例二 方程式ノ無理根ニツイテ,

方程式ヲ解イテソノ結果無理數トナツタトキ, 多クノ人ハソノママヲ以テ答トシテキル。併シ \sqrt{a} ノヤウニ根號内ガ文字ナラバ止ムヲ得ナイガ, サモナケレバ近似値ヲ以テ答ヘルベキデアル。無理數ノママノ答デハ根ノ實感ガ湧カナイシ, 又非實用的デアル。尤モ無理方程式ノ根ノ検査ナドノ時ハ無理數ノママ検査シ, 然ル後無縁根ヲ除イタモノニツイテ近似値デ答ヘルノデアル。

問題

- | | |
|--------------------------|---------------------------|
| 5 $\sqrt{91} = 9.539$ | (5) $\sqrt{679} = 26.058$ |
| $\sqrt{200} = 14.142$ | $\sqrt{13} = 3.605$ |
| 6 $\sqrt{1023} = 31.984$ | (6) $\sqrt{254} = 15.937$ |
| $\sqrt{389} = 19.723$ | $\sqrt{425} = 20.616$ |
| 7 $x^2 - 15 = 0$ | (7) $x^2 - 19 = 0$ |
| $\sqrt{15} = 3.872$ | $\sqrt{19} = 4.358$ |
| 8 $x^2 = 3$ | (8) $x^2 = 431$ |
| $\sqrt{3} = 1.732$ | $\sqrt{431} = 20.761$ |
| 9 $x^2 - 123 = 0$ | (9) $x^2 - 700 = 0$ |
| $\sqrt{123} = 11.091$ | $\sqrt{700} = 26.458$ |
| 10 $y^2 - 577 = 0$ | (10) $y - 101 = 0$ |
| $\sqrt{577} = 24.021$ | $\sqrt{101} = 10.050$ |

例二 方程式 $x^2 - 331 = 0$ ヲ解ケ。

解

$$x^2 - 331 = 0$$

$$x^2 = 331$$

$$x = \pm \sqrt{331}$$

計算ヲ此處デ止メラ此ノ方程式ノ根ハ $\pm \sqrt{331}$ デアルト答ヘルコトモアルガ, コノママデハソノ實際ノ値ヲ知ルコトガムヅカシイカラ, 例一ノヤウニ卷末ノ表カラソノ近似値ヲ求メラ ± 18.193 ヲ答トスル方ガヨイ。

答 ± 18.193

問題

次ノ數ノ値ヲ卷末ノ表ニヨツテ求メヨ。 5-(6)

- | | |
|-----------------------------|------------------------------|
| 5 $\sqrt{91}, \sqrt{200}$ | (5) $\sqrt{679}, \sqrt{13}$ |
| 6 $\sqrt{1023}, \sqrt{389}$ | (6) $\sqrt{254}, \sqrt{425}$ |

次ノ方程式ヲ解イテ根ノ近似値ヲ求メヨ。 7-(10)

- | | |
|--------------------|----------------------|
| 7 $x^2 - 15 = 0$ | (7) $x^2 - 19 = 0$ |
| 8 $x^2 = 3$ | (8) $x^2 = 431$ |
| 9 $x^2 - 123 = 0$ | (9) $x^2 - 700 = 0$ |
| 10 $y^2 - 577 = 0$ | (10) $y^2 - 101 = 0$ |

問6 次ノ數ノ値ヲ言ヘ。

$$\sqrt{4}, \sqrt{400}, \sqrt{40000}, \sqrt{25}, \sqrt{2500}, \sqrt{0.25};$$

$$\sqrt{7} = 2.646, \sqrt{700}, \sqrt{70000}, \sqrt{0.07};$$

$$\sqrt{95} = 9.747, \sqrt{9500}, \sqrt{950000}, \sqrt{0.95}, \sqrt{0.0095}$$

上ノ問デ分ルヤウニ數ガ100倍, 10000倍トナレバ平方根(正)ハ10倍, 100倍トナリ, 數ガ $\frac{1}{100}$, $\frac{1}{10000}$ トナレバ平方根ハ $\frac{1}{10}$, $\frac{1}{100}$ トナル。即チ

列數字ガ同一デ小數點ノ位置ガ偶數桁ダケ異ナル數ノ平方根ハ唯小數點ノ位置ガ異ナルダケテ列數字ハ皆同一デアアル。

例三 $\sqrt{4.58}$ ノ近似値ヲ求メヨ。

解 4.58ハ表ノ數ノ中ニハナイ。

併シ 4.58ハ 458ノ $\frac{1}{100}$ デアアルカラ

$$\sqrt{4.58}ハ\sqrt{458}ノ\frac{1}{10}デアアル。$$

表ニヨリ $\sqrt{458} = 21.401$

ソレ故 $\sqrt{4.58} = \underline{2.1401} \dots \dots$ 答

表中ニナイ數ノ平方根(正)ヲ表ニヨツテ求メルコト。

表ノ中ノ數カラ直チニ得ラレル平方根ハ容易ニ讀ミ得ルノデアアルガ, 表中ニナイ數ノ平方根ハ如何ニシテ求メルカ。コレガ實ハ表ヲ活用スルニ重要ナコトデアアル。例三ハソノ意味デ出シタノデアアル。表中ニナイ數ノ平方根ヲ讀ムニハ茲ニ二ツノ階段ニ分ケテ教授スルヲ要スル。

(1) 或ル數ト其ノ平方根ノ位取ノ關係

(2) 比例部分ノ法則

トガ即チソレデアアル。

或ル數ト其ノ平方根ノ關係ハ問6ヲ取扱フコトニヨツテ發見的ニ導クコトガ出來テ其ノ結果ニヨツテ例三ヲ課スルノデアアル。

比例部分ノ理ハ次頁デ説明シ, ソノ實際ノ方法ハ更ニ其ノ次ノ頁デ説明スルノデアアルガ, 此ノ比例部分ノ理ハ, 對數表, 三角函數ノ眞數表, 逆數表等殆ド總テノ表ニ通ジテ用ヒラレル方法デ極メテ便利ナモノデアアル。

比例部分ノ理

215頁ノ圖ハx軸上ニ \sqrt{N} ヲ取りy軸上ニNヲトツタモノデ, コレヲ方程式デ示スト $\sqrt{y} = x$ トナル。

茲ニ x, y ヲ共ニ正ノ數ト限定シテ上ノ方程式ヲ $y = x^2$ ノヤウニ變形スレバコレハ標準拋物線ヲ示スモノデアアルガ, 勿論與ヘラレタ條件カラグラフハ第一象限内ノミニシカナイ。

故ニ勿論コノグラフハ曲線デアツテ直線デハナイガ, 其ノ一小部分ハ直線デアルト見做スノデアアル。コレガ比例部分ノ法則デアツテ, コレヲ式ヲ用ヒテ證明スルコトハ相當ニ困難ナコトデ, 勿論初等數學ノ範圍ヲ超エタコトデアアルガ, 今參考ノタメニ述ベヨウ。

前頁ノコトヲ應用シテ次ノ數ノ近似値ヲ表ニヨツテ求メルコトガ出來ル。

例四 $\sqrt{45.8}$ ノ近似値ヲ求メヨ。

解 45.8モコレト小數點ノ位置ガ二桁違フ4580モ表ノ數ノ中ニナイ。45.8ト458トハ小數點ノ位置ガ一桁(奇數桁)違ツテキルカラ $\sqrt{45.8}$ ト $\sqrt{458}$ トノ列數字ハ違フ。ソコデコノ場合ハ次ノヤウニスル。

$$45 < 45.8 < 46$$

$$\sqrt{45} < \sqrt{45.8} < \sqrt{46}$$

表ニヨリ $\sqrt{46} = 6.782$

$$\sqrt{45} = 6.708$$

即チ數ノ差1ニ對スル平方根ノ差ハ0.074

今 $\sqrt{45}$ ト $\sqrt{45.8}$ トノ差ヲ x トシ、

數ノ差0.8ニ對スル平方根ノ差 x ヲ求メルニ、

$$x = 0.074 \times 0.8$$

$$= 0.0592$$

$$\sqrt{45.8} = \sqrt{45} + 0.0592$$

$$= 6.708 + 0.0592 = \underline{6.767} \dots \dots \text{答}$$

$$\text{從ツテ } \frac{\left(1 + \frac{\epsilon}{N}\right)^{\frac{1}{2}} - 1}{\left(1 + \frac{\delta}{N}\right)^{\frac{1}{2}} - 1} = \frac{1 + \frac{1}{2} \cdot \frac{\epsilon}{N} - 1}{1 + \frac{1}{2} \cdot \frac{\delta}{N} - 1} = \frac{\frac{1}{2} \cdot \frac{\epsilon}{N}}{\frac{1}{2} \cdot \frac{\delta}{N}} = \frac{\epsilon}{\delta}$$

$$\text{故ニ } \frac{\epsilon}{\delta} = \frac{\sqrt{N+\epsilon} - \sqrt{N}}{\sqrt{N+\delta} - \sqrt{N}} \quad \text{デアル。}$$

尙例四ニツイテ此ノ比例部分ノ理ヲ驗シテ見ヨウ。

例四デハ $N=45$, $\epsilon=0.8$, $\delta=1$ ノ場合ト見ルコトガ出來ル。卷末ノ表デハ δ ハ常ニ1デアル。

$$\frac{\epsilon}{\delta} = \frac{0.8}{1} = 0.8$$

$$\frac{\sqrt{N+\epsilon} - \sqrt{N}}{\sqrt{N+\delta} - \sqrt{N}} = \frac{\sqrt{45.8} - \sqrt{45}}{\sqrt{46} - \sqrt{45}} = \frac{\left(1 + \frac{0.8}{45}\right)^{\frac{1}{2}} - 1}{\left(1 + \frac{1}{45}\right)^{\frac{1}{2}} - 1}$$

$$\begin{aligned} \left(1 + \frac{0.8}{45}\right)^{\frac{1}{2}} &= 1 + \frac{1}{2} \times \frac{0.8}{45} - \frac{1}{8} \times \left(\frac{0.8}{45}\right)^2 + \frac{1}{16} \left(\frac{0.8}{45}\right)^3 - \dots \dots \\ &= 1 + 0.008 - 0.00004 + 0.00000035 - \dots \dots \\ &= 1.00885 \text{弱} \end{aligned}$$

トナツテ $\left(\frac{\epsilon}{N}\right)^2$ ノ項ハ小數第5位ニ影響ガアルダケデアル。

$$\begin{aligned} \left(1 + \frac{1}{45}\right)^{\frac{1}{2}} &= 1 + \frac{1}{2} \times \frac{1}{45} - \frac{1}{8} \times \left(\frac{1}{45}\right)^2 + \frac{1}{16} \left(\frac{1}{45}\right)^3 - \dots \dots \\ &= 1 + 0.0111\bar{1} - 0.00006 + \dots \dots \\ &= 1.01105 \text{強} \end{aligned}$$

トナツテ $\left(\frac{\delta}{N}\right)^2$ ノ項ハ小數第5位ニ影響ガアルダケデアル。

$$\frac{\sqrt{N+\epsilon} - \sqrt{N}}{\sqrt{N+\delta} - \sqrt{N}} = \frac{0.00885}{0.01105} = \frac{0.008}{0.01} = \frac{0.8}{1.1} = \frac{8}{11} = 0.8$$

根號 $\sqrt{\quad}$ ノ歴史

根號ハ餘程以前カラ用ヒラレテキタモノラシク Kahun =ヨツテ 發見サレタ埃及ノ「パピルス」ノ中ニ平方根號トシテ 「ガ既=用ヒラレテアル。此ノ太古埃及ノ時代カラズツト降ツテ、アラビヤカラ 歐洲ニ數學ガ擴マツタトキ即チ年代デハ第12世紀ニナルガ、ソノ頃カラ根號モ色々ナ形デ使ハレテキタ。即チ

R(radix), l(latus), $\sqrt{\quad}$, 分數指數 ノヤウニ色々ニ變化シタノデアアル。latus ハ正方形ノ一邊ノ義デアアル。尤モ詳細ニ研究スレバ根號トシテ $\sqrt{\quad}$ ヲ用ヒルマデニハ色々ノ記號ヲ用ヒタノデアツテ、或ル人ハ點(·)ヲ以テ $\sqrt{\quad}$; 點(··)デ $\sqrt{\sqrt{\quad}}$, 點(···)デ $\sqrt[3]{\quad}$ ヲ表シ、又或ル人ハ R, r $\sqrt{\quad}$ ノヤウナ記號ヲ用ヒテキタ。 $\sqrt{\quad}$ ハ radix ノ r ヲ取ツテ變化シタモノデアルトイフノハオイレル Euler ノ説デ最近マデハ非常ニ有力ナ説デアツタガ、 $\sqrt{\quad}$ ハ必ズシモサウデナイラシイ。抑、 $\sqrt{\quad}$ ノ記號ヲ用ヒタノハ獨逸デアアルガ、獨逸ニアル古イ寫本ト古イ印刷本トノ比較研究カラ、點ガ段々變化サレテ行ツタモノデアラシイ。

不盡根數ニツイテ

根數ノ中デ開キキレナイモノガ即チ不盡根數デアアル。不盡根數ハ無理數ノ一種デアアル。換言スレバ整數デモ、分數デモ表ハシ得ナイ數デアアル。コレヲ小數ニ直スト不循環無限小數トナルノデアアル。即チ

有理數	整數 分數	有限小數.....(分母ガ2ト5ノミノ合成數)	純循環小數.....(分母ニハ2,5ノ因數ヲ含マヌ) 混循環小數.....(分母ガ2又ハ5及ビ他ノ數トノ合成數)
		循環小數	
無理數	π, e 不盡根數 log a, sin A等不循環無限小數	

$\sqrt{2}$ ガ無理數デアルコトノ證明

$\sqrt{2}$ ガ無理數デアルコトヲ證明スルニハ、 $\sqrt{2}$ ハ有理數中ニハ存在シナイコトヲ云ヘバヨイ。今コレヲ證明スルニ

$$1^2=1, \quad 2^2=4 \text{ デ, } (\sqrt{2})^2=2 \text{ デアルカラ}$$

$$\sqrt{2} \approx 1, \quad \sqrt{2} \approx 2, \quad \text{且 } 2 > \sqrt{2} > 1$$

デアツテ、 $\sqrt{2}$ ハ整數デハナイコトガワカル。ソコデ $\sqrt{2}$ ガ分數デナイコトヲイヘバヨイコトニナル。ソノタメニ間接法デ證明シテ

$$\text{見ヨウ。 } \sqrt{2} = \frac{q}{p} \quad \left(\frac{q}{p} \text{ ハ既約分數トスル。} \right)$$

$$\text{トスレバ } 2 = \frac{q^2}{p^2} \quad \text{即チ } 2p^2 = q^2$$

左邊ハ $2p^2$ デアルカラ2デ整除サレル。故ニ右邊モ2デ整除サレネバナラナイ。故ニ $q=2r$ トスレバ

$$2p^2 = 4r^2 \quad \therefore p^2 = 2r^2$$

故ニ p ハ又2デ整除サレル。コレハ p ト q トガ互ニ素デアルトイフ假定ニ反スル。即チ $\sqrt{2}$ ハ分數デハナイ。

故ニ $\sqrt{2}$ ハ有理數デハナクテ無理數デアアル。

10以下ノ整數ノ平方根

10以下ノ整數ノ平方根ハ表ヲ見ルマデモナク記憶サセルガヨイ。

$\sqrt{1}=1$

$$\sqrt{2}=1.41421356$$

ひと後一後に入見ごう
人よ人よ

$$\sqrt{3}=1.7320508$$

ひとなみにいごれや
人なみに

$\sqrt{4}=2$

$$\sqrt{5}=2.236068$$

似(た)に見られむは

$$\sqrt{6}=2.44949$$

似(た)よよくよく

$$\sqrt{7}=2.64575$$

葉に虫居ない

$\sqrt{8}=2\sqrt{2}$

$\sqrt{9}=3$

$$\sqrt{10}=3.162(27)$$

十分見(て)たらう見まん

無理数の歴史

無理数の量ヲ測ル上ニ其ノ必要上カラ起ツタモノデア。負數ヤ虚數ハ共ニ其ノ起源ハ代數方程式ノ解法ニアルガ、無理數ハサウデハナイ。正方形ノ一邊デ對角線ノ長サヲ測ルトキ、又ハ直徑デ圓ノ周ヲ測ルトキノヤウニ、量ヲ測ルノニ整數ヤ分數ノミデハ不足スルヤウニナツタノデ生マレタノガ無理數デア。

Incommensurable quantities (不可通約量)ノ考ヘハ Euclid (ユークリッド)及ピソレ以前ノ學者ニモアツタ。特ニユークリッドノ比例論ノ如キハ所謂今日ノ無理數論ノ先驅ヲナスモノデエレメンツ, Elements 中最モ理論整然トシテキルトイハレテキル。併シソレハ未ダ數トシテハ考ヘラレナカツタ。歐洲デ無理數ヲ數ト考ヘルヤウニナツタノハ16世紀ノ頃デ、ミカエル・スティフェル Michael Stifel ハ「無理數ハ有理數ノヤウニ大イサノ順序ニ排列サレタ數列ノ中デ、一意的ニ定マツタ場所ヲ有スルモノデア。」トイツタガ、ソノ頃ノ無理數ハ $\sqrt{2}$, $\sqrt{3}$ 等ノヤウナ簡單ナ不盡根數デアツタ。デカルトノ解析幾何(1637), ニュートン及ビライブニツノ微積分學(前者1684, 後者1687)ノ創設ニヨツテ無理數ハ非常ニ開拓サレタ。16世紀ノ頃カラ無理數ハ近似的ニ小數デアラハサレ、1613年ニハピートロ・カタルディ Pietro Cataldi ハ平方根ノ計算ニ無限連分數ヲ用ヒ、オイレル Euler ハ無理數ハ無限連分數トナルコトヲ證明シ、 e , e^2 ノ無理數デアルコトヲ證明シタ。後連分數ノ助ヲ藉ツテ ラムベルト Heinrich Lambert ハ π , e^x , $\log a$, $\tan a$ 等ガ無理數デアルコトヲ證明シ、ルジャンドル Legendre ハ π^2 ガ無理數デアルコトヲ證明シタ。

遂ニ ワイヤーストラス Weierstrass (1815-1897), デデキンド Dedekind, カントール Cantor 等ニヨツテ無理數ハ有理數ノ截斷ニヨツテ定義サレルヤウニナツタ。

普通ノ數ト他ノ開キ切レナイ數ノ平方根トノ積、例ヘバ、 2 ト $\sqrt{5}$ トノ積ハ $2\sqrt{5}$ ト書イテ、 2 平方根 5 (又ハ 2 倍ノ平方根 5)ト讀ミ、 $\frac{2}{5}$ ト $\sqrt{7}$ トノ積ハ $\frac{2}{5}\sqrt{7}$ 又ハ $\frac{2\sqrt{7}}{5}$ ト書イテ $\frac{2}{5}$ 平方根 7 ト讀ム。

$\sqrt{3}$, $-\frac{3}{5}\sqrt{7}$ ノヤウニ根號ヲ持ツ數ヲ根數ト言ヒ、ソレ等ノ中、根號及ビ其ノ根號内ノ數トガ全ク同一デアアルモノヲ同類根數トイフ。

例ヘバ $5\sqrt{7}$ ト $-3\sqrt{7}$, $\frac{2}{5}\sqrt{17}$ ト $-1\frac{1}{6}\sqrt{17}$ トハ各同類根數デア。

問7 $5\sqrt{3}+2\sqrt{3}$ 及ビ $8\sqrt{5}-2\sqrt{5}$ ヲ簡單ニセヨ。

同類根數ヲ加減スルコトハ代數式デ同類項ヲ加減スルノト全ク同様デア。

例五 $2\sqrt{5}-3\sqrt{2}$ カラ $5\sqrt{2}-4\sqrt{5}$ ヲ引ケ。

$$\begin{aligned} \text{解 } & (2\sqrt{5}-3\sqrt{2})-(5\sqrt{2}-4\sqrt{5}) \\ & = 2\sqrt{5}-3\sqrt{2}-5\sqrt{2}+4\sqrt{5} \\ & = \underline{6\sqrt{5}-8\sqrt{2}} \cdots \cdots \text{答} \end{aligned}$$

或ル式ノ數値ノ近似値ヲ求メル場合ニハ、
其ノ式ノ中ニ同類根數ガアレバ先ツ簡約シ
テ後計算スルガヨイ。

問 題

次ノ數ノ近似値ヲ表ニヨツテ求メヨ。 11-(12)

11	$\sqrt{6}$, $\sqrt{10}$	(11)	$\sqrt{60}$, $\sqrt{85}$
12	$\sqrt{235}$, $\sqrt{2.35}$	(12)	$\sqrt{683}$, $\sqrt{6.83}$

次ノ式ヲ簡單ニセヨ。 13-(20)

13	$2\sqrt{3} + 5\sqrt{3}$	(13)	$6\sqrt{5} - 3\sqrt{5}$
14	$\sqrt{13} - 3\sqrt{13} + 8\sqrt{13}$	(14)	$4\sqrt{7} + 10\sqrt{7} - 18\sqrt{7}$
15	$\frac{\sqrt{2}}{3} - \frac{\sqrt{2}}{5}$	(15)	$\frac{3\sqrt{6}}{4} - \frac{\sqrt{6}}{2}$

16 $\sqrt{3} + 3\sqrt{2} - 7\sqrt{3} + 5\sqrt{2}$
(16) $6\sqrt{5} + 12\sqrt{7} + 4\sqrt{5} - 2\sqrt{7}$

17 $(5\sqrt{5} - 3\sqrt{7}) + (-2\sqrt{7} + 3\sqrt{5})$
(17) $(4\sqrt{3} - 8\sqrt{10}) - (7\sqrt{10} - 10\sqrt{3})$

18	$\sqrt{3} \times \sqrt{3} \times \sqrt{3}$	(18)	$\sqrt{5} \times \sqrt{5} \times \sqrt{5}$ $\times \sqrt{5} \times \sqrt{5}$
----	--	------	---

注意 $\sqrt{3} \times \sqrt{3} = 3$, $(\sqrt{5})^2 = 5$

19	$3\sqrt{2} \times 5\sqrt{2} \times \sqrt{2}$	(19)	$2\sqrt{6} \times 10\sqrt{6} \times \sqrt{6}$
----	--	------	---

20	$(\sqrt{7})^4$	(20)	$(\sqrt{10})^6$
----	----------------	------	-----------------

問 題

11 $\sqrt{6} = 2.449$, $\sqrt{10} = 3.162$ (11) $\sqrt{60} = 7.745$, $\sqrt{85} = 9.219$

12 $\sqrt{235} = 15.330$ (12) $\sqrt{683} = 26.134$
 $\sqrt{2.35} = 1.533$ $\sqrt{6.83} = 2.613$

13 $2\sqrt{3} + 5\sqrt{3} = 7\sqrt{3}$ (13) $6\sqrt{5} - 3\sqrt{5} = 3\sqrt{5}$
 $= 7 \times 1.732 = 12.124$ $= 3 \times 2.236 = 6.708$

14 $\sqrt{13} - 3\sqrt{13} + 8\sqrt{13}$ (14) $4\sqrt{7} + 10\sqrt{7} - 18\sqrt{7}$
 $= 6\sqrt{13} = 6 \times 3.605 = 21.630$ $= -4\sqrt{7} = -4 \times 2.645$

15 $\frac{\sqrt{2}}{3} - \frac{\sqrt{2}}{5} = \frac{5\sqrt{2} - 3\sqrt{2}}{15}$ (15) $\frac{3\sqrt{6}}{4} - \frac{\sqrt{6}}{2} = \frac{3\sqrt{6} - 2\sqrt{6}}{4}$
 $= \frac{2}{15}\sqrt{2} = \frac{2}{15} \times 1.414$ $= \frac{\sqrt{6}}{4} = \frac{2.449}{4} = 0.612$
 $= \frac{5.656}{30} = 0.1885$

16 $\sqrt{3} + 3\sqrt{2} - 7\sqrt{3} + 5\sqrt{2}$ (16) $6\sqrt{5} + 12\sqrt{7} + 4\sqrt{5} - 2\sqrt{7}$
 $= 8\sqrt{2} - 6\sqrt{3}$ $= 10\sqrt{5} + 10\sqrt{7}$
 $= 11.312 - 10.392 = 0.920$ $= 22.36 + 26.45 = 48.81$

17 $(5\sqrt{5} - 3\sqrt{7})$ (17) $(4\sqrt{3} - 8\sqrt{10}) - (7\sqrt{10} - 10\sqrt{3})$
 $+ (-2\sqrt{7} + 3\sqrt{5})$ $= 14\sqrt{3} - 15\sqrt{10}$
 $= 8\sqrt{5} - 5\sqrt{7}$ $= 14 \times 1.732 - 15 \times 3.162$
 $= 8 \times 2.236 - 5 \times 2.645 = 4.663$ $= 24.248 - 47.430 = -23.182$

18 $\sqrt{3} \times \sqrt{3} \times \sqrt{3} = 3\sqrt{3}$ (18) $\sqrt{5} \times \sqrt{5} \times \sqrt{5} \times \sqrt{5} \times \sqrt{5}$
 $= 3 \times 1.732 = 5.196$ $= 5 \times 5 \times \sqrt{5} = 25\sqrt{5}$
 $= 25 \times 2.236 = 55.9$

19 $3\sqrt{2} \times 5\sqrt{2} \times \sqrt{2} = 30\sqrt{2}$ (19) $2\sqrt{6} \times 10\sqrt{6} \times \sqrt{6}$
 $= 30 \times 1.414 = 42.42$ $= 120\sqrt{6} = 120 \times 2.449$
 $= 273.880$

20 $(\sqrt{7})^4 = [(\sqrt{7})^2]^2 = 7^2$ (20) $(\sqrt{10})^6 = [(\sqrt{10})^2]^3 = 10^3$
 $= 49$ $= 1000$

43. 數ノ開平

或ル數ノ平方根ノ近似値ハ卷末ノ表ヲ見レバ直チニ得ラレルガ、併シ然ラバソレハドウシテ出來タモノデアルカ、或ハ表以上ニ精密ナ近似値ヲ知リタイトキ等ニハ開平ノ計算ヲスル。トコロガ平方根ハ此ノ開平ノ外ニモ連分數ニ直シテソノ近似値ヲ求メルコトガ出來ル。今參考ノタメニ次ニ述ベヨウ。

$\sqrt{3}$ ハ1ヨリ大キクテ2ヨリ小サイカラ

$$\sqrt{3} = 1 + (\sqrt{3} - 1) = 1 + \frac{(\sqrt{3} - 1)(\sqrt{3} + 1)}{\sqrt{3} + 1} = 1 + \frac{1}{\sqrt{3} + 1}$$

$$\frac{\sqrt{3} + 1}{2} = \frac{2 + \sqrt{3} - 1}{2} = 1 + \frac{\sqrt{3} - 1}{2} = 1 + \frac{(\sqrt{3} - 1)(\sqrt{3} + 1)}{2(\sqrt{3} + 1)} = 1 + \frac{1}{\sqrt{3} + 1}$$

$$\sqrt{3} + 1 = 2 + (\sqrt{3} - 1) = 2 + \frac{1}{\frac{\sqrt{3} + 1}{2}}$$

故ニ
$$\sqrt{3} = 1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{\sqrt{3} + 1}} = 1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{2 + \frac{1}{\sqrt{3} + 1}}}$$

$$= 1 + \frac{1}{1 + \frac{1}{2 + \frac{1}{1 + \frac{1}{2 + \dots}}}}$$

此ノ方法ハ勿論中學校デ課スルノデハナイ。

開平ニ於ケル位取りハ開平計算デ最モ大切ナモノデアル。ソレ故

問1 ニヨツテ整數ト其ノ二乗トノ桁數ノ關係ヲ發見サセル。

$0 < N < 10$	ナルトキ	N^2 ノ桁數ハ	1又ハ2
$10 \leq N < 100$	"	"	3又ハ4
$100 \leq N < 1000$	"	"	5又ハ6

問2 デハ問1ノ逆ヲ考ヘサセテ、或ル數ヲ與ヘテ其ノ平方根ノ位取りト最初ノ一桁ノ數ヲ言ハセルノデアル。

43. 數ノ開平

如何ナル數ノ平方根デモ其ノ最上位ノ一桁ハ直チニ見出スコトガ出來ル。

例ヘバ

$\sqrt{1369}$ ハ $\sqrt{900}$ ヨリハ大キク $\sqrt{1600}$ ヨリハ小サイ。即チ $30 < \sqrt{1369} < 40$

ソレ故 $\sqrt{1369}$ ノ値ノ最上位ノ桁ハ十ノ位デ、其ノ數字ハ3デアル。

問1 1カラ9マデノ整數ノ二乗ハ幾桁カ。

10カラ99マデノ整數ノ二乗ハ幾桁カ。

100カラ999マデノ整數ノ二乗ハ幾桁カ。

問2 次ノ平方根ノ最上位ノ一桁ヲ言ヘ。

$\sqrt{441}$, $\sqrt{1849}$, $\sqrt{6889}$, $\sqrt{11025}$,

$\sqrt{283024}$, $\sqrt{1000}$, $\sqrt{39.69}$, $\sqrt{4710.41}$

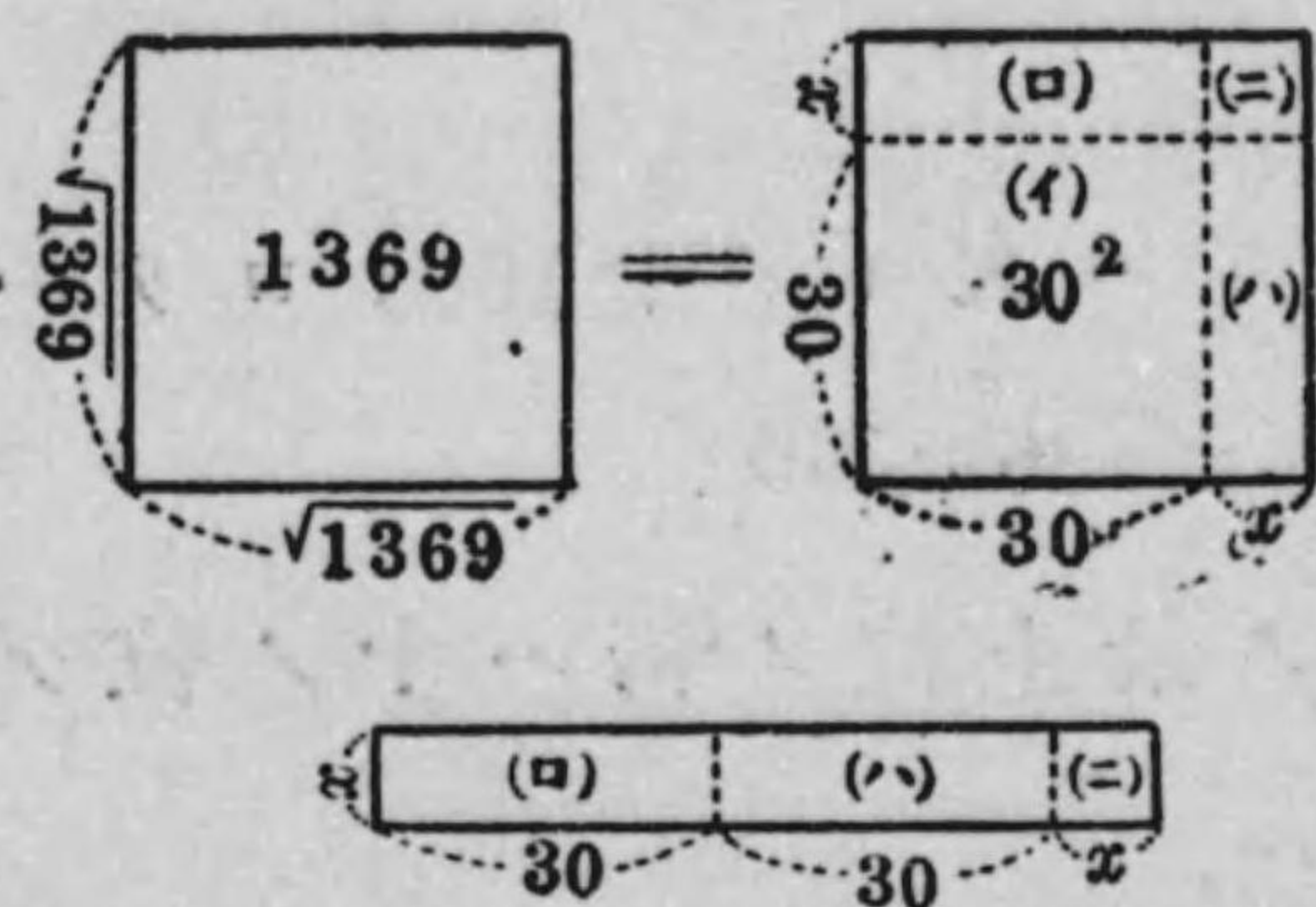
問1,問2カラ考ヘテ正ノ整數ト其ノ正ノ平方根ノ整數部トノ位取りノ關係ヲ示スト

數	六位	五位	四位	三位	二位	一位
平方根	.	.	三位	二位	一位			

例 $\sqrt{56789}$ ノ整數部ハ三桁デアル。

次ニ $\sqrt{1369}$ ノ値ヲ求メルコトヲ考ヘヨウ。
 $\sqrt{1369}$ ノ整数部ハ二桁デ、ソノ十ノ位ハ3デ
 アル。故ニ $\sqrt{1369} = 30 + \text{或數}$ 。 今コノ

或ル數ヲ x デ表ハスト $1369 = (\sqrt{1369})^2 = (30+x)^2$



トナル。コレヲ圖
 ニ示スト左圖ノ上
 方ノヤウニナル。
 コノ x ヲ求メル爲
 ニ左圖ノ下方ノ様
 ニ (ロ), (ハ), (ニ) ノ部

分ヲ結合セテ見ルト、其ノ面積ハ

$$1369 - 30^2 = 469 \quad \text{從ツテ } x(30 \times 2 + x) = 469 \dots (1)$$

コノ x ハ 30 ニ比ベテ可ナリ小サイ數デア
 ルカラ $30 \times 2 + x$ ヲ大體 30×2 ト見テ 469 ヲ割
 ルト x ノ値ノ大體ノ見當ガ知ラレル。

$$469 \div (30 \times 2) = 7 \dots \dots \dots \text{餘リ } 49$$

ソコデ $x=7$ トシテ見ルト (1) ノ左邊ハ丁度
 $7(30 \times 2 + 7) = 469$ トナリ都合ガヨイ。

ソレ故

$$\sqrt{1369} = 30 + 7 = \underline{37}$$

上ノコトヲ基トシテ實際ニハ次ノ頁ノヤ
 ウニ書イテ計算スル。

ピタゴラスハ既ニ無理數ノ存在ヲ知り、ユークリッド又エレメン
 ツノ中ニ無理數論ヲ上ゲ、而シテ又アルキメデスハ π ノ近似値ノ計
 算ニ於テ

$$\frac{1351}{780} > \sqrt{3} > \frac{265}{153}$$

ヲ得タノデアアルガ、ソノ方法ハ何ニヨツタノカ明瞭デハナイ。開平
 ノ算法ヲ明瞭ニ示シタノハテオン Theon (300年頃ノ人) デアル。ト
 レミー Ptolemy モ亦開平ノ方法ヲ與ヘタガ、トレミーノ開平ノ計
 算ハ實ハ60進法デアアルカラ參考ニハナラナイ。テオンノ方法モ次ノ
 印度ノ方法ト殆ド大差ハナイ。

印度ノアリアバタ Aryabhata (510年頃) ノ開平ノ方法ハ面白イ
 ノデソレヲ參考ノタメニ述ベヨウ。

例 15129 ノ平方根ヲ求ム。

$$\begin{array}{r} \overset{1}{\sqrt{0-0-0}} \\ \underline{15129} \\ 1 \\ 2=1 \times 2 \dots \dots 2)05 \quad (2) \\ \underline{4} \\ 11 \\ \text{商2ノ二乗} \dots \dots 4 \\ 2 \times 12 \dots \dots 24)72 \quad (3) \\ \underline{72} \\ 09 \\ \text{商3ノ二乗} \dots \dots 9 \\ \underline{0} \end{array}$$

注意 $\overset{\circ}{1} \overset{\circ}{5} \overset{\circ}{1} \overset{\circ}{2} \overset{\circ}{9}$ ノヤウニ數ノ上ニ
 ○ヤヲ以テ開平ノ位取ヲ示シ
 タノデアアル。
 又計算方法ハ今日ノヨリ迂遠
 デアリ且複雑デアアル。

答 123

アリアバタヤブラーマグブタナドハ同様ナ形式ノモトニ開立ノ計
 算ヲモ行ツタノデアアルガ、開立ノ算法ハ複雑デアアルカラ之ヲ省ク。

我が國ニ於ケル開平ノ算法

コレハ相當ニ古イモノデアアル。文武天皇ノ頃所謂九章算術ガ非常
 ニ盛ニナツタノデアアルガ、其ノ九章算術ノ中ノ少廣章ノ中デ論ゼラ
 レタノガ、恐ラク我が國ニ於ケル開平算法ノ最初デハナカラウカト
 思フ。勿論九章算術ハ支那カラ傳ハツタノデアアルカラ、支那ニハソ

レ以前ニ行ハレテキタモノト見テヨイ。

併シ時代ハ降ツテ徳川時代デ(寛永四年, 1627年)吉田光由ノ書イタ塵劫記ノ中ニ開平, 開立ガ記シテアル。吉田光由以後ノ人々ハ誰デモ開平, 開立ニ觸レナイ人ハナイト言ツテモヨカラウ。今村知商ノ堅亥録(1639年)ノ中ニモ亦開平, 開立ガ見エル。

今, 後世算術書ノ總鑑トモイハレタ塵劫記ノ開平ニツイテ述ベヨウ。塵劫記デハ終リノ方ニ開平法, 開平圖法及ビ開立法ガ述ベテアル。

塵劫記ノ開平法

坪數一萬五千百廿九坪アルヲ四方ニナシテ, 一方ハ何程アルゾト云フ時ニ, 百廿三間四方トイフ。

法ニ云フ。實ニ一萬五千百廿九坪ト置キテ, 先ヅ實ニテ位ヲ見ル。一十百, 一十百ト, 斯クノ如クニ數ヘテ上ガリ見ル時, 眞中ヲ百トイフハ, 百ノ位ト定メテ, 商ニ百ト置キテ, 此ノ通りノ下方ニテ, 一十百ト數ヘテ上ガリテ百ト置キ, サテ法ニテ下方ノ百ノ上ノ通りニテ, 商ノ百ト下方ノ百ト, 九々ニ呼ブ時, 「一ノ一萬坪」ト法ニ置キテ, 是ヲ實ニテ引クナリ。

残りテ五千百廿九坪アリ。

法ニ云フ。商ノ百ノ續キニ二十ト置キテ, サテ下方ヲバ一位下ゲテ, 百ヲ一倍ニ二百ト成シテ, 此ノ下ニ二十ト置ク。此ノ二十ハ商ニ今立ツルニ從ヒテ置クナリ。サテ法ニテ下方ノ二百ニ商ノ廿ヲ呼ブ。「二ニノ四千」ト法ニ置キテ又下方ノ廿ニ商ノ廿ヲ呼ブ。「二ニノ四百」ト法ニ置キテ, 是レヲ實ニテ引クナリ。

残りテ七百廿九坪アリ。

法ニ云フ。商ニ二十ノ次ニ三ト置キテ, 下法ニハ一位下ゲテ, 二

$$\begin{array}{r} 37 \\ \sqrt{1369} \\ \underline{9} \\ 469 \\ \underline{469} \\ 0 \end{array}$$

答 37

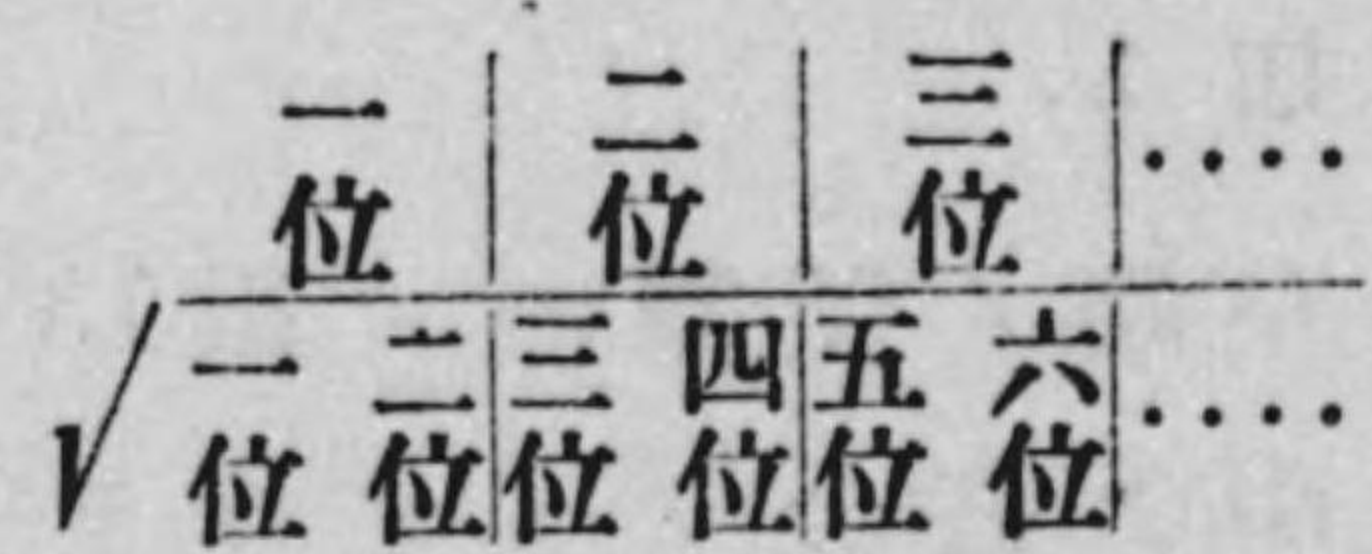
計算説明

- (A) 先ヅ與ヘラレタ數 1369 ヲ一ノ位カラ二桁宛ニ區切り,
- (B) ソノ最左端ノ區劃内ノ數 13 ヲ超エナイ平方數ノ中ノ最大ナモノ 9 ヲ目ノ子デ見ツケテ 13 ノ直下ニ書キ, 13 トノ差 4 ヲ求メル。又同時ニ其ノ 9 ノ平方根(正) 3 ヲ上欄ニ書ク。
- (C) 次ニ差 4 ノ右ニ次ノ區劃内ノ數 69 ヲ書並ベテ 469 トスル。
- (D) 別ニ左方ノ適當ナ場所ニ上ノ平方根 3 ヲ二ツ縦ニ書キソレヲ加ヘテ 6 トシ, 其ノ 6 ノ右ニ 0 ガアルモノト考ヘ, コレデ(C)ノ 469 ヲ割リ,
- (E) 其ノ商 7 ヲ 6 ノ右ニ書添ヘテ 67 トシ, コレニ商 7 ヲ掛ケテ 469 カラ引ク。
- 問 3 上ニ倣ツテ次ノ數ノ値ヲ求メヨ。

$$\sqrt{961}, \sqrt{625}, \sqrt{1296}, \sqrt{2401}, \sqrt{2916}$$

次ニ小數ノ平方根ノ位取リヲ考ヘルト
 $0.9^2=0.81$, $0.09^2=0.0081$, $0.009^2=0.000081, \dots$
 $0.1^2=0.01$, $0.01^2=0.0001$, $0.001^2=0.000001, \dots$

デアルカラ, 小數ノ最初ノ有効數字ノ位ト, 其ノ平方根ノ最初ノ有効數字ノ位トノ關係ヲ示スト,



即チ小數點カラ二桁宛右へ區切ルト
 ソノ區切りノ數ガ平方根ノ小數點以下
 ノ桁數ヲ表ハス。

例一 0.7921ノ平方根(正)ヲ求メヨ。

解

8	0.89	
8	64	√0.7921
169	1521	
9	1521	
	0	答 0.89

問 題

次ノ數ノ平方根(正)ヲ求メヨ。 21-(22)

21 289,	8.41	(21) 676,	9.61
22 92.16,	313600	(22) 73.96,	592900

十ヲ一倍ニシテ四十ト成シテ, 此ノ下ニ三ト置キテ, 此ノ三八商ニヤク法ト云ウテ, 今立ツルニ從ヒテ置クナリ。サテ又法ニ居テ, 下方ノ二百ニ商ノ三ヲ呼ブ。「三四ノ百廿」ト法ニ置キテ, 又下方ノ三ニ商ノ三ヲ呼ブナリ。「三三ノ九坪」ト法ニ置キテ七百二十九坪ニ成ルナリ。是ヲ實ニテ引キ拂フ時ニ,
 百二十三間四方ニ成ルナリ。

問 題

21

1	17	
1	289	√289
27	189	
7	189	
	0	答 17

2	2.9	
2	8.41	√8.41
49	4	
9	441	
	0	答 2.9

22

9	9.6	
9	92.16	√92.16
186	81	
6	1116	
	0	答 9.6

5	560	
5	313600	√313600
106	25	
6	636	
	0	答 560

(21)

2	26	
2	676	√676
46	4	
6	276	
	0	答 26

3	3.1	
3	9.61	√9.61
61	9	
1	61	
	0	答 3.1

(22)

8	8.6	
8	73.96	√73.96
166	64	
6	996	
	0	答 8.6

7	770	
7	592900	√592900
147	49	
7	1029	
	0	答 770

例二 開平商ノ有効數字ガ三桁以上ノ場合デアル。

問題

23

$$\begin{array}{r} 5 \quad 7 \quad 4 \\ 5 \quad \sqrt{329476} \\ \underline{25} \\ 107 \\ \underline{7} \\ 1144 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

答 574

$$\begin{array}{r} 1 \quad 5 \quad 4 \\ 1 \quad \sqrt{23716} \\ \underline{1} \\ 25 \\ \underline{5} \\ 304 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

答 154

24

$$\begin{array}{r} 1 \quad 3 \quad 4 \\ 1 \quad \sqrt{17956} \\ \underline{1} \\ 23 \\ \underline{3} \\ 264 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

答 134

$$\begin{array}{r} 3 \quad 7 \quad 9 \\ 3 \quad \sqrt{1436.41} \\ \underline{9} \\ 67 \\ \underline{7} \\ 749 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$$

答 37.9

(23)

$$\begin{array}{r} 4 \quad 7 \quad 4 \\ 4 \quad \sqrt{224676} \\ \underline{16} \\ 87 \\ \underline{7} \\ 944 \\ \underline{4} \\ 0 \end{array}$$

答 474

$$\begin{array}{r} 2 \quad 7 \quad 5 \\ 2 \quad \sqrt{75625} \\ \underline{4} \\ 47 \\ \underline{7} \\ 545 \\ \underline{5} \\ 0 \end{array}$$

答 275

(24)

$$\begin{array}{r} 8 \quad 8 \quad 8 \\ 8 \quad \sqrt{78.8544} \\ \underline{64} \\ 168 \\ \underline{8} \\ 1768 \\ \underline{8} \\ 0 \end{array}$$

答 8.88

$$\begin{array}{r} 3 \quad 1 \quad 6 \\ 3 \quad \sqrt{9.9856} \\ \underline{9} \\ 61 \\ \underline{1} \\ 626 \\ \underline{6} \\ 0 \end{array}$$

答 3.16

例二 $\sqrt{797449}$ ヲ計算セヨ。

解 先ヅハジメノ

二桁ヲ求メルニ

$$\begin{array}{r} 8 \quad 9 \\ 8 \quad \sqrt{797449} \\ \underline{64} \\ 169 \\ \underline{9} \\ 0 \end{array}$$

次ニ一ノ位ノ數ヲ求

メルコトヲ考ヘル。

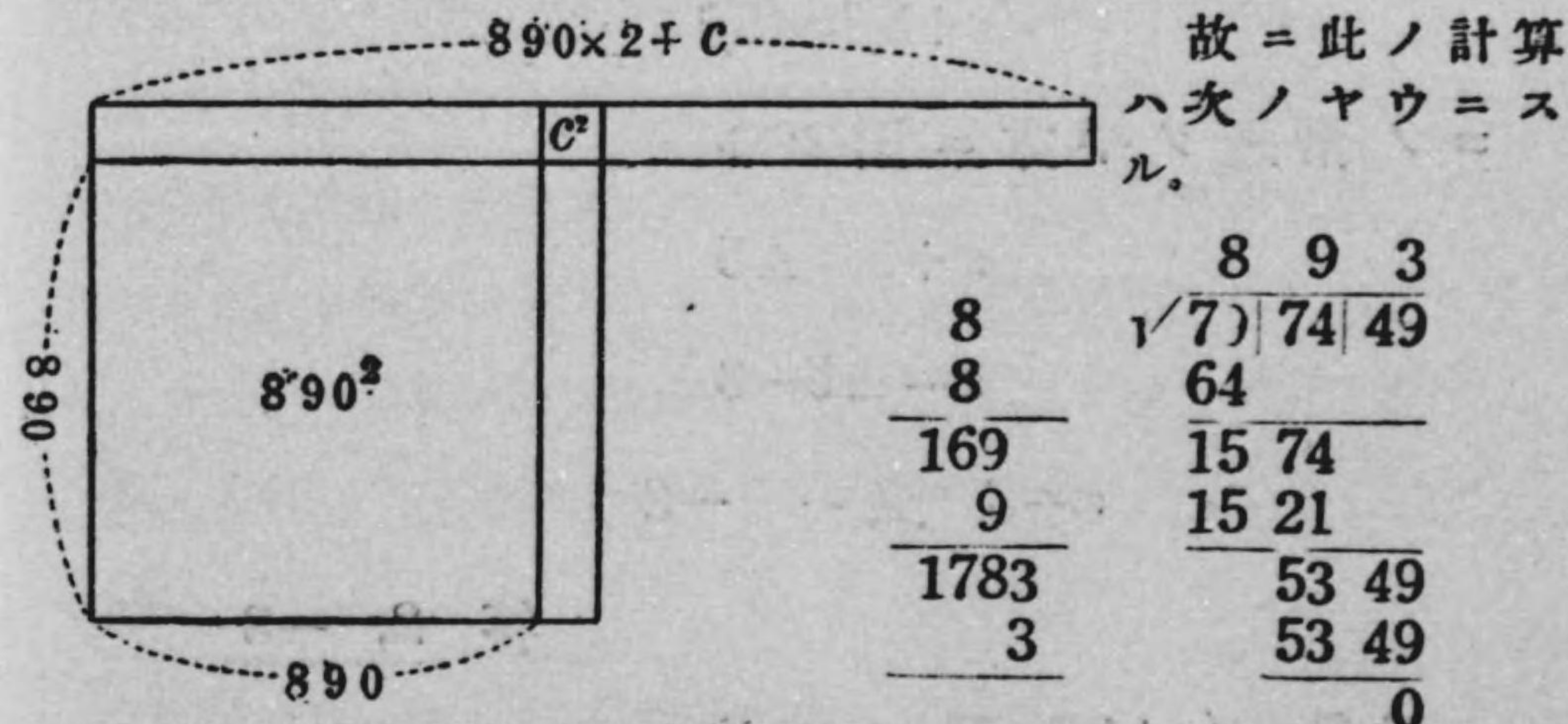
$$797449 - 890^2$$

$$= 5349$$

$$= (890 \times 2 + c) \times c$$

$$\text{故ニ } 5349 \div (890 \times 2) = 3 \dots \dots \text{餘 } 9$$

3ガ大體cニ相當スルコトガワカル。



故ニ此ノ計算ハ次ノヤウニスル。

$$\begin{array}{r} 8 \quad 9 \quad 3 \\ 8 \quad \sqrt{797449} \\ \underline{64} \\ 169 \\ \underline{9} \\ 1783 \\ \underline{3} \\ 0 \end{array}$$

問題

次ノ數ノ平方根(正)ヲ求メヨ。 23—(24)

- | | | | | | |
|----|---------|---------|------|----------|--------|
| 23 | 329476, | 23716 | (23) | 224676, | 75625 |
| 24 | 17956, | 1436.41 | (24) | 78.8544, | 9.9856 |

44. 一般ノ二次方程式ノ解法

(a) 完全平方式ヲ作ツテ解クコト

一元二次方程式ヲ因數分解ニヨツテ解クコトハ既ニ207頁デ學ンダカラ,ココデハ他ノ方法ヲ研究シヨウ。

例一 $x^2+6x+9=25$ ヲ解ケ。

解 $x^2+6x+9=25$ ノ兩邊トモ二乗ノ形ニスルコトガ出來ル。即チ

$$(x+3)^2=(5)^2$$

コノ兩邊ヲ平方ニ開クト

$$x+3=\pm 5$$

$$x=\pm 5-3$$

$$x=2 \text{ 又ハ } -8$$

答 2, -8

注意 $(x+3)^2=5^2$ ノ兩邊ヲ平方ニ開ケバ兩邊トモ複號士ガツク筈デアル。

即チ $\pm(x+3)=\pm 5$

併シコレハ結局上ノ二通りニナルカラ既知項ノ方ニ士ヲツケルダケデヨイ。

44. 一般ノ二次方程式ノ解法

一元二次方程式ノ解法ノウチ

$$\left\{ \begin{array}{l} \text{純二次方程式 } ax^2=b \\ \text{因數分解ニヨル法} \end{array} \right.$$

トハ既ニ知ツテキルコトデアルガ,完全二次方程式ノ因數ニ分解サレナイ場合ニツイテハソノ解法ヲ知ラナイ。故ニ先ツ完全二次方程式ノ未知項ヲ含ムモノヲ全部完全平方ニナルヤウニ導イテ,之ヲ純二次方程式ノ解法ニ歸シヨウトスルノデアル。

(a) 完全平方式ヲ作ツテ解クコト

コレハ後ノ根ノ公式ノ基礎トナルノデアルカラヨク理解サセタイ。即チ各問題毎ニ根ノ公式ヲ作ツテ行クノト同様デアル。

例一 兩邊共ニソノママデ完全平方トナツテキル場合デアル。

完全平方ヲ作ツテ解クニモヘロン Heron ガ行ツタヤウナ方法モアルカラ,今參考ノタメヘロンガ解イタ方法ヲ掲ゲヨウ。茲ニ舉ゲタノハヘロンノ著 Geometrica ノ中カラトツタモノデアル。

“圓ノ直徑ト周ト面積トノ和ガ212デアルトキ其ノ各ヲ求メヨ。

但シ $\pi=3\frac{1}{7}$ トスル。”

今直徑ヲ d トスレバソノ方程式ハ

$$d+\frac{22}{7}d+\frac{11}{14}d^2=212$$

即チ $\frac{11}{14}d^2+\frac{29}{7}d=212$

此ノ兩邊ニ $14\times 11=154$ ヲ掛ケルト

$$11^2d^2+58\times 11d=212\times 154$$

左邊ヲ完全平方トスルタメニ 29^2 ヲ加フレバ

$$(11d+29)^2=33489$$

然ルニ $33489 = 183^2$ デアルカラ

$$11d + 29 = 183$$

$$\therefore 11d = 154 \quad \therefore d = 14$$

即チ直径ハ14トナル。従ツテ圓ノ周及ビ面積ハ夫々44及ビ154トナル。

此ノヘロンノ方法ト現今ノ方法ト異ナル所ハ、 d^2 ノ係數ヲ 11^2 トスルカ、1トスルカニアル。11²トシテモ理論的ニハ誤リハナイガ、中學生ニハ計算ヲ誤リ易イカラ此ノ方法ハトラナイ。又ヘロンハ負根ハワケモナク捨テテ仕舞ツタ。

問 題

25 $(x-3)^2 = 5^2$
 $x-3 = \pm 5$ 答 8, -2

26 $(x-1)^2 = 6^2$
 $(x-1) = \pm 6$ 答 7, -5

27 $(y+11)^2 = 8^2$
 $y+11 = \pm 8$
答 -3, -19

28 ()ノ中ニハ $(\frac{8}{2})^2 = 16$ ヲ入レル。
 $(x-4)^2 = 1^2$
 $x-4 = \pm 1$ 答 5, 3

29 ()ノ中ニハ $(\frac{14}{2})^2 = 49$ ヲ入レル。
 $(y+7)^2 = 9^2$
 $y+7 = \pm 9$ 答 2, -16

(25) $(x-2)^2 = 3^2$
 $x-2 = \pm 3$ 答 5, -1

(26) $(y-5)^2 = 2^2$
 $y-5 = \pm 2$ 答 7, 3

(27) $(y+9)^2 = 7^2$
 $y+9 = \pm 7$
答 -2, -16

(28) ()ノ中ニハ $(\frac{20}{2})^2 = 100$ ヲ入レル。
 $(y-10)^2 = 10^2$
 $y-10 = \pm 10$ 答 20, 0

(29) ()ノ中ニハ $(\frac{12}{2})^2 = 36$ ヲ入レル。
 $(x-6)^2 = 11^2$
 $x-6 = \pm 11$
答 17, -5

問 題

次ノ方程式ヲ例一ノヤウナ方法デ解ケ。25-(27)

25 $x^2 - 6x + 9 = 25$ | (25) $x^2 - 4x + 4 = 9$

26 $x^2 - 2x + 1 = 36$ | (26) $y^2 - 10y + 25 = 4$

27 $y^2 + 22y + 121 = 64$ | (27) $y^2 + 18y + 81 = 49$

次ノ方程式ノ()内ニ適當ナ數ヲ入レテ例一ノヤウニシテ後コレヲ解ケ。28-(29)

28 $x^2 - 8x + () = 1$ | (28) $y^2 - 20y + () = 100$

29 $y^2 + 14y + () = 81$ | (29) $x^2 - 12x + () = 121$

例二 $x^2 - 6x + 4 = 0$ ヲ解ケ。

解 コノ左邊ハ既知項ガ9ナラバ丁度ニ乗ノ形(完全平方式)トナルカラ、先ツ

4ヲ移項シテ $x^2 - 6x = -4$

兩邊ニ9ヲ加ヘテ $x^2 - 6x + 9 = -4 + 9$

$$(x-3)^2 = 5$$

$$x-3 = \pm\sqrt{5}$$

$$x = 3 \pm \sqrt{5} = 3 \pm 2.236$$

$$= 5.236 \text{ 又ハ } 0.764$$

答 5.236, 0.764

問題

例二 = 做ツテ次ノ方程式ヲ解ケ。30-(32)

30 $x^2 - 6x + 2 = 0$

(30) $x^2 - 6x - 2 = 0$

31 $x^2 - 8x + 10 = 0$

(31) $x^2 - 10x + 22 = 0$

32 $y^2 + 12y + 29 = 0$

(32) $y^2 + 14y + 2 = 0$

例三 $3x^2 - 14x + 15 = 0$ ヲ解ケ。

解 $3x^2 - 14x + 15 = 0$

x^2 ノ係數ガ1デアレバ例二ノヤウニシテ
解クコトガ出來ル。ソレ故兩邊ヲ3デ割ツテ

$$x^2 - \frac{14}{3}x + 5 = 0$$

$$x^2 - \frac{14}{3}x = -5$$

コノ兩邊ニ x ノ係數 $-\frac{14}{3}$ ノ半分ノ二乗ヲ

加ヘテ(左邊ヲ完全平方式ニスル方法)

$$x^2 - \frac{14}{3}x + \left(\frac{7}{3}\right)^2 = -5 + \left(\frac{7}{3}\right)^2$$

$$\left(x - \frac{7}{3}\right)^2 = \frac{4}{9}$$

$$x - \frac{7}{3} = \pm \frac{2}{3}$$

$$x = \frac{7}{3} \pm \frac{2}{3}$$

$$x = 3 \quad \text{又ハ} \quad 1\frac{2}{3} \quad \text{答} \quad \underline{3, 1\frac{2}{3}}$$

問題

30 $x^2 - 6x + 2 = 0$

$x^2 - 6x = -2$

$x^2 - 6x + 9 = 7$

$(x-3)^2 = 7$

$\therefore x-3 = \pm\sqrt{7}$

$x = 3 \pm \sqrt{7} = 3 \pm 2.645$

答 5.645, 0.355

31 $x^2 - 8x + 10 = 0$

$x^2 - 8x = -10$

$x^2 - 8x + 16 = -10 + 16$

$(x-4)^2 = 6$

$x-4 = \pm\sqrt{6}$

$x = 4 \pm \sqrt{6} = 4 \pm 2.449$

答 6.449, 1.551

32 $y^2 + 12y + 29 = 0$

$y^2 + 12y = -29$

$y^2 + 12y + 36 = 36 - 29$

$(y+6)^2 = 7$

$y+6 = \pm\sqrt{7}$

$y = -6 \pm \sqrt{7} = -6 \pm 2.645$

答 -3.355, -8.645

(30) $x^2 - 6x - 2 = 0$

$x^2 - 6x = 2$

$x^2 - 6x + 9 = 9 + 2$

$(x-3)^2 = 11$

$x-3 = \pm\sqrt{11}$

$x = 3 \pm \sqrt{11} = 3 \pm 3.316$

答 6.316, -0.316

(31) $x^2 - 10x + 22 = 0$

$x^2 - 10x = -22$

$x^2 - 10x + 25 = 25 - 22$

$(x-5)^2 = 3$

$x-5 = \pm\sqrt{3}$

$x = 5 \pm \sqrt{3} = 5 \pm 1.732$

答 6.732, 3.268

(32) $y^2 + 14y + 2 = 0$

$y^2 + 14y = -2$

$y^2 + 14y + 49 = 49 - 2$

$(y+7)^2 = 47$

$y+7 = \pm\sqrt{47}$

$y = -7 \pm \sqrt{47} = -7 \pm 6.855$

答 -0.145, -13.855

例三ノ別解 トシテヘロン Heron ノ解イタト同様ナ方法ヲ用ヒテ見ヨウ。即チ $3x^2 - 14x + 15 = 0$ = 於テ

$$3x^2 - 14x = -15 \quad \text{此ノ兩邊ヲ3倍シテ}$$

$$9x^2 - 2 \times 3 \times 7x = -45$$

左邊ヲ完全平方ニ導クタメニ兩邊ニ $7^2 = 49$ ヲ加ヘルト

$$9x^2 - 2 \times 3 \times 7x + 49 = 49 - 45$$

$$\therefore (3x - 7)^2 = 4$$

$$3x - 7 = \pm 2$$

$$3x = 7 \pm 2$$

故ニ $3x = 9$ 又ハ $3x = 5$

コレカラ $x = 3$ 又ハ $x = 1\frac{2}{3}$ ヲ得ル。

此ノ方法ハ係數ガ分數トナラナイカラ便利ナヤウデアアルガ、左邊ヲ完全平方ニスル際ニ誤リ易イカラトラナイコトニシタ。從ツテ教科書ニ取ツタ方法ハ x^2 ノ係數ガ常ニ $+1$ ニナルヤウニ導クノガ其ノ主要ナ所デアアル。

斯クシテ得タ根ハ常ニ二ツアル。併シ二次方程式ニハ常ニ二根アルトイフコトヲ認メルヤウニナツタノハ餘程ノ年月ヲ要シタノデアアル。彼ノカルダン Cardan サヘモ三次方程式ニハ三ツノ根ガアルコトヲ知ツテオリナガラ、虚根ガ出テクルト此等ハ無意味ナモノトシテ捨テテ仕舞ツタ。虚根モ亦正シイ根トシテ採用出來ルト考ヘタノハアルベール・ジラル Albert Girard (1629) デ、方程式ノ根ニ實根トカ虚根トカトイフ名ヲ與ヘタノハデカルト Descartes デアルトイフ。

虚數ハ其ノ後 ^{オイラー}Euler, ^{コーシー}Cauchy, ^{ガウス}Gauss, ^{ノイマン}Neumann 等ニヨツテ研究セラレテ、數學上ニ極メテ重大ナ意義ヲ有スルヤウニナツタ。併シ何レモ初等的デナイカラ、本書デハ勿論虚數ニ深入リシナイ。

[比較] 例三ノ左邊ヲ因數分解スルト

$$3x^2 - 14x + 15 = (x - 3)(3x - 5)$$

ソレ故 $(x - 3)(3x - 5) = 0$

$$x - 3 = 0 \quad \text{又ハ} \quad 3x - 5 = 0$$

$$x = 3$$

$$3x = 5$$

$$x = 1\frac{2}{3}$$

答 $3, 1\frac{2}{3}$

完全平方式ヲ作ツテ一元二次方程式ヲ解クニハ

- (1) 既知項ヲ右邊ニ未知項ヲ左邊ニ集メ、且未知項ハ降冪ノ順ニスル。
- (2) x^2 ノ係數デ兩邊ヲ割ル。
- (3) x ノ係數ノ半分ノ平方ヲ兩邊ニ加ヘル。
- (4) 左邊ヲ一次式ノ二乗ノ形(完全平方式)トシテ後兩邊ヲ平方ニ開キ、右邊ニダケ複號士ヲ附ケル。
- (5) 左邊ノ既知項ヲ右邊ニ移シ、複號ノ十ノトキトーノトキトノ値ヲ計算シテ二ツノ根ヲ求メル。

問 題

完全平方式ヲ作ルコトニヨツテ次ノ方程式ヲ解キ、
根ガ根數ヲ含ムトキハ其ノ小數第三位マデノ近似値
ヲ求メヨ。33—(37)

33 $x^2 - 3x + 1 = 0$

34 $x^2 + 4x = 12$

35 $x^2 - 8x - 9 = 0$

36 $3x^2 - 10x + 3 = 0$

37 $4x^2 - 15x = -9$

(33) $x^2 - 6x + 4 = 0$

(34) $y^2 - 6y = 16$

(35) $x^2 - 14x = 15$

(36) $2x^2 + 17x + 21 = 0$

(37) $6x^2 + 13x = 5$

(b) 根ノ公式ニヨル一元二次方程式ノ解法

例四 $ax^2 + bx = -c$ ヲ解ケ。(但シ $a \neq 0$)

解

$$ax^2 + bx = -c$$

$$x^2 + \frac{b}{a}x = -\frac{c}{a}$$

$$x^2 + \frac{b}{a}x + \left(\frac{b}{2a}\right)^2 = -\frac{c}{a} + \left(\frac{b}{2a}\right)^2$$

$$\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 = -\frac{c}{a} + \frac{b^2}{4a^2} = \frac{-4ac + b^2}{4a^2}$$

$$x + \frac{b}{2a} = \pm \frac{\sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

$$x = -\frac{b}{2a} \pm \frac{\sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

問 題

33 $x^2 - 3x + 1 = 0$

$$x^2 - 3x = -1$$

$$x^2 - 3x + \frac{9}{4} = \frac{5}{4}$$

$$\therefore \left(x - \frac{3}{2}\right)^2 = \frac{5}{4}$$

$$\therefore x - \frac{3}{2} = \pm \frac{\sqrt{5}}{2}$$

$$x = \frac{3}{2} \pm \frac{2.236}{2}$$

答 2.618, 0.382

34 $x^2 + 4x = 12$

$$x^2 + 4x + 4 = 16$$

$$(x+2)^2 = 4^2$$

$$\therefore x+2 = \pm 4 \quad \text{答 } \underline{2, -6}$$

35 $x^2 - 8x - 9 = 0$

$$x^2 - 8x + 16 = 16 + 9$$

$$(x-4)^2 = 25 \quad x-4 = \pm 5$$

答 9, -1

36 $3x^2 - 10x + 3 = 0$

$$x^2 - \frac{10}{3}x = -1$$

$$x^2 - \frac{10}{3}x + \frac{25}{9} = \frac{25}{9} - 1$$

$$\left(x - \frac{5}{3}\right)^2 = \frac{16}{9}$$

$$x - \frac{5}{3} = \pm \frac{4}{3} \quad \text{答 } \underline{3, \frac{1}{3}}$$

37 $4x^2 - 15x = -9$

$$x^2 - \frac{15}{4}x + \frac{225}{64} = \frac{225}{64} - \frac{9}{4}$$

$$\left(x - \frac{15}{8}\right)^2 = \frac{81}{64}$$

$$\therefore x - \frac{15}{8} = \pm \frac{9}{8}$$

答 3, $\frac{3}{4}$

(33) $x^2 - 6x + 4 = 0$

$$x^2 - 6x = -4 \quad x^2 - 6x + 9 = 5$$

$$(x-3)^2 = 5 \quad x-3 = \pm\sqrt{5}$$

$$x = 3 \pm 2.236 \quad \text{答 } \underline{5.236, 0.764}$$

(34) $y^2 - 6y = 16$

$$y^2 - 6y + 9 = 16 + 9$$

$$(y-3)^2 = 25, \quad y-3 = \pm 5$$

答 8, -2

(35) $x^2 - 14x = 15$

$$x^2 - 14x + 49 = 49 + 15$$

$$(x-7)^2 = 64, \quad x-7 = \pm 8$$

答 15, -1

(36) $2x^2 + 17x + 21 = 0$

$$x^2 + \frac{17}{2}x = -\frac{21}{2}$$

$$x^2 + \frac{17}{2}x + \left(\frac{17}{4}\right)^2 = \left(\frac{17}{4}\right)^2 - \frac{21}{2}$$

$$\left(x + \frac{17}{4}\right)^2 = \frac{121}{16}$$

$$x + \frac{17}{4} = \pm \frac{11}{4}, \quad x = -\frac{17}{4} \pm \frac{11}{4}$$

答 $-\frac{3}{2}, -7$

(37) $6x^2 + 13x = 5$

$$x^2 + \frac{13}{6}x + \left(\frac{13}{12}\right)^2$$

$$= \left(\frac{13}{12}\right)^2 + \frac{5}{6}$$

$$\left(x + \frac{13}{12}\right)^2 = \frac{289}{144}, \quad x + \frac{13}{12} = \pm \frac{17}{12}$$

$$x = -\frac{13}{12} \pm \frac{17}{12}$$

答 $\frac{1}{3}, -\frac{5}{2}$

(b) 根ノ公式ニヨル一元二次方程式ノ解法

一元二次方程式 Quadratic equation ノヘロン Heron ノ解法ハ既ニ述ベタ。併シ更ニ古クベルリンノバビルスニハ

$$\begin{cases} x^2 + y^2 = 100 \\ y = \frac{3}{4}x \end{cases}$$

ノ解法ガ載セテアリ、又ユークリッドナドモ $ax^2 \pm bx \pm c = 0$ ナドノ幾何學的ナ解法ハ取扱ツタ。又アルキメデスニ至ツテハ

$t^2 - 472949u^2 = 1$ トイフ「ベルノ不定方程式」ノ解法ヲ考ヘタノデアアルガ、併シ純粹ノ二次方程式ヲ今日我々ガ考ヘテキルヤウナ解法ヲ試ミタノハ實ニヘロンデアツタ。ケレドモヘロンハ $ax^2 + bx = c$ ニ於テ a, b, c ガ唯正ノ數ノトキニ限ツタノデアアル。

次デディオファンタス Diophantus (270年頃) ハ次ノヤウナ三種ノ一元二次方程式ヲ解イタ。

$$(1) mx^2 + px = q \quad (2) mx^2 = px + q \quad (3) mx^2 + q = px$$

茲ニ m, p, q ハ總テ正ノ數トスル。(1), (2), (3) ヲ解イテ夫々次ノヤウナ根ヲ得タ。〔教授書(61)Aヲ見ヨ。〕

$$(1) \frac{\sqrt{\left(\frac{1}{4}p^2 + mq\right)} - \frac{1}{2}p}{m}$$

$$(2) \frac{\sqrt{\left(\frac{1}{4}p^2 + mq\right)} + \frac{1}{2}p}{m}$$

$$(3) \frac{\sqrt{\left(\frac{1}{4}p^2 - mq\right)} + \frac{1}{2}p}{m}$$

ディオファンタスノ解法ハヘロンノヤウニ m デ兩邊ヲ割ル代リニ、 m ヲ兩邊ニ掛ケタノデアアル。降ツテ印度デハブラーマグプタ Brahmagupta (630年頃) ガ二次方程式ヲ解イタ。三次方程式ハタルタリヤ Taltaglia ガ之ヲ解キ、四次方程式ハフェラリー Ferrari ガ之ヲ解イタ。

$$\text{即チ} \quad x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

一元二次方程式ハ一般ニ

(1) x^2 ノ項, (2) x ノ項, (3) 既知項ノ三ツカラ出來テキル。ソレ故

$$ax^2 + bx + c = 0 \cdots \cdots (1)$$

ハ何レノ一元二次方程式デモ代表スル一元二次方程式ノ一般ノ形ト見ルコトガ出來ル。從ツテ(1)ノ根ハ一元二次方程式ノ根ノ公式デアアル。

問 前頁ノ問題ハ(1)ノ式ノ a, b, c ガ夫々何デアル場合カ。

例五 公式ニヨツテ $3x^2 - 14x + 15 = 0$ ヲ解ケ。

解 コノ方程式ハ(1)ノ $a=3, b=-14, c=15$ ノ場合デアルカラ

$$x = \frac{-(-14) \pm \sqrt{(-14)^2 - 4 \times 3 \times 15}}{2 \times 3}$$

$$= \frac{14 \pm \sqrt{196 - 180}}{6} = \frac{14 \pm \sqrt{16}}{6}$$

$$= \frac{14 \pm 4}{6} = 3 \text{ 又ハ } \frac{5}{3} \text{ 即チ } 1\frac{2}{3}$$

答 3, 1 $\frac{2}{3}$ (例三ト同ジ)

問 題

根ノ公式ニヨツテ次ノ方程式ヲ解ケ。38-(44)

但シ根ガ根數ヲ含ムトキハ、其ノ値ハ小數第三位ヲ四捨五入シテ小數第二位マデ求メヨ。

38 $2x^2 - 5x + 2 = 0$

39 $5x^2 + 6x + 1 = 0$

40 $-x^2 - 2x + 15 = 0$

注意 兩邊ニ-1ヲ掛ケ x^2 ノ係數ヲ正トシテ後公式ニ當テハメルガヨイ。

41 $3n(n-5) = 14$

42 $0.2x^2 - 0.5x = 0.3$

43 $2x^2 - 6x - 3 = 0$

44 $x^2 + \frac{2}{3}x = 40$

45 二數ガアツテソノ和ハ15、積ハ56デアルト、其ノ二數如何。

46 或ル數ノ $\frac{1}{3}$ ト $\frac{1}{5}$ トノ積ハ60デアルト、或ル數トハ如何ナル數カ。

(38) $3x^2 + 10x + 3 = 0$

(39) $2x^2 - 7x + 3 = 0$

(40) $-x^2 + 9x + 22 = 0$

(41) $2x(x-12) + 35 = 0$

(42) $0.75x^2 + 8 = 5x$

(43) $3x^2 + 8x = 2$

(44) $y^2 + \frac{1}{6} = \frac{5}{6}y$

(45) 或ル數トコレヨリ4多イ數トノ積ハ117デアルト、或ル數如何。

(46) 或ル數ノ $\frac{1}{4}$ ト $\frac{1}{6}$ トノ積カラ4ヲ引クト2ガ殘ルト、或ル數如何。

併シ乍ラ五次以上ノ方程式ハ一般ニ代數的ニハ解ケナイコトガ證明サレテキル。諾威ノ若イ天才數學者アーベル Abel (1802-1829)ハ遂ニ一般ニ五次以上ノ方程式ハ代數的ニハ解ケナイコトヲ證明シタノデアアル。

問 題

38 $2x^2 - 5x + 2 = 0$

$$x = \frac{5 \pm \sqrt{25 - 16}}{4} = \frac{5 \pm 3}{4}$$

答 $2, \frac{1}{2}$

39 $5x^2 + 6x + 1 = 0$

$$x = \frac{-6 \pm \sqrt{36 - 20}}{10} = \frac{-6 \pm 4}{10}$$

答 $-\frac{1}{5}, -1$

40 $-x^2 - 2x + 15 = 0$

$$x^2 + 2x - 15 = 0$$

$$x = \frac{-2 \pm \sqrt{4 + 60}}{2} = \frac{-2 \pm 8}{2}$$

答 $3, -5$

41 $3n(n-5) = 14$

$$3n^2 - 15n - 14 = 0$$

$$n = \frac{15 \pm \sqrt{225 + 168}}{6}$$

$$= \frac{15 \pm 19.824}{6}$$

答 5.80 強, -0.80 強

42 $0.2x^2 - 0.5x = 0.3$

$$\therefore 2x^2 - 5x - 3 = 0$$

$$\therefore x = \frac{5 \pm \sqrt{25 + 24}}{4} = \frac{5 \pm 7}{4}$$

答 $3, -\frac{1}{2}$

(38) $3x^2 + 10x + 3 = 0$

$$x = \frac{-10 \pm \sqrt{100 - 36}}{6}$$

$$= \frac{-10 \pm 8}{6}$$

答 $-3, -\frac{1}{3}$

(39) $2x^2 - 7x + 3 = 0$

$$x = \frac{7 \pm \sqrt{49 - 24}}{4} = \frac{7 \pm 5}{4}$$

答 $3, \frac{1}{2}$

(40) $-x^2 + 9x + 22 = 0$

$$x^2 - 9x - 22 = 0$$

$$x = \frac{9 \pm \sqrt{81 + 88}}{2} = \frac{9 \pm 13}{2}$$

答 $11, -2$

(41) $2x(x-12) + 35 = 0$

$$2x^2 - 24x + 35 = 0$$

$$x = \frac{24 \pm \sqrt{576 - 280}}{4}$$

$$= \frac{24 \pm 17.205}{4}$$

答 10.50 強, 1.69 強

(42) $0.75x^2 + 8 = 5x$ 4倍シテ

$$3x^2 - 20x + 32 = 0$$

$$x = \frac{20 \pm \sqrt{400 - 384}}{6} = \frac{20 \pm 4}{6}$$

答 $4, \frac{8}{3}$

43 $2x^2 - 6x - 3 = 0$
 $x = \frac{6 \pm \sqrt{36 + 24}}{4} = \frac{6 \pm \sqrt{60}}{4}$
 $= \frac{6 \pm 7.745}{4}$
 答 3.44弱, -0.44弱

44 $x^2 + \frac{2}{3}x = 40$
 $3x^2 + 2x - 120 = 0$
 $x = \frac{-2 \pm \sqrt{4 + 1440}}{6}$
 $= \frac{-2 \pm 38}{6}$ 答 6, -\frac{20}{3}

45 一ツノ數ヲ x トセヨ。
 $x(15-x) = 56$
 $x^2 - 15x + 56 = 0$ 答 7, 8

46 或ル數ヲ x トセヨ。
 $\frac{1}{3}x \times \frac{1}{5}x = 60$
 $x^2 = 900 \quad \therefore x = \pm 30$
 答 ± 30

45. 一元二次方程式ノ根ト係數トノ關係

問題

- 47 二根ハ 2 ト 5 デアル。
- 48 二根ハ 共 = 3 デアル。
- 49 二根ハ 2 ト -5 ト デアル。
- 50 $5 + (-7) = -2$
 $5 \times (-7) = -35$
 故 = $x^2 + 2x - 35 = 0$
 同様 = 12, 0 ヲ 二根トスル
 方程式ハ $x^2 - 12x = 0$

(43) $3x^2 + 8x = 2$
 $x = \frac{-8 \pm \sqrt{64 + 24}}{6}$
 $= \frac{-8 \pm \sqrt{88}}{6} = \frac{-8 \pm 9.380}{6}$
 答 -2.90弱, 0.23強

(44) $y^2 + \frac{1}{6} = \frac{5}{6}y$
 $\therefore 6y^2 - 5y + 1 = 0$
 $y = \frac{5 \pm \sqrt{25 - 24}}{12} = \frac{5 \pm 1}{12}$
 答 $\frac{1}{2}, \frac{1}{3}$

(45) 或ル數ヲ x トセヨ。
 $x(x+4) = 117$
 $x^2 + 4x - 117 = 0$
 コレカラ $x = -13$ 又 $9 \dots$ 答

(46) 或ル數ヲ x トセヨ。
 $\frac{1}{4}x \times \frac{1}{6}x - 4 = 2$
 $x^2 = 144 \quad \therefore x = \pm 12$
 答 ± 12

45. 一元二次方程式ノ根ト係數トノ關係

例一 $x^2 - 7x + 12 = 0$ ノ根ヲ求メ, ソレト係數トノ關係ヲ調べヨ。

解 $x^2 - 7x + 12 = 0$ ノ根ハ 3 ト 4 トデアル。コノ根ノ 3 ト 4 ト方程式ノ係數 -7 ト 12 トノ關係ヲ考へルト

$x^2 - (3+4)x + 3 \times 4 = 0$

即チ x^2 ノ係數ガ 1 ノ一元二次方程式デハ二根ノ和ハ x ノ係數ノ符號ヲ變へタモノ, 二根ノ積ハ絶對項ニ等シイ。

問題

次ノ方程式ノ二根ヲ求メ, ソノ積ト和トヲ方程式ノ係數ト比較セヨ。47-(49)

- | | |
|------------------------|----------------------------|
| 47 $x^2 - 7x + 10 = 0$ | (47) $x^2 - 30x + 200 = 0$ |
| 48 $x^2 - 6x + 9 = 0$ | (48) $x^2 - 10x + 25 = 0$ |
| 49 $x^2 + 3x - 10 = 0$ | (49) $x^2 - 4x - 45 = 0$ |

次ノ各二根ヲ有スル方程式ヲ作レ。50-(50)

- 50 5, -7; 12, 0 | (50) 8, -6; -3, 3

一元二次方程式

$$ax^2+bx+c=0$$

ノ二根ノ一方ヲ α , 他方ヲ β トスルト

$$\alpha = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}, \quad \beta = \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

故ニ

$$\alpha + \beta = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} + \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = -\frac{b}{a}$$

$$\alpha\beta = \frac{-b + \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} \times \frac{-b - \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a} = \frac{c}{a}$$

即チ一元二次方程式ニ於テハ

二根ノ和ハ x^2 ノ係數デ x ノ係數ヲ割ツ
タモノノ符號ヲ變ヘタモノデ, 二根ノ積
ハ x^2 ノ係數デ絶對項ヲ割ツタモノニ等
シイ。

例二 $3x^2+5x+1=0$ ノ根ヲ求メナイデ二根
ノ和ト積トヲ求メヨ。

解 二根ヲ α, β トスレバ

$$\alpha + \beta = -\frac{5}{3}, \quad \alpha\beta = \frac{1}{3}$$

 $ax^2+bx+c=0$ ノ根ト係數トノ關係

此ノ方程式ノ二根ヲ α, β トスレバ $\alpha + \beta = -\frac{b}{a}$, $\alpha\beta = \frac{c}{a}$ デアルガ, 方程式ノ根ノ性質ヲ其ノ係數カラ研究スルコトガ出来テ, 教授者ニハ興味アル所デアラウガ, 生徒ハ何故 α, β ナドノ文字ヲ用ヒルカトイフ所ニモ疑問ヲ持チ奇異ノ感ニ打タレル。 α, β ハ半未知數ノ意味デ用ヒラレテキルノデハナイカト思フ。

方程式ノ根ノ性質ヲ研究スルノニ判別式 Discriminant ニヨル方法モアルガ, 方程式ノ根ノ性質ヲ餘リ深く研究スルコトハ初等的デモナク, 又學校數學ノ上カラ見テモ適當デナイト考ヘテ基本教材トシテハ判別式ハ取扱ハナイ。一體方程式論ガ非常ニ發達シタノハ何ノタメデアルカラ考ヘテ見ルト, 色々ノ原因モアラウガ, 五次方程式ヲ解カンガタメデアルトイフノガ其ノ最大ナモノデアラウ。ラグランジュ Lagrange ナドモ五次方程式ヲ解カウトシテ Lagrangean Resolvent ヲ作り, 又彼ハ五次方程式ノ解法ニハ失敗シタガ, 遂ニ群論ノ基礎ヲ作ツタトイハレル。方程式ノ研究ニ群論(特ニ置換群 Substitution Group)ガ如何ナル役目ヲモツテキルカハ冗言ヲ要シナイデアラウ。其ノ置換群ハ實ニ根ト係數トノ研究ニ始マルト極言シテモヨイ。

根ノ冪ニ關スルニユートン Newton ノ公式トイフモノガアル。ソレハ方程式ノ根 $\alpha, \beta, \gamma, \delta, \dots$ ノ同ジ冪ノ和ノ間ニ存在スルモノデ, 二次方程式ヨリモ高次ノ方程式ノ場合即チ一般ノ場合ニツイテノ研究デアアルガ, 斯様ニ根ト係數トノ關係ハ方程式ノ研究ニハ必要缺クベカラザルモノデアアル。

方程式ノ理論ニツイテハ上ニ述ベタニユートン, ラグランジュ, アーベル等ノ他ニデカルト, スチュルム Sturm ガロア Galois, ガウス Gauss 等ノ人々ノ功績モ亦逸シテハナラナイ。特ニガウスノ n 次方程式ハ常ニ n 個ノ根ヲ有スルトイフ證明ト, ガロアノ代數方程

式が代数的に解けるための条件に關する研究に注目する。

注意 五次より高次の代数方程式は代数的に解けないが、これは絶対的に解けないといふのではない。適當な超越函数を用ゐれば解ける。例へば エルミット Hermite (1858) や クロネッケル Kroneckel (1858) は楕圓函数ヲ使用シテ之ヲ解イタトイフ。

例三 此ノ例ハ二根ヲ與ヘテ方程式ヲ作ルノデアアル。二根ガ a, β デアルヤウナ方程式ハ $(x-a)(x-\beta)=0$ デナケレバナラナイ。

即チ $x^2 - (a+\beta)x + a\beta = 0$

從ツテ二次方程式ヲ作ルニハ與ヘラレタ二根ノ和ト積トヲ求メナケレバナラナイ。茲ニ x ノ係數ニハ二根ノ和ノ符號ヲ變ヘタモノヲモツテ行クコトヲ忘レテハナラナイ。

問題

51 $2x^2 - 4x + 1 = 0$

和 2, 積 $\frac{1}{2}$

52 $9x^2 + bx + 4 = 0$ ノ二根ヲ共ニ a トセヨ。

$$\begin{cases} 2a = -\frac{b}{9} \\ a^2 = \frac{4}{9} \end{cases}$$

コレカラ $a = \pm \frac{2}{3}$ 從ツテ

$b = \pm 12$ 答 ± 12

53 和 $1\frac{1}{2} + 3\frac{1}{2} = 5$

積 $1\frac{1}{2} \times 3\frac{1}{2} = \frac{21}{4}$

故ニ $x^2 - 5x + \frac{21}{4} = 0$

即チ $4x^2 - 20x + 21 = 0$ ……答

(51) $9x^2 - 3x - 2 = 0$

和 $\frac{1}{3}$, 積 $-\frac{2}{9}$

(52) $3x^2 - 4x + c = 0$ ノ二根ヲ共ニ a トセヨ。

$$\begin{cases} 2a = \frac{4}{3} \\ a^2 = \frac{c}{3} \end{cases}$$

コレカラ $a = \frac{2}{3}$

故ニ $c = \frac{4}{3}$ 答 $\frac{4}{3}$

(53) $(1 + \sqrt{5}) + (1 - \sqrt{5}) = 2$

$(1 + \sqrt{5})(1 - \sqrt{5}) = -4$

故ニ求ムル方程式ハ

$x^2 - 2x - 4 = 0$ ……答

例三 二根ガ $\frac{2}{3}$ ト $\frac{1}{2}$ トノ一元二次方程式ヲ作レ。

解 二根ノ和ハ $\frac{2}{3} + \frac{1}{2} = \frac{7}{6}$

二根ノ積ハ $\frac{2}{3} \times \frac{1}{2} = \frac{1}{3}$

故ニ求メル方程式ハ

$x^2 - \frac{7}{6}x + \frac{1}{3} = 0$ 即チ $6x^2 - 7x + 2 = 0$

又ハ求メル方程式ハ

$(x - \frac{2}{3})(x - \frac{1}{2}) = 0$ コノ括弧ヲ解イテ

$x^2 - \frac{7}{6}x + \frac{1}{3} = 0$ 即チ $6x^2 - 7x + 2 = 0$ ……答

問題

51 方程式

$2x^2 - 4x + 1 = 0$ ノ二根

ノ和ト積トヲ言ヘ。

52 $9x^2 + bx + 4 = 0$ ノ二

根ガ等シクナルヤウニ

b ノ値ヲ定メヨ。

53 次ノ二根ヲ有スル

一元二次方程式ヲ作レ。

$1\frac{1}{2}, 3\frac{1}{2}$

(51) 方程式

$9x^2 - 3x - 2 = 0$ ノ二根

ノ和ト積トヲ言ヘ。

(52) $3x^2 - 4x + c = 0$ ノ二

根ガ等シクナルヤウニ

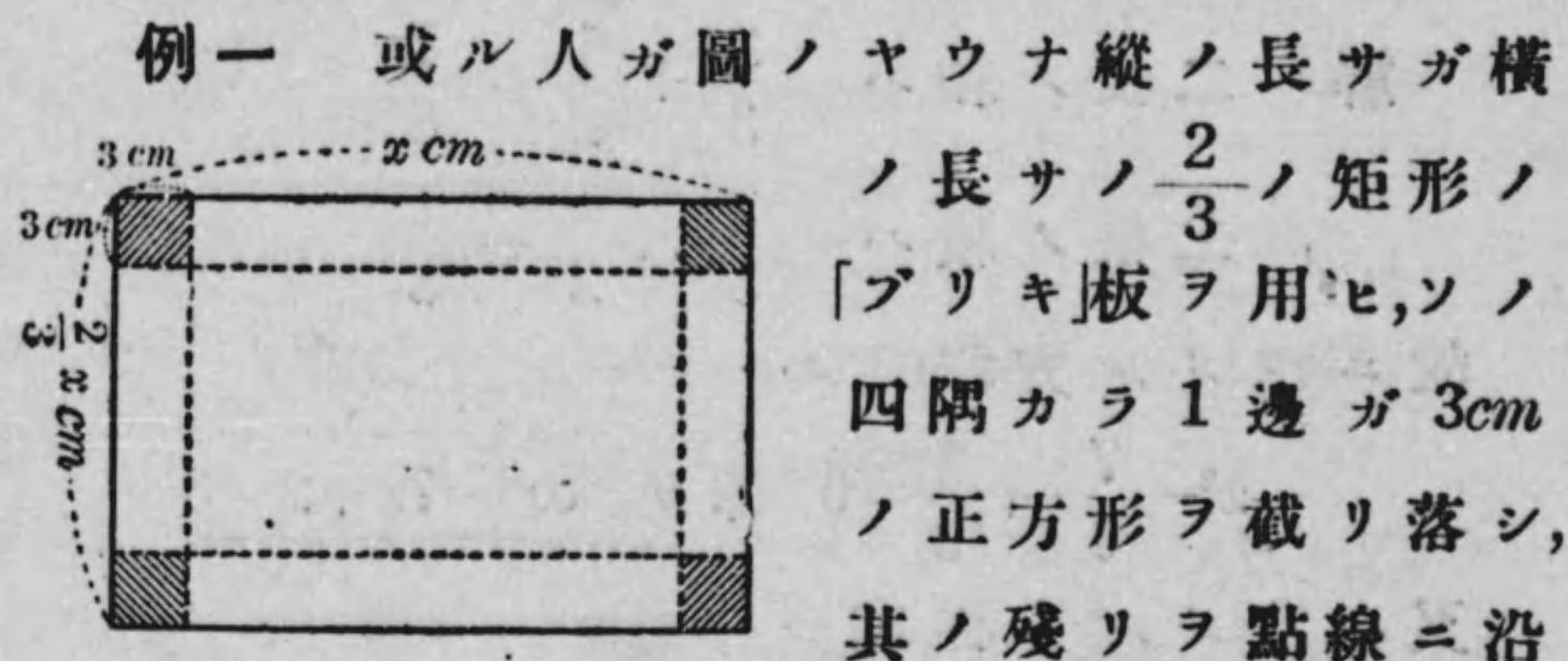
c ノ値ヲ定メヨ。

(53) 次ノ二根ヲ有スル

一元二次方程式ヲ作レ。

$1 + \sqrt{5}, 1 - \sqrt{5}$

46. 一元二次方程式ノ應用問題



解 横ノ長サヲ x cm トスルト、縦ノ長サハ $\frac{2}{3}x$ cm デアルカラ、箱ノ底面ノ縦横ノ長サハ夫々 $(x-6)$ cm, $(\frac{2}{3}x-6)$ cm デ、深サハ 3 cm トナル。トコロガ容積ガ 756 cc デアルカラ

$$3(x-6)\left(\frac{2}{3}x-6\right)=756$$

兩邊ヲ 3 デ割ツテ $(x-6)\left(\frac{2}{3}x-6\right)=252$

括弧ヲ取去ツテ $\frac{2}{3}x^2-10x+36=252$

移項シテ $\frac{2}{3}x^2-10x-216=0$

分母ヲ拂ツテ $2x^2-30x-648=0$

46. 一元二次方程式ノ應用問題

方程式ノ應用問題ヲ解ク上ニツイテノ注意ハ既ニ一元一次方程式ノ應用問題ノ所デ述ベタガ、二次方程式ニハ又特ニ注意ヲ要スル箇所モアルノデ、再ビ應用問題ノ注意ヲ述ベヨウ。

- (1) 題意ヲヨク了解スルコト。
- (2) 適當ナ未知數ヲ選ビ、問題ニ與ヘテアル數量間ノ關係ヲ明ラカニシテ、題意ニ適スル方程式ヲ立テルコト。
- (3) 此ノ方程式ノ根ヲ求メルコト。
- (4) 最後ニ此ノ根ガ題意ニ適スルカ否カラ決定シテ、適スルモノノミヲ採用スルコト。

一元一次方程式ノ時デサヘ方程式ノ根ガ題意ニ適スルカ否カラ吟味ノ上デ採否ヲ決定シタ。況ンヤ二次方程式ノ根ハ正根、負根ハ勿論、更ニ根ガ分數トナルコトアリ、無理數トナルコトアリ、虚數トサヘナルコトモアルカラ、益、其ノ必要ガアル。

尙茲ニ注意スベキコトハ、作ツタ方程式ガ分數方程式或ハ無理方程式トナツタトキデアル。此ノ場合ハ求メタ未知數ノ値ガ果シテ其ノ方程式ノ根デアルカ否カノ検査ヲ行ツタ上デ、上ノ(4)即チ題意ニ適スルカ否カラ定メルノデアル。ツマリ完全ニ其ノ分數方程式又ハ無理方程式ヲ解イテ、然ル後妥當ナル答ヲ得ルタメニ根ヲ題意ニツイテ驗シテ見ナケレバナラナイ。

中ニハドウセ最後ニ於テ根ノ採否ヲ決定スルタメニ、題意ニ合フカ否カラ定メル検査ヲスルノデアルカラ、假令分數方程式ヤ無理方程式ノ場合デモ根ノ検査ヲ省イテモヨイト云フ人モアル。併シソレデハ方程式ノ根デナイモノニツイテ題意ニ適スルカ否カラ検査スルコトヲ含ムコトトナリ、全ク縁ノナイモノニツイテ採否ヲ考ヘルコ

トトナツテ、穩當デナイト思フ。

問 題

54 底邊ノ長サヲ x cm トセヨ。

高サハ何 cm カ。

又三角形ノ面積ハ如何。

$$\frac{x(x+2)}{2} = 84$$

$$\text{コレカラ } x^2 + 2x - 168 = 0$$

コレヲ解イテ

$$x = 12, x = -14$$

-14ハ題意ニ適シナイ。

答 高サ14 cm. 底邊12 cm

55 池ノ半径ヲ x m トセヨ。池

ノ面積ハ如何。又道路ノ面積ハ如何ニナルカ。

$$\pi(x+1)^2 - \pi x^2 = \frac{7}{9}\pi x^2$$

兩邊ヲ π デ約スト

$$(x+1)^2 - x^2 = \frac{7}{9}x^2$$

$$2x+1 = \frac{7}{9}x^2$$

$$\therefore 7x^2 - 18x - 9 = 0$$

$$(x-3)(7x+3) = 0$$

$$\text{コレカラ } x = 3 \text{ 又ハ } -\frac{3}{7}$$

負ヲ捨テテ

答 3 m

(54) 縦ノ長サヲ x m トスレバ、

横ノ長サハ何 m カ。

$$x(x+9) = 850$$

$$x^2 + 9x - 850 = 0$$

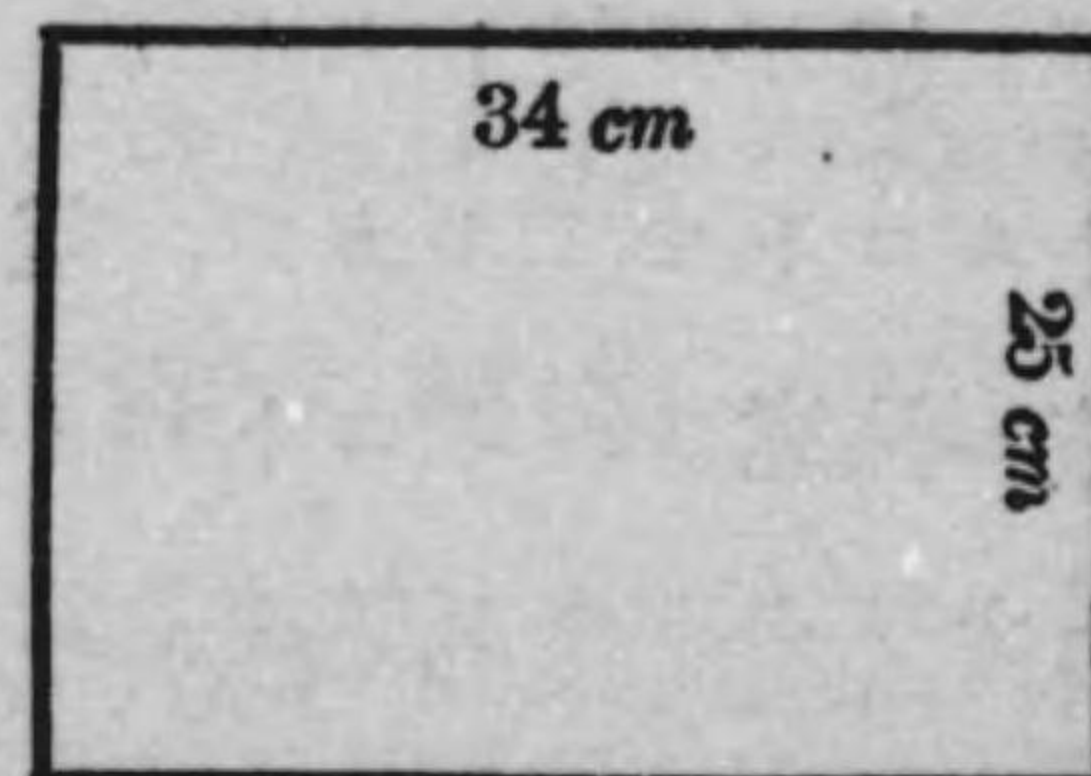
コレヲ解イテ

$$x = 25 \text{ 又ハ } -34$$

-34ハ題意ニ適シナイ故ニ此ノ

矩形ノ縦横ハ夫々 25 m, 34 m

デアル。從ツテ其ノ縮圖ハ次ノ通りデアル。



(55) 歩道ノ幅ヲ x m トセヨ。

$$(100+2x)(60+2x) - 100 \times 60$$

$$= \frac{1}{3} \times 100 \times 60$$

$$\therefore 4x^2 + 320x - 2000 = 0$$

$$\therefore x^2 + 80x - 500 = 0$$

$$x = \frac{-80 \pm \sqrt{6400 + 2000}}{2}$$

負ヲ捨テテ

$$x = -40 + 10\sqrt{21} = 5.82$$

答 5.8 m 強

兩邊ヲ 2 デ割ツテ $x^2 - 15x - 324 = 0$

$$\text{根ノ公式ニヨリ } x = \frac{15 \pm \sqrt{225 + 1296}}{2}$$

$$= \frac{15 \pm 39}{2} = 27 \text{ 又ハ } -12$$

矩形ノ一邊ノ長サニ負ノ値ハ無イカラ正

ノ値ヲ採ツテ、横ハ 27 cm, 從ツテ縦ハ

$$27 \text{ m} \times \frac{2}{3} = 18 \text{ cm} \text{ デアル。答 } \underline{\text{縦 } 18 \text{ cm, 横 } 27 \text{ cm}}$$

問 題

54 三角形ガアツテ、ソ

ノ高サハ底邊ヨリモ

2 cm 長ク、面積ハ 84 平方

糎アルトイフ。高サト

底邊トハ各幾糎カ。

55 圓形ノ池ノ周圍ニ

幅 1 米ノ路ガアツテ、ソ

ノ道路ノ總面積ハ池ノ

面積ノ $\frac{7}{9}$ デアルト。池

ノ半径ハ幾米カ。

キカ。m ノ小數第一位マデ求メヨ。

(54) 横ガ縦ヨリモ 9 m 長

クテ、面積ガ 850 平方米

アル矩形ノ土地ヲ千分

ノ一ノ縮圖デ畫ケ。

(55) 長サ 100 m, 幅 60 m ノ

矩形ノ運動場ノ外側ニ

幅ノ一樣ナ歩道ヲ作ツ

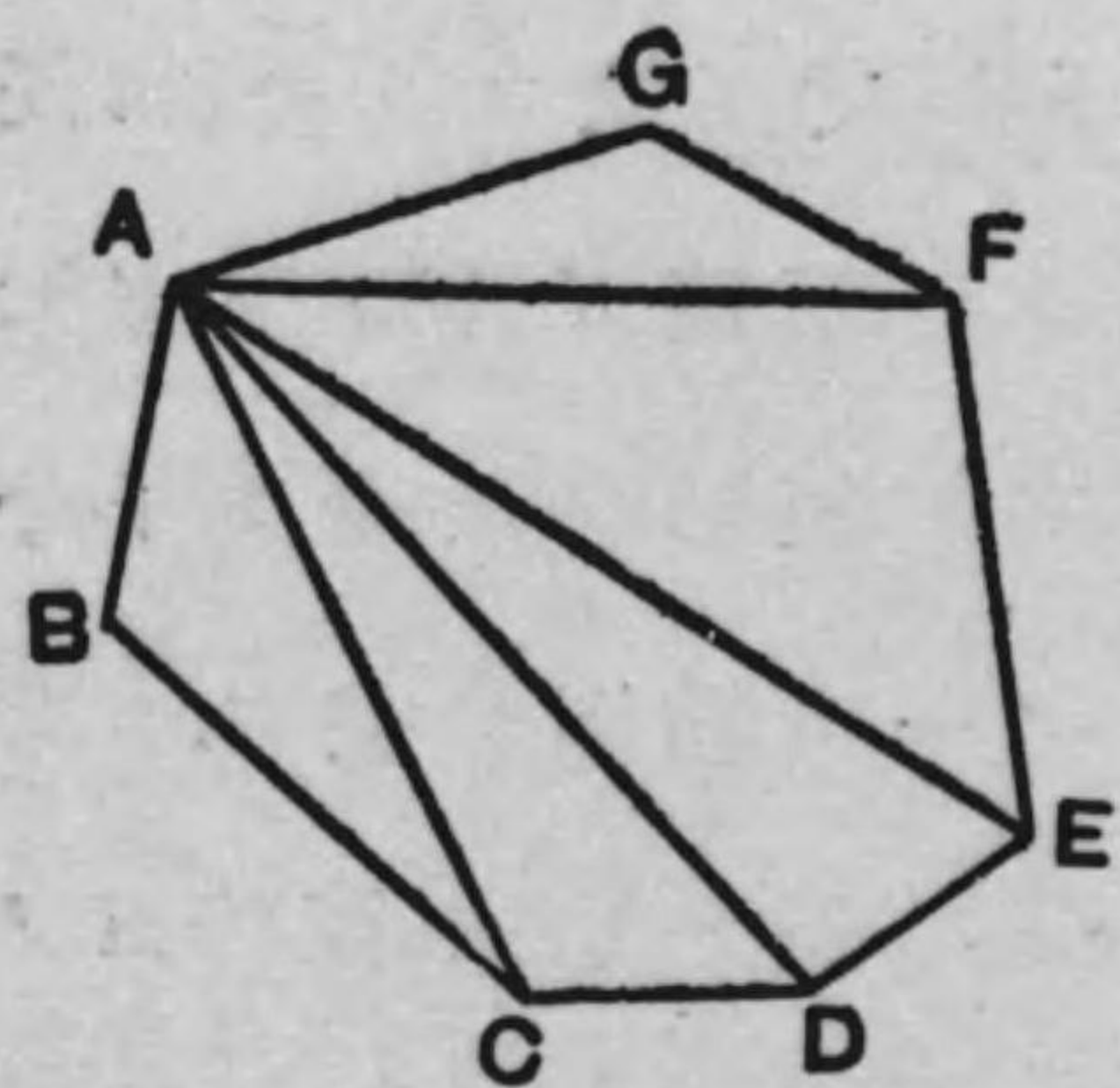
テ歩道ノ全面積ヲ運動

場ノ面積ノ $\frac{1}{3}$ ニシタイ。

歩道ノ幅ヲ何程トスベ

56 金2400圓ヲ2年間
同ジ利率デ預ケテ置ク
ト、單利ト複利トデハ元
利合計ガ6圓ダケ違フ
トイフ。年利率ハ何程
デアルカ。

57 對角線ノ總數ガ14
本デアル多角形ハ何邊
形デアルカ。



注意 n 邊形ノ一頂點
カラ引クコトノ出來
ル對角線ノ總數ハ
 $(n-3)$ 本デアル。

(56) 初メ = 1000圓ヲ預
ケ、一ケ年後 = 更 = 450
圓ヲ加ヘテ前ト同ジ利
率デ尙一ケ年預ケテ元
利合計 1575圓ヲ得タト
イフ。年利率ハ何程カ。

(57) 何レノ三點モ同一
直線上 = ナイ幾ツカノ
點ガアツテ、ソノ二點宛
ヲ結ブ直線ノ總數ガ55
本デアルトイフ。點ノ
總數ハ何程デアルカ。

注意 點ノ總數ヲ n ト
シ、問題57ト同ジヤウ
ニ、 n 個ノ中ノ任意ノ
一點ト他ノ總テノ點
トヲ結ブ直線ガ幾本
アルカヲ考ヘヨ。

56 年利率ヲ x トセヨ。2年間
ノ元利合計ハ單利ト、複利トデ
ハ如何 = ナルカ。
 $2400(1+x)^2 - 2400(1+2x) = 6$
 $400(1+2x+x^2) - 400(1+2x) = 1$
 $\therefore 400x^2 = 1$

$$x^2 = \frac{1}{400}$$

$$\text{故} = x = \pm \frac{1}{20}$$

負ヲ捨テテ 答 年5分

57 n 邊形ノ一頂點カラ引クコ
トノ出來ル對角線ノ總數ハ
 $(n-3)$ 本、從ツテ總ベテノ頂點
カラ引ケル對角線ハ $n(n-3)$ 本
デアルガ、コレハ全部二度數ヘ
テアル。故ニ n 邊形ノ對角線ノ
總數ハ

$$\frac{n(n-3)}{2} \text{ 本デアル。}$$

$$\frac{n(n-3)}{2} = 14$$

$$\therefore n^2 - 3n - 28 = 0$$

$$(n-7)(n+4) = 0$$

$$n = 7 \text{ 又ハ } -4$$

負ハ題意 = 適スルカ。

答 7邊形

(56) 年利率ヲ x トセヨ。
最初ノ一年後ノ元利合計ハ
 $1000(1+x)$ 圓
 $\{1000(1+x) + 450\}(1+x) = 1575$
 $1000(1+x)^2 + 450(1+x)$
 $- 1575 = 0$

$$\therefore 40(1+x)^2 + 18(1+x) - 63 = 0$$

コレカラ

$$40x^2 + 98x - 5 = 0$$

$$(20x-1)(2x+5) = 0$$

$$\text{即チ } x = \frac{1}{20} \text{ 又ハ } -\frac{5}{2}$$

負ヲ捨テテ 答 0.05

(57) 點ノ數ヲ n トセヨ。 n 個ノ
點ヲ二ツ宛結ブ直線ノ數ハ
問題57ト同様ニ考ヘテ

$$\frac{n(n-1)}{2} \text{ 本デアル。}$$

故ニ次ノ方程式ヲ得ル。

$$\frac{n(n-1)}{2} = 55$$

コレヲ解ケバ

$$n^2 - n - 110 = 0$$

$$(n-11)(n+10) = 0$$

$$n = 11 \text{ 又ハ } -10$$

負ヲ捨テテ

答 11個

ピタゴラス Pythagoras (B. C. 569-500) ノ定理ハ非常ニ有名ナ定理デアアルガ、ソノ理論的ノ研究ハ幾何學デ學ブコトニスル。教科書ノ圖ハ b ノ上ノ正方形ヲ其ノ對角線ノ交點カラ斜邊 c = 垂直ナ直線ト平行ナ直線トデ切ツテ、ソレヲ夫々①, ②, ③, ④ト名ヅケ、ソレト a ノ上ノ正方形⑤トヲ接合スルト c ノ上ノ正方形トナルコトヲ示シタモノデ、生徒ニ是非實驗サセタイ。ピタゴラス定理ノ證明ニハ此ノ外種々ノ方法モアリ、又諸種ノ器具モアルガ、此等ノ器具ハ大阪市西區阿波座一番町一番地加藤數物製作所デ販賣シテキル。

58 斜邊ノ長サヲ x cm トセヨ。

$$20^2 + 21^2 = x^2$$

即チ $x^2 = 841$

$\therefore x = \pm 29$

負ハ如何。 答 29 cm

59 求ムル正三角形ノ高サヲ

x cm トセヨ。

$$5^2 + x^2 = 10^2$$

$$x^2 = 100 - 25$$

$$x^2 = 75$$

$$x = \pm \sqrt{75}$$

負ハ題意ニ適シナイ。

故ニ $x = \sqrt{75} = 8.660$

答 8.7 cm弱

(58) 直角ヲ夾ム他ノ一邊ノ長

サヲ x cm トスレバ

$$65^2 = 33^2 + x^2$$

$$\therefore x^2 = 3136$$

$$x = \pm 56 \quad \text{答 } \underline{56 \text{ cm}}$$

(59) 二等邊三角形ノ底邊ノ半

分ノ長サヲ x cm トセヨ。

$$x^2 + 7^2 = 9^2$$

$$x^2 = 81 - 49$$

$$x^2 = 32$$

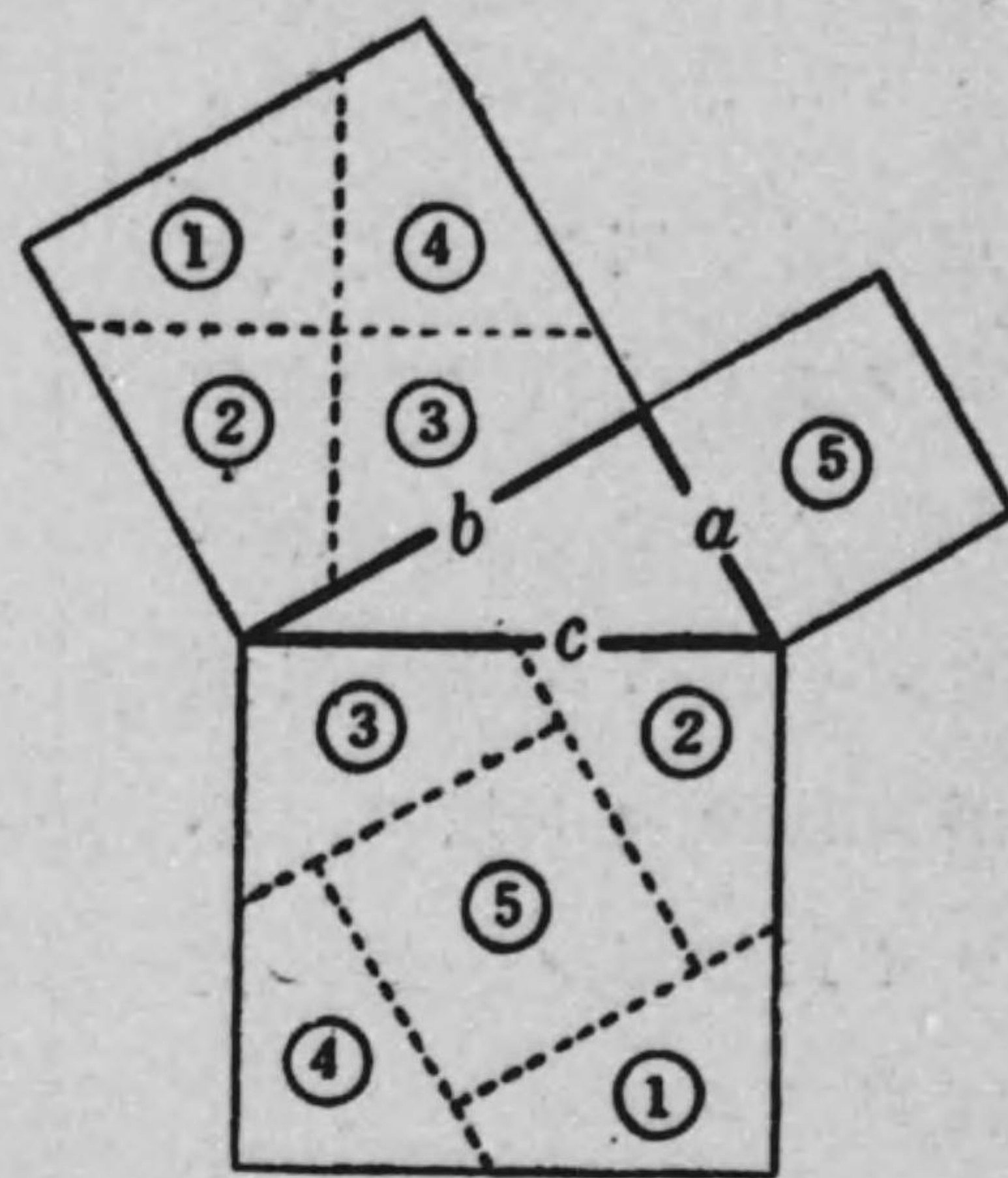
$$x = \pm \sqrt{32}$$

負ハ如何。

$$x = \sqrt{32} = 5.656$$

答 5.7 cm弱

直角三角形デハ常ニ「斜邊ヲ一邊トスル正方形ノ面積ハ他ノ二邊ヲ夫々一邊トスル正方形ノ面積ノ和ニ等シイ」トイフコトガアツテ、コレハピタゴラスガ考ヘ出シタト言ハレテキル幾何學ノ最モ重要ナ定理デアアル。即チ斜邊ガ c



種, 他ノ二邊ガ夫々 a 種, b 種ノ直角三角形デハ

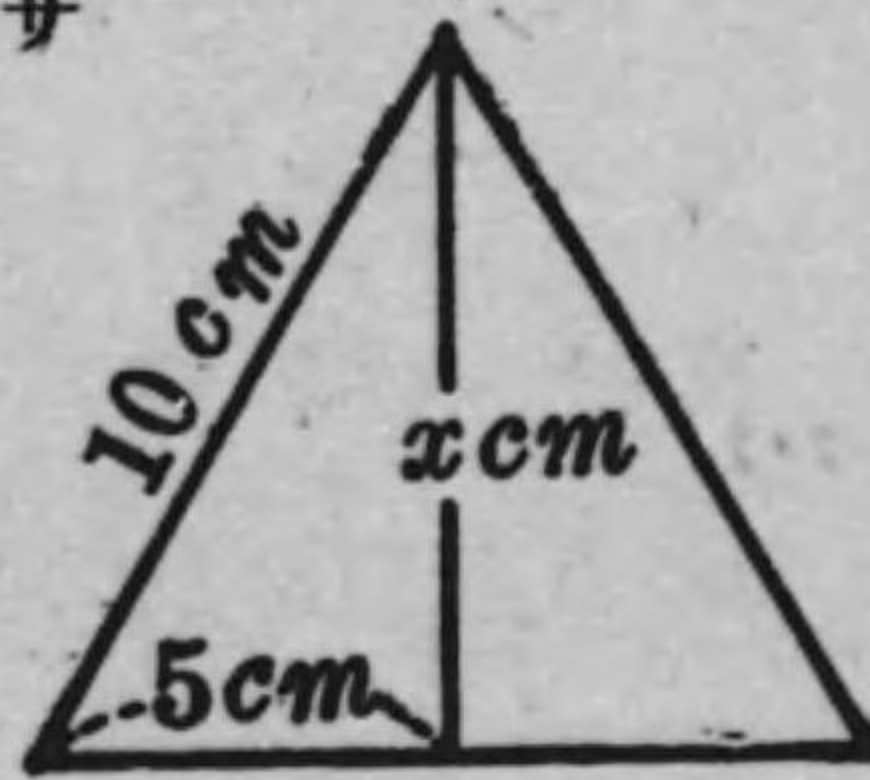
$$a^2 + b^2 = c^2$$

デアアル。

58 直角ヲ夾ム二邊ガ夫々 20 cm, 21 cm ノ直角三角形ノ斜邊ノ長サハ何程デアアルカ。

59 一邊ガ 10 cm ノ正三角形ノ高サ如何, 但シ

種ノ小數第一位マデ答ヘヨ,

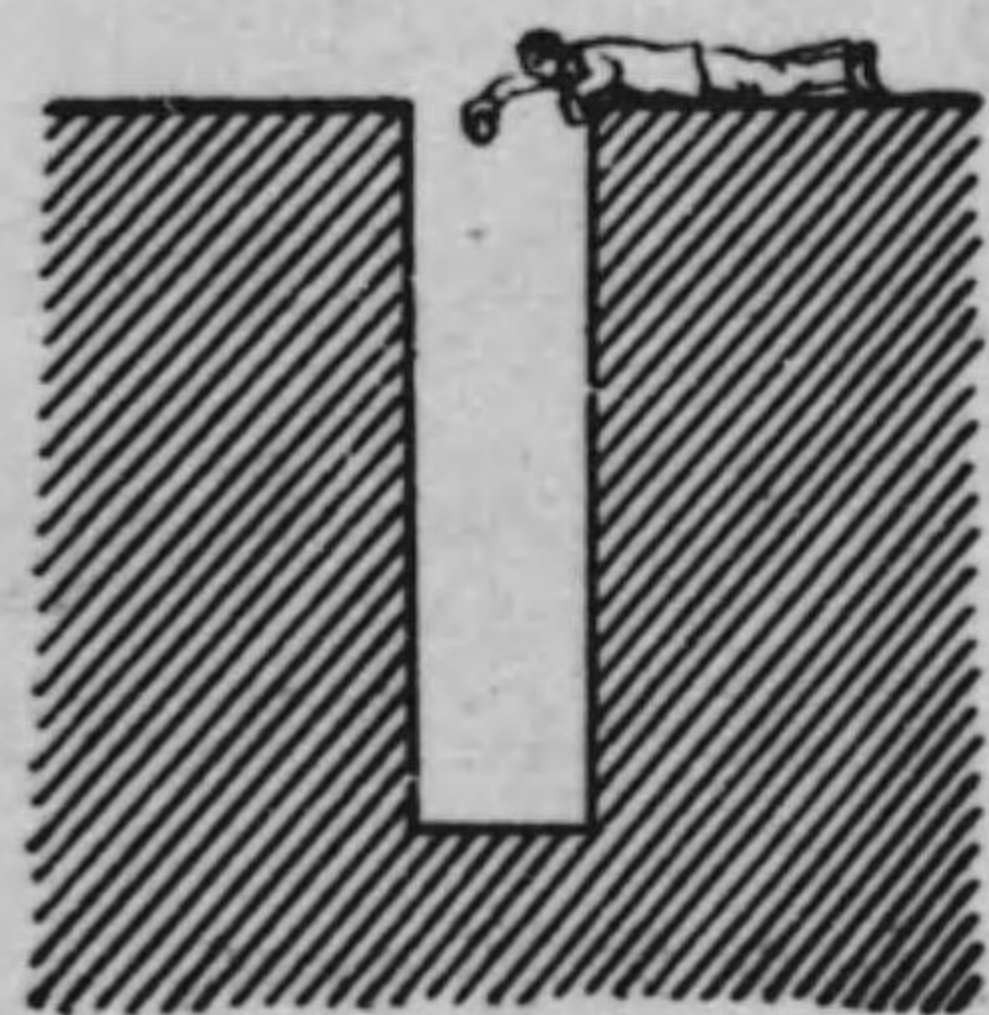


(58) 直角三角形ノ斜邊ノ長サガ 65 cm, 直角ヲ夾ム一邊ガ 33 cm デアルト, 他ノ一邊ノ長サハ如何。

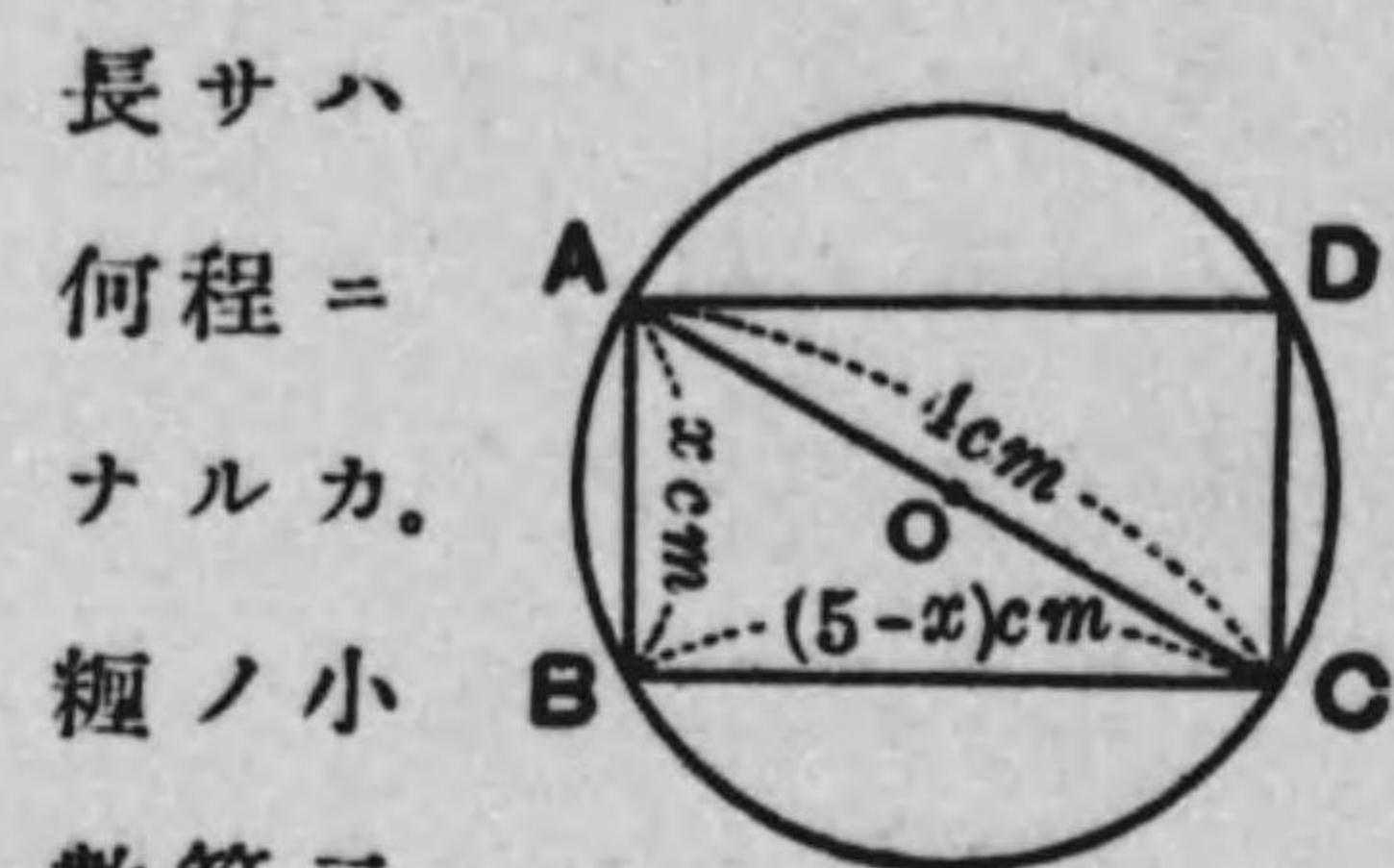
(59) 高サ 7 cm, 等邊ガ 9 cm ノ二等邊三角形ノ底邊ノ長サ如何。但シ種ノ小數第一位未滿ハ四捨五入シテ答ヘヨ,

60 一ツノ正方形ト、一
邊ガソレヨリ16cm長イ
正方形ヲ四ツニ截ツタ
モノトヲ前頁ノ①,②,③,
④,⑤ノヤウニ接ギ合ハ
セテ一邊ガ80cmノ正方
形ヲ作ラウト思フ。小
サイ正方形ノ一邊ガ何
程デアレバヨイカ。

61 物ヲ自然ニ落スト
落ち初メテカラ t 秒間
= $4.9t^2$ 米ダケ落ちル。
今深サ35米ノ穴ノ縁ノ
所デ握ツテキル石ヲ放
スト、此ノ石ハ何秒デ穴
ノ底ニトドクカ。



(60) 直徑ガ4cmノ圓ニ
周圍ガ10cmノ矩形ヲ内
接サセルト、其ノ各邊ノ
長サハ



何程ニ
ナルカ。
纏ノ小
數第二
位マデ計算セヨ。

(61) 毎秒 v 米ノ速サデ
眞上ニ抛ゲ上ゲタ物體
ハ抛ゲ始メテカラ t 秒
後ニハ $(vt - 4.9t^2)$ 米ノ高
サノ所ニアル。

毎秒721米ノ
速サデ直上ニ
射チ出サレタ
小銃彈ハ何秒
後ニ1000米ノ
高サノ所ニア
ルカ。



60 小サイ正方形ノ一邊ヲ x cm
トセヨ。何ト何トガ直角三角形
ヲ作レバヨイカヲ考ヘヨ。

$$\begin{aligned} x^2 + (x+16)^2 &= 80^2 \\ 2x^2 + 32x + 256 &= 6400 \\ x^2 + 16x - 3072 &= 0 \\ x &= \frac{-16 \pm \sqrt{256 + 12288}}{2} \\ &= \frac{-16 \pm \sqrt{12544}}{2} \\ &= \frac{-16 \pm 112}{2} \end{aligned}$$

負ヲ捨テテ 答 48 cm

61 t 秒後ニ穴ノ底ニトドクト
スルト

$$\begin{aligned} 4.9t^2 &= 35 \\ \therefore t^2 &= \frac{35}{4.9} = \frac{350}{49} \\ t &= \pm \frac{\sqrt{350}}{7} \end{aligned}$$

負ヲ捨テテ

$$\begin{aligned} t &= \frac{\sqrt{350}}{7} = \frac{18.708}{7} \\ &= 2.672 \dots \end{aligned}$$

答 約 2.7秒

注意 t 秒間ニ物ガ自然ニ落下
スル距離ハ $\frac{1}{2}gt^2$ デアル。

(60) 求ムル矩形ノ一邊ヲ x cm
トセヨ。矩形ノ他ノ邊ハ何cmカ。

$$\begin{aligned} x^2 + (5-x)^2 &= 4^2 \\ 2x^2 - 10x + 25 &= 16 \\ 2x^2 - 10x + 9 &= 0 \\ x &= \frac{10 \pm \sqrt{100 - 72}}{4} \\ &= \frac{10 \pm \sqrt{28}}{4} \\ &= \frac{10 \pm 2\sqrt{7}}{4} = \frac{10 \pm 2 \times 2.645}{4} \\ &= \frac{5 \pm 2.645}{2} \\ x &= 3.822 \text{ 又ハ } 1.177 \end{aligned}$$

他ノ邊ハ如何。

答 3.82 cm ト 1.18 cm

(61) t 秒後ニ1000mノ高サニ在
ルトスルト

$$\begin{aligned} 1000 &= 721t - 4.9t^2 \\ \therefore 4.9t^2 - 721t + 1000 &= 0 \\ \text{即チ } 49t^2 - 7210t + 10000 &= 0 \\ t &= \frac{7210 \pm \sqrt{7210^2 - 1960000}}{98} \\ &= \frac{7210 \pm \sqrt{50024100}}{98} \\ &= \frac{7210 \pm 7072.7}{98} \\ &= \frac{14282.7}{98} \text{ 又ハ } \frac{137.3}{98} \\ &= 145.7 \text{ 又ハ } 1.4 \\ \text{答 } &\underline{2分25.7秒, 1.4秒} \end{aligned}$$

第五章 函數及グラフ

47. 函 數

吾々が日常ノ生活ニ於テハ數量間ノ關係ガ非常ニ大切ナ役割ヲ演ズルモノデアル。例ヘバ

- 汽車賃ハ乗車料程ニヨツテ増減シ、
- 税金ハ各自ノ収入ト關係ガアリ、
- 生活費ハ家族ノ人數ト關係ガアリ、
- 封書ヤ小包ノ料金ナドハ其ノ目方ニヨツテ定マリ、
- 或ル物ヲ買フニモ其ノ價格ハ其ノ個數ニ關係ガアリ、
- 電燈料ヤガス料金等ハ其ノ使用量ニ關係スル。

等數ヘ上ゲルト仲々澤山アル。

故ニ吾々が此ノ世デ生活スルタメニハ、ドウシテモソレ等ノ數量間ノ關係ヲ明ラカニシナクテハナラナイ。又ソレ等ノ數量間ノ變化ノ様子ヲ知ラナクテハナラナイ。上ニ舉ゲタ例ハ何レモ卑近ナモノバカリデアルガ更ニ眼ヲ大キク開イテ我が國ノ經濟狀態ハドウカ、對外關係ハドウナリツツアルカ、景氣ノ變動ハ如何ナル經路ヲ迹リツツアルカトイフヤウナコトヲ考ヘルト、吾々が活社會ニ立ツテ活動シ、又生徒ガ他日社會ニ乗出シテ活動スルタメニハ、ドウシテモソレラ數量間ノ關係ヲ明瞭ニシナケレバナラナイ。

近時數學教育ノ目的ノ一ツノ大キナ眼目トシテ

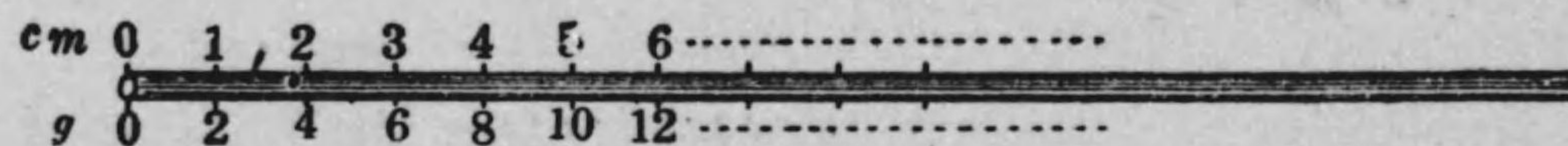
函數概念ノ養成

トイフコトガ、各方面デ叫バレ、又着々ト實施サレツツアルノハコノ爲デアルト考ヘル。函數概念ノ養成ハ如上ノコトモ確カニソノ一因デアアルガ、更ニ數學ソノモノカラ見テモ極メテ重大ナモノデアアルノハ論ヲ俟ツマデモナイ。

第五章 函數及グラフ

47. 函 數

ココニ太サノ一樣ナ銅線ガアツテ、ソノ長サ1cmノ重サヲ2gトシ、此ノ銅線ノ長サト重サトノ關係ヲ圖ニ示スト



デアツテ、長サト重サトハ互ニ比例シテキル。

今此ノ銅線 l cmノ重サヲ m gトスルト

$$m=2l \dots\dots\dots(A)$$

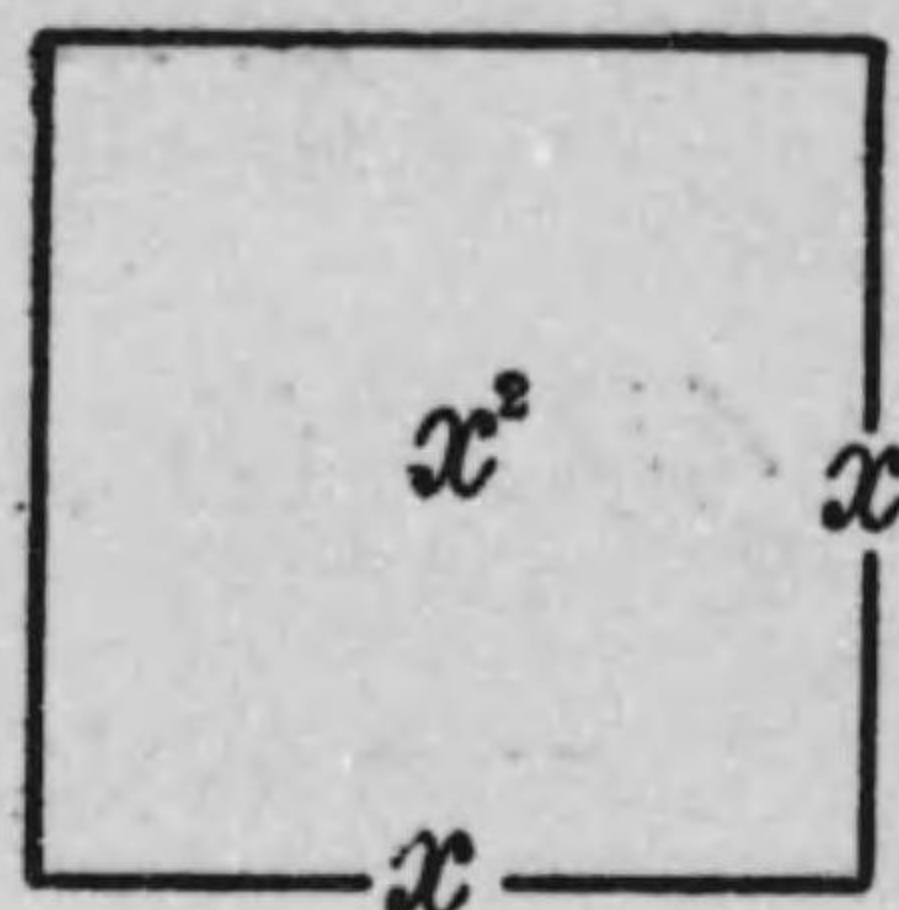
コレガ銅線ノ長サト重サトノ關係ヲ表ハス式デアアル。

吾々が日常出會フ事柄ノ間ニモ幾ツカノ量ガ相伴ツテ變化スルトイフ場合ガ随分多イ。

例ヘバ1日ノ晝ノ時間ト夜ノ時間トハ相伴ツテ變ハル。今1日ノ中ノ晝ノ時間ヲ x 時間、夜ノ時間ヲ y 時間トスルト

$$y=24-x \dots\dots\dots(B)$$

問 正方形ノ一邊ノ長サヲ x 糧,
 ソノ面積ヲ y 平方糧デ表ハスト, x
 ト y トノ間ニハドンナ關係式ガ成
 立ツカ。又ソノ關係ヲグラフデ表
 ハシテ見ヨ。



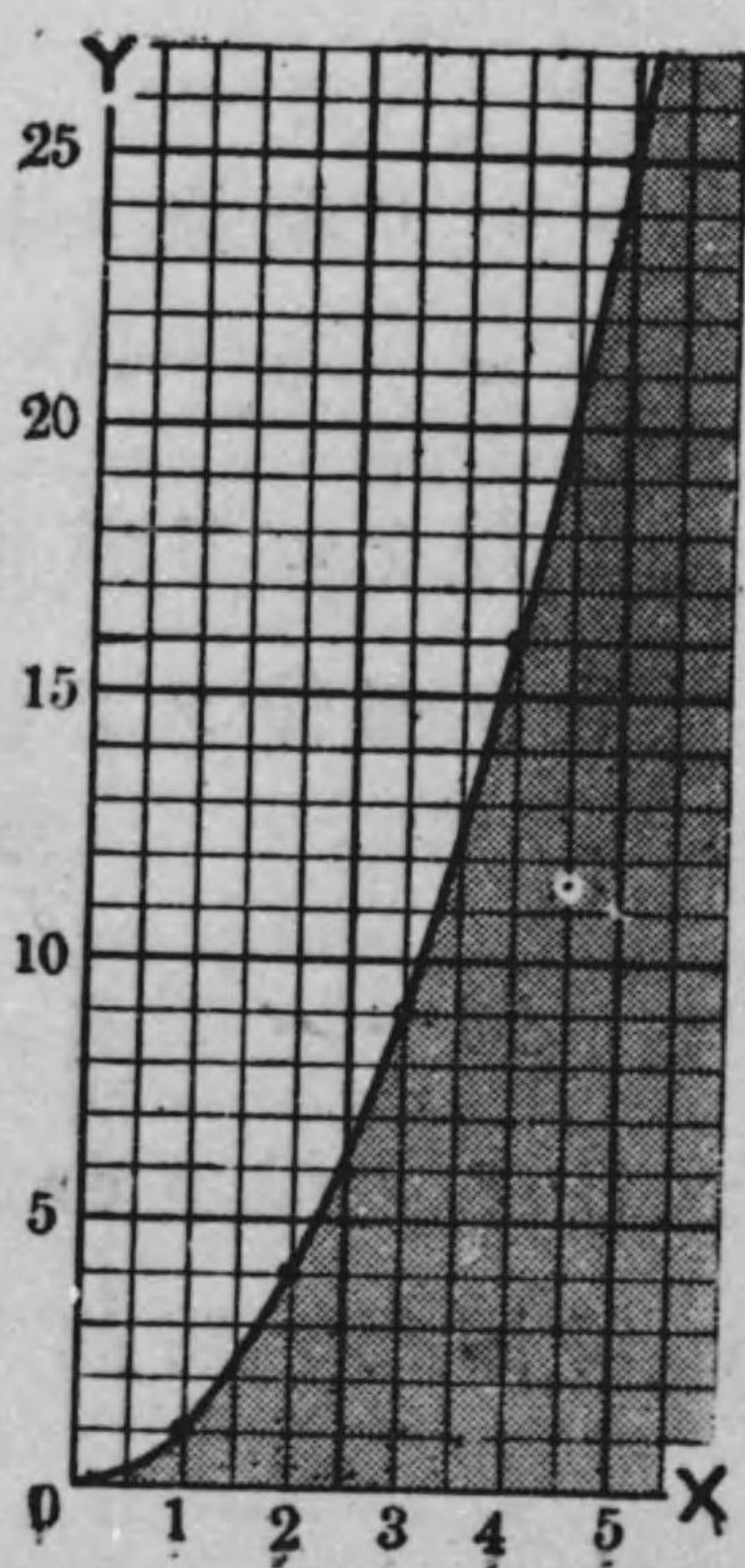
正方形ノ面積ハ一邊ノ長サヲ二乗シテ得
 ラレルカラ

$$y = x^2 \dots\dots\dots (C)$$

コノ式ノ x = 色々ナ値ヲ與ヘテ, ソレニ對
 應スル y ノ値ヲ求メテ表ニシテ見ルト,

x	1	2	3	4	5	...
y	1	4	9	16	25	...

コノ x ト y トノ關係ヲ
 グラフニ表ハスト右ノヤ
 ウニナル。コノ場合ハ相
 對應スル x ト y ノ値デ點
 ヲ作ツテ見ルト, 一直線ニ
 ハ並バナイカラ此等ノ點
 ヲ出來ルダケ滑カナ曲線
 デ結ブノデアアル,



函數トイフ言葉ハ獨逸人ライブニツ Leibniz ノ使用シタノニ始
 マルトイフコトデアアルガ, 函數トイフノハ一體ドウイフモノデアラ
 ウカ。教科書所載ノ例ヲ列舉シテ見ルト

$$m = 2l \dots\dots\dots (A)$$

$$y = 24 - x \dots\dots\dots (B)$$

$$y = x^2 \dots\dots\dots (C)$$

$$h = vt - 4.9t^2 \dots\dots\dots (D)$$

デアアルガマダ此ノ外

$$\text{圓ノ面積} \dots\dots S = \pi r^2 \dots\dots\dots (1)$$

$$\text{球ノ體積} \dots\dots v = \frac{4}{3} \pi r^3 \dots\dots\dots (2)$$

攝氏ト華氏ノ溫度ノ讀ミノ關係

$$f = \frac{9}{5}c + 32 \dots\dots\dots (3)$$

等列舉ニ違ノナイ程アルガ, 要スルニ上ノ各式ノ左右兩邊ヲ見ルト
 2, 24, v , 4.9, π , $\frac{4}{3}$, $\frac{9}{5}$, 32 等ハ變化シナイ所謂常數デア
 ル。同ジ常數ノ中デモ 2, 24, 4.9, π , -32 等ハ任意性ヲ帯ビナイ
 デ如何ナル場合デモ變化シナイ數デ, 特ニ絶對常數トイフコトガア
 ル。然ルニハーツノ問題ノ研究中ハ一定デアアルガ, 他ノ場合ニハ
 又他ノ異ナル値ヲ取り得ルモノデ, コレヲ任意常數トイツテ絶對常
 數ト區別スルコトガアル。常數ニ對シテ變化スル數ガアル。コレヲ
 變數トイフノデアアルガ, 此ノ變數ニモ二種類アル。即チ他ノ變數ニ
 無關係ニ自由ニ其ノ値ヲ變ズルモノデコレヲ自變數又ハ獨立變數ト
 イフ。又自變數ノ變化ニヨツテ定マル變數ヲ從屬變數又ハ其ノ自變
 數ノ函數トイフノデアアル。自變數ト函數トノ關係ハ式デ示サレルモ
 ノモアルガ(上ノ各種ノ例ノヤウニ), 併シ全ク式デ示サレナイモノ
 モアル。

例へば収入ヲ獨立變數(又ハ單ニ變數トモイフ)ト考へ、所得稅ヲ其ノ函數ト考ヘルト其ノ二量間ノ關係ヲ式デ示スノハ困難デアル。併シ乍ラ其ノ收入金額ガ定マルト所得稅額ハ定マル。

yガxノ函數デアルトキ、コレヲ $y=f(x)$ ノヤウニ表ハス。即チ $f(x)$ ハxノ或ルーツノ函數ヲ示シテキルモノデ、同ジ問題中ニxヲ自變數トスルニツツツ異ナル函數ガアツタナラバ、 $f(x)$ 、 $F(x)$ ノヤウニ表ハサネバナラナイ。自變數ガ二ツアルトキハ $z=f(x,y)$ ノヤウニ書ク。ソレ以上アルトキモ同様デアル。

自變數トイヒ、函數トイフモ相互的デアル。例へば晝ノ時間xト夜ノ時間yトノ函數關係ヲ $y=24-x$ ノヤウニ書イテ、yハxノ函數デアルト考ヘテモヨイガ、又 $x=24-y$ ノヤウニ書イテxハyノ函數デアルト考ヘテモヨイ。

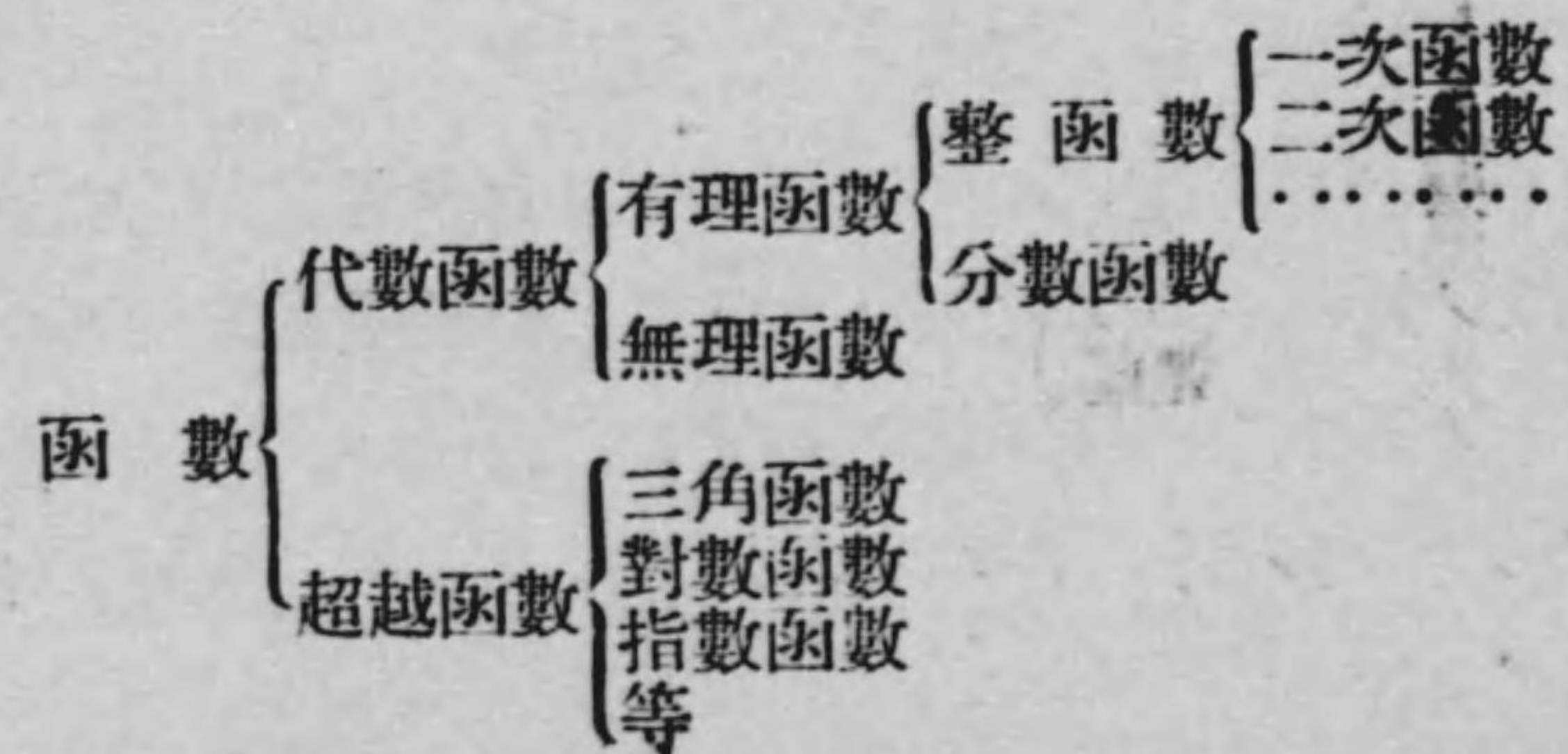
併シコレハ逆ガ常ニ式ヲ以テ示サレルトハ限ラナイ。例へば

$$y=2x-x^6, \quad y=x^2-x^4+x^5, \quad y=3x^2-\tan x$$

等ハツノ例デアル。

函數ガ變數ノ一ツノ値ニ對シテ一ツ而モ唯一ツ對應スルトキ之ヲ一價函數(一值函數)トイヒ、二ツ以上ガ對應スルトキハ多價(多值)函數ナドトイフケレドモ茲デハソナ必要ハナイ。

又中學校ノ程度デ出テクル函數ヲ表示スレバ次ノヤウデアル。



又或ル一定ノ速サv秒米デ、物體ヲ真上ニ抛ゲ上ゲタトキ、t秒後ノ此ノ物體ノ高サヲh米トスルト、hトv、tトノ關係ハ

$$h=vt-4.9t^2. \dots\dots(D)$$

デ表ハサレル。〔238頁(57)〕

(A)式ノlトm、(B)式ヤ(C)式ノxトy、(D)式ノhトt等ハ色々ナ値ヲ取り得ル數デアルカラコレヲ變數トイフ。變數ニ對シテ普通ノ數ヤ、又ハ文字デアツテモ少ナクトモ其ノ問題ノ中デハ一定ノ値ヲ持ツテキルモノヲ常數トイフ。

(A)式ノ2、(B)式ノ24、(D)式ノ4.9及ビv等ハ常數デアル。

二ツノ變數x、yガアツテ、xノ或ル値ニ對シテ他ノ變數yノ或ル値ガ對應スルヤウナ關係ガアルトキハ、「變數yハ變數xノ函數デアル」トイフ。

上ノ例デm、y、hハ夫々l、x、tノ函數デアル。

又反對ニl、x、tハ夫々m、y、hノ函數デアルト考ヘテモヨイ。

問題

- 1 底邊ノ長サガ一定 ($a\text{cm}$)ノ三角形ノ面積ハ何ノ函數デアるか。此ノトキノ變數ト函數トノ關係ヲ式デ書表ハセ。
- 2 物體ガ自然ニ落下スルトキ、落チ初メテカラ t 秒間ニ降ル距離ヲ S 米トスルト $S=4.9t^2$ デアル。此ノ關係式カラ何ガ何ノ函數デアるかヲ言へ。又此ノトキノ常數ハ何カ。〔238頁61〕
- 3 圓周率ヲ π , 圓ノ半徑ヲ $r\text{cm}$, 面積ヲ A 平方糎トスルト $A=\pi r^2$ デアル。圓ノ面積ハ何ノ函數デアるか。

- (1) 圓ノ半徑ト周トノ關係ヲ式デ表ハセ。圓ノ周ハ何ノ函數デアるか。又其ノトキノ常數ハ何カ。
- (2) 一定ノ速サデ走ル汽車ガ通過スル距離ハ何ノ函數カ。又毎時 80km ノ速サデ走ル汽車ノ通過スル距離トコレニ要スル時間トノ關係式ヲ書ケ。又此ノ時、何ガ何ノ函數デアるか。
- (3) 球ノ半徑ヲ r , 圓周率ヲ π デ表ハストソノ體積 V ハ $\frac{4}{3}\pi r^3$ デ表ハサレル。常數變數、函數ハ夫々何カ。

問題

- 1 底邊ガ一定ノトキノ三角形ノ面積ハ高サノ函數デアるか。今高サヲ $x\text{cm}$, 面積ヲ y 平方糎トスレバ
- $$y = \frac{1}{2}ax$$
- デ、 a ハ常數デアるか。
- 2 $S=4.9t^2$ ニ於テハ時間 t ガ定マレバ、ソレニ應ジテ距離 S ガ定マル。故ニ S ハ t ノ函數デアるか。又上ノ式ヲ
- $$t = \sqrt{\frac{S}{4.9}}$$
- (負ハ捨テル)ト書クト、 t ハ S ノ變數トスル函數ト考ヘラレル。
- 3 圓ノ面積 A ハ其ノ半徑 r ノ函數デアるか。

- (1) 圓ノ半徑ヲ r , 其ノ周ヲ p トスレバ $p=2\pi r$ デアル。從ツテ p ハ r ノ函數デアるか。又 2π トハ何レモ常數デアるか。
- (2) 一定ノ速サデ走ル汽車ノ通過スル距離ハ時間ニヨツテ定マル。故ニ時間ノ函數デアるか。又毎時 80km ノ速サデ走ル汽車ノ通過スル距離ヲ S トシ、コレニ要スル時間ヲ t トスレバ
- $$S=80t$$
- 故ニ S ハ t ノ函數デアるか。又 $t = \frac{S}{80}$ トモ考ヘラレルノデ t ハ S ノ函數デアるか。
- (3) $V = \frac{4}{3}\pi r^3$ 故ニ V ハ r ノ函數デアツテ、 $\frac{4}{3}\pi$ トハ共ニ常數デアるか。

- 補充問題 (1) 高サ一定ナル直圓錐ノ體積ヲ表ハス式ヲ書ケ。ソノ式ニ於テ體積ハ何ノ函數デアるか。($V=\pi r^2 h$ 故ニ V ハ r ノ函數) 又高サ h モ變ルモノトスレバ、 V ハ何ト何トノ函數デアるか。
- (2) 二邊ノ一定ナ三角形ノ第三邊ハ何ノ函數カ。又此ノ三角形ノ面積ハ何ノ函數カ。(共ニ其ノ二邊ノ夾角ノ函數デアるか、其ノ函數關係ヲ示ス式ハ今ノ所示サナイ方ガヨイ。)

48. 二次函数ノグラフ及極大極小

x ノ二次函数ハ一般ニ ax^2+bx+c デアツテ、コレヲ y トスレバ

$$y=ax^2+bx+c \text{ 又ハ } y-ax^2-bx-c=0$$

所ガ往々ニシテ $ax^2+by^2=c$ ノヤウナモノサヘモ y ハ x ノ二次函数カノヤウニ考ヘル人ガアルガ、コレハ誤リデアアル。

$$ax^2+by^2=c$$

ハコレヲ變形スレバ $y=\pm\sqrt{\frac{c-ax^2}{b}}$ トナツテ、 x ノ無理函数デアアル。而モ二價函数トナルノデアアル。

三次函数ハ同様ニ $y=ax^3+bx^2+cx+d$ ノヤウナモノヲイフノデアアルガ、要スルニ二次函数、三次函数、四次函数等ハ何レモ有理整函数ヲ變數ノ次數ニヨツテ分類シタモノデアアル。

扱、二次函数 $y=ax^2+bx+c$ ハ x ノ變化ニツレテ如何ナル變化ヲナスカトイフノガ本節ノ研究題目デアアル。變化ノ様子ヲ最モ明瞭ニ示スモノハグラフデアアルカラ。二次函数ノ變化ヲ圖示スル例トシテ教科書デハ $y=x^2-8$ ヲトツタノデアアル。

一般ニ $y=x^2, y=ax^2 (a \neq 0)$

ノグラフハ y 軸ニ關シテ對稱デアアル。ソレハ x ノ絶對値ノ等シイ正負ノ値ニ對シテ y ハ同ジ値ヲ持ツカラデアアル。

又 $y=x^2-8$

ニツイテ考ヘテミルニ、 x^2 ハ x ノ正負ニ關シテ同ジ値ヲ有スル。故ニ x^2-8 モ亦 x ノ正負ニ關シテ同ジ値ヲ有ス。即チソノグラフハ y 軸ニ關シテ對稱デアアル。生徒ニハ實際ニ x = 種々ノ値ヲ代入シ、ソレニ應ズル y ノ値ヲ比較サセテミルガヨイ。

一般ニ二次函数 $y=ax^2+bx+c$ ノグラフハ拋物線 Parabola トイハレル。コレハ拋物體ノ軌跡ガ力學上丁度二次函数トナルカラ、

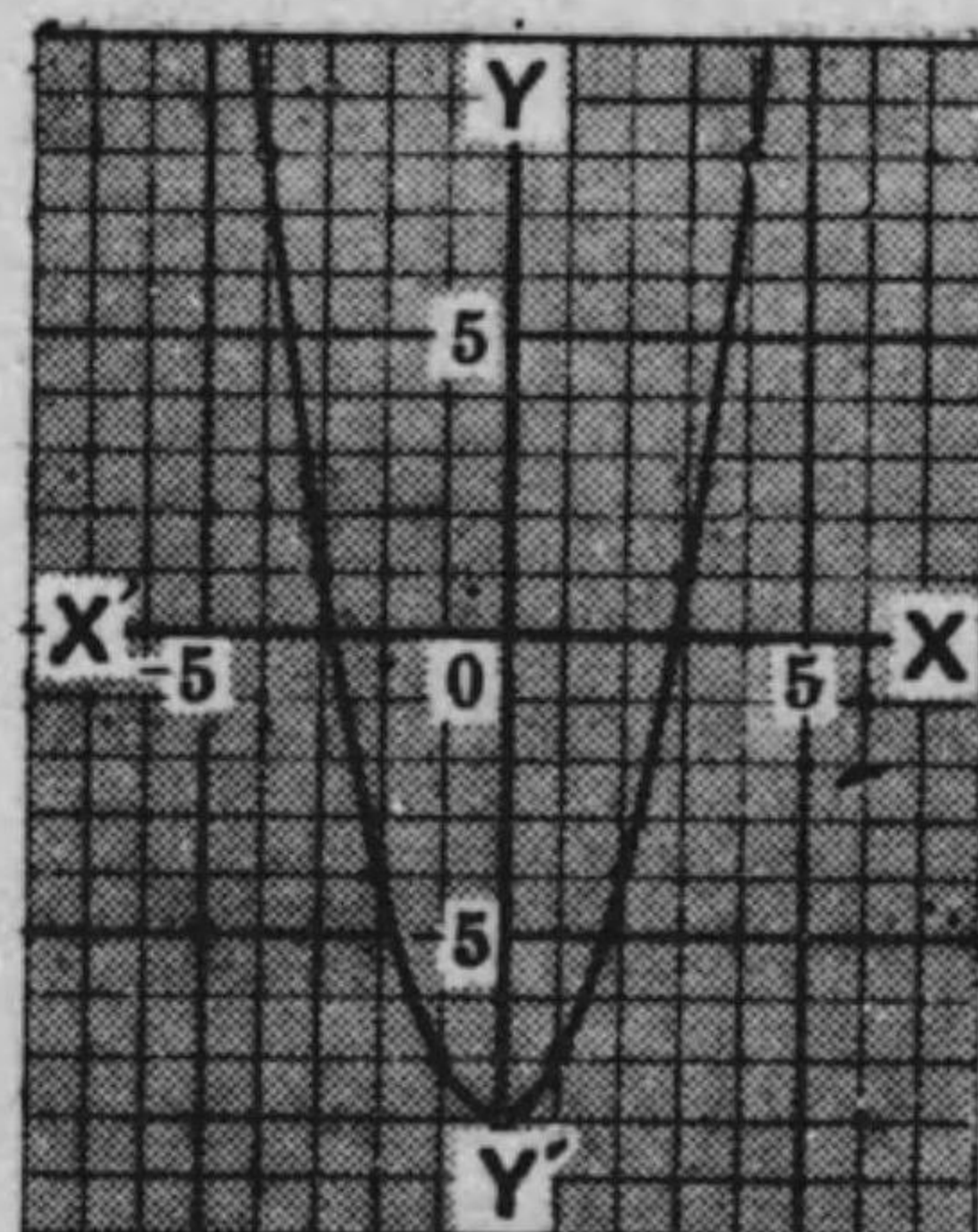
48. 二次函数ノグラフ及極大極小

或ル變數ノ函数ガ其ノ變數ニツイテノ二次式デ表ハサレルナラバ、コノ函数ヲ二次函数トイフ。

例一 x ノ函数 x^2-8 ノグラフヲ描ケ。

解 $y=x^2-8$ ト置キ、變數 x ノ變化ニ伴フ函数 y ノ値ノ變化ヲ考ヘ、ソノ對應スル値ヲ

求メテ見ルト



x	...	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	...
y	...	8	1	-4	-7	-8	-7	-4	1	8	...

尙コノ際、 x ガ負カラ順次ニ増大シテ 0 トナルト、 y ハ順次ニ減少シテ -8 トナリ、 x ガ更ニ増大スルト、

y ハ却ツテ -8 カラ増大スルコトガワカル。

ソレ故對應スル x, y ノ値ヲ座標トスル點ハ點(0, -8) カラ下ニハナイカラ、上ノ表ノ各組ノ値ニヨツテ點ヲ打チ此等ノ點ヲ順次ニ滑カニ連結スルト、圖ノヤウナ曲線ノグラフガ得ラレル。

コノ曲線ハ拋物線ト呼バレル。

問 例一ノ圖上ニコレト同ジ軸ヲ用ヒテ

$y=x^2$, $y=x^2+5$, $y=x^2-10$ ノグラフヲ描ケ。

上ノ問及ビ例一ノグラフハ何レモ $y=x^2$ ノグラフヲ上下ニ移動シタモノニ過ギナイ。
 $y=x^2$ ノグラフヲ標準拋物線トイフ。例一ノ $y=x^2-8$ ノグラフハ又

$$x^2=y+8 \quad \text{又ハ}$$

$x=\pm\sqrt{y+8}$ ノグラフトイフコトモ出來ル。
今 y ノ値ヲ種々ニトリ、之ニ對應スル x ノ値ヲ考ヘルト

$$y \cdots \cdots 8, 1, 0, -1, -2, -3 \cdots -8$$

$$x \cdots \cdots \pm 4, \pm 3, \pm 2\sqrt{2}, \pm \sqrt{7}, \pm \sqrt{6}, \pm \sqrt{5} \cdots 0$$

ノヤウニ y ノ一ツノ値ニ對シテ x ノ符號ガ反對デ絶對値ノ等シイ二ツノ値ガアルコトガワカル。ソレガ y ガ -8 ノトキハ唯一ツノ値トナリ、グラフ上ノ點モ唯一ツデアルコトガ知ラレル。

尙 y ノ値ヲ減ジテ行クト

$$y \quad -9, \quad -10, \quad -11, \cdots \cdots$$

$$x \quad \pm\sqrt{-1}, \quad \pm\sqrt{-2}, \quad \pm\sqrt{-3}, \cdots \cdots$$

トナリ、 y ノ -8 ヨリ小サイ値ニ對シテハ數ノ

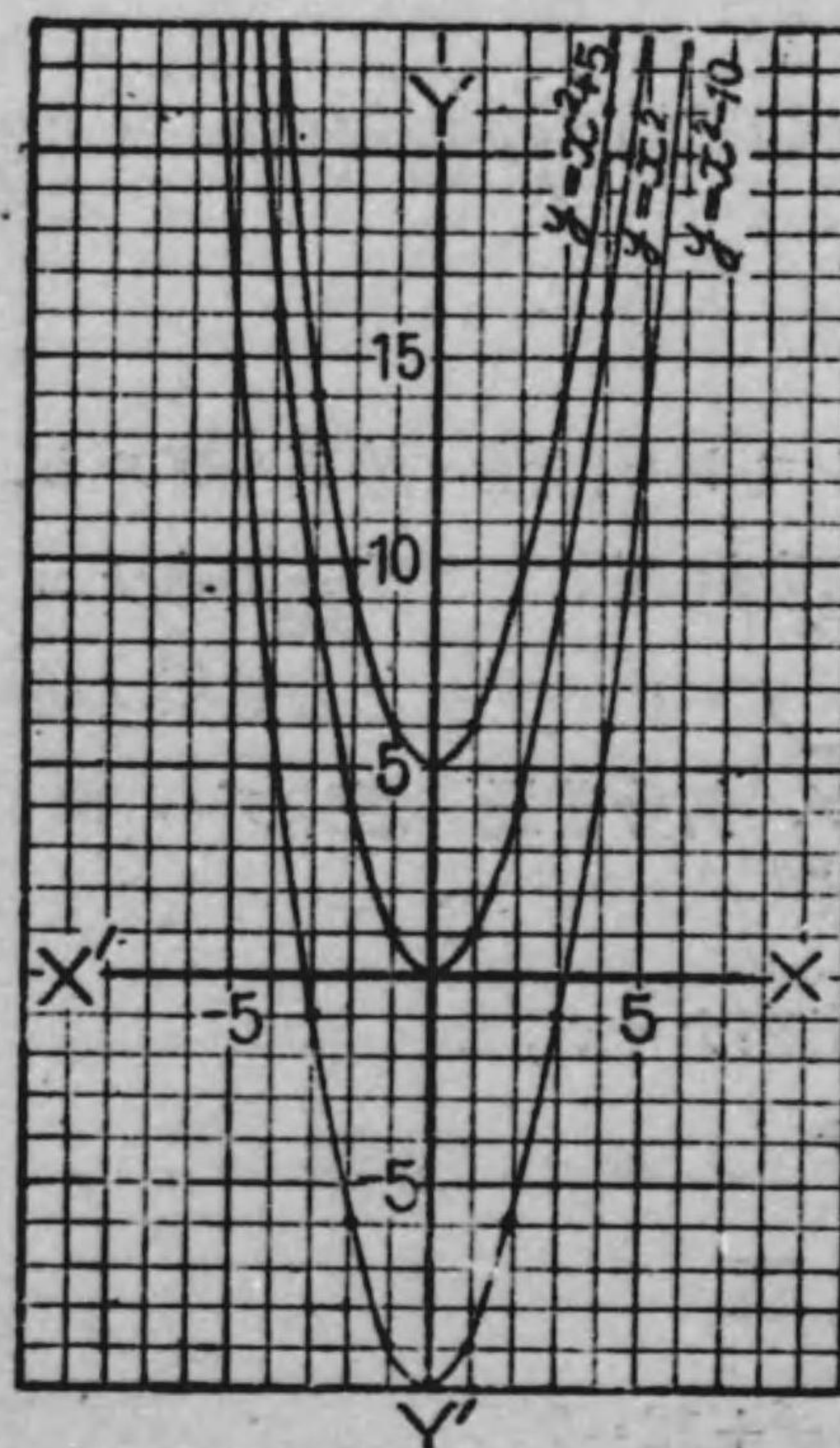
二次函數ノグラフガ拋物線ト稱ヘラレルノデアアル。

拋物體ノ運動ノ式ヲ參考ノタメニ書イテ見ルト

$$y = \frac{v_0}{u_0} x + \frac{g}{2u_0^2} x^2$$

但シ質點ノ初速度ノ中 x 軸上ノ分速度ヲ u_0 , y 軸上ノ分速度ヲ v_0 トスル。從ツテ時間 t ヲ媒介變數トシテ拋物體ノ運動ヲ示スナラバ

$$\left. \begin{aligned} y &= \frac{1}{2} g t^2 + v_0 t \\ x &= u_0 t \end{aligned} \right\}$$



問 $y=x^2$, $y=x^2+5$, $y=x^2-10$ 何レモソノグラフハ y 軸ヲ對稱軸トスル拋物線デアツテ、ソノグラフヲ示スト左ノ通りデアアル。

又 x 軸ノ目盛ト y 軸ノ目盛ヲ變ヘル。例ヘバ、 y 軸ノ目盛ハ左圖ノヤウニシ、 x 軸ノ目盛ハ二ツヲ1ト考ヘルトカ、三ツヲ1ト考ヘルトカイフヤウニスレバ形ノヨイ拋物線ガ得ラレル。

左ノ $y=x^2$ ノグラフモ、 $y=x^2+5$ ノグラフモ、 $y=x^2-10$ ノグラフモ、又前頁ノ $y=x^2-8$ ノグラフモ合同デアアルガ、更ニ $y=x^2-bx+c$ ノグラフモ亦 $y=x^2$ ノグラフト合同デア

ルカラ $y=x^2$ ノグラフヲ標準拋物線トイフノデアアル。

一般ニ $y=ax^2+bx+c$ ニ於テ、 a ガ正ナラバソノグラフハ上向キノ拋物線デ、 a ガ負ナラバ下向キノ拋物線トナル。又 a ノ絶對値ハ拋物線ノ形ヲ決定スルモノデ、 a ノ絶對値ガ大ニナレバ拋物線ハ細長クナリ、其ノ絶對値ガ小サクナレバ太ツタ形トナル。

b, c の値ハ拋物線ノ位置ヲ決定スル。其ノ中 c ハ拋物線ガ y 軸ヲ截ル截片ノ値ヲ與ヘルモノデア。ソレハ $y = ax^2 + bx + c$ = 於テ x ヲ 0 トスレバ $y = c$ トナルコトカラワカル。恰モ $y = ax + b$ ノ b ト同様デア。ル。

上記ノコトカラ a ノ値ノ同一ナ拋物線ハ合同デア。ルコトガイヘルノデア。ルガ、茲デハ勿論ソノ理論的ナ證明ハスル必要ハナイ。

拋物線ヲ描クニハ方程式ニ適スル x, y ノ値ヲ數組定メ、ソレヲ座標トスル點ヲ定メテ、ソレラノ點ヲ滑カニ結ベバヨイ。決シテ線分ヲ以テ結ンデハナラナイ。

拋物線ニハ必ズ對稱軸ガアツテ、ソノ對稱軸ヲ拋物線ノ軸トイヒ、軸ト拋物線トノ交點ヲ拋物線ノ頂點トイフ。

虚數ニツイテ

二次方程式解法ニ伴ツテ虚數ノ生ズルコトハ自然ノ勢デハアルガ、虚數ヲ中學校教科書ニ取入レルコトハ實際問題トシテ隨分困難ナコトガ多イノデ、本書デハ唯單ニ名目ヲ示スニ止メタ。勿論數學ノ研究ニハ必要缺クベカラザルモノデア。ルガ、何分普通ノ意味デハ

- (a) 大小ノ比較ガ出來ナイ、
- (b) 具體的ニ其ノ量ヲ示スコトガ出來ナイシ、
- (c) 正負ノ別ヲ定メルコトガ出來ナイ。

問題

4 $x^2 + 25 = 0$
 $\therefore x^2 = -25$ 答 $\pm 5\sqrt{-1}$

5 $x^2 + 2x + 4 = 0$
 $x = \frac{-2 \pm \sqrt{4 - 16}}{2}$
 $= -1 \pm \sqrt{-3} \dots$ 答

4 $y^2 + 12 = 0$
 $y^2 = -12$ 答 $\pm \sqrt{-12}$

5 $x^2 - x + 3 = 0$
 $x = \frac{1 \pm \sqrt{1 - 12}}{2}$
 $= \frac{1 \pm \sqrt{-11}}{2} \dots$ 答

上デハ根號内ニ負數ガ現ハレルガ、グラフノ上デハ之ニ應ズル點ハナイ。コレハ

平方根ノ根號内ニ負數ヲ持ツ數ハ吾々ノ實際生活ニハ表ハレナイ數デア。ルコトヲ示ス。コノヤウナ數ヲ虚數ト名ヅケ、二乗スレバ負數トナル數ト規約スル。虚數ニ對シテ今マデ學ンデ來タ數ヲ實數トイフ。

例ヘバ $(\sqrt{-3})^2 = -3$, $-(\sqrt{-5})^2 = -(-5) = 5$

例二 $x^2 + 9 = 0$ ヲ解ケ。

解 $x^2 + 9 = 0$
 $x^2 = -9$
 $x = \pm \sqrt{-9}$ $x = \pm 3\sqrt{-1}$ 答 $\pm 3\sqrt{-1}$

$\sqrt{-9} = \sqrt{-1 \times 9} = \sqrt{9} \times \sqrt{-1} = 3\sqrt{-1}$

虚數ハ $\sqrt{-1}$ ヲ單位トスル數デア。ル。

問題

次ノ方程式ヲ解ケ。4-6

4 $x^2 + 25 = 0$	(4) $y^2 + 12 = 0$
5 $x^2 + 2x + 4 = 0$	(5) $x^2 - x + 3 = 0$
6 $y^2 - 5y + 5 = 0$	(6) $5x^2 + 6x + 2 = 0$

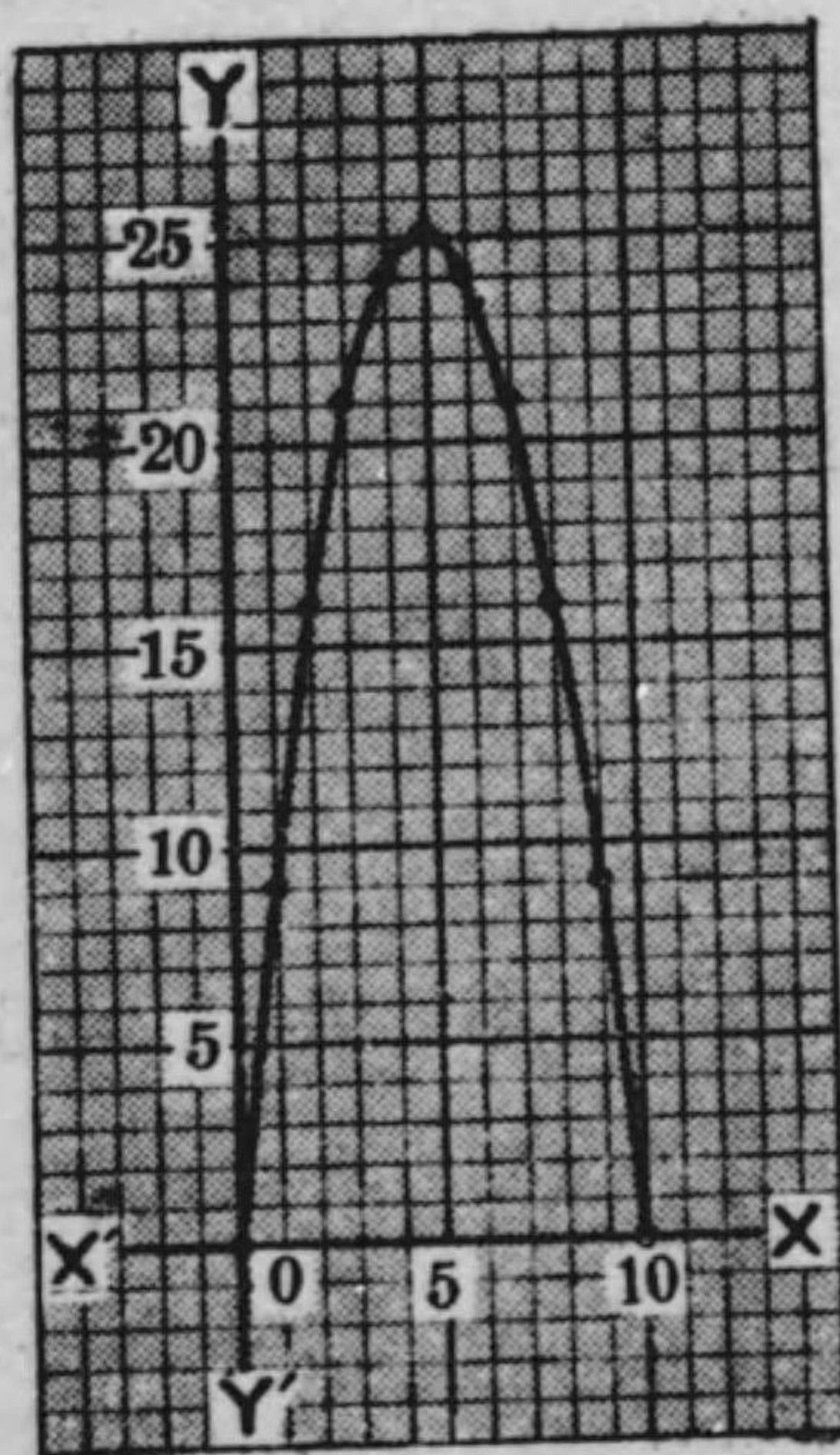
例三 周圍ガ20米ノ矩形ノ中デ面積ノ最大ナモノハ何カ。コレヲグラフデ解ケ。

解 矩形ノ周圍ガ20米デアルカラ、縦ト横トノ長サノ和ハ10米デアル。ソレ故縦ノ長サヲ x 米デ表ハスト、横ノ長サハ $(10-x)$ 米デ、ソノ矩形ノ面積ヲ y 平方米トスルト

$$y = x(10-x) \quad \text{ノ式ガ得ラレル。}$$

今 x ジ順々ニ 0 ト 10 トノ間ノ値ヲ取ル場合、コレニ對應スル y ノ値ヲ求メテ表ニシテ見ルト、

x	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
y	0	9	16	21	24	25	24	21	16	9	0



此等ノ各組ノ値ニヨツテ順次ニ點ヲ描キ、滑カニ連結スルト圖ノヤウニナル。

$$6 \quad y^2 - 5y + 5 = 0$$

$$y = \frac{5 \pm \sqrt{25 - 20}}{2}$$

$$= \frac{5 \pm \sqrt{5}}{2} \dots \dots \text{答}$$

$$(6) \quad 5x^2 + 6x + 2 = 0$$

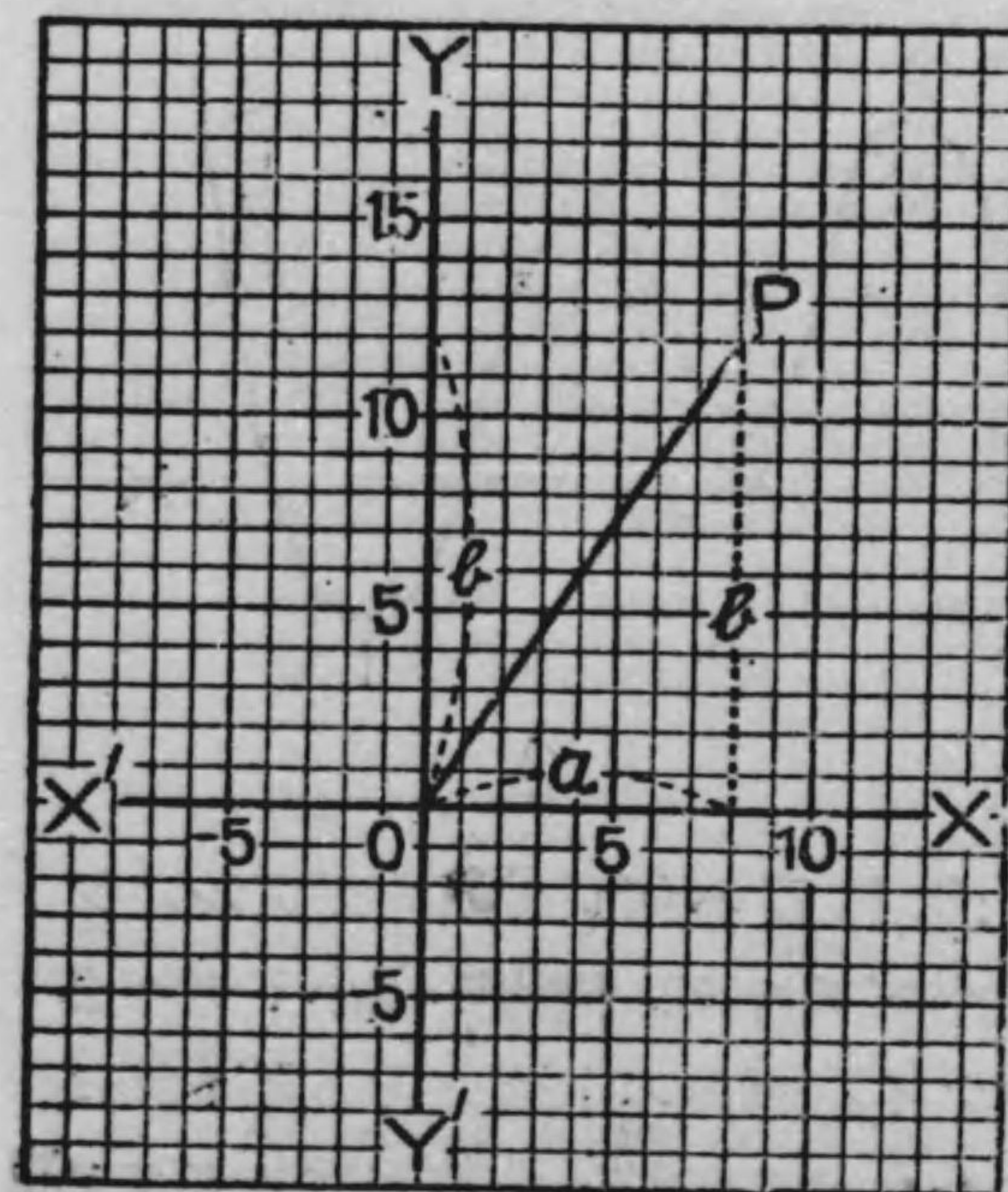
$$x = \frac{-6 \pm \sqrt{36 - 40}}{10}$$

$$= \frac{-6 \pm \sqrt{-4}}{10}$$

$$= \frac{-3 \pm \sqrt{-1}}{5} \dots \dots \text{答}$$

注意 1. 虚数ノ計算ニ於テ例ヘバ $\sqrt{-12}$ ノヤウナノハコレヲ $\sqrt{12}\sqrt{-1}$ 即チ $2\sqrt{3}\sqrt{-1}$ 又ハ $2\sqrt{-3}$ ト直シテモヨイガ、12ガ完全平方デナイカラコンナノハ、成ルベクソノママ $\sqrt{-12}$ トスルコトヲ希望スル。

注意 2. 虚数從ツテ複素数ノ大小ハ特別ノ定義ヲ要シ而モソレハ餘程高等ノ數學ニノミ必要デアルカラ、通常ノ意味デハ虚数ニハ大小ナシトシテヨロシイ。



注意 3. 複素数ノ幾何學的ノ表示ハ Gauss, Neumann, Argand 等ニヨツテ成サレタ。例ヘバ $a + b\sqrt{-1}$ ヲ表ハスニハ次ノヤウニスル。

即チ圖ニ於テ X 軸ハ實軸トイツテ、實數部分 a ノ値ヲ取ル。Y 軸ハ虚軸トイツテ虚數部分 b ノ値ヲトル。

$P(a, b)$ ヲ求ムレバ點 P ハ $a + bi$ ニ對應スル點デアル。

此ノ表示法ハ三角法トノ連絡モアリ、又ベクトル Vector ト

モ密接ナ關係ガアルガ勿論初等的デハナイ。

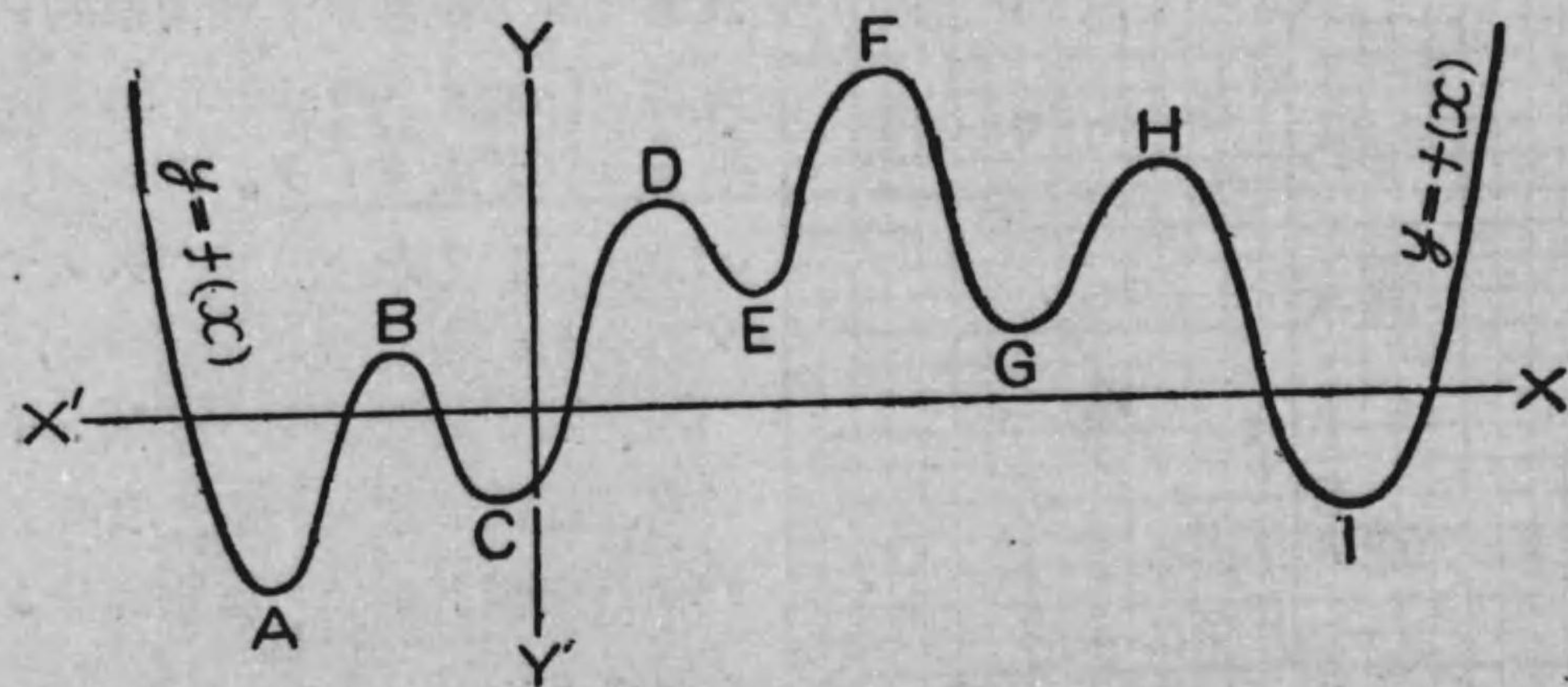
例三 $y = ax^2 + bx + c$ ニ於テ a ガ負デ c ガ 0 ノ場合ノ例デアル。而モ實際問題デアルタメニ「カーブ」ハ或ル所デ切レテ仕舞ツテキ

ルノデアル。 a が負ノトキハ何故ニ下ヲ向クカトカ、ソノグラフノ
 彎曲ノ様子ハドウカ等ノ理論的ナコトハ微分學ノ助ヲ藉ラネバワカ
 ラナイガ、實例デ圖ヲ描カセテ見テ、 a ガ負ノトキハ x ノ絶對値ノ
 増大スルニツレテソノ函數ノ値ハ如何程デモ減少シテ行クコトヲ考
 ヘサセルト、左程ノ困難モナクワカルコトデアル。尙此ノ例デハグ
 ラフノ上デ最大ノ場合ヲ研究サセルノデアル。即チ $y=x(10-x)$ デ
 ハ $x=5$ ノトキニソノ函數ハ最大トナツテ、其ノ最大値ハ25デアル。

(a) 極大及極小 Maximum and Minimum

極大ト極小トノ研究モ微分學ニヨレバ理論的ニ美麗デアルガ、併
 シ函數概念ノ養成カラハ、極大、極小ヲ初等的ニ扱フコトハ極メテ
 肝要ノコトデアルカラ少クモ其ノ概念ダケハ與ヘルコトニスル。

極大ト最大、極小ト最小トハ全然意義ヲ異ニスル。此ノ區別ハ之
 ヲ判斷シテおく必要ガアル。今 x ノ或ル函數 $y=f(x)$ ノグラフガ次
 ノ圖ノヤウニナツタトスレバ



A, C, E, G, I ハ何レモ極小デ、 B, D, F, H ハ何レモ極大デアル。ソ
 ノ中デ A ハ極小デアルト同時ニ最小デアルガ、極大ト極小トデハ必
 ズシモ極小ノ方ガ小サイトハ限ラナイ。例ヘバ上圖ノ B ト E トヲミ
 ルト B ハ極大デアルガ極小 E ヨリハ小サイ。特ニ分數函數ノグラフ
 ヲ描クト明瞭ニナル。併シ中等ノ程度デハ取扱フ函數ガ二次函數及
 ビ簡單ナ無理函數及ビ分數函數ヲ出ナイタメ、概ネ極大ト最大、極
 小ト最小トガ一致スルコトガ多イノデ生徒ハ特ニ混同シ易イ。

コレモ拋物線デアツテ、例一ノ拋物線ト異
 ナル點ハ其ノ向キト、軸ニ對スル位置等デア
 ル。

(a) 今コノ拋物線上ノ點ノ座標ヲ檢ベテ見
 ルニ、 x ガ0カラ順次ニ増スニ從ツテ y モ
 増シ、 $x=5$ ノトキ $y=25$ トナリ、 x ガ更ニ増
 スニツレテ y ハ却ツテ減ルコトガワカル。

即チ y ノ取り得ル値ノ中デ最モ大キイ
 モノハ25デ、其ノトキノ x ノ値ハ5デアル。

ソレ故周圍ガ20米ノ矩形ノ中デ面積ノ
 最大ナモノハ縦ガ5米、從ツテ横モ5米ノ
 正方形デ、ソノ面積ハ25平方米デアル。

式カラ上ノ結果ヲ出スニハ次ノヤウニ
 スル。 $y=x(10-x)=10x-x^2$

$$= -(-10x+x^2)$$

$$= -(x-5)^2+25$$

コノ式ノ中ノ $-(x-5)^2$ ハ0以外ノトキハ
 常ニ負デ、決シテ正トナルコトハナイ。從ツ
 テ y ハ $-(x-5)^2=0$ 即チ $x=5$ ノトキ最大デ、其
 ノ値ハ25デアル。

(b) 例三ノ曲線ガ x 軸ト出會フノハ $y=0$ ノトキデアルカラ, 其ノ交點ノ x ノ値(即チ横座標)ガ方程式 $x(10-x)=0$ ノ根トナル。コレハ 0 ト 10 トデアツテ計算デ求メルモノト一致シテキル。

或ル函數ノ値ガ其ノ變數ノ値ノ變化ニツレテ次第ニ増シ, 遂ニ増大ノ極點ニ達シ, 其ノ後ハ却テ減ルナラバ, 其ノ増大ノ極點ノ函數ノ値ヲ其ノ極大値トイフ。

例三ノ函數 $x(10-x)$ ノ極大値ハ 25 デアル。

或ル函數ノ値ガ其ノ變數ノ値ノ變化ニツレテ次第ニ減リ, 遂ニ減少ノ極點ニ達シ, 其ノ後ハ却テ増スナラバ, 其ノ減少ノ極點ノ函數ノ値ヲ其ノ極小値トイフ。

例一ノ函數 x^2-8 ノ極小値ハ -8 デアル。

問題

7 $y=x^2-2x+1$ ノグラフヲ描イテ標準拋物線ト重ネ合セテ見ヨ。

(7) $y=x^2-2x-3$ 及ビ $y=x^2-2x+5$ ノグラフヲ描ケ。

x = 關スル一般ノ二次函數 ax^2+bx+c ヲトツテ考フルニ

$$ax^2+bx+c = a\left(x^2 + \frac{b}{a}x\right) + c$$

$$= a\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 - \frac{b^2-4ac}{4a} \dots\dots\dots [A]$$

x ノ値ハ實數デアルカラ, $\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2$ ハ x ノ値ノ如何ニ關セズ決シテ負トナルコトハナイ。即チ $\left(x + \frac{b}{2a}\right)^2 \geq 0$

故ニ ax^2+bx+c ハ $x + \frac{b}{2a} = 0$ ノトキニ極大又ハ極小トナリ, 其ノ値ハ $-\frac{b^2-4ac}{4a}$ デアル。故ニ與函數 ax^2+bx+c ガ極大ヲ持ツカ極小ヲ持ツカハーツニ a ノ正負ニヨツテ定マル。即チ

(1) $a > 0$ ノトキ

今 $a = p^2$ トオケバ $[A] = (px+a)^2 - \beta$ トナルカラ $x = -\frac{a}{p}$ ノトキ極小トナル。即チ函數ハ極小値ヲ有スル。コレハグラフガ上向きデアルコトニヨツテモワカル。

(2) $a < 0$ ノトキ

今 $a = -p^2$ トオケバ $[A] = -(px+a)^2 - \beta$ トナルカラ $x = -\frac{a}{p}$ ノトキ極大トナル。即チ函數ハ極大値ヲ有スル。コレモ亦グラフガ下向きデアルコトニヨツテ得ル結果ト一致シテキル。

教科書デハ上ノ(1), (2)ノ例トシテ $y=x^2-8$ ト $y=10x-x^2$ トヲ取扱ツタ。

計算ニヨツテ極大, 極小ヲ求メルニハ上ノ[A]式ヲ導イタヤウニ x ヲ含ム項全部ヲ完全平方ニスルヤウニ考ヘルガヨイ。此ノ他ニ判別式ニヨル方法モアルガ本書デハ判別式ハ取扱ハナイカラ之ヲ省ク。

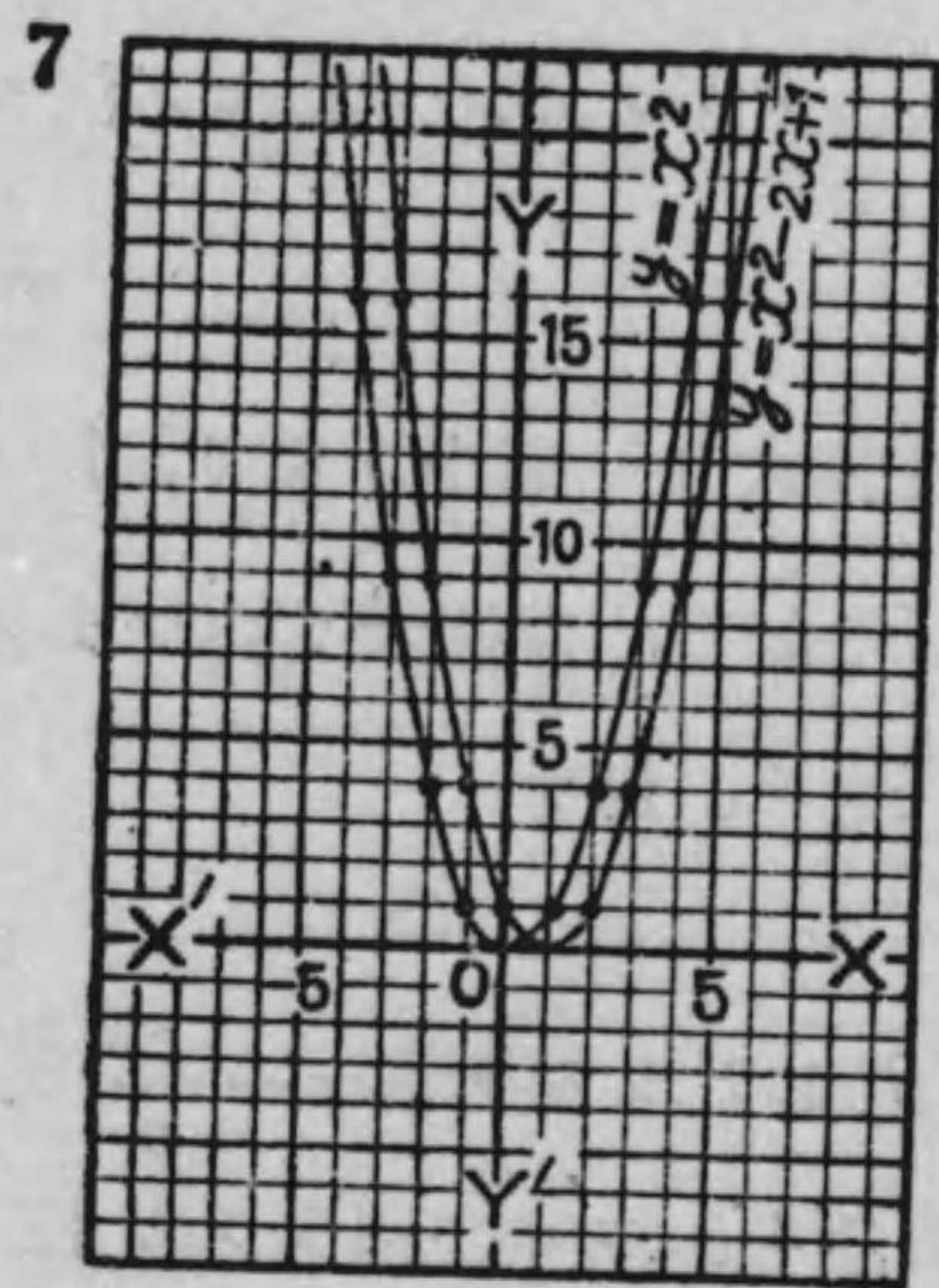
(b) グラフニヨル方程式ノ解法

(a) デハグラフニヨル極大極小ノ意味ヲ考ヘタ。グラフデハ此ノ外方程式ヲ解クコトガ出來ル。ソレハ $y=x(10-x)$ ノグラフガ x

軸トノ交點ヲ求メルノデアルガ、コレハ式ノ上デハ次ノ聯立方程式ヲ解クコトニナルノデアル。

$$\begin{cases} y = x(10-x) \\ y = 0 \end{cases}$$

問題



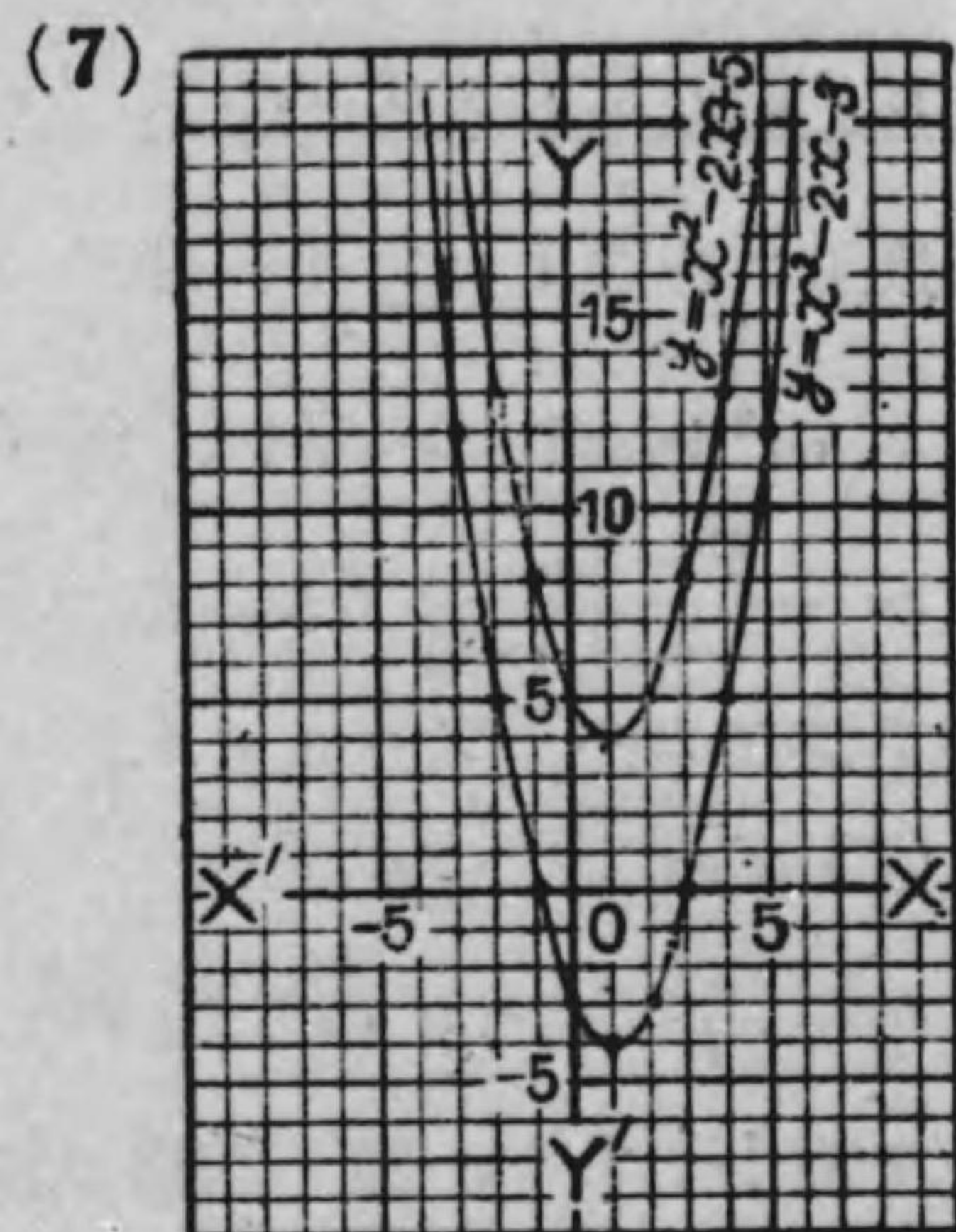
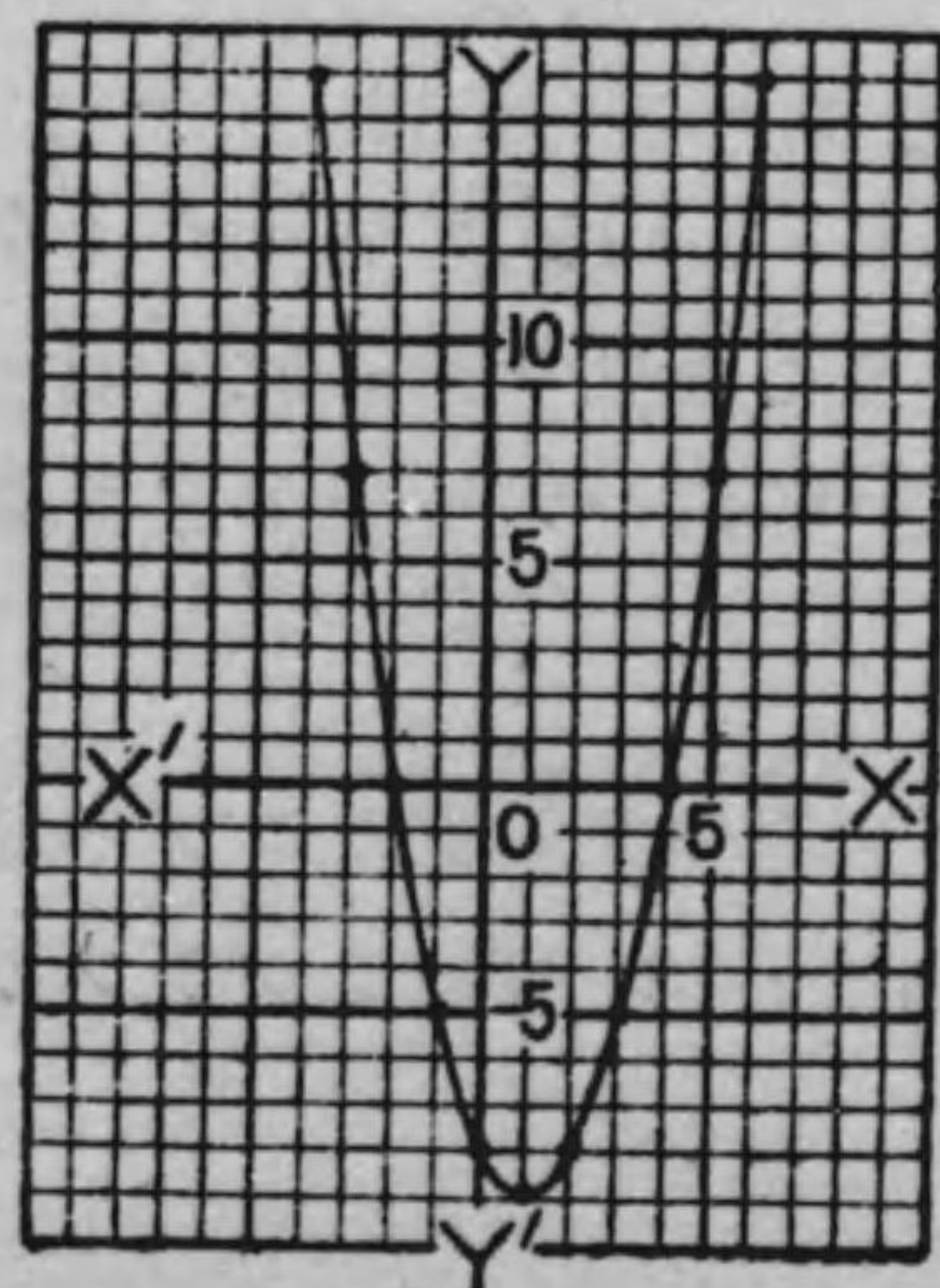
8 教科書ノ圖ヲ見ヨ。

答 5, -1

9 計算 $(x-4)(x+2)=0$

故 = $x=4$ 又ハ -2

尙圖デハ次ノ通り。

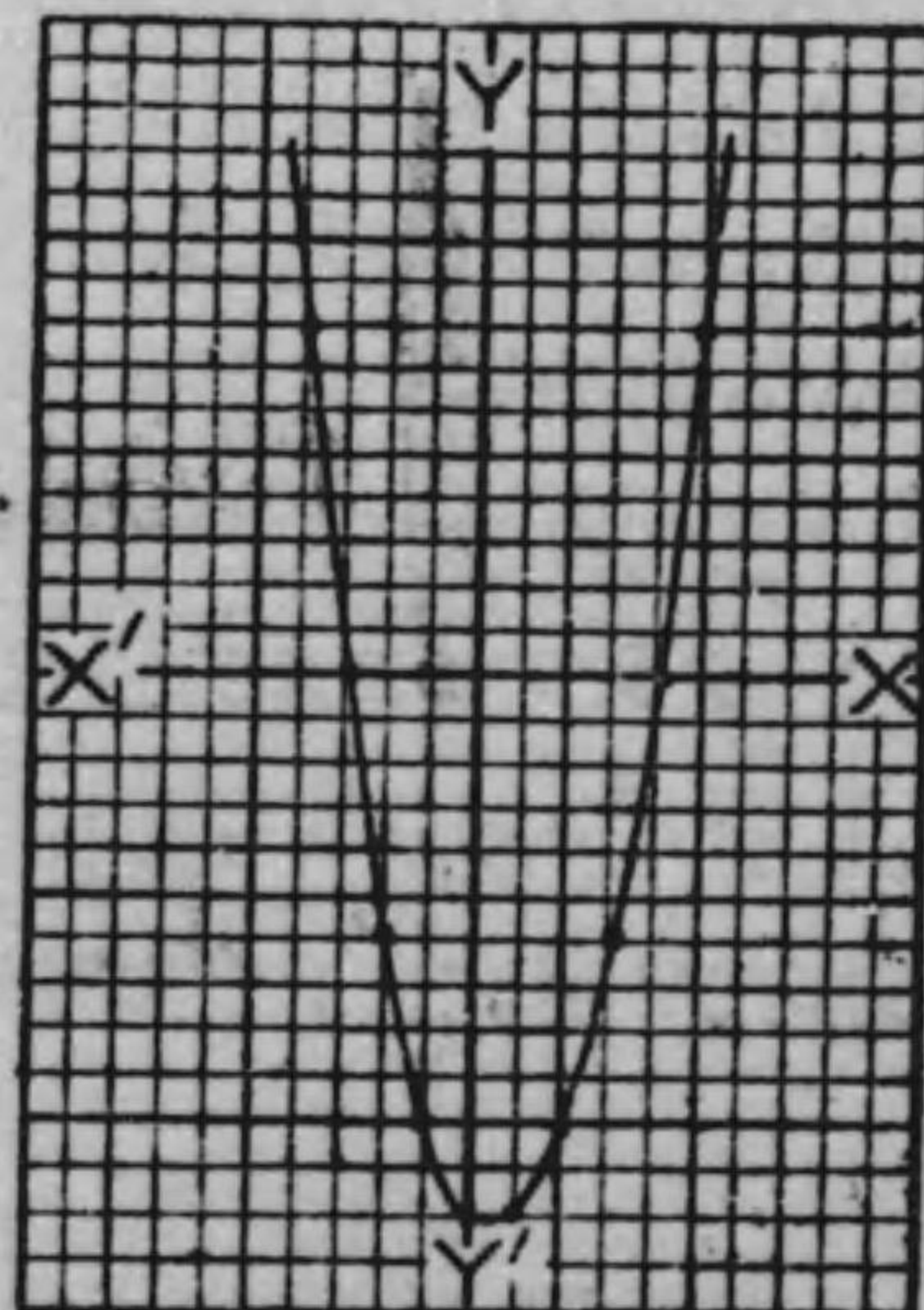


(8) グラフガ x 軸ト交ラナイコトハ x^2-4x+5 ヲ0トスル x ノ實數値ノナイコトヲ示ス。即チ根ハ虚數トナル。

(9) 計算 $(x-4)(x+3)=0$

故 = $x=4$ 又ハ -3

尙圖デハ次ノ通り。



次ノ一元二次方程式ヲグラフデ解キ、計算ニヨル結果ト比較セヨ。

8 $x^2-4x-5=0$

(8) $x^2-4x+5=0$

注意 $y=x^2-4x-5$

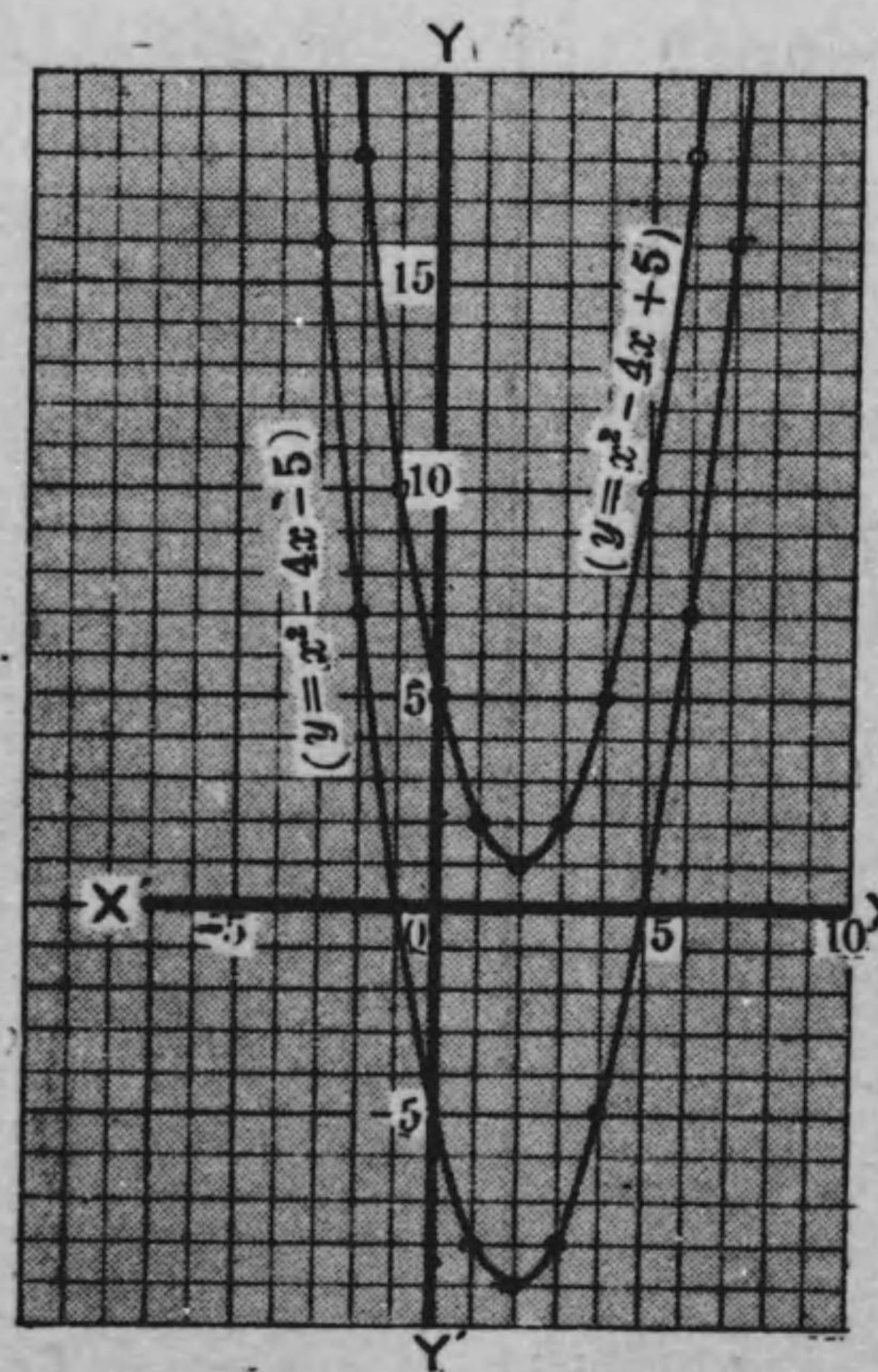
注意 $y=x^2-4x+5$

ノグラフヲ描ケ。

ノグラフヲ描ケ。

コノグラフガ x 軸ト交ハル點ヲ考ヘヨ。

コノグラフガ x 軸ト交ハラナイコトハ如何ナルコトヲ示スカ。



計算デ求めルト $x=2 \pm \sqrt{-1}$ トナル。

9 $x^2-2x-8=0$ ヲ

(9) $x^2-x-12=0$ ヲ

グラフト計算トノ兩方デ解ケ。

グラフト計算トノ兩方デ解ケ。

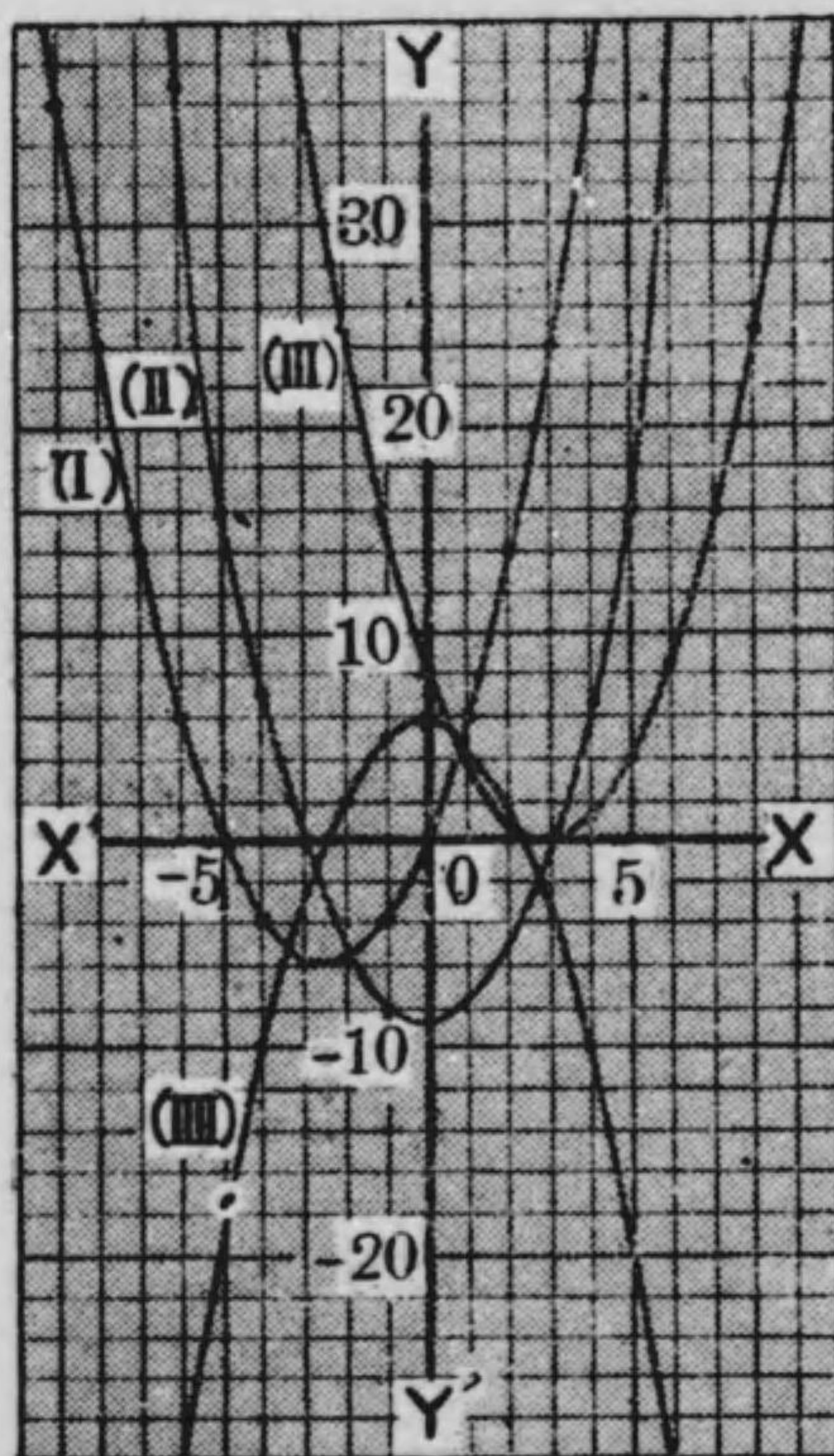
次ノ圖ハ下ノ各式ノグラフデア。ドノ式ガドノ
グラフニ當ツテキルカヲ言ヘ。

10 4 $y=x^2-9$

□ $y=6-x^2$

ハ $y=x^2+5x$

ニ $y=x^2-6x+9$

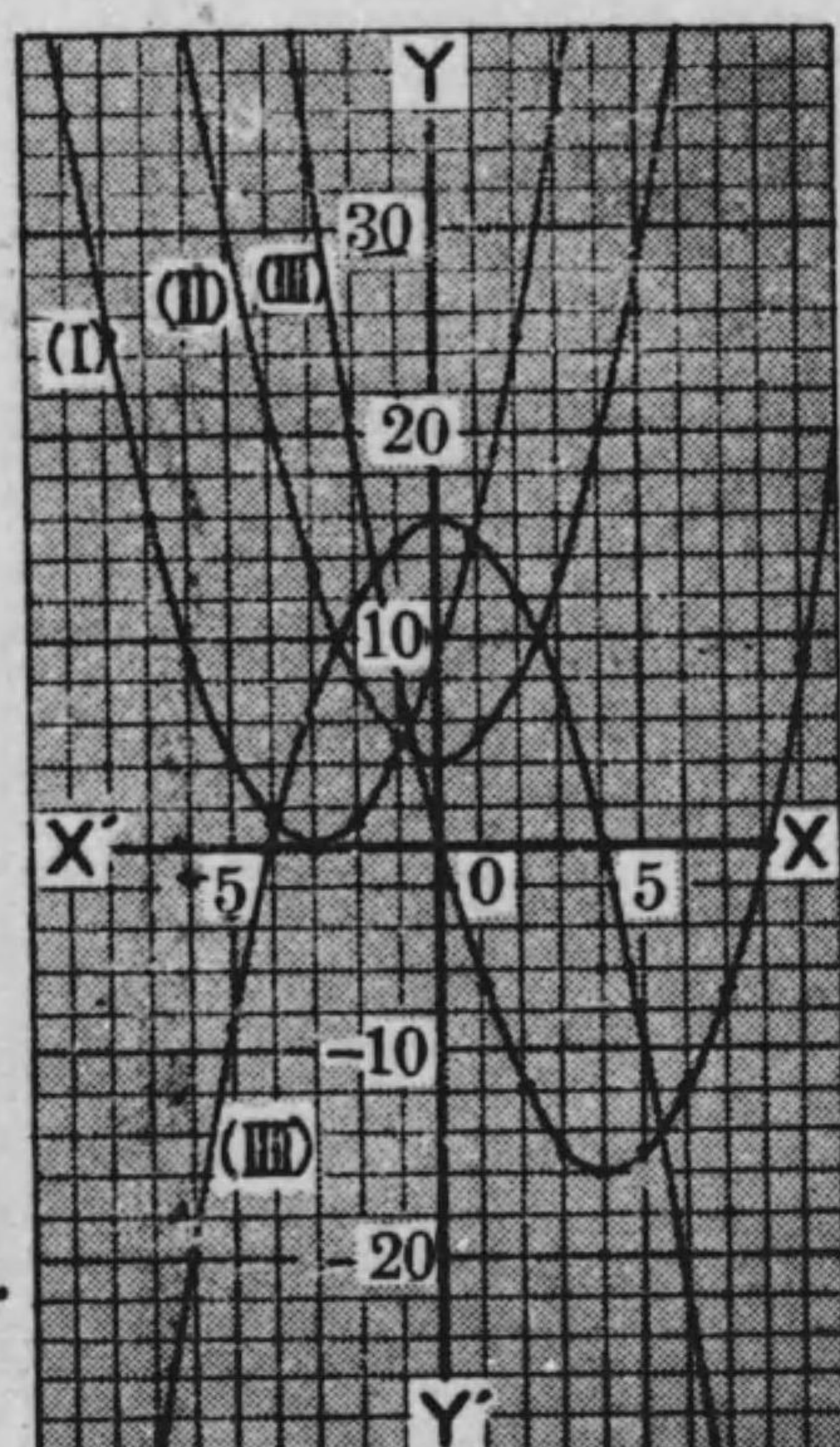


(10) (4) $y=x^2+4$

□ $y=-x^2+16$

ハ $y=x^2-8x$

ニ $y=x^2+6x+9$



注意 $y=ax^2+bx+c$ ノグラフト x 軸トノ交
點ノ横座標ガ $ax^2+bx+c=0$ ノ根デア。事ヲ
利用スルト上ノ答ヲ得ルノニ都合ガヨイ。

10 4 $y=x^2-9$ ノグラフハ
(I)デア。

理由ニハ色々アルガ、

(1) $x^2-9=0$ ノ根ガ ± 3 デア
ルカラ x 軸ノ截片ノ値ヲ見
レバヨイ。

(2) y 軸ガ拋物線ノ軸トナツ
テキル。

(3) y 軸ノ截片ガ -9 デアル。

等色々アゲラレル。

□ $y=6-x^2$ ノグラフハ(II)
デア。何トナレバ、

(1) グラフガ下向キニナツテ
キル。

(2) y 軸ノ截片ガ 6 デアル。

ハ $y=x^2+5x$ ノグラフハ

(I)デア。何トナレバ

(1) 原点ヲ通ツテキル。

(2) x 軸ノ截片ガ $x^2+5x=0$
ノ根デア。

ニ $y=x^2-6x+9$ ノグラフハ

(II)デア。何トナレバ

(1) y 軸ノ截片ガ 9

(2) グラフガ x 軸ノ $+3$ ノ所
デ x 軸ニ切シテキル。

(10) (4) $y=x^2+4$ ノグラフ
ハ(III)デア。

理由

(1) 拋物線ノ軸ハ y 軸トナツ
テキル。

(2) y 軸ノ截片ガ $+4$

(3) $x^2+4=0$ ノ根ハ $\pm 2\sqrt{-1}$
即チ、グラフガ x 軸ト交ハ
ツテキナイ。

□ $y=-x^2+16$ ノグラフ
ハ(III)デア。

理由

(1) グラフガ下向キ

(2) y 軸ノ截片ガ 16

(3) 拋物線ノ軸ハ y 軸デア。

ハ $y=x^2-8x$ ノグラフハ

(II)デア。

理由

(1) 原点ヲ通ル。

(2) $x^2-8x=0$ ノ根ガ 0 ト 8

(ニ) $y=x^2+6x+9$ ノグラフ

ハ(I)デア。何トナレバ、

(1) y 軸ノ截片ガ 9

(2) グラフガ x 軸ノ -3 ノ所
デ x 軸ニ切シテキル。

49. 二元二次方程式ノグラフ

前節ノ二次函数 $y=ax^2+bx+c$ モ亦二元二次方程式デアルガ、本節デハ二次函数以外ノ二元二次方程式ノグラフヲ研究シ、併セテ二元二次方程式ヲ總括セントスルノデアル。

二元二次方程式ノ一般ノ形ハ

$$ax^2+2hxy+by^2+2gx+2fy+c=0$$

デアルガ、コノ一般ノ形カラノ研究ハ中等ノ程度デハナイ。併シ此ノ一般ノ形モ解析幾何學ノ教ヘル所ニヨレバ、適當ニ座標軸ヲ變換スルコトニヨツテ次ノ標準ノ形ニ歸スルコトガ出來ル。

(1) $x^2+y^2=r^2$ (圓)

(2) $\frac{x^2}{a^2}+\frac{y^2}{b^2}=1$ (橢圓)

(3) $\frac{x^2}{a^2}-\frac{y^2}{b^2}=1, \quad xy=k$ (雙曲線)

(4) $y=ax^2+bx+c, \quad y^2=px$ (拋物線)

(5) $ax^2+bcy^2=0$

即チ $(lx+my)(l'x+m'y)=0$ (相交ル二直線)

(6) $l^2x^2+m^2y^2=0$

即チ $x=0, y=0$ (原點即チ點圓)

上ノ(5)ト(6)トハ極メテ特別デアリ、(4)ハ既ニ前節デ研究シタノデ、本節デハ(1),(2),(3)ノ研究ヲスル。

例一 $x^2+y^2=r^2$ (特ニ $r=5$ ノ場合) ノグラフデアル。

此ノグラフハ $y=\pm\sqrt{r^2-x^2}$ トシテ、 x ニ色々ノ値ヲ代入シテソレニ應ズル y ノ値ヲトリ、ソレラノ諸點ヲ滑ラカニ結ンデソノ曲線ガ圓ニナルコトヲ直觀サセ、後、圓ニナル理由ヲ考ヘサセルガヨイ。即チ $x^2+y^2=r^2$ ヲ満足スル一點ヲ $P(x', y')$ トスレバ

$$OP^2=x'^2+y'^2=r^2$$

故ニ $OP=r$ デ P ハ常ニ原點カラ r ノ距離ニアル。

49. 二元二次方程式ノグラフ

例一 $x^2+y^2=25$ ノグラフヲ描ケ。

解 $x^2+y^2=25$ ノ y ヲ變數 x ノ函数トシテ表ハスト $y=\pm\sqrt{25-x^2}$ デアル。コノ式カラ對應スル x, y ノ値ヲ求メテ見ルト

x	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
y	0	± 3	± 4	± 4.58	± 4.90	± 5	± 4.90	± 4.58	± 4	± 3	0

コレニヨツテ上ノ方程式ノグラフヲ描ク

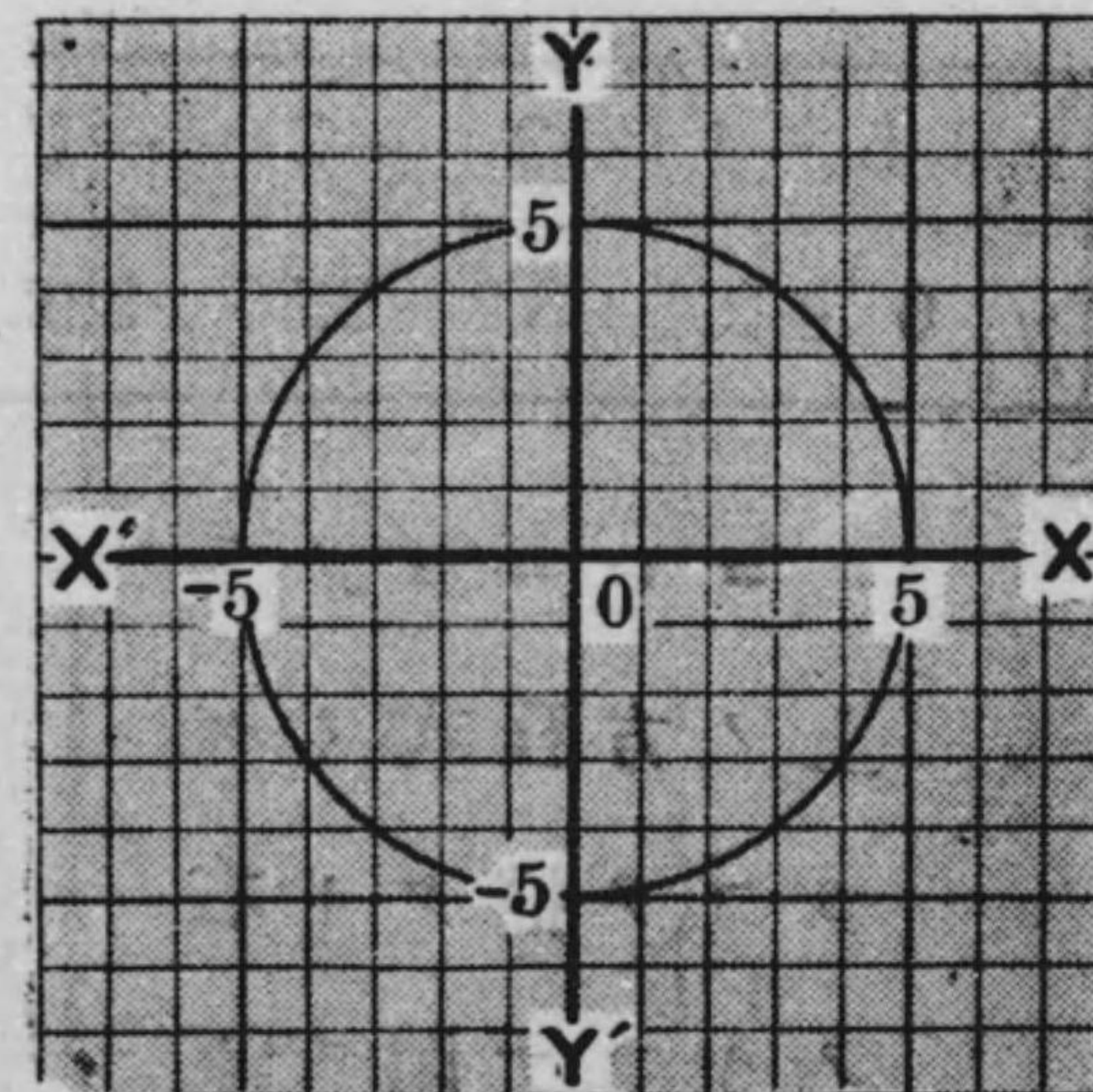
ト次ノヤウナ圖トナル。

此ノ圓ノ半径ハ $\sqrt{25}=5$ デ、中心ハ原點デアル。

注意

$$y=\pm\sqrt{25-x^2} \text{ デ}$$

アルカラ $x>5$ ヤ $x<-5$ ノヤウナ x ノ値ニ對スル y ノ値ハナイ。又 $x=\pm\sqrt{25-y^2}$ デアルカラ $y>5$ ヤ $y<-5$ ノヤウナ y ノ値ニ對スル x ノ値モナイ。



例二 $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{16} = 1$ ノグラフヲ求メヨ。

解 $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{16} = 1$ ヲ變化スルト

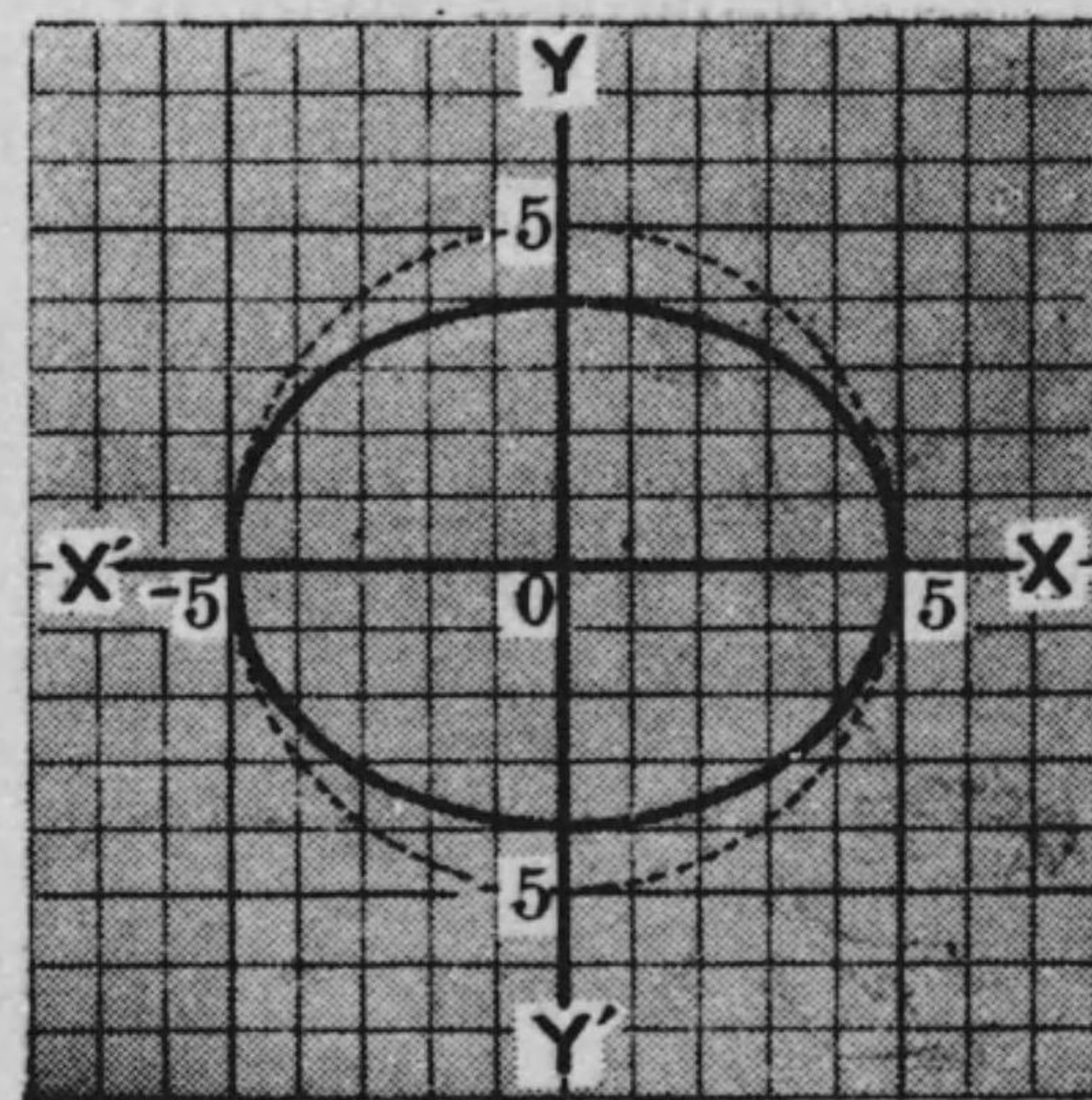
$$y = \pm \frac{4}{5} \sqrt{25 - x^2} \quad \text{トナルカラ}$$

x ノ値ニ對應スル y ノ値ハ丁度例一ノ場合ノ値ノ $\frac{4}{5}$ デアル。ソレ故例一ノ圓ノ縦ガ $\frac{4}{5}$ ニ縮ンダ形ガ得ラレル筈デアル。

x, y ノ對應スル値ヲ求メテ見ルト

x	-5	-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4	5
y	0	± 2.4	± 3.2	± 3.66	± 3.92	± 4	± 3.92	± 3.66	± 3.2	± 2.4	0

コレニヨツテ
上ノ方程式ノグラフヲ描クト右ノヤウナ閉ヂタ曲線ガ得ラレル。
此ノ曲線ハ橢圓ト呼バレル。



從ツテ $x^2 + y^2 = r^2$ ノグラフヲ描クニハ一々値ヲ求メナクトモ、原點ヲ中心トシ、 r ヲ半徑トシテ圓ヲ描ケバヨイコトヲ注意スルガヨイ。

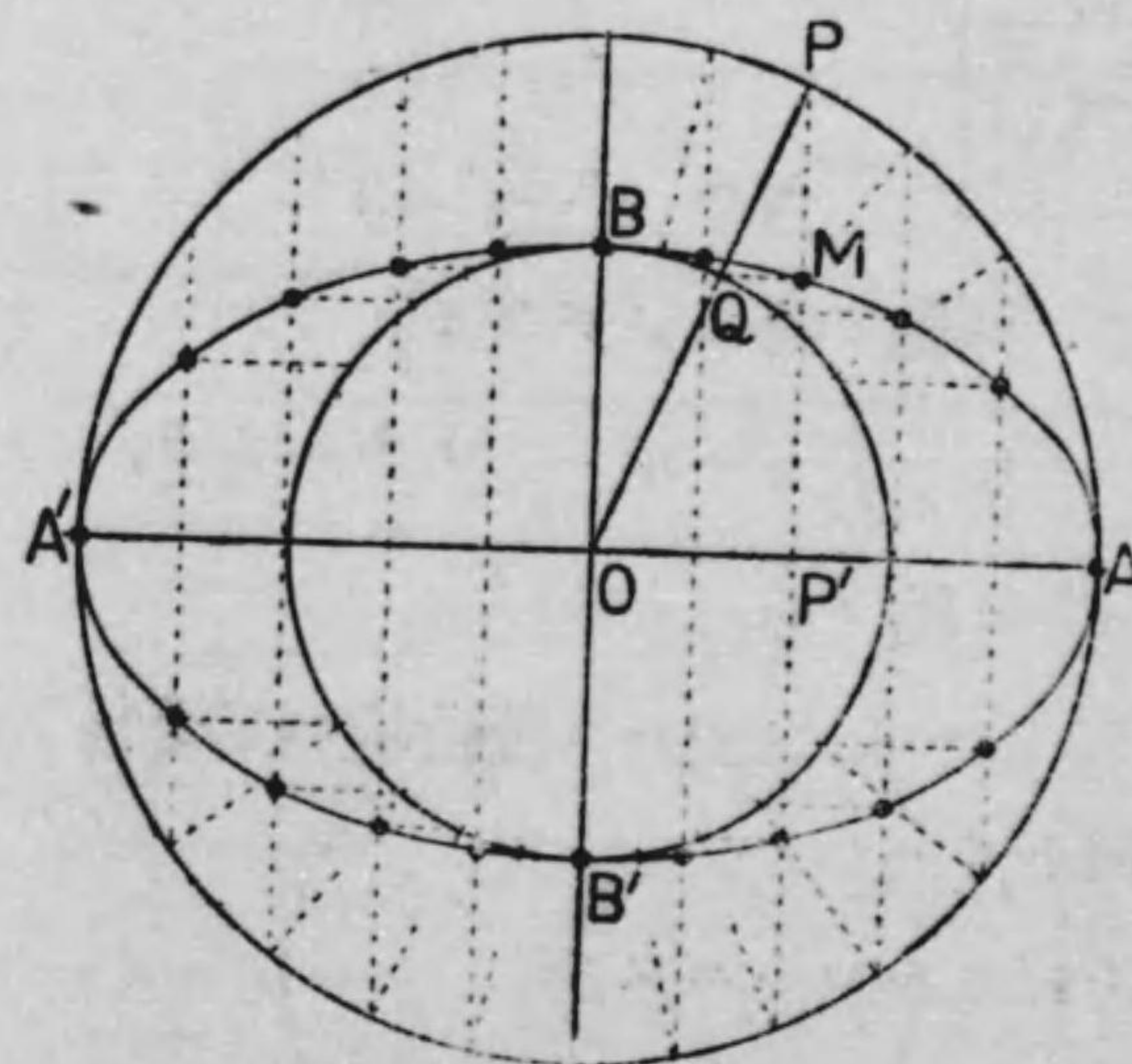
注意 1. $x^2 + y^2 = r^2$ ハ x, y ノ一次ノ項ヲ含マナイカラ、 x 軸及 y 軸ヲ對稱軸トスル曲線トナル。

注意 2. $x^2 + y^2 = r^2$ ハ教科書ノ注意ノヤウニ x, y 共ニソノ絶對値ハ r ノ絶對値ヨリ大キナ値ハ取り得ナイ。

例二 $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{16} = 1$ 一般ニ $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ハ原點ヲ中心トスル橢圓ヲ示ス。 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ヲ x ノ陽函數トシテ表ハセバ

$$y = \pm \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2} \dots \dots \dots (1)$$

コレハ圓ノ方程式 $y = \pm \sqrt{a^2 - x^2}$ ノ縦ヲ $\frac{b}{a}$ ニ縮メタ形デアルカラ (1)ノ形ハ次ノヤウニシテ定規ト「コンパス」トデ描イテモヨイ。



即チ二ツノ圓 ($a > b$ トスル)

$$x^2 + y^2 = a^2 \dots \dots (2)$$

$$x^2 + y^2 = b^2 \dots \dots (3)$$

ヲ描キ、 AA' ヲ n 等分シテ各分點カラ BB' ニ平行線ヲ引キ (2) ノ圓ト交ラシメル。ソノ一ツ例ヘバ P ト O トヲ結ビ PO ト (3) トノ交點ヲ Q トシ、 Q カラ AA' ニ平行ニ引キ PP' トノ交點ヲ M トスレバ

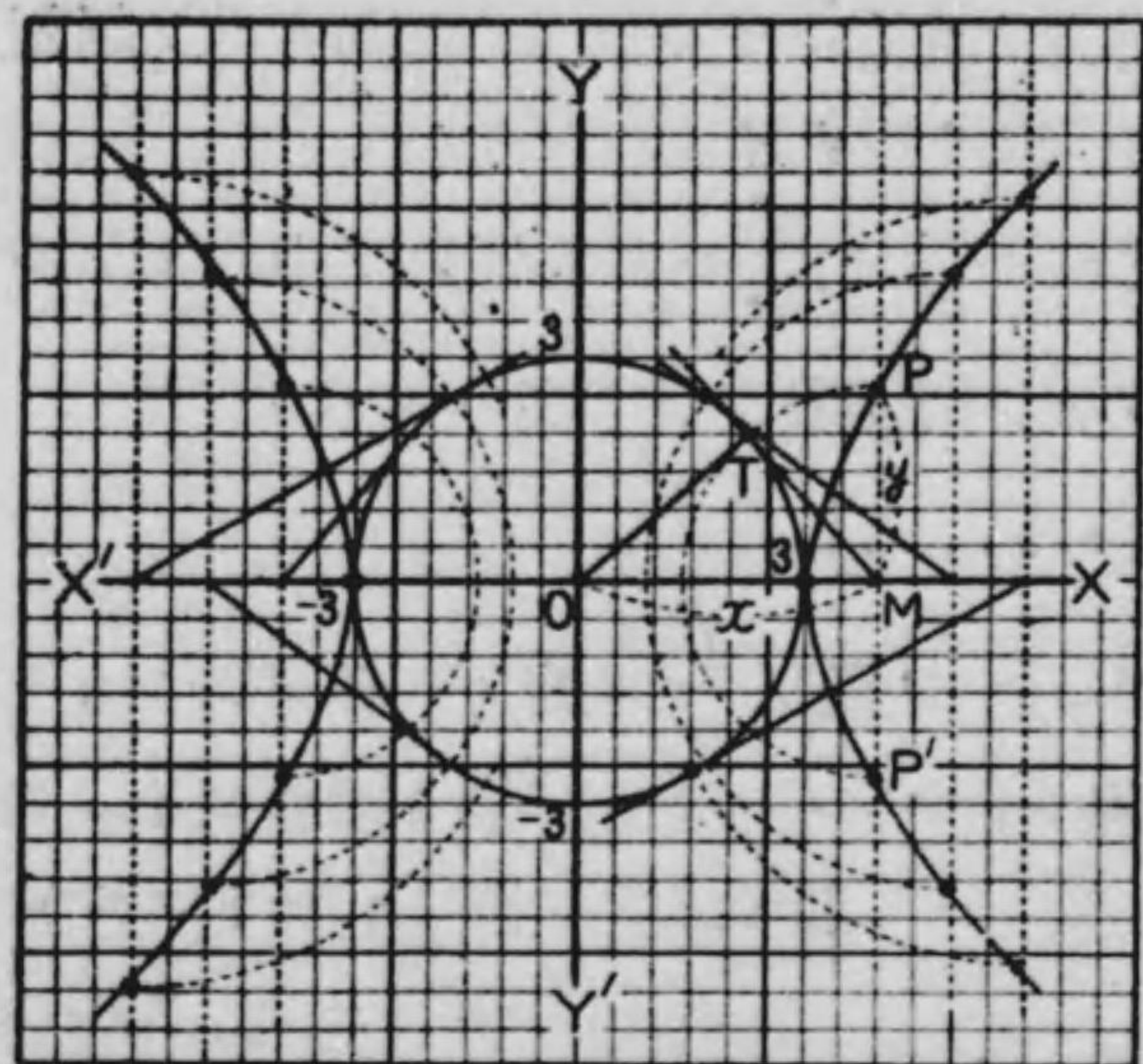
$PP' : MP' \quad PO : QO = a : b$ 而モ P ハ $\pm \sqrt{a^2 - x^2}$ 上ニ在ルカラ M ハ $\pm \frac{b}{a} \sqrt{a^2 - x^2}$ 即チ橢圓ヲ描ク。

茲ニ a ヲ長半徑、 b ヲ短半徑トイヒ、 AA' ヲ長軸、 BB' ヲ短軸トイフ。又圓 (2) ヲ補助圖トイフ。尙橢圓ノ性質ハ後ニ述ベルコトニスル。

例三 $x^2 - y^2 = 9$ 一般 $= \frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ ハ原点ヲ中心トスル雙曲線トナル。 $x^2 - y^2 = 9$ ヲ幾何學的ニ描クニハ先ヅ

$$y^2 = 9 - x^2 \quad \therefore y = \pm \sqrt{9 - x^2} \text{ ノグラフヲ描ク。}$$

即チ原点ヲ中心トシ半径3ノ圓ヲ描ク。



次ニ圖ノヤウニ X 軸上ニ圓外ノ部分ニ於テ X 軸ニ垂線 PMP' 等ヲ作ル。M ヨリコノ圓ニ切線 MT ヲ引ケバ $MT^2 = OM^2 - OT^2$ 故ニ $MT = MP = MP'$ ナルヤウニ P 及ビ P' ヲ定ムレバ、圖ニ於テ

$$y^2 = x^2 - 9$$

即チ $x^2 - y^2 = 9$

故ニ此等ノ多クノ點ヲ結ベバ所要ノ曲線ヲ得ルノデアル。

又一般 $= \frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1$ ハ $y = \pm \frac{b}{a} \sqrt{x^2 - a^2}$ トナルカラ、

$y = \pm \sqrt{x^2 - a^2}$ ノグラフノ縦ヲ $\frac{b}{a}$ ニ縮メレバヨイ。

雙曲線ノ中特ニ $a = b$ 即チ $x^2 - y^2 = r^2$ ノ表ハス雙曲線ハ正雙曲線又ハ直角雙曲線或ハ等邊雙曲線トイハレル。

其ノ他ノ雙曲線ノ性質ハ後ニ研究スルコトニスル。

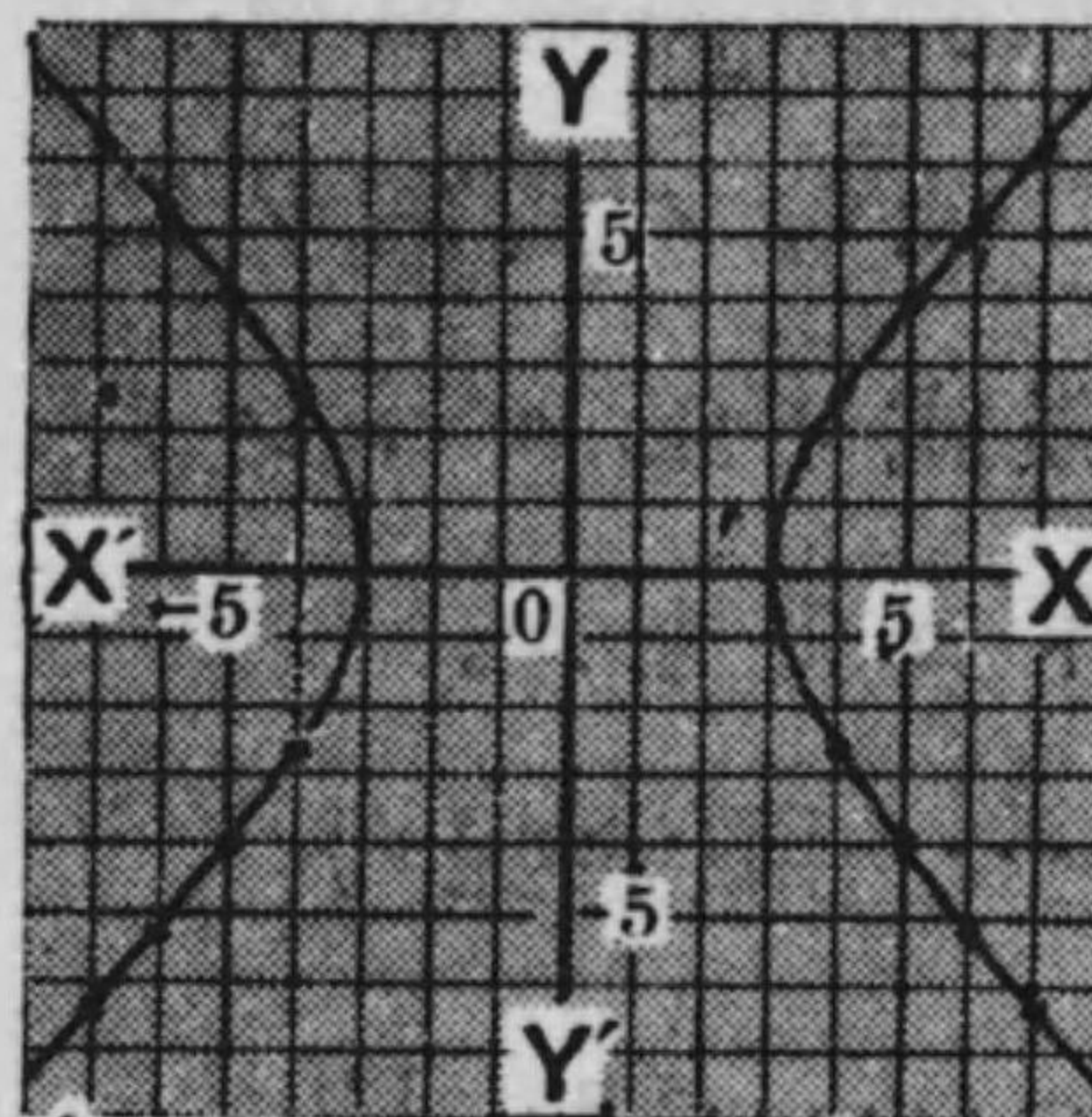
例四 $xy = 6$ 一般 $= xy = k$ ノグラフ。

コレモ亦正雙曲線デアル。コレハ $x^2 - y^2 = r^2$ ノ軸ニ 45° ダケ廻轉シテ得ラレルノデアルガ、中學校デモ雙曲線ノ例トシテ反比例ノグラフトシテ屢、出ルコトデアルシ、ソノグラフノ描キ方モ簡單デアルカラ別ニ課スルノデアル。

例三 $x^2 - y^2 = 9$ ノグラフヲ求メヨ。

解 $x^2 - y^2 = 9$ カラ

$$y = \pm \sqrt{x^2 - 9}$$



x	±3	±4	±5	±6	±7
y	0	±2.65	±4	±5.20	±6.32

コレニヨツテ上ノ方程式ノグラフヲ描クト上

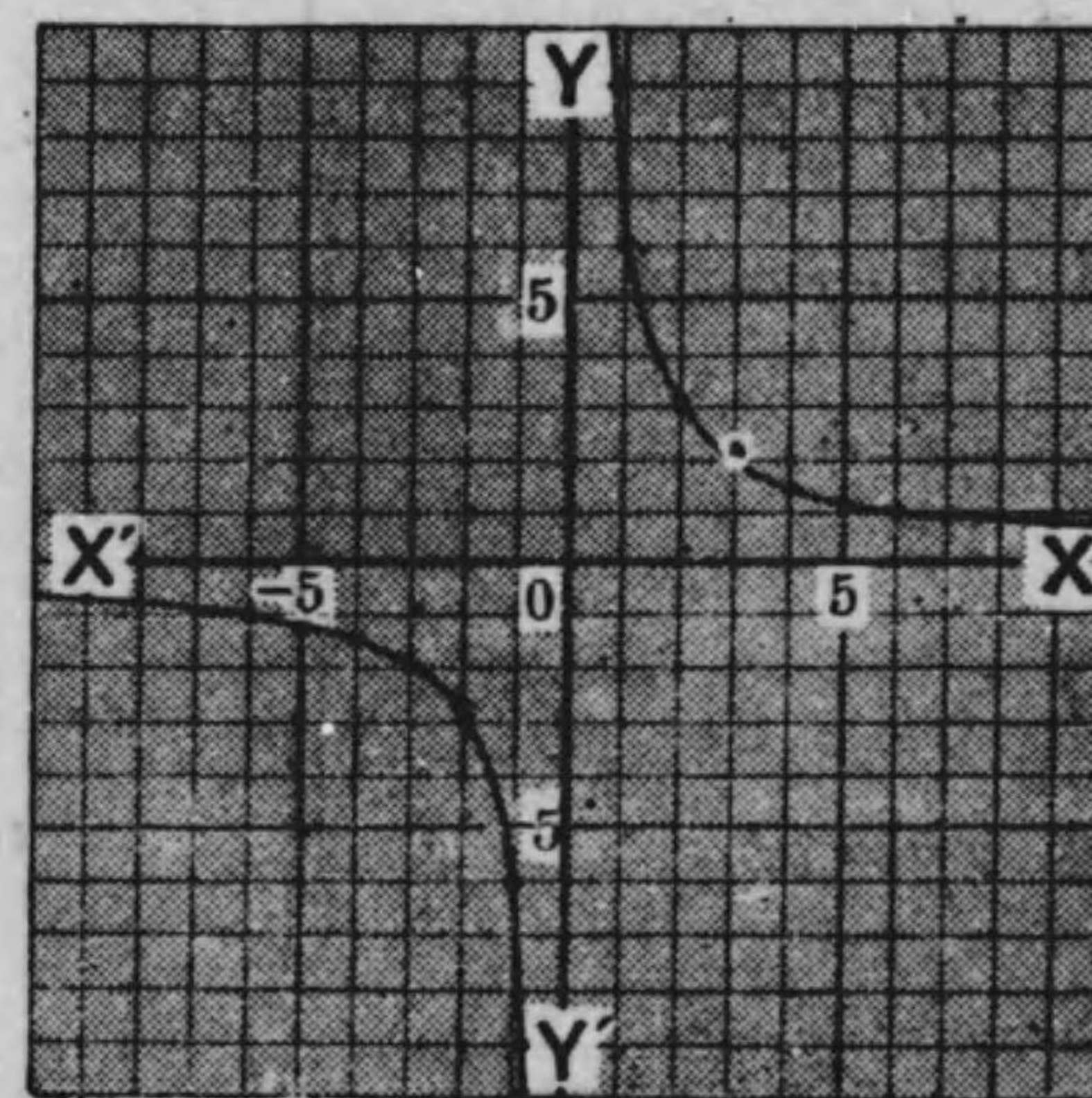
ノヤウナ雙曲線ガ得ラレル。

例四 $xy = 6$ ノグラフヲ求メヨ。

解

x	..	-6	-5	-4	-3	-2	-1	..	1	2	3	4	5	6	..
y	..	-1	-1.2	-1.5	-2	-3	-6	..	6	3	2	1.5	1.2	1	..

コレニヨツテグラフヲ描クト右ノヤウナ曲線トナル。コレモヤハリ雙曲線デアアルガ、例三ノモノトハ軸ニ對スル位置ガ異ナツテキル。



或ル特別ノ場合ノ外ハ、 x ト y ニツイテノ二元二次方程式ノグラフハ、圓、橢圓、雙曲線、又ハ拋物線ノ何レカニナル。此等ノ曲線ヲ二次曲線トイフ。ソシテ方程式ノ形ニヨツテ其ノ表ハス曲線ヲ知ルコトガ出來ル。

- (1) $x^2+y^2=r^2$ 圓(半径 r)
- (2) $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ 橢圓
- (3) $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1, xy=c$ 雙曲線
- (4) $y=ax^2+bx+c, y^2=px$ 拋物線

問題

次ノ方程式ノグラフヲ描ケ。11-(15)

- | | |
|--|------------------------------------|
| 11 $x^2+y^2=64$ | (11) $y^2=4x$ |
| 12 $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{4} = 1$ | (12) $y^2 = \frac{16}{25}(36-x^2)$ |
| 13 $\frac{x^2}{64} - \frac{y^2}{81} = 1$ | (13) $y^2 = \frac{25}{64}(x^2-64)$ |
| 14 $xy=12$ | (14) $y^2-x^2=36$ |
| 15 $x^2-y^2=0$ | (15) $xy=8$ |

二元二次方程式ノグラフハ以上デ一通リ終ヘタノデソノ總括ヲスル必要ガアル。教科書ニ舉ゲテアルモノノ外ニ、相交ル二直線ニナルモノト、點圓ニナルモノトガアルガ、ソレラハ何レモ特別ナ場合デアアルカラ茲デハ述ベナイ。解析幾何學デハ二次曲線ヲ次ノヤウニ分類シテキル。茲ニ二元二次方程式ノ形トシテハ

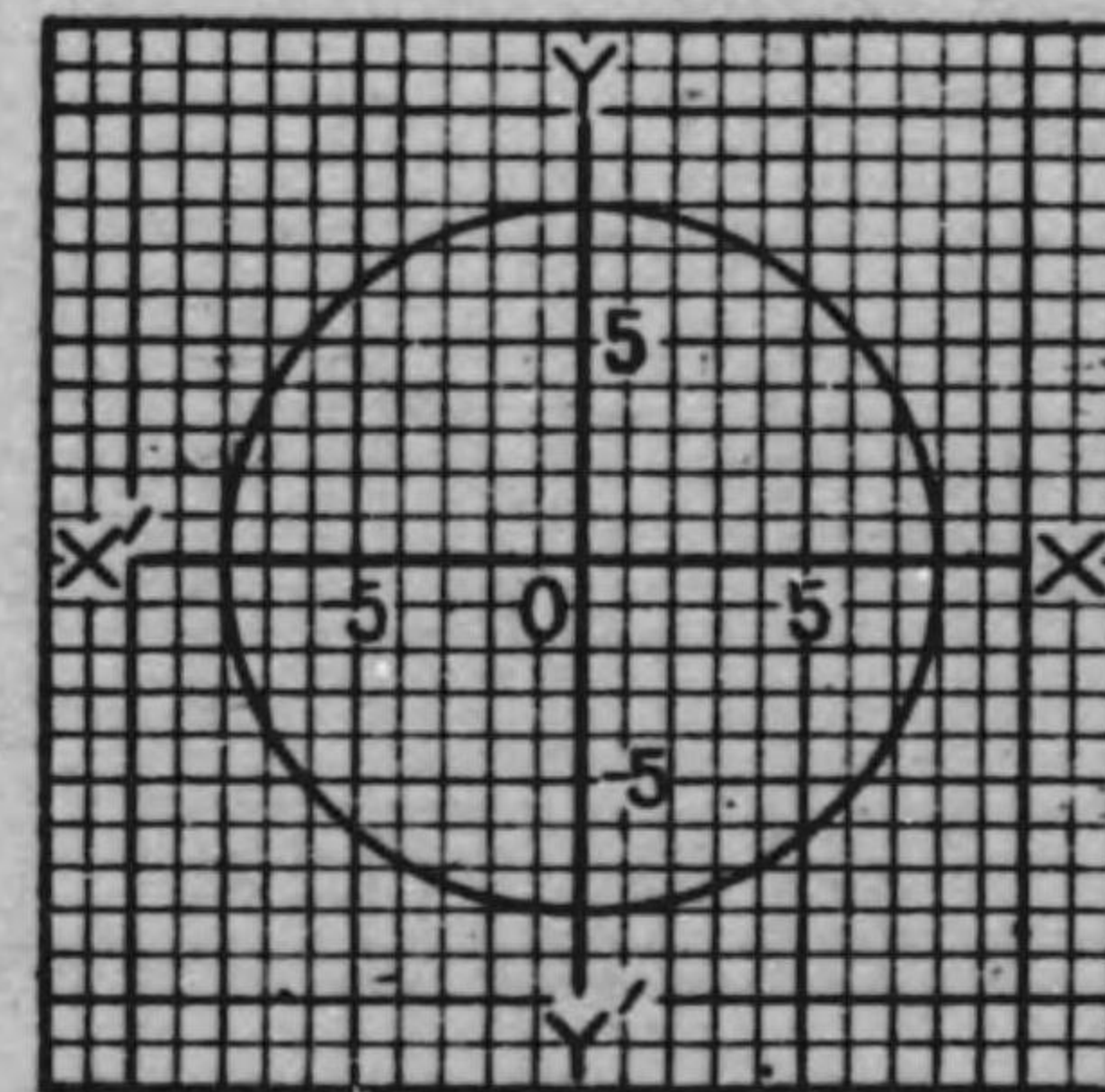
$ax^2+2hxy+by^2+2gx+2fy+c=0$ フトルモノトスル。

- (A) $h^2-ab < 0$ 有心二次曲線
 - (a) $h^2-ab < 0$ 橢圓
 - 特 = $h=0, a=b$ ナラバ圓
 - (b) $h^2-ab > 0$ 雙曲線
- (B) $h^2-ab = 0$ 無心二次曲線 拋物線

問題

11 $x^2+y^2=64$

原點ヲ中心トシ、8ヲ半径トスル圓トナル。

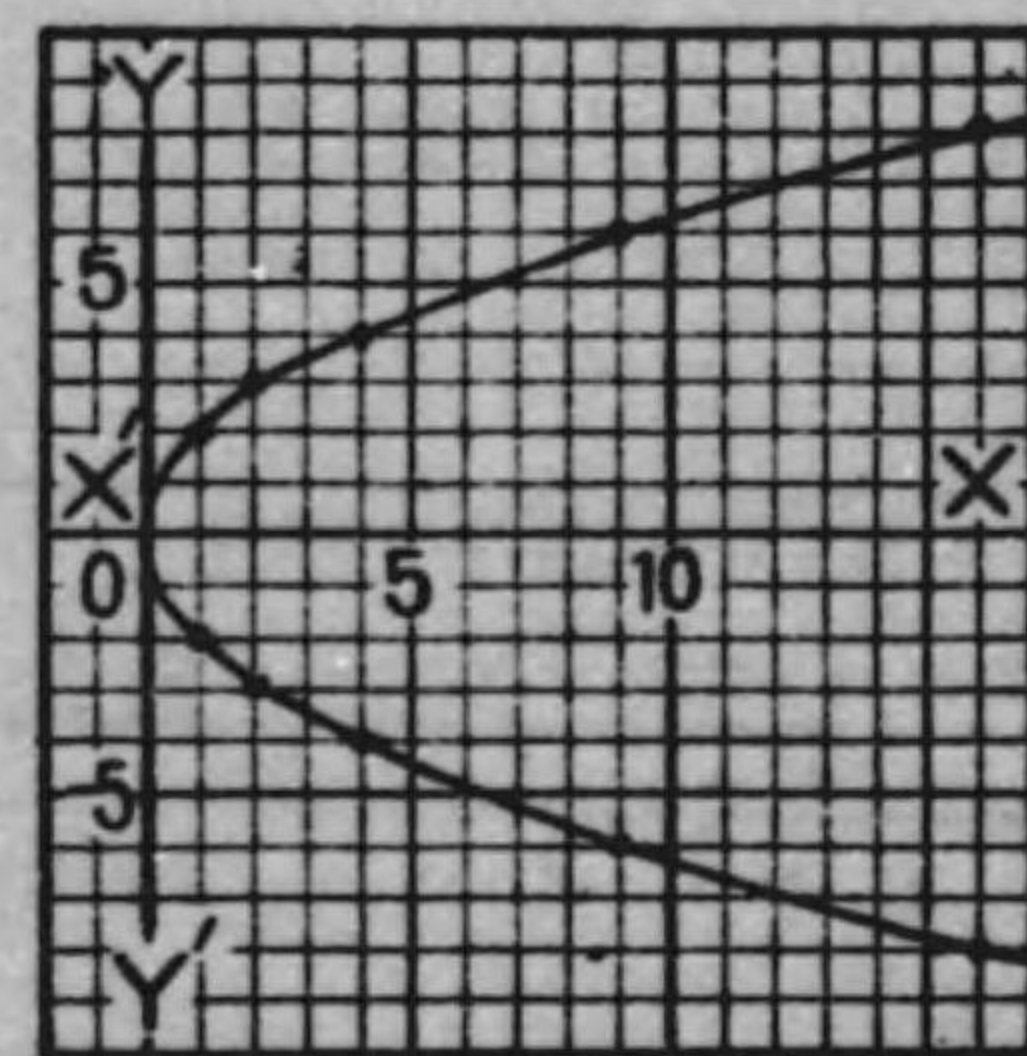


(11) $y^2=4x \therefore y = \pm 2\sqrt{x}$

x	0	1	2	3	4	5
y	0	± 2	± 2.82	± 3.46	± 4	± 4.47

	6	7	8	9	10
	± 4.89	± 5.29	± 5.65	± 6	± 6.32

原點ヲ頂點トシ、 x 軸ヲ軸トスル拋物線。

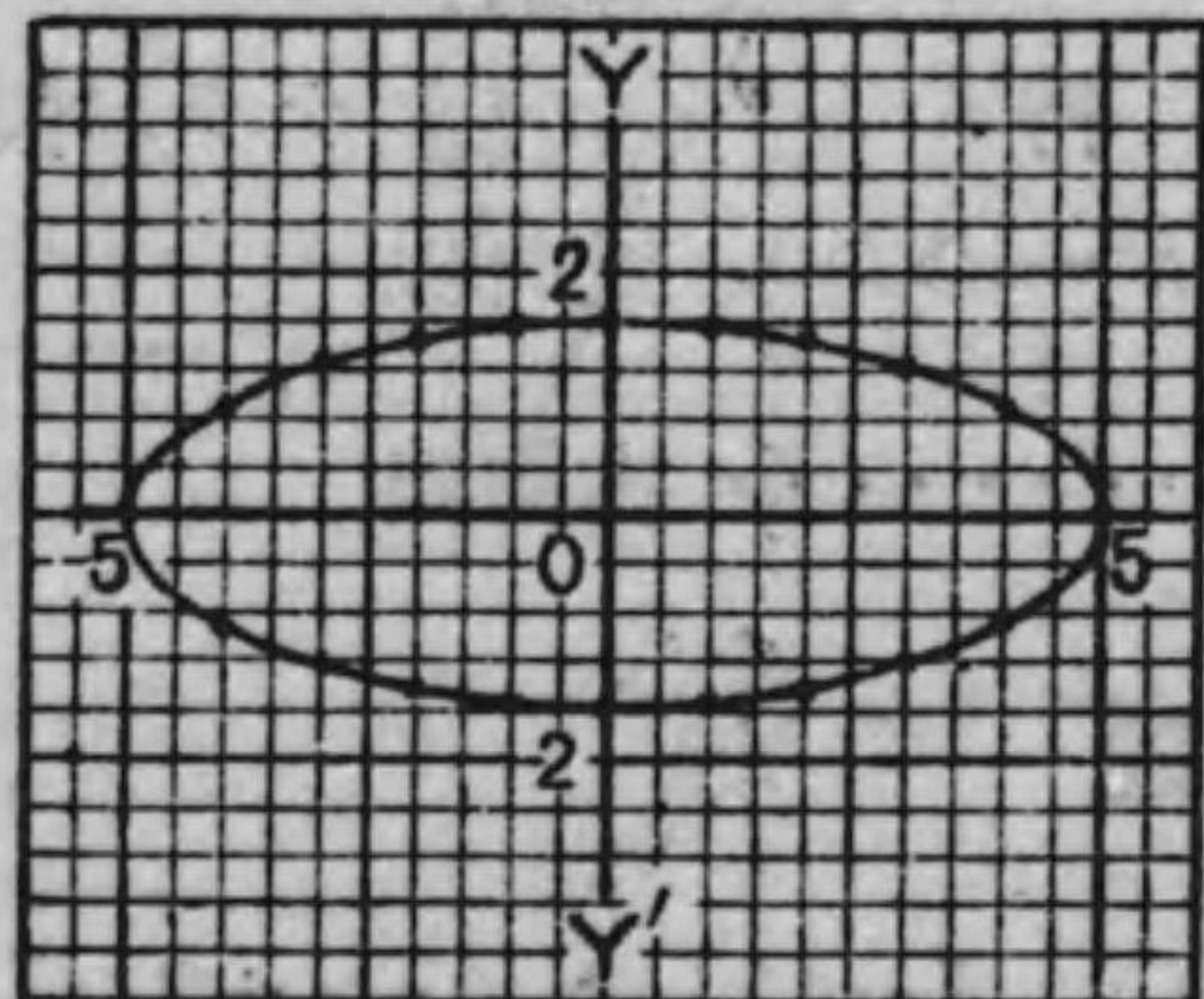


12 $\frac{x^2}{25} + \frac{y^2}{4} = 1$

$y = \pm \frac{2}{5} \sqrt{25-x^2}$

x	0	±1	±2	±3	±4	±5
y	±2	±1.96	±1.83	±1.6	±1.2	0

原点ヲ中心トシ、長半径ガ5、短半径ガ2デアリヤウナ楕圓トナル。



13 $\frac{x^2}{64} - \frac{y^2}{81} = 1$

$y = \pm \frac{9}{8} \sqrt{x^2-64}$

原点ヲ中心トシ、x軸ヲ軸トスル雙曲線デアリガ、之ヲ描クニハ次ノヤウナ諸點ヲトルガヨイ。

x	±8	±9	±10	±12	±15
y	0	±4.63	±6.75	±10.06	±14.27

±16	±18	±20	±25
±15.58	±18.13	±20.61	±26.6

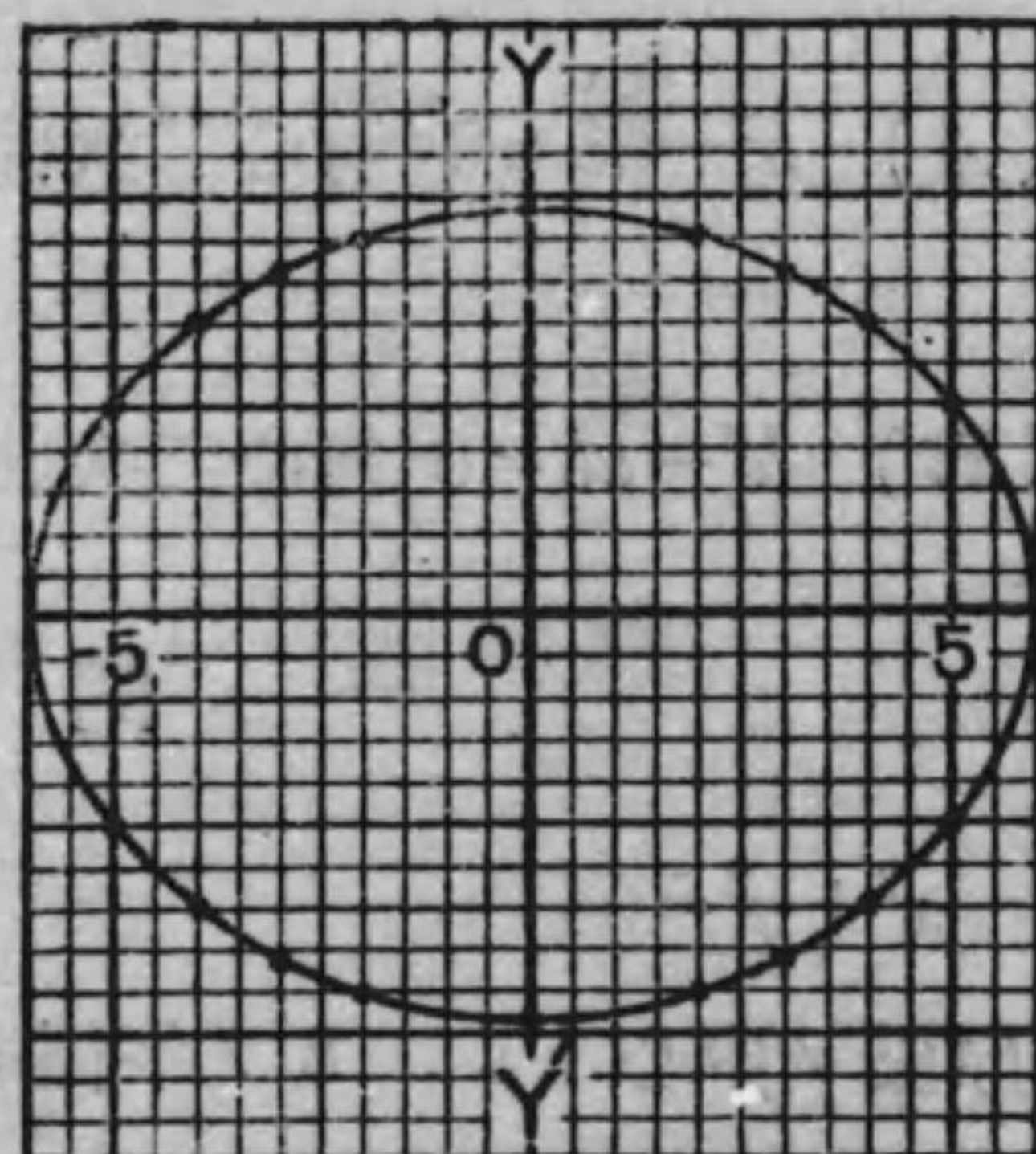
(12) $y^2 = \frac{16}{25}(36-x^2)$

$y = \pm \frac{4}{5} \sqrt{36-x^2}$

x	0	±1	±2	±3
y	±4.8	±4.73	±4.53	±4.16

±4	±5	±6
±3.57	±2.65	0

中心ハ原点、兩半径ヲ夫々6、4.8トスル楕圓。



(13) $y^2 = \frac{25}{64}(x^2-64)$

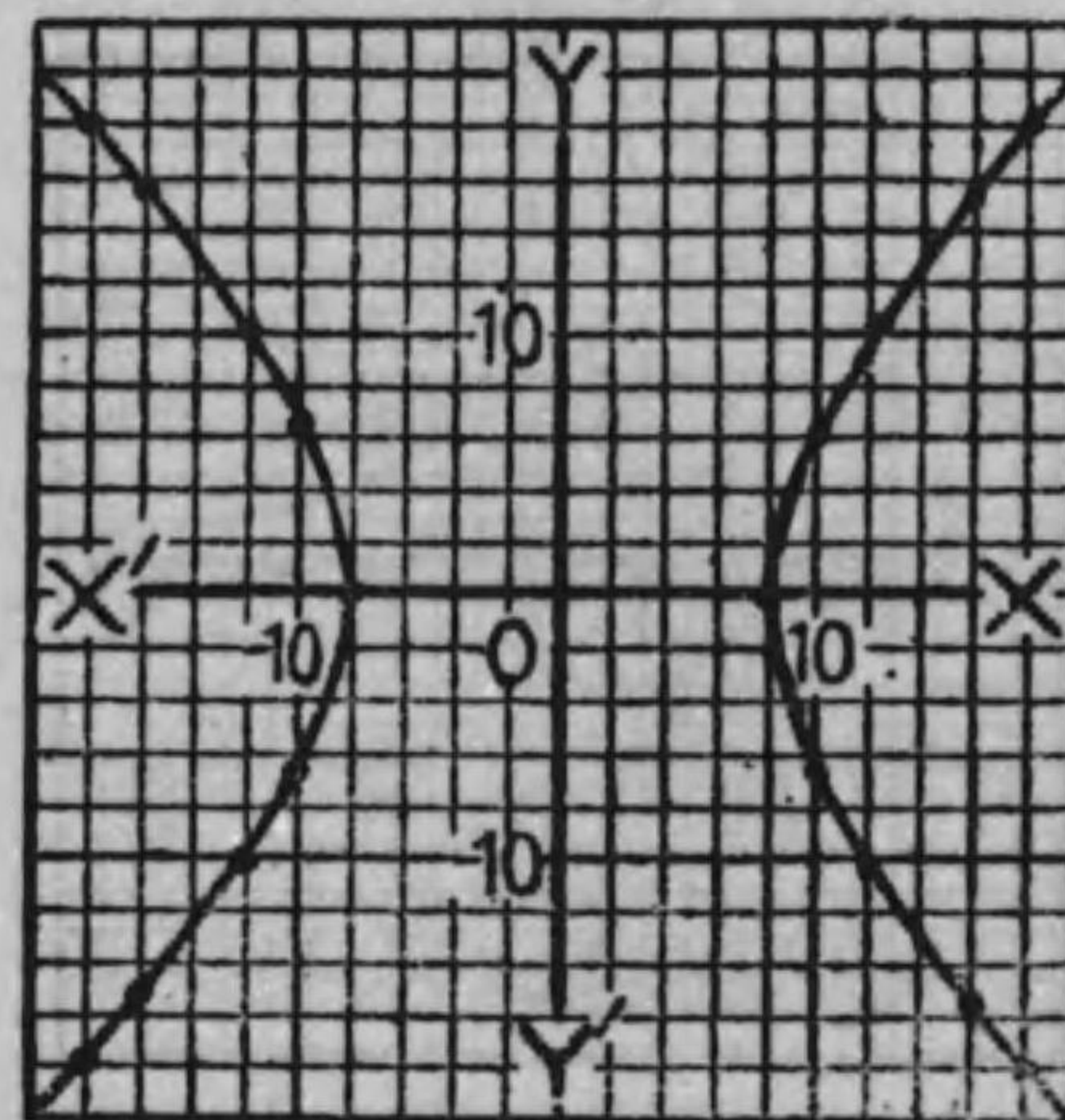
$\therefore y = \pm \frac{5}{8} \sqrt{x^2-64}$

$\frac{x^2}{64} - \frac{y^2}{25} = 1$

原点ガ中心、x軸ヲ軸トスル雙曲線トナル。次ノヤウナ諸點ヲトツテ之ヲ描ケバヨイ。

x	±8	±9	±10	±12	±15
y	0	±2.57	±3.75	±5.58	±7.93

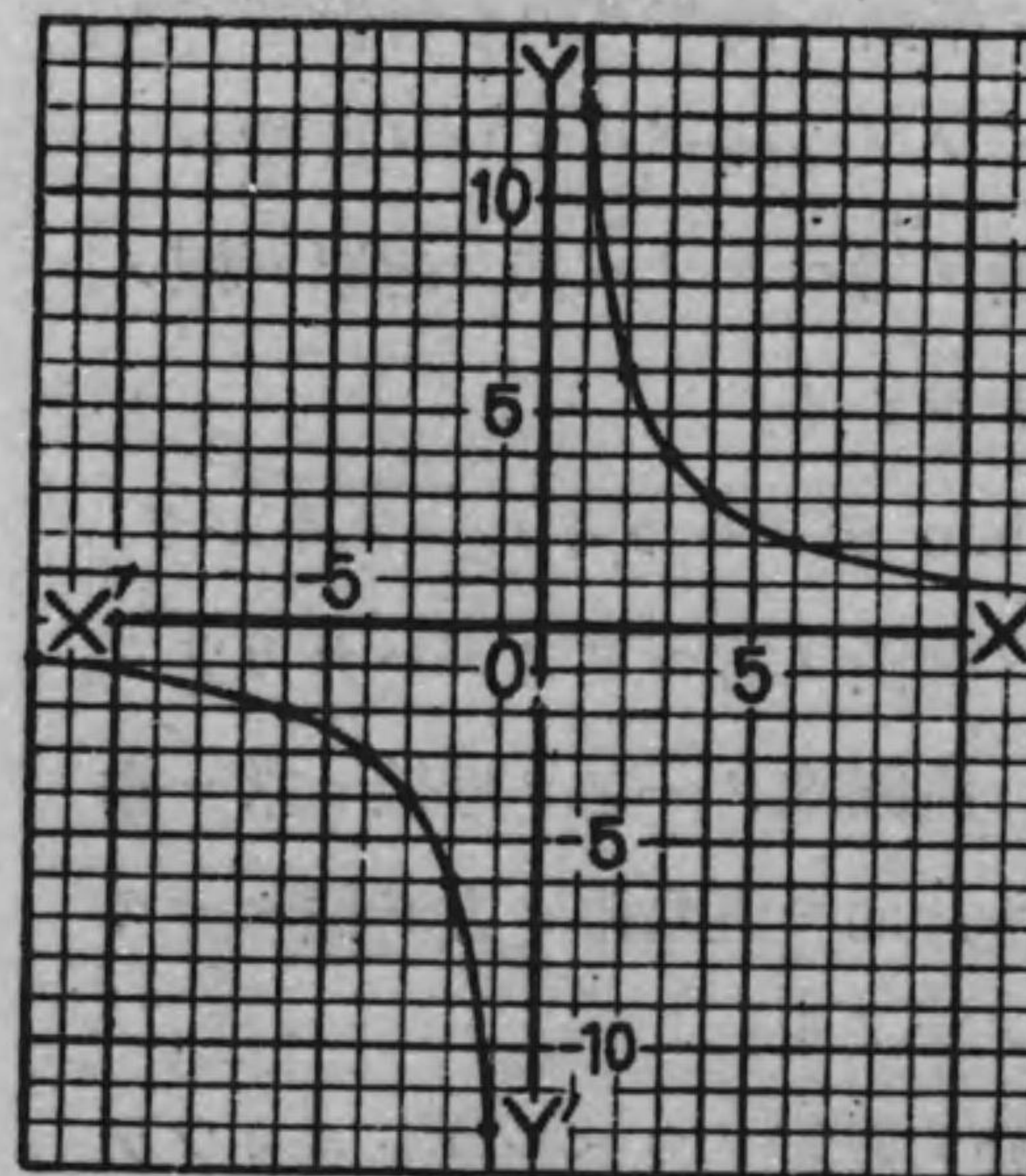
±16	±18	±20	±25
±8.66	±10.1	±11.45	±14.8



14 $xy=12$

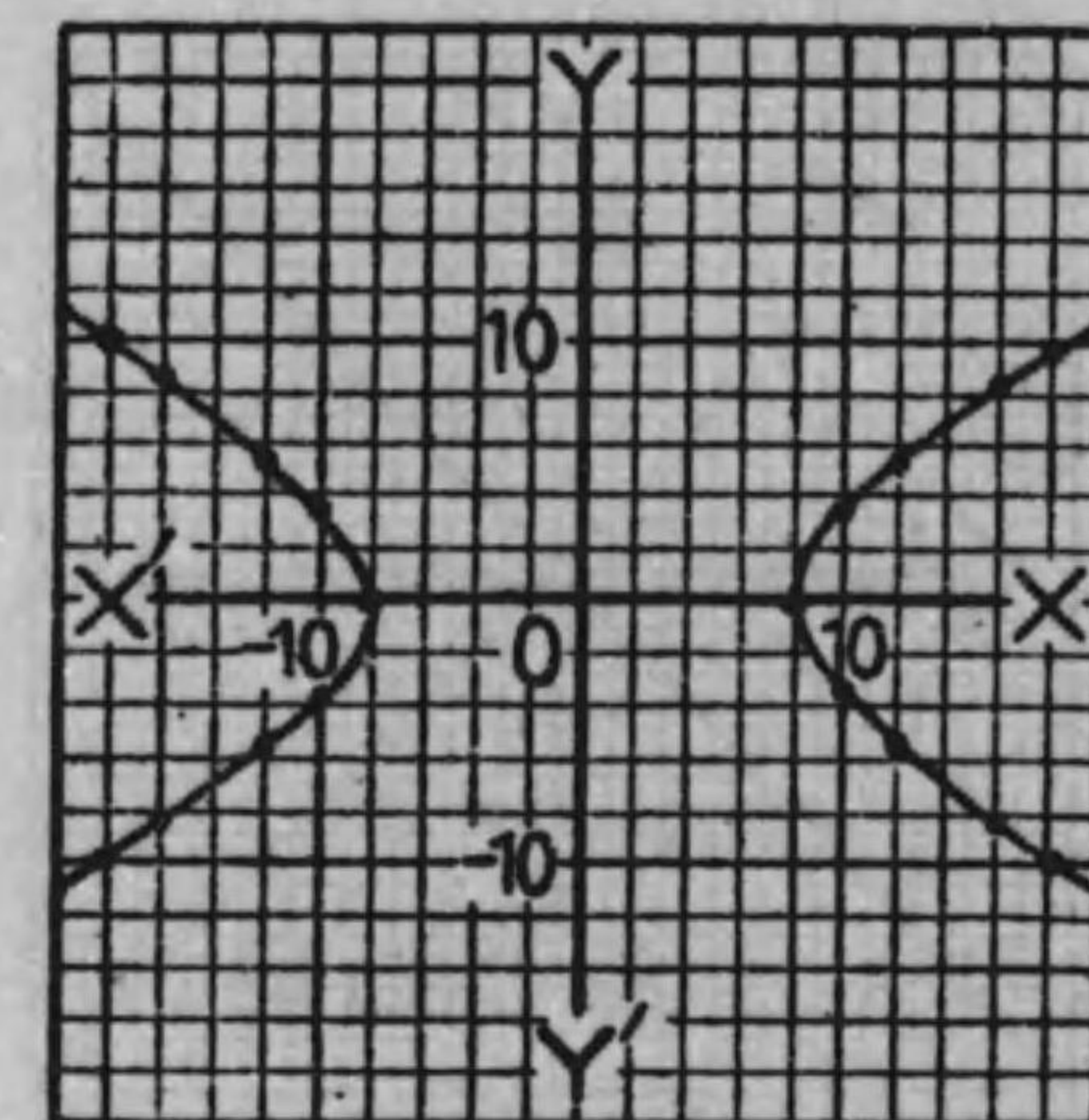
兩座標ヲ漸近線トスル直角雙曲線。

x	±1	±2	±3	±4	±6	±12
y	±12	±6	±4	±3	±2	±1



15 $x^2-y^2=0 \therefore y=\pm x$

即チ原点ヲ通ルニツノ直線ヲ表ハス。

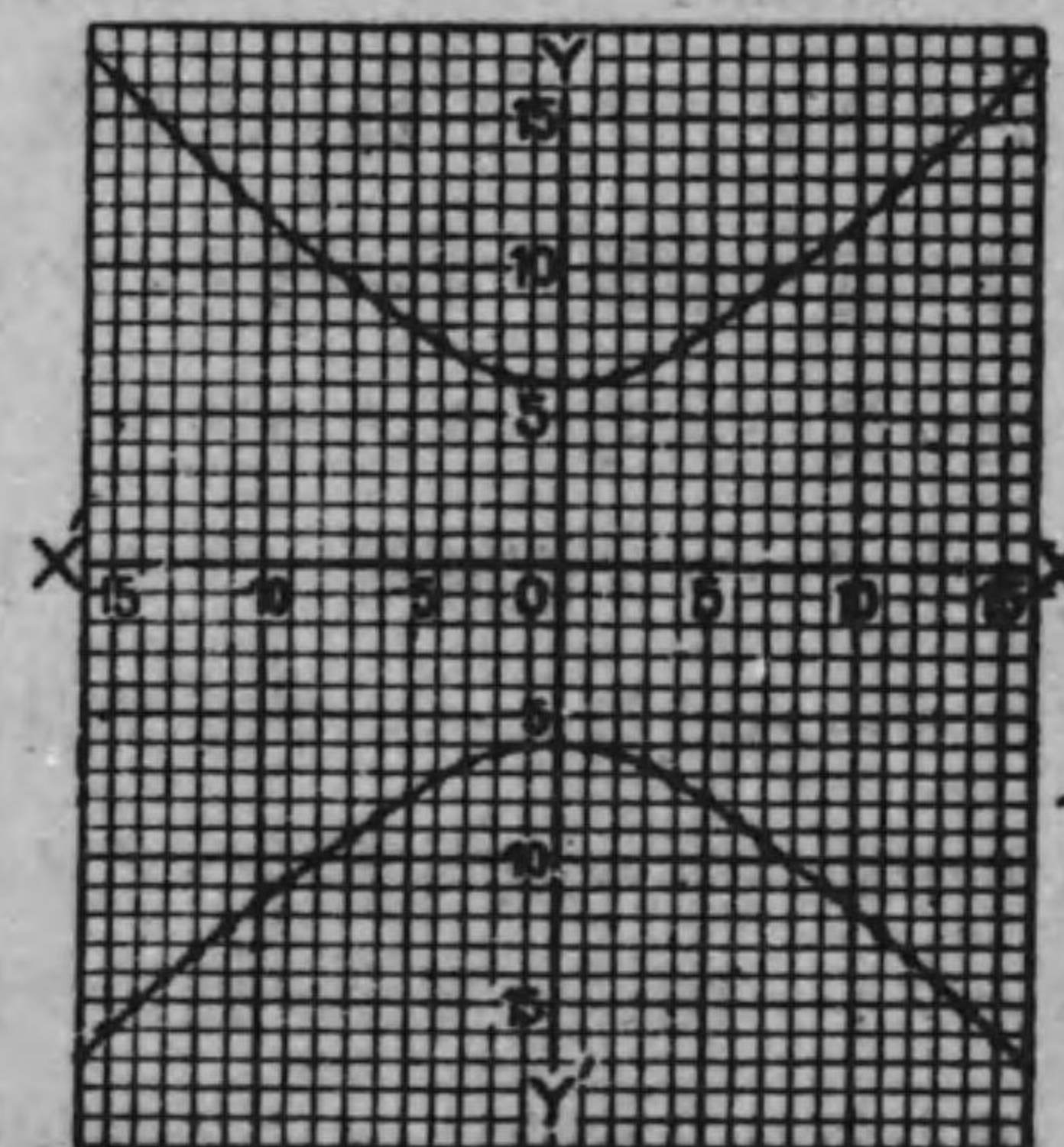


(14) $y^2-x^2=36 \therefore y=\pm\sqrt{36+x^2}$

y軸ヲ軸トスル直角雙曲線。

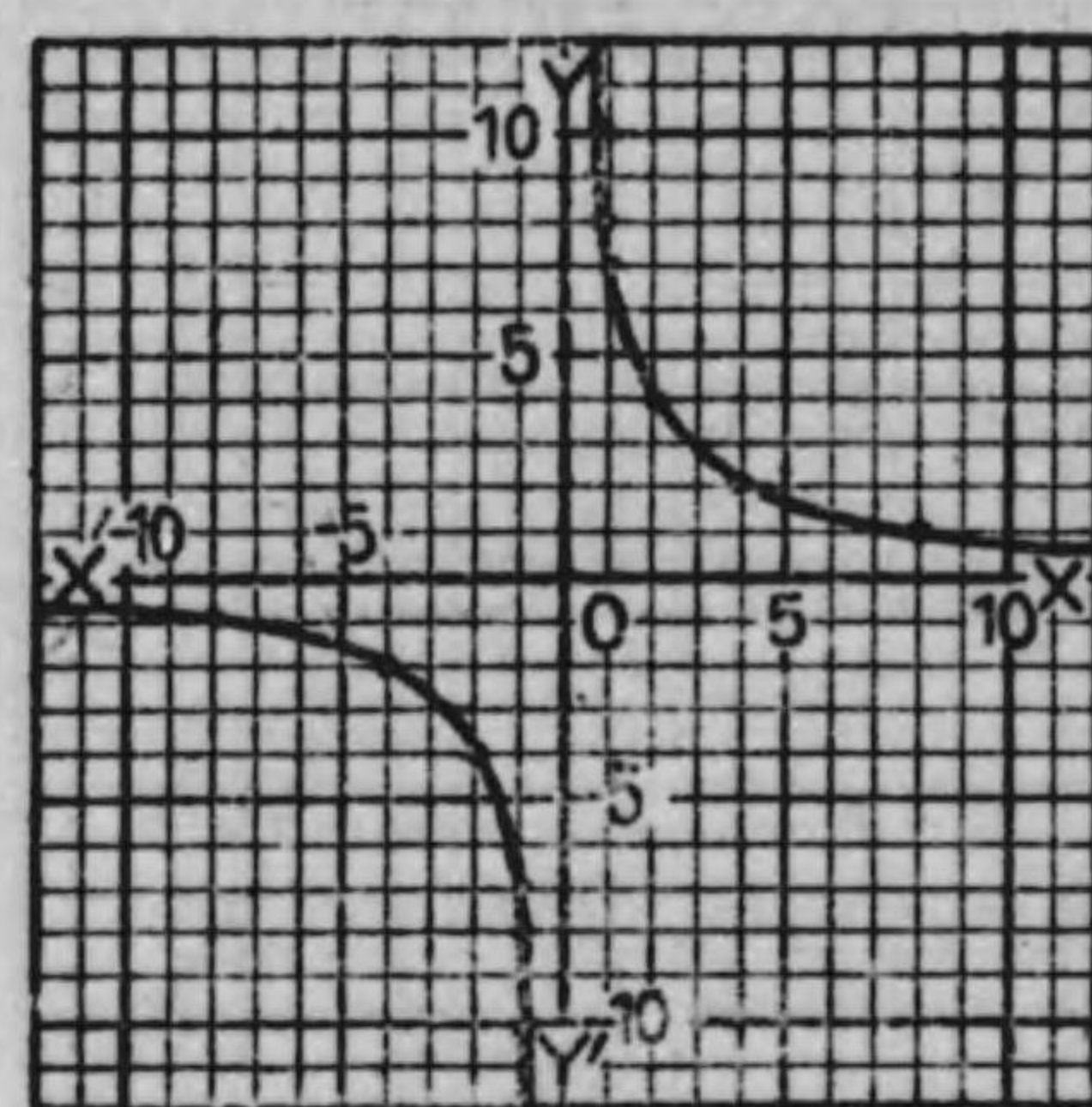
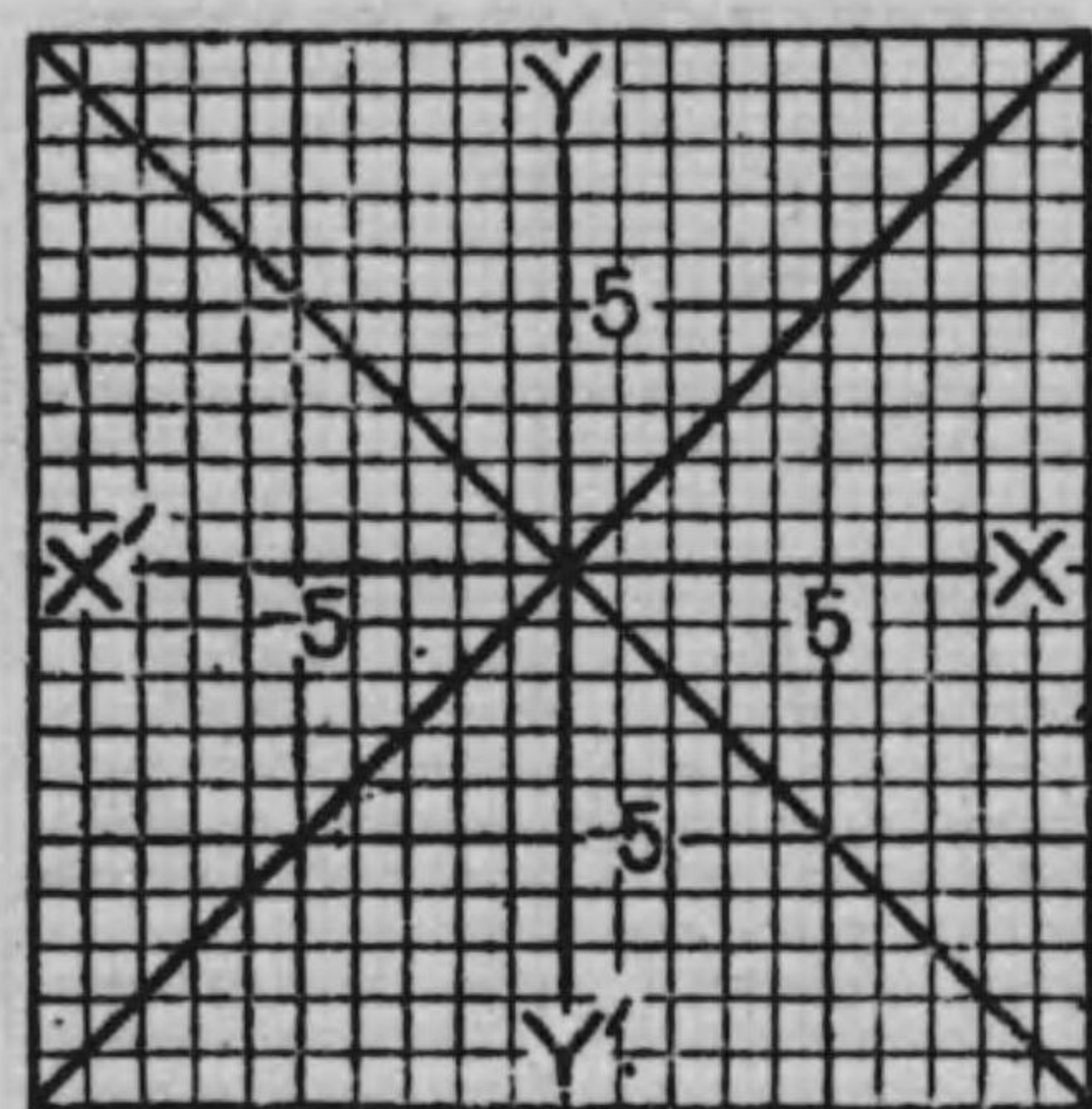
x	0	±1	±2	±3	±4
y	±6	±6.08	±6.32	±6.71	±7.21

±5	±6	±7	±8	±9
±7.81	±8.49	±9.22	±10	±10.82



(15) $xy=8$

問題14ト同様ニ描クコトガ出來ル。直角雙曲線トナル。



圓錐曲線ニツイテ

吾々ハ今マデ一元二次方程式ノグラフハ一般ニハ圓, 橢圓, 雙曲線, 拋物線即チ二次曲線トナルコトヲ知ツタ。此等四種ノ曲線ハ直圓錐ノ截口トシテ現ハレルノデ, 圓錐曲線トモ呼バレルノデアアル。換言スレバ此等ノ曲線ハ或ル圓ガ他ノ平面ニ投ズル中心射影デアアル。ソレヲ理論的ニ示スノハ勿論出來ナイノデ, 茲デハソレヲ實驗シヨウトイフノデアアル。抑、直圓錐ノ截斷ヲ考ヘタノハ其ノ起原ハ極メテ古ク遠ク希臘ノ昔ニ遡ラナケレバナラナイ。

先ヅ第一ニ考ヘタノハプラトー Plato デアルトイハレテキルガ, 彼ハ未ダ一ツノ直圓錐ニツイテ種々ノ截斷ヲ考ヘタノデハナカツタ。プラトーハ截斷スベキ平面ヲ固定シ, 直圓錐ノ一ツノ母線ニ常ニ垂直ナ平面ニヨル截面ヲ考ヘタノデアアル。而モ直圓錐ノ方ヲ種々ニカヘテソレニ應ジテ種々ノ曲線ヲ得タノデアアル。

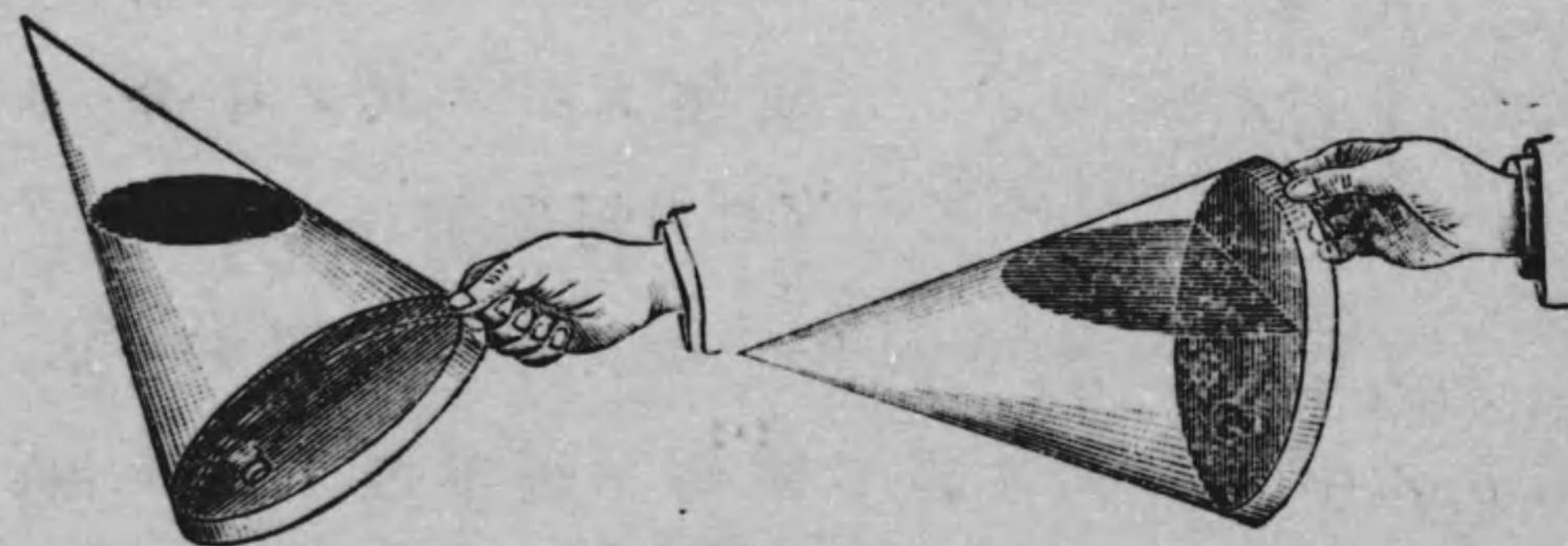
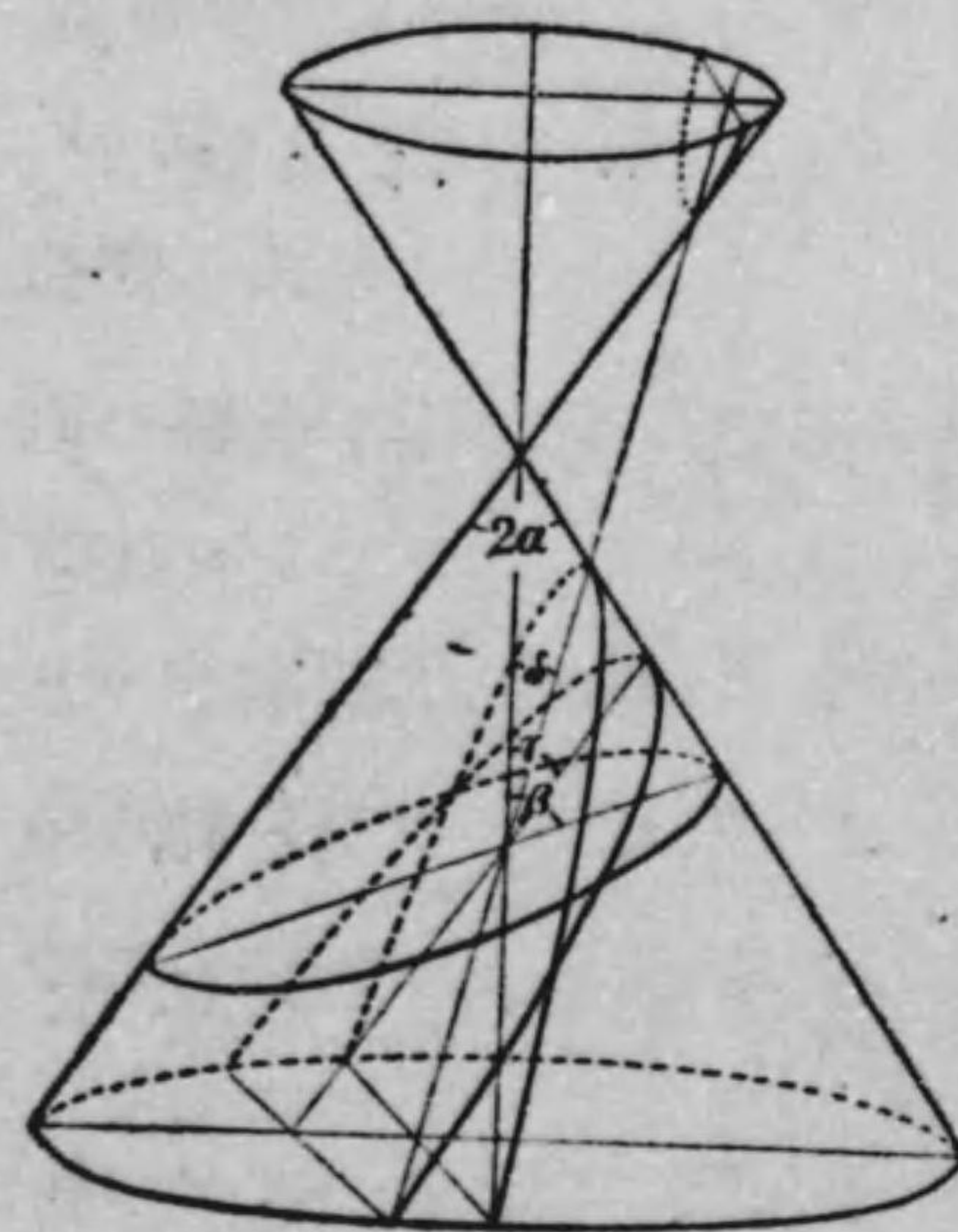
併シ今日ノヤウニ一ツノ直圓錐ニ於テ截面ヲカヘルコトニヨツテ二次曲線ヲ得タノハアポロニアスデアアル。教科書ノ圖ノヤウニ直圓錐ノ頂角 2α ノ截面ガ直圓錐ノ軸トナス角ヲ β, γ, δ 等トスルトキ,

(1) $\angle\beta > \angle\alpha$ ナラバ橢圓, 特ニ $\angle\beta = R.L$ ナラバ圓

前ニ述ベタヤウニ, 一ツノ二元二次方程式ヲグラフニ表ハスト特別ノ場合ヲ除ク外ハ總テ圓, 橢圓, 雙曲線, 拋物線ノ中ノ何レカニナル。ソシテ此等ノ四種ノ曲線ハ何レモ直圓錐ヲ平面デ截ツタトキニ其ノ截口トシテ現ハレルモノデアアルカラ一名圓錐曲線トモ呼

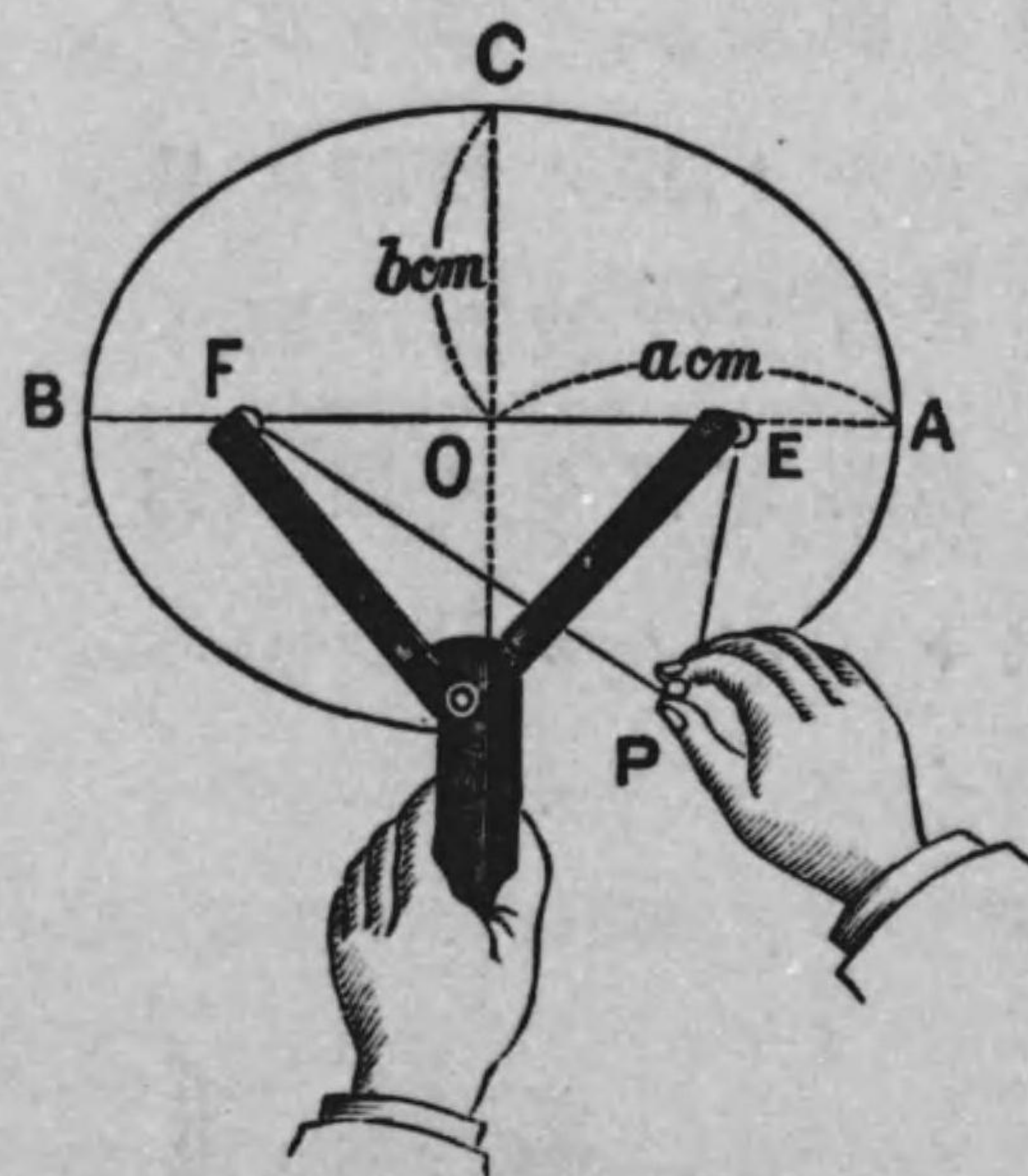
バレル。

硝子又ハ「セルロイド」製ノ圓錐形ノ器ニ水ヲ入レルト, 其ノ傾斜ノ具合ニヨツテ液面ト器トノ境界ガ種々ノ圓錐曲線トナルノガ見ラレル。



圖ハ點ガーツノ定點カラ一定ノ距離ニ在ルヤウニ動クトキニ生ズル曲線デアツテ、コムバスタテ容易ニ描クコトガ出來ル。

橢圓ハ二定點(E,F)カラノ距離ノ和ガ變ラナイヤウニ點(P)ガ動クトキニ生ズル曲線デアル。コレヲ描クニハ圖ノヤウニ二定點(E,F)ニ當ルトコロニ或ル長サノ糸ノ兩端ヲ固定シ、其ノ糸ニ鉛筆ヲカケテ、糸ヲ張リ乍ラ一廻轉スレバヨイ。



圖ノABハ橢圓ノ弦ノ中デ最モ長イモノヲ示スモノデ、コレヲ長軸トイヒ、其ノ半分OAヲ長半徑トイフ。又長軸ノ中點デコレニ垂直ナ弦ヲ短軸トイヒ、其ノ半分OCヲ短半徑トイフ。

方程式 $\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ノ表ハス橢圓デハa、bノ中ノ一ツガ長半徑、他ガ短半徑ノ長サニ等シク、且其ノ面積ハ πab デアル。

(2) $\angle \gamma = \angle a$ ナラバ拋物線

(3) $\angle \delta < \angle a$ ナラバ雙曲線

トナルノデアル。直圓錐ノ截斷ヲ示ス器具ニハ種々アルガ、教科書ノ圖ノヤウニ「セルロイド」製ノ圓錐形ノ器具ガヨイ。コレハ底ニ「コルク」ノ栓ガシテアツテ圓錐ノ中ニ水ガハイルヤウニナツテキル。ソレデ圓錐ノ中ニ水ヲ入レテ赤インキヲ少シ混ゼルト非常ニキレイナ色トナツテ、直圓錐ヲ色々ニ傾ケルコトニヨツテ種々ノ圓錐曲線ガ出來ル。

圓錐曲線ノ性質

(a) 圖ニツイテハ十分知ツテキルコトデアルカラ改メテ茲ニハ述ベナイ。

(b) 橢圓ハ和算家ハ側圓ト稱ヘテ來タトコロデアル。

橢圓ハ二定點カラノ距離ノ和ガ一定ナ點ノ軌跡デアツテ、其ノ二定點ハ即チ橢圓ノ焦點デアル。地球ノ軌道ハ太陽ヲ焦點ノ一ツトスル橢圓デアル。天體ノ運行ハ多ク橢圓デアル。

今參考ノタメニ二定點ヲE、Fトシ、E、Fカラノ距離ガ一定 $2a$ デアルトイフコトカラ、果シテ橢圓トナルカ否カヲ研究シヨウ。

Pヲ條件ヲ満足スル一般點トシ、其ノ座標ヲ(x, y)トスル。

$$PE + PF = r + r' = 2a$$

$$EF = 2e \quad \text{トオケバ}$$

$$PE = r = \sqrt{(e-x)^2 + y^2}, \quad PF = r' = \sqrt{(e+x)^2 + y^2}$$

$$\text{故ニ} \quad \sqrt{(e-x)^2 + y^2} + \sqrt{(e+x)^2 + y^2} = 2a$$

$$\therefore \sqrt{(e+x)^2 + y^2} = 2a - \sqrt{(e-x)^2 + y^2} \quad \text{平方シテ}$$

$$(e+x)^2 + y^2 = 4a^2 - 4a\sqrt{(e-x)^2 + y^2} + (e-x)^2 + y^2$$

$$\therefore 4a\sqrt{(e-x)^2 + y^2} = 4a^2 - 4ex$$

* 器具販賣店 大阪市西區阿波座一番町一番地 加藤數物製作所

従ツテ $(a^2 - e^2)x^2 + a^2y^2 = a^2(a^2 - e^2)$

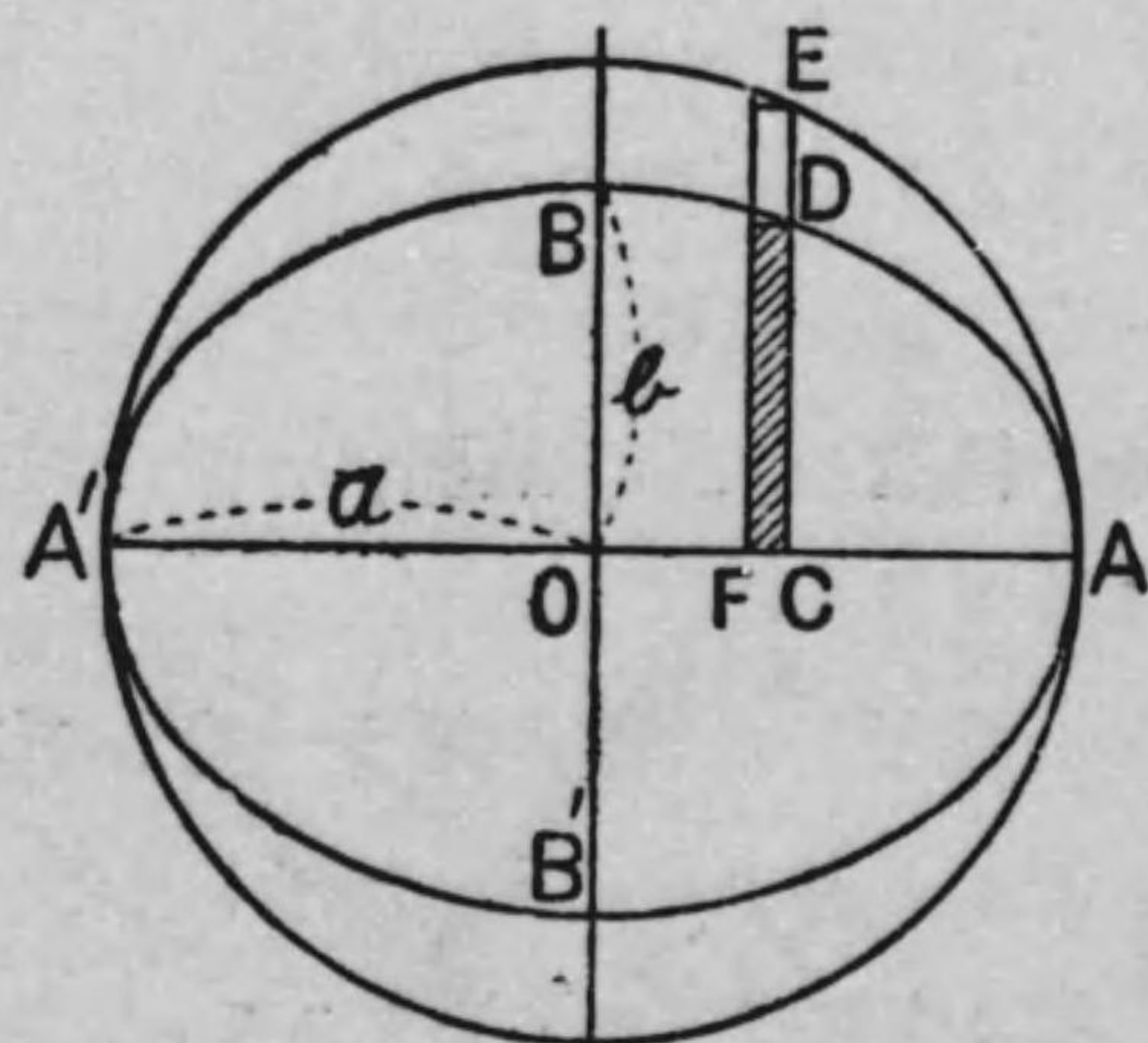
茲ニ $a > e$ デアルカラ $a^2 - e^2 = b^2$ 即チ $e^2 = a^2 - b^2$

コレヲ代入シテ $b^2x^2 + a^2y^2 = a^2b^2$ コレカラ

$\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1$ ヲ得ル。

橢圓ヲ描ク器具トシテ橢圓コンパスガアル。コレハ橢圓ノ性質ヲ用ヒタモノデ、開閉自在ノ二脚ヲ有スル圖ノヤウナ器具ト他ニ糸トガアレバヨイ。但シ教科書ニ示シテアル器具ノ脚心ニハ「ゴム」ガアツテ黑板ヲ傷ツケヌヤウ、又シラナイヤウニシテアル。

橢圓ノ面積ハ次ノヤウニシテ求メルコトガ出來ル。



與ヘラレタ橢圓ノ長半徑ヲ a 、短半徑ヲ b トシ、補助圓(半徑 a)ヲ描ケバ、橢圓ノ縦ハ常ニソレニ應ズル圓ノ縦ヲ $\frac{b}{a}$ ノ割ニ縮メタモノデアル。ソコデ OA ヲ n 等分シテソノ各分點カラ OA ニ垂線ヲ引ク。今ソノ一ツヲ CDE トシ、圖ノヤ

ウニ二ツノ細長イ矩形 FD 及ビ FE ヲ作レバ

$\square FD : \square FE = CD : CE = b : a$

然ルニ OA ヲ次第ニ小サク等分シ、 $\square FD$ 及ビ $\square FE$ ノ夫々ノ和ヲ求メルトソレラハ夫々橢圓及ビ圓ノ面積トナル。故ニ

橢圓ノ面積 : 圓ノ面積 = $b : a$

圓ノ面積ハ既ニ知ツテキルヤウニ πa^2 デアルカラ

橢圓ノ面積 = $\pi a^2 \times \frac{b}{a} = \pi ab$

トナル。

(c) 雙曲線

二定點(焦點)カラノ距離ノ差ガ一定ナ點ノ軌跡ハ雙曲線トナル。教科書ニハ此ノ性質ニヨツテ雙曲線ヲ描ク器具ノ説明ガシテアルガ、勿論ソレハ一ツノ枝ノミガ描ケルダケデアルカラ、他ノ方ヲ描クニハ F' ト F'' トヲ入レカヘテ描カナクテハナラナイ。

參考ノタメ上ノ性質カラ方程式ヲ導イテ見ヨウ(教科書ノ圖参照)

$PF'' - PF' = 2a$

$FF' = 2e$ トオケバ $e > a$ デアル。

$PF' = \sqrt{(x-e)^2 + y^2}$, $PF'' = \sqrt{(x+e)^2 + y^2}$ デアルカラ

$\sqrt{(x+e)^2 + y^2} - \sqrt{(x-e)^2 + y^2} = 2a$

之ヲ變形スレバ

$(e^2 - a^2)x^2 - a^2y^2 = a^2(e^2 - a^2)$

今 $e^2 - a^2 = b^2$ トオクトキハ求ムル雙曲線ノ方程式ハ

$b^2x^2 - a^2y^2 = a^2b^2$

即チ $\frac{x^2}{a^2} - \frac{y^2}{b^2} = 1 \dots \dots \dots (1)$

(1)ノ雙曲線ハ y 軸トハ決シテ交ラナイ。何トナレバ

(1)ニ於テ $x=0$ トスレバ $y^2 = -b^2 \therefore y = \pm b\sqrt{-1}$

故ニ(1)ノ雙曲線デ y 軸ヲ傍軸トイヒ、 x 軸ヲ主軸トイフ。

又 $-\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} = 1 \dots \dots \dots (2)$

ハ(1)トヨク似タ形デアアルガ y 軸ガ主軸トナリ、 x 軸ハ傍軸トナル。

(2)ハ(1)ノ共軛雙曲線ト名付ケラレル雙曲線トナルノデアアル。

(1)ヲ變形シテ見ルト $y = \pm \frac{b}{a}x\sqrt{1 - \frac{a^2}{x^2}}$

トナルガ、茲ニ x ガ次第ニ大キクナルト、 $\frac{a^2}{x^2}$ ハ次第ニ減少シ、遂ニ

其ノ極限ニ於テハ0トナル。故ニ雙曲線(1)ハxガ増大スレバ直線

$$y = \pm \frac{b}{a}x$$

ニ如何程デモ接近スル。故ニ上ノ直線ヲ雙曲線(1)ノ漸近線トイフ。雙曲線(2)ノ漸近線モ $y = \pm \frac{b}{a}x$ トナツテ、一ツノ雙曲線ト其ノ共軛雙曲線トハ同ジ漸近線ヲ持ツノデアアル。

(d) 拋物線

拋物線ハ一定點(焦點)及ビ定直線(準線)ニ至ル距離ガ相等シイ點ノ軌跡デアアル。

参考ノタメ上ノ性質カラ其ノ方程式ヲ出シテ見ヨウ。

教科書ノ圖ニ於テ一定點(焦點)ヲFトシ、定直線(準線)ヲABトスル。今FカラABニ下シタ垂線ヲx軸ニトリ(y軸トシテモヨイ)、FカラABヘノ垂線ノ中點ヲ原點トシ、FカラABヘノ距離ヲpトセヨ。

$$PF = \sqrt{\left(x - \frac{p}{2}\right)^2 + y^2}$$

$$P \text{カラ } AB \text{ヘノ距離} = x + \frac{p}{2}$$

$$\text{故ニ } \sqrt{\left(x - \frac{p}{2}\right)^2 + y^2} = x + \frac{p}{2}$$

平方シテ根號ヲ去レバ

$$x^2 - px + \frac{p^2}{4} + y^2 = x^2 + px + \frac{p^2}{4}$$

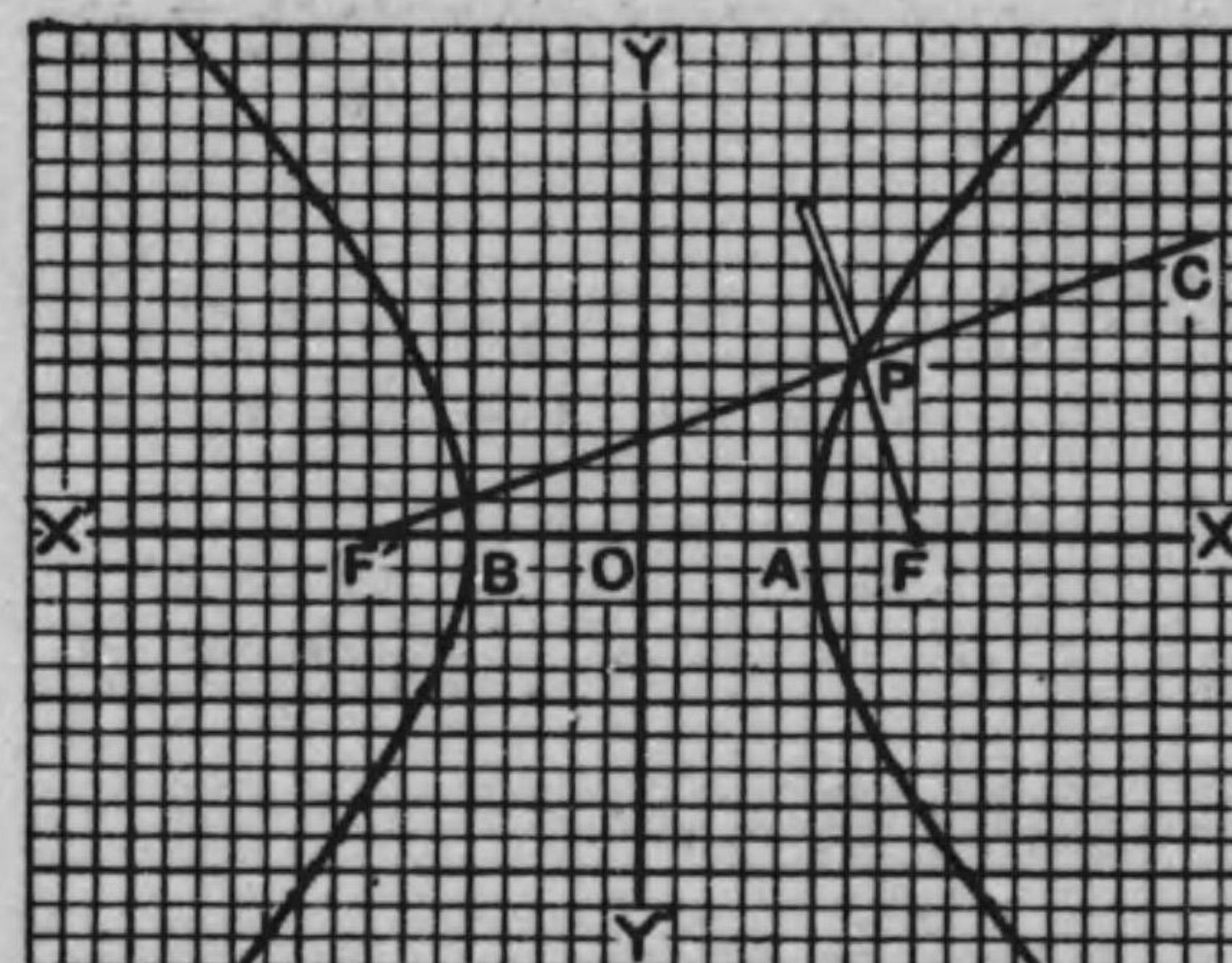
$$\text{故ニ } y^2 = 2px$$

コレハ求ムル拋物線ノ方程式デアアル。最初ノ軸ノトリ方ニヨツテハ

$$x^2 = 2py \quad \text{トモナル。}$$

拋物線ハ橢圓ヤ圓ノヤウナ閉曲線デナイガ、雙曲線ノヤウニ漸近線ヲ持タナイ。拋物線ト橢圓ト雙曲線トハ種々ノ共通ノ性質ヲ有シテヲリ、其ノ研究ハ興味ノアルコトデアアルガソレラハ解析幾何學ヤ射影幾何學デ論ゼラレルモノデアアル。

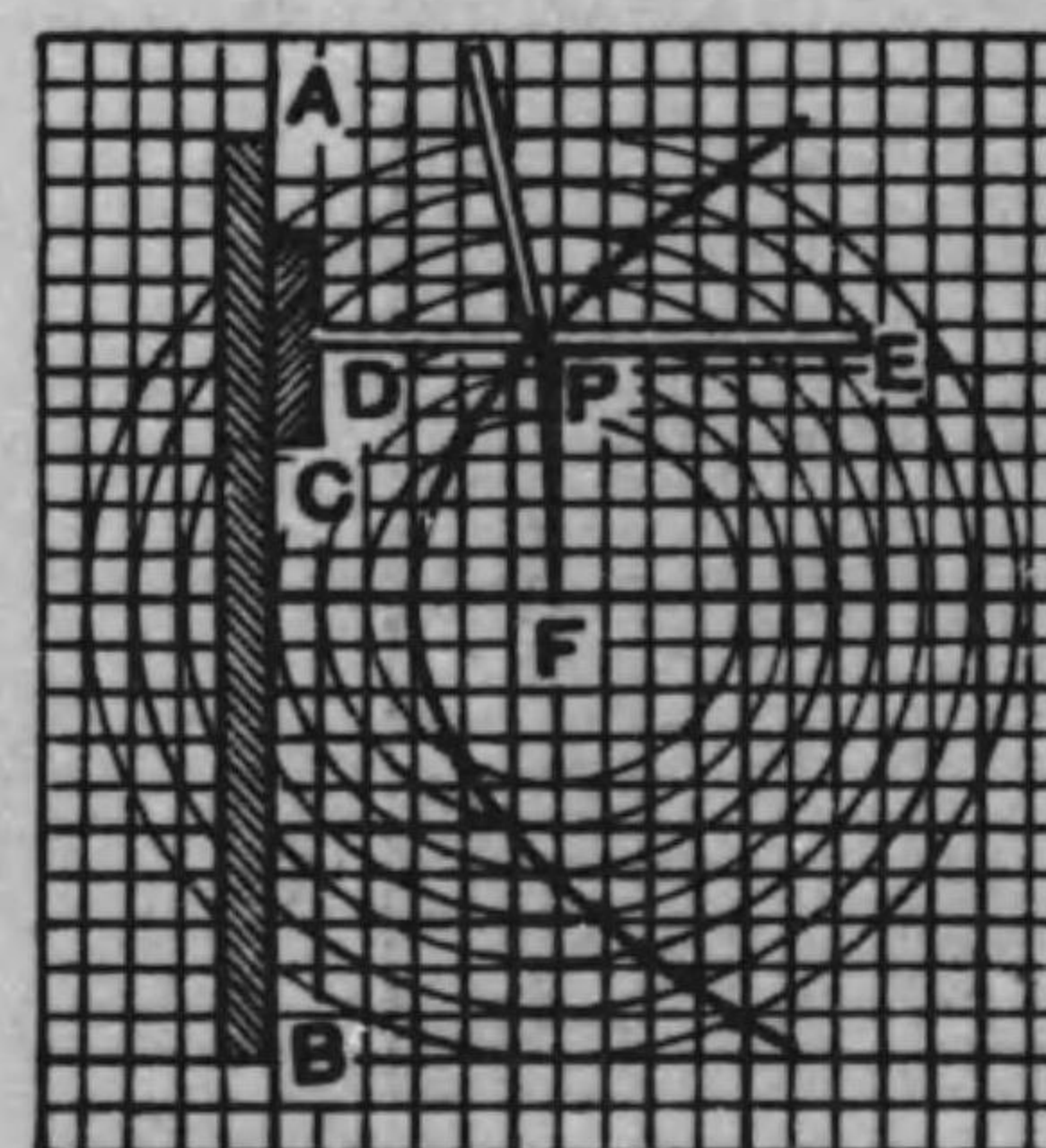
雙曲線ハ二定點F, F'カラ一點(P)マデノ距離ノ差ガ一定ナヤウニ動イタトキ生ズル曲線デアアル。



針金ノ一端ヲF'ニ於テ自由ニ廻轉シ得ルヤウニ止メ、點Fニ一端ヲ固定シタ糸ノ他端ヲ針金ノ他端ニ結ビ付ケ、鉛筆ヲ

糸ニ引ツ掛ケ針金ニ沿ウテ動カストキハ雙曲線ヲ描クコトガ出來ル。

拋物線ハ一點(P)ガ一定直線トソノ直線上ニナイ一定點(F)トカラ等距離ニアルヤウニ動クトキ生ズル曲線デアアル。直角定規(CDE)



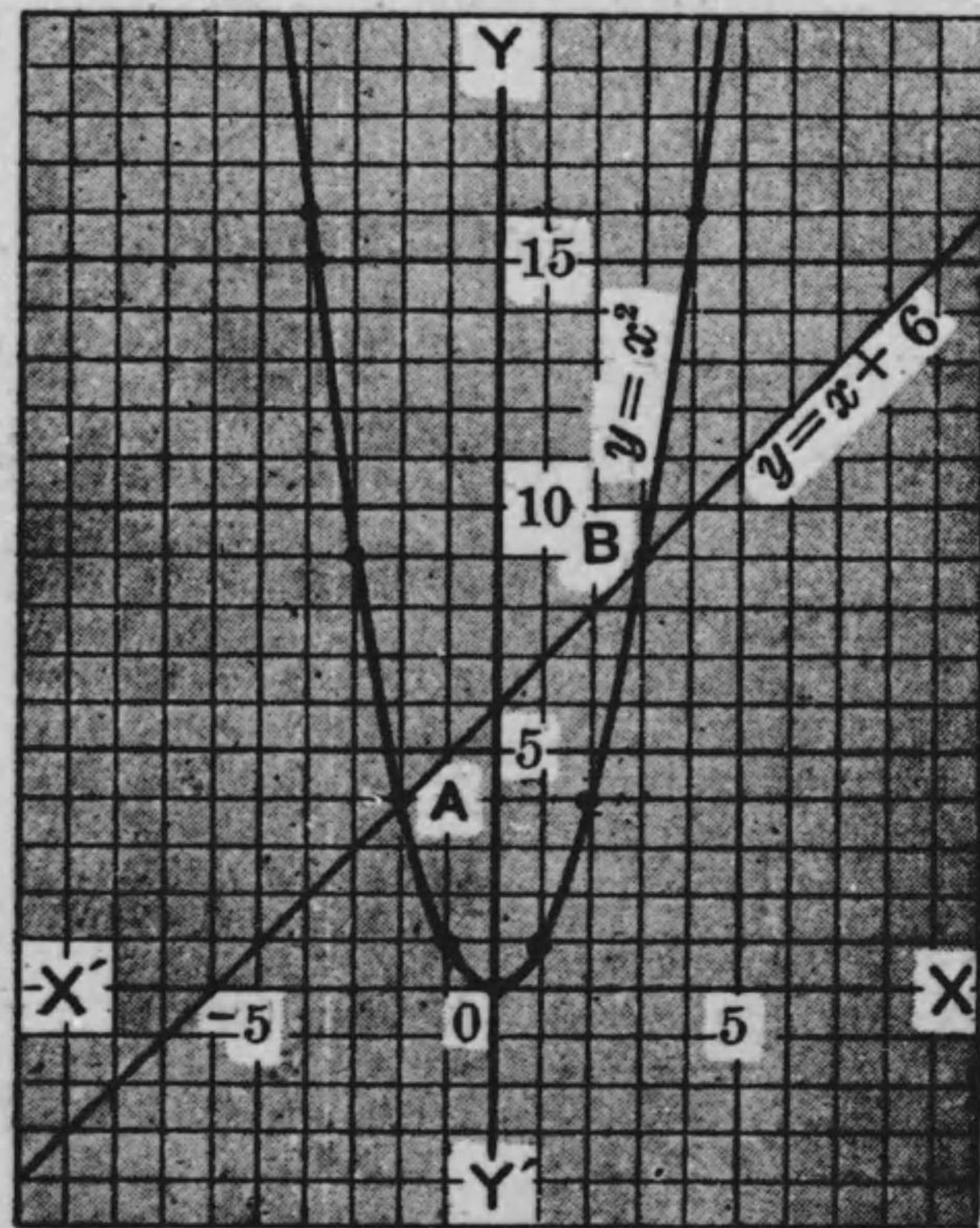
ガ固定シタ直線定規ABニ沿ウテ動クトキ、定點Fニ糸ノ一端ヲ結ビ、他端ヲ直角定規ノ端ニ結ビ付ケ、鉛筆ニ糸ヲ掛ケ定規ノ縁DEニ沿ウテ動カスト拋物線ヲ描クコトガ出來ル。

50. 二元二次聯立方程式

問 二元一次聯立方程式ヲグラフデ解ク方法ヲ述ベヨ。

例一 $\begin{cases} y=x^2 \dots\dots\dots(1) \\ y=x+6 \dots\dots\dots(2) \end{cases}$ ヲグラフデ解ケ。

解 此等ノ方程式ノグラフハ下圖ノヤウニ $y=x^2$ カラハ拋物線ヲ, $y=x+6$ カラハ直線ヲ得ル。



ソシテ此ノ拋物線上ノ點ノ座標ハ總テ

50. 二元二次聯立方程式

前節デ二元二次方程式ノ値ノ變化ヲ研究シタノデ, 本節デハソノ二ツノ二次方程式ヲ組合セテ方程式即チ聯立方程式ニツイテ其ノ解法ヲ考究シヨウトスルノデアアル。

聯立方程式ノ解法ハ既ニ二元一次聯立方程式ノ解法ニ於テ明カデアツタヤウニ, 先ヅグラフニヨル解法ヲ行ツタ後ニ計算ニヨル解法ヲ導入シタ方ガ, 其ノ根ノ意義ヲ知ル上ニモ, 又聯立方程式ノ解其ノモノヲ理解スル上ニモ都合ガヨイ。併シ乍ラ二元二次ノ聯立方程式ノグラフニヨル解法ハ二元一次聯立方程式ノグラフニヨル解法ノヤウニ簡單ニハ行カナイ。何トナレバ二元一次方程式ハ其ノ形ノ如何ニ關セズグラフハ常ニ直線デアルカラ, グラフニヨル解法ハ極メテ簡單デアアル。ソレニ比シテ二元二次方程式ノグラフハ, 其ノ方程式ノ形ニヨリ或ハ橢圓, 或ハ雙曲線或ハ拋物線トナツテ, グラフヲ描クコトモ直線ノヤウニ唯二點ヲ取レバヨイトイフワケニハ行カナイ。

故ニ二元二次聯立方程式ノグラフニヨル解法ハソレ自身ガ既ニ相當ニ時間ト勞力トヲ要スルコトデモアリ, 又一方, 實ハ二元二次方程式ソノモノノグラフニツイテハ既ニ前節デ十分研究シテキルカラ, 今改メテ別ニ節ヲ設ケテグラフニヨル解法ヲ課スルコトハ, 徒ラニ勞多クシテ益少ナキヲ思フノデ, 本書デハ二元二次聯立方程式ノ各例題ニ於テ, 先ヅグラフニヨル解法ヲ舉ゲテ然ル後計算ニヨル解法ヲ導クヤウニシタ。吾人ハ本書ノヤウナ方法ガ生徒ヲシテ興味ヲ以テ學習サセル所以デアリ, 又理解ヲ深クスル所以デアルト信ズル。

問 二元二次聯立方程式解法ノ豫備トシテ, 二元一次聯立方程式ノ解法ヲ回顧スルノデアアル。グラフニヨル解法ト計算ニヨル解法トアツテ, 計算ニヨル解法デハ加減法ト代入法トヲ取扱ツタ。

例一 一次ト二次トノ聯立方程式ノ一例デアル。

方程式(1)カラハ標準拋物線ヲ, (2)カラハ直線ヲ得ルノデアルガ,

(4) (1)ノ曲線ヲ描クニハ唯單ニ二點ヲ取ツタノデハイケナイ事, 即チ前節ノ方法ニ從ツテ描クベキ事。

(□) 交點ハ唯一ツニハ限ラナイコト(二次ト一次ナララバ一般ニ二ツアル。)

等ヲ注意スル必要ガアル。又與ヘラレタ方程式

$$\begin{cases} y=x^2 \cdots \cdots (1) \\ y=x+6 \cdots \cdots (2) \end{cases} \text{カラ } x^2=x+6 \text{ 即チ } x^2-x-6=0$$

故ニ(1), (2)ヲ満足スル x ノ値ハ $x^2-x-6=0$ ノ根デ, 換言スレバ(1), (2)ノ圖的解法ハ $x^2-x-6=0$ ノ圖的解法ヲ示シタモノデアル。

一般ニ $ax^2+bx+c=0$ ヲグラフデ解クニハ前節ノヤウニ

$y=ax^2+bx+c$ ノグラフガ x 軸ト交ハル點ヲ求メテモヨイガ,

$$\text{又 } \begin{cases} y=x^2 \\ ay+bx+c=0 \end{cases} \text{ノグラフノ交點ヲ求メテモヨイ。}$$

次ニ計算ニヨル解法ニ於テ, (1), (2)カラ y ヲ消去シテ

$$x^2-x-6=0 \text{ 即チ } (x+2)(x-3)=0$$

コレカラ $x=-2$ 又ハ $x=3$ ヲ得ルノデアルガ, 此ノ x ノ値ヲ應々複雑ナ二次ノ方即チ $y=x^2$ ニ代入シテ y ノ値ヲ求メル人モアルマイガ, 二次ノ方ニ代入スレバ無織根ヲ生ズル虞レガアル。

故ニ一次ト二次トノ聯立方程式デハ, 先ヅ一ツノ未知數ヲ消去シテ結果, 得タ他ノ未知數ノ値ヲ必ズ一次ノ方ニ代入スベキデアル。コレハ二元二次聯立方程式ノ計算ニヨル解法ノ基礎ニナルコトデアルカラ十分理解サセテオキタイト思フ。

$y=x^2$ ヲ満足シ,直線上ノ點ハ總テ $y=x+6$ ヲ満足スル。ソシテ此等ノ線以外ニハ方程式ヲ満足スル點ハナイ。從ツテ此ノ拋物線ト直線トノ交點 A, B ノ座標 $(-2, 4), (3, 9)$ ハ兩方程式ヲ同時ニ満足スル。

ソレ故此ノ二組ノ値ガ求メル根デアル。

x	-2	3
y	4	9

答

計算デ(1), (2)ヲ解イテ見ルト

(2)ヲ(1)ニ代入シテ

$$x+6=x^2$$

$$x^2-x-6=0$$

$$(x+2)(x-3)=0$$

$$x+2=0 \text{ 又ハ } x-3=0$$

$$x=-2$$

$$x=3$$

コレヲ(2)ニ代入シテ

コレヲ(2)ニ代入シテ

$$y=-2+6=4$$

$$y=3+6=9$$

$$\text{即チ } \begin{cases} x=-2 \\ y=4 \end{cases}$$

$$\text{即チ } \begin{cases} x=3 \\ y=9 \end{cases}$$

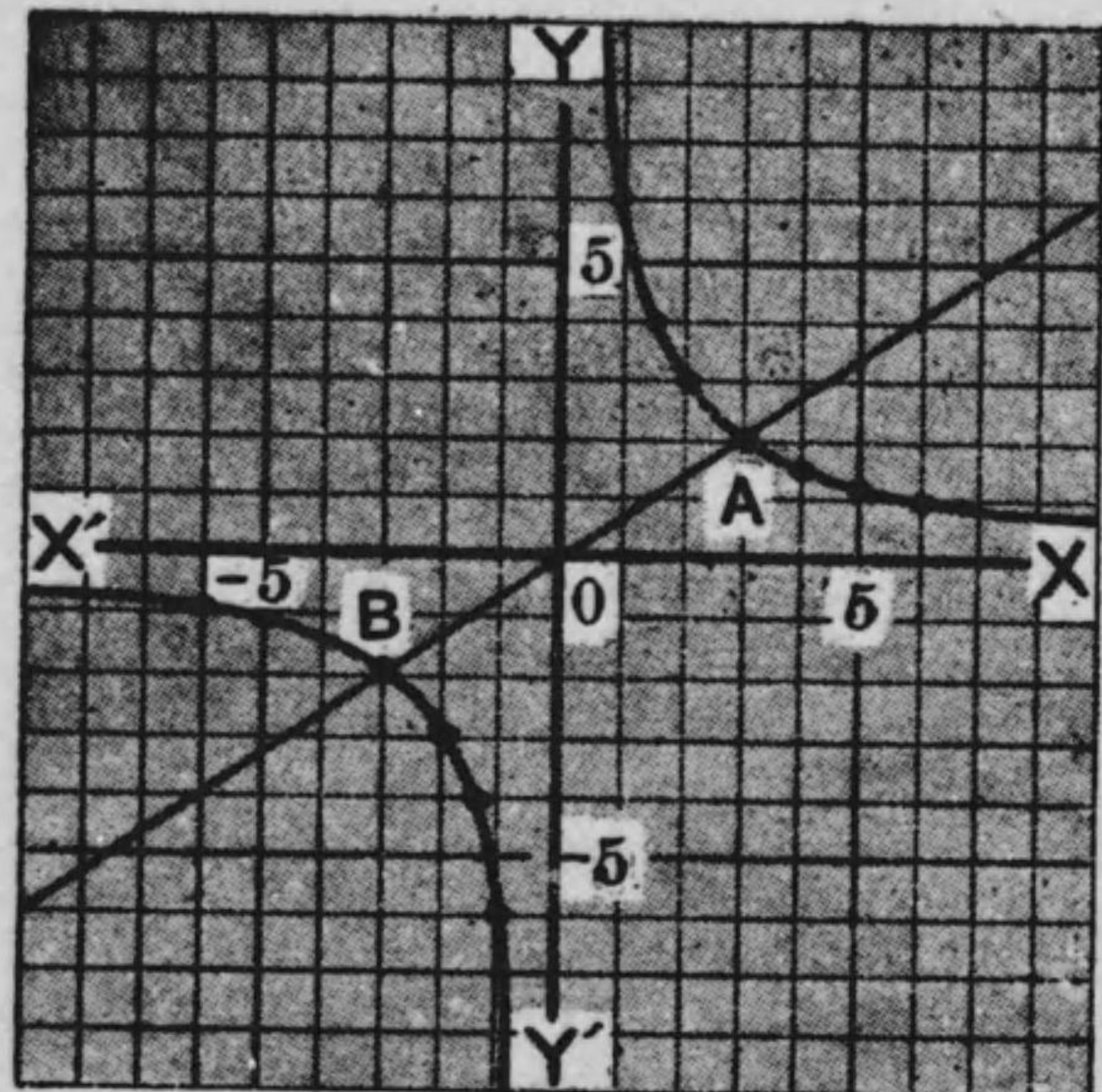
トナリ,グラフニヨル解ト一致スル。

例二 $xy=6 \dots \dots (1)$ グラフ及ビ計算
 $2x=3y \dots \dots (2)$ デ解ケ。

解 $xy=6$ カラ

x	1	1.5	2	3	4	5	6
y	6	4	3	2	1.5	1.2	1

ソシテ x ガ負デアルト, y モ亦負トナル。



コノコトカラ(1)ノ
 グラフハ圖ノヤウ
 ナ雙曲線トナリ, 又
 (2)ノグラフハ直線
 デアル。此等二直
 線ノ交點ノ座標
 $A(3, 2), B(-3, -2)$
 ガ求メル根デアル。

コレヲ計算デ解イテ見ルト

(2)カラ $y = \frac{2}{3}x$ ヲ得テ(1)ニ代入シ,

$$\frac{2}{3}x^2 = 6 \quad x^2 = 9$$

$$x = 3 \quad \text{又ハ} \quad x = -3$$

$$y = \frac{2}{3} \times 3 = 2 \quad \left| \quad y = \frac{2}{3} \times (-3) = -2$$

答

x	3	-3
y	2	-2

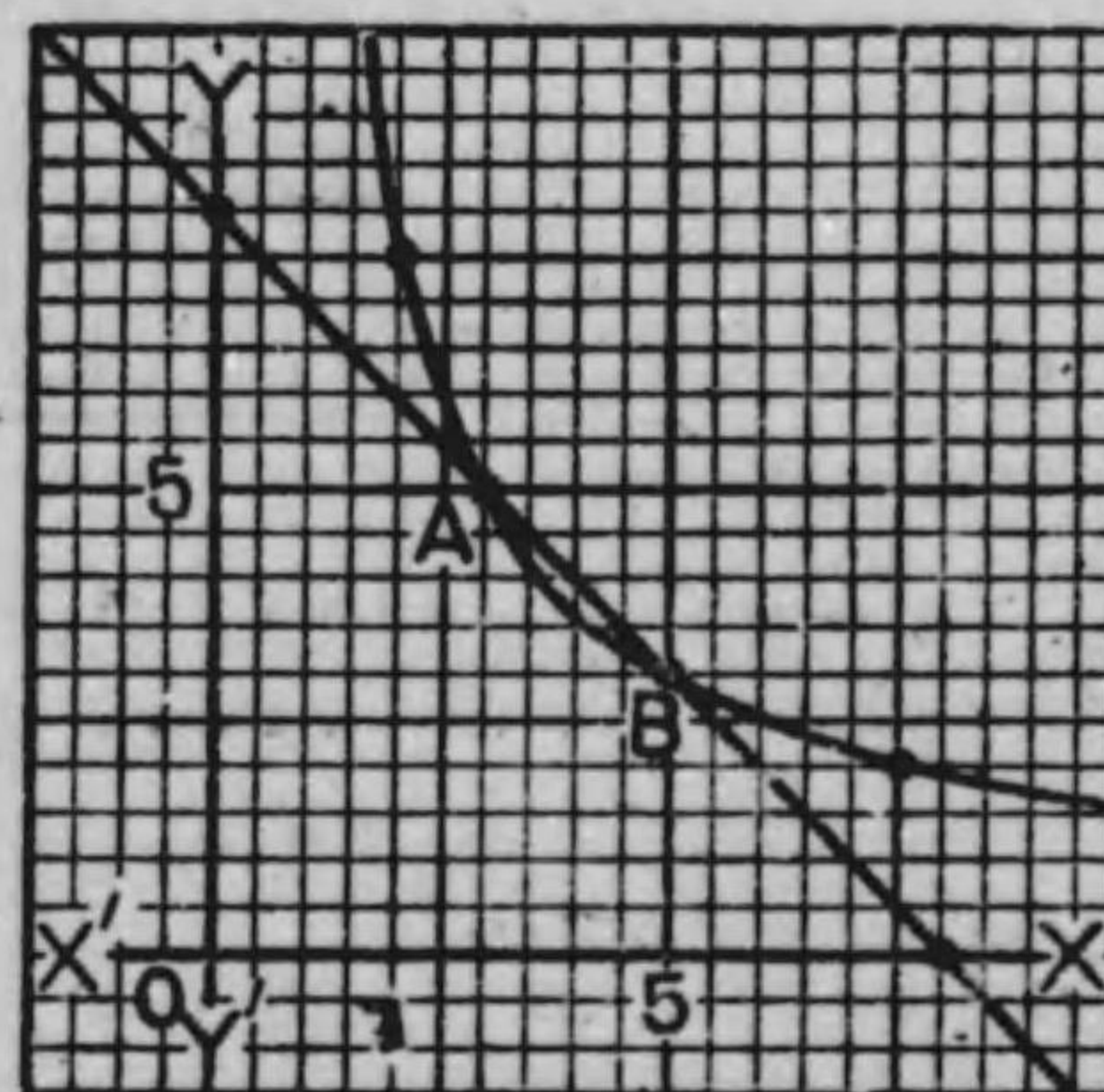
二元二次聯立方程式ニハ種々ノ場合ガアツテ, 如何ナル場合デモ
 解ケルトハ限ラナイ。併シ一次ト二次ノ場合ハ常ニ解クコトガ出來
 テ, 而モ此ノ場合ガ二元二次聯立方程式ノ基礎ニナルモノデアルカ
 ラ, シツカリト理解サセテオキタイ。ソシテ一次ト二次トノ場合デ
 ハ代入法ニヨツテ解クノデアル。

例二 グラフデハ雙曲線ト直線トノ交點ニヨツテ根ヲ求メル場合
 デアル。

問題

16 $x+y=8 \dots \dots (1)$
 $xy=15 \dots \dots (2)$

雙曲線ハ一方ノ枝(branch)ダケ
 ヲ描イタ。 $A(3, 5), B(5, 3)$



(1)ノ y ヲ(2)ニ代入セヨ。

$$8x - x^2 = 15$$

$$x^2 - 8x + 15 = 0$$

$$\therefore x = 3 \quad \text{又ハ} \quad 5$$

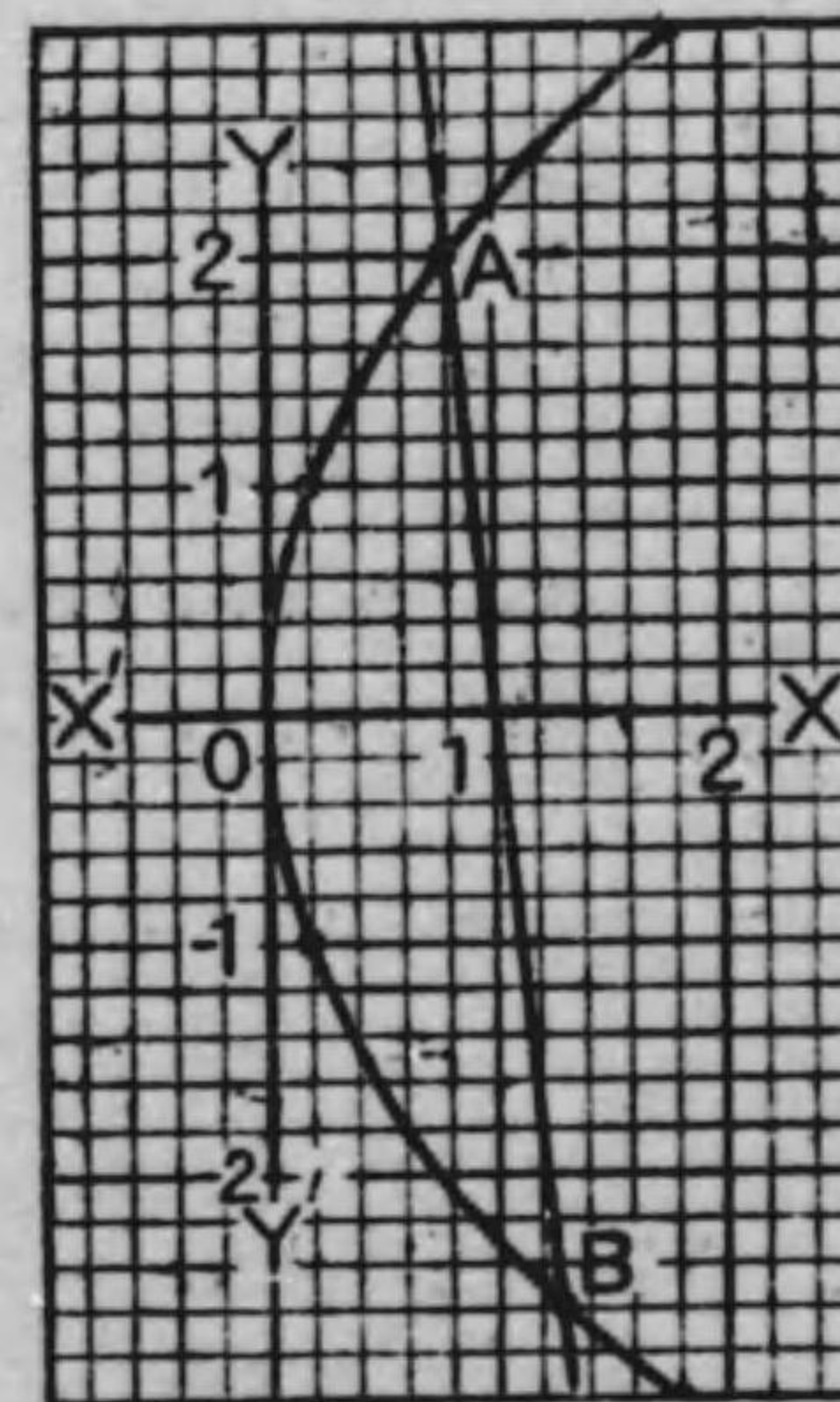
y ノ値如何。

答

x	3	5
y	5	3

(16) $y^2=5x \dots \dots (1)$
 $y=10-10x \dots \dots (2)$

$$A\left(\frac{4}{5}, 2\right), B\left(\frac{5}{4}, -\frac{5}{2}\right)$$



(2)ノ x ヲ(1)ニ代入セヨ。

$$2y^2 + y - 10 = 0$$

$$y = 2 \quad \text{又ハ} \quad -2.5$$

x ノ値如何。

答

x	0.8	1.25
y	2	-2.5